

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホクシツ ショウショウガクエン 学校法人 常翔学園							
フリガナ大学の名称	ヒロシマコクサイダイガク 広島国際大学(Hiroshima International University)							
大学本部の位置	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36							
大学の目的	広島国際大学は、ひとと共に歩み、こころに届く医療を実践する専門職業人を育成し、加えてあらゆるひとの健康と幸福に資する研究を推進する。もって広く社会に貢献する。							
新設学部等の目的	人口の減少・少子高齢化が進む中、「医療」に求められる内容も病気やケガの治療にとどまらず、「健康の維持」「生活の支援」にも広がってきている。このような状況を踏まえ、健康・医療・福祉の分野に主軸を置く大学として、このニーズに応えることは社会的要請と捉え、現在本学で養成する臨床検査技師、救急救命士、理学療法士、公認心理師及び臨床心理士に關係する学部・学科の収容定員増員を行う。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は称号	開設時期及び開設年次 年月第年次	所在地
	保健医療学部 【Faculty of Health Sciences】 診療放射線学科 【Department of Clinical Radiology】	4	70	—	280	学士 (診療放射線学) 【Bachelor of Clinical Radiology】	平成10年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36
	医療技術学科 【Department of Medical Science and Technology】 臨床工学専攻 【Course of Clinical Engineering Technology】	4	50	—	200	学士 (臨床工学) 【Bachelor of Clinical Engineering Technology】	平成25年4月 第1年次	同上
	臨床検査学専攻 【Course of Medical Laboratory Science】	4	50 (40)	—	200 (160)	学士 (臨床検査学) 【Bachelor of Medical Laboratory Science】	平成32年4月 第1年次	同上
	救急救命学専攻 【Course of Emergency Medical Technology】	4	0 (40)	—	0 (160)	学士 (救急救命学) 【Bachelor of Emergency Medical Technology】	平成25年4月 第1年次	同上
救急救命学科 【Department of Prehospital Emergency Medical Sciences】	4	50 (0)	—	200 (0)	学士 (救急救命学) 【Bachelor of Emergency Medical Technology】	平成32年4月 第1年次	同上	平成31年4月設置届出予定

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
新設学部等の概要	総合リハビリテーション学部 【Faculty of Rehabilitation】 リハビリテーション学科 【Department of Rehabilitation】 理学療法専攻 【Course of Physical Therapy】	4	80 (60)	—	320 (240)	学士 (理学療法学) 【Bachelor of Physical Therapy】	平成32年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬 学園台555番地36
	作業療法専攻 【Course of Occupational Therapy】	4	40	—	160	学士 (作業療法学) 【Bachelor of Occupational Therapy】	平成25年4月 第1年次	
	言語聴覚療法専攻 【Course of Speech-Language-Hearing Therapy】	4	30	—	120	学士 (言語聴覚学) 【Bachelor of Speech-Language-Hearing Therapy】	平成25年4月 第1年次	
	義肢装具学専攻 【Course of Emergency Medical Technology】	4	30 (0)	—	120 (0)	学士 (義肢装具学) 【Bachelor of Prosthetics and Orthotics】	平成32年4月 第1年次	
	リハビリテーション支援学科 【Department of Assistive Rehabilitation】 義肢装具学専攻 【Course of Emergency Medical Technology】	4	0 (30)	—	0 (120)	学士 (義肢装具学) 【Bachelor of Prosthetics and Orthotics】	平成25年4月 第1年次	同上
	医療福祉学部 【Faculty of Health and Welfare】 医療福祉学科 【Department of Social Work】	4	0 (100)	3年次 0 (10)	0 (420)	学士 (医療福祉学) 【Bachelor of Health and Social Services】	平成10年4月 第1年次	同上
	医療経営学部 【Faculty of Health Services Management】 医療経営学科 【Department of Health Services Management】	4	0 (90)	—	0 (360)	学士 (医療経営学) 【Bachelor of Health Services Management】	平成23年4月 第1年次	同上
心理学部 【Faculty of Psychology】 心理学科 【Department of Psychology】	4	0 (90)	3年次 0 (10)	0 (380)	学士 (心理学) 【Bachelor of Psychology】	平成27年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
		医療栄養学部 【Faculty of Clinical Nutrition】 医療栄養学科 【Department of Clinical Nutrition】	4	0 (60)	—	0 (240)	学士 (医療栄養学) 【Bachelor of Clinical Nutrition】	平成26年4月 第1年次	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号
	看護学部 【Faculty of Nursing】 看護学科 【Department of Nursing】	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成15年4月 第1年次	同上	
	薬学部 【Faculty of Pharmaceutical Sciences】 薬学科 【Department of Pharmaceutical Sciences】	6	120	—	720	学士 (薬学) 【Bachelor of Pharmaceutical Sciences】	平成18年4月 第1年次	同上	
	健康科学部 【Faculty of Health and Wellness Sciences】 医療福祉学科 【Department of Social Work】	4	100 (0)	—	400 (0)	学士 (医療福祉学) 【Bachelor of Health and Social Services】	平成32年4月 第1年次	広島県東広島市黒瀬 学園台555番地36	平成31年4月設置 届出予定
	医療経営学科 【Department of Health Services Management】	4	90 (0)	—	360 (0)	学士 (医療経営学) 【Bachelor of Health Services Management】	平成32年4月 第1年次	同上	平成31年4月設置 届出予定
	心理学科 【Department of Psychology】	4	100 (0)	—	400 (0)	学士 (心理学) 【Bachelor of Psychology】	平成32年4月 第1年次	同上	平成31年4月設置 届出予定
	医療栄養学科 【Department of Clinical Nutrition】	4	60 (0)	—	240 (0)	学士 (医療栄養学) 【Bachelor of Clinical Nutrition】	平成32年4月 第1年次	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	平成31年4月設置 届出予定
	計		990 (940)	3年次 10 (20)	4,220 (4,060)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		別紙のとおり【別紙】							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	—	講義	演習	実験・実習	計	— 単位			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等				
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	人			
新設分	保健医療学部	診療放射線学科	8 (8)	5 (5)	3 (3)	3 (3)	19 (19)	0 (0)	42 (41)	平成31年4月設置 届出予定		
		医療技術学科	8 (8)	2 (2)	9 (8)	0 (1)	19 (19)	0 (0)	46 (45)			
		救急救命学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	57 (55)			
	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	15 (15)	9 (9)	12 (12)	3 (3)	39 (39)	0 (0)	57 (56)			
	看護学部	看護学科	11 (10)	12 (13)	7 (6)	8 (10)	38 (39)	8 (7)	46 (45)			
	薬学部	薬学科	16 (16)	13 (15)	9 (8)	14 (14)	52 (53)	0 (0)	34 (33)			
	健康科学部	医療福祉学科	7 (7)	8 (8)	5 (5)	1 (1)	21 (21)	0 (0)	68 (57)		平成31年4月設置 届出予定	
		医療経営学科	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	42 (41)			
		心理学科	5 (6)	8 (8)	4 (4)	1 (1)	18 (19)	0 (0)	49 (42)			
		医療栄養学科	10 (10)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	15 (15)	4 (4)	44 (43)			
		計	91 (91)	65 (68)	54 (51)	33 (36)	243 (246)	12 (11)	— (—)			
	既設分	教職教室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
		心理臨床センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)			0 (0)
		助産学専攻科		1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	4 (4)	0 (0)			5 (5)
		計		1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	5 (5)	0 (0)			— (—)
	合 計			92 (92)	66 (69)	54 (51)	36 (39)	248 (251)	12 (11)			— (—)
	教員以外の職員概要	職 種		専 任		兼 任		計				
		事 務 職 員		107 人 (107)		18 人 (18)		125 人 (125)				
		技 術 職 員		3 (3)		0 (0)		3 (3)				
図 書 館 専 門 職 員		2 (2)		14 (14)		16 (16)						
そ の 他 の 職 員		7 (7)		0 (0)		7 (7)						
計			119 (119)		32 (32)		151 (151)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地	213,334.58㎡	0 ㎡		0 ㎡		213,334.58㎡		借用： 1,460.88㎡、 借用： 1,896.32㎡、 2,384.69㎡ 借用期間：30年 (平成20年以来継続)			
	運 動 場 用 地	189,896.36㎡	0 ㎡		0 ㎡		189,896.36㎡					
	小 計	403,230.94㎡	0 ㎡		0 ㎡		403,230.94㎡					
	そ の 他	6,515.89㎡	0 ㎡		0 ㎡		6,515.89㎡					
合 計	409,746.83㎡	0 ㎡		0 ㎡		409,746.83㎡						
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
		117,137.07㎡ (117,137.07㎡)	0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		117,137.07㎡ (117,137.07㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体			
	94室	453室	277室		11室 (補助職員 0人)		0室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数							
		大学全体			285 室							

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体 学術雑誌 21,265冊 〔9,526冊〕	
		冊	種	種	種						
		冊	種	種	種	点	点	点			
	大学全体	196,681 [30,198] (196,681 [30,198])	161 [33] (161 [33])	134 [134] (134 [134])	134 [134] (134 [134])	8,201 (8,201)	72,997 (72,997)	499 (499)			
	計	196,681 [30198] (196,681 [30,198])	161 [33] (161 [33])	134 [134] (134 [134])	134 [134] (134 [134])	8,201 (8,201)	72,997 (72,997)	499 (499)			
図書館		面積		閲覧座席数			収納可能冊数			大学全体	
		3,621.31㎡		635			244,195				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							大学全体
		5,550.52㎡		第2練習場、第3練習場、第4練習場、 テニスコート 4面							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体	
		教員1人当り研究費等		283千円	283千円	283千円	283千円	-千円	-千円		
		共同研究費等		-千円	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円		
		図書購入費	44,331千円	32,032千円	32,970千円	33,907千円	34,533千円	-千円	-千円		
		設備購入費	267,579千円	47,872千円	34,906千円	27,120千円	27,720千円	-千円	-千円		
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		保健医療学部 診療放射線学科	1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円			
		保健医療学部 医療技術学科	1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円			
		保健医療学部 救急救命学科	1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円			
		総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円			
		看護学部 看護学科	1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円			
		薬学部 薬学科	2,270千円	1,920千円	1,920千円	1,920千円	1,920千円	1,920千円			
		健康科学部 医療福祉学科	1,330千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	-千円	-千円			
		健康科学部 医療経営学科	1,330千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	-千円	-千円			
		健康科学部 心理学科	1,330千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	-千円	-千円			
	健康科学部 医療栄養学科	1,370千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、補助活動収入等								

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学大学院								備考	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学は称	定員超過率	開設年度	所在地		
	看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻	年 2	人 10	年次人 —	人 20	修士 (看護学)	倍 0.05 0.05	平成15年度	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	平成31年4月から、大学院心理科学研究科コミュニケーション学専攻の修士課程の学生募集を停止し、在学生の修了等を待つて廃止。	
	看護学研究科 博士後期課程 看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00 0.00	平成24年度			
	医療・福祉科学研究科 博士前期課程 医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	0.85 0.85	平成21年度			広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36
	医療・福祉科学研究科 博士後期課程 医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	2.16 2.16	平成21年度			
	医療・福祉科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.20 0.20	平成21年度			
	医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.20	平成21年度			
	心理科学研究科 博士後期課程 臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.16 0.16	平成21年度			
	心理科学研究科 修士課程 コミュニケーション学専攻	2	—	—	—	修士 (コミュニケーション学)	— —	平成21年度			
	心理科学研究科 専門職学位課程 実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.45 0.45	平成21年度	広島県広島市中区 幟町 1番5号		
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.75 0.75	平成24年度			

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	保健医療学部	年	人	年次人	人		倍			
	診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.08	平成10年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	平成25年4月から、保健医療学部臨床工学科及び総合リハビリテーション学科の学生募集を停止し、在学生の卒業等を待って廃止。
	臨床工学科	4	—	—	—	学士 (臨床工学)	—	平成10年度		
	総合リハビリテーション学科	4	—	—	—	学士 (総合リハビリテーション学)	—	平成23年度		
	医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻 救急救命学専攻	4	130	—	520	学士 (臨床工学) (臨床検査学) (救命救急学)	1.02	平成25年度		
	総合リハビリテーション学部						1.07			平成27年4月から、心理科学部臨床心理学科、コミュニケーション心理学科の学生募集及び平成29年4月からの3年次編入学募集を停止し、在学生の卒業等を待って廃止。
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚療法学専攻	4	130	—	520	学士 (理学療法学) (作業療法学) (言語聴覚療法学)	1.10	平成25年度		
	リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	30	—	120	学士 (義肢装具学)	0.93	平成25年度		
	医療福祉学部						0.65			
	医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	100	3年次10	420	学士 (医療福祉学)	0.65	平成10年度		
	医療経営学部						0.91		広島県広島市中区 幟町1番5号	
	医療経営学科	4	90	—	360	学士 (医療経営学)	0.91	平成23年度		
	心理科学部						—		広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
	臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	平成13年度		
	コミュニケーション心理学科	4	—	—	—	学士 (コミュニケーション心理学)	—	平成23年度		
	心理学部						0.98			
	心理学科	4	90	3年次10	380	学士 (心理学)	0.98	平成27年度		
	看護学部						1.07		広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
	看護学科	4	120	3年次10	500	学士 (看護学)	1.07	平成15年度		
	薬学部						0.94			
	薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.94	平成18年度		
	医療栄養学部						0.96			
	医療栄養学科	4	60	—	240	学士 (医療栄養学)	0.96	平成26年度		

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学大学院								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	工学研究科 博士前期課程						1.09		大阪府大阪市 旭区大宮 五丁目 16番1号	平成29年4月から、工学研究科 建築学専攻、生体医工学専攻の博士前期課の学生募集を停止し、在学生の修了等を待って廃止。 平成29年4月から、工学研究科 都市デザイン工学専攻、機械工学専攻、生体医工学専攻、電気電子工学専攻の博士後期課程の学生募集を停止し、在学生の修了等を待って廃止。
	建築学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	昭和40年度		
	生体医工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成19年度		
	建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.79	平成29年度		
	電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.27	平成29年度		
	化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.11	平成29年度		
	工学研究科 博士後期課程						0.55			
	都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和42年度		
	機械工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和42年度		
	生体医工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成19年度		
	電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和42年度		
	応用化学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和52年度		
	建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.50	平成29年度		
	電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	平成29年度		
	化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	平成29年度		
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程						1.01		大阪府大阪市 北区茶屋町 1番45号		
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.01	平成29年度			
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程						0.00				
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成29年度			
情報科学研究科 博士前期課程						0.66		大阪府枚方市 北山 一丁目 79番1号		
情報科学専攻	2	40	—	80	修士(情報学)	0.66	平成12年度			
情報科学研究科 博士後期課程						0.00				
情報科学専攻	3	5	—	15	博士(情報学)	0.00	平成14年度			
知的財産研究科 専門職学位課程						1.11		大阪府大阪市 旭区大宮 五丁目 16番1号		
知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士(専門職)	1.11	平成17年度			

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	工学部	年	人	年次人	人		倍			
	都市デザイン工学科	4	100	3年次5	400	学士(工学)	1.01	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年4月から、工学部空間デザイン学科、ロボット工学科の学生募集及び平成31年4月からの3年次編入学募集を停止し、在学生の卒業等を待つて廃止。
	空間デザイン学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成18年度		
	建築学科	4	150	3年次5	600	学士(工学)	1.01	昭和24年度		
	機械工学科	4	140	3年次5	560	学士(工学)	1.01	昭和25年度		平成29年4月から、入学定員を次のとおり変更。
	ロボット工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成22年度		工学部
	電気電子システム工学科	4	125	3年次5	500	学士(工学)	1.03	昭和24年度		都市デザイン工学科 90→100(+10)
	電子情報システム工学科	4	110	3年次5	440	学士(工学)	1.04	昭和34年度		建築学科 140→150(+10)
	応用化学科	4	130	3年次5	520	学士(工学)	1.02	昭和33年度		機械工学科 130→140(+10)
	環境工学科	4	75	3年次5	305	学士(工学)	1.04	平成18年度		電気電子システム工学科 115→125(+10)
	生命工学科	4	70	3年次5	285	学士(工学)	1.03	平成22年度		電子情報通信工学科 100→110(+10)
	ロボティクス&デザイン工学部						1.03			応用化学科 120→130(+10)
	ロボット工学科	4	90	3年次5	275	学士(工学)	1.02	平成29年度	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	環境工学科 70→75(+5)
	システムデザイン工学科	4	90	3年次5	275	学士(工学)	1.06	平成29年度		生命工学科 65→70(+5)
	空間デザイン学科	4	100	3年次5	305	学士(工学)	1.03	平成29年度		情報科学部 コンピュータ科学科 95→105(+10)
	情報科学部						1.02			情報システム学科 95→105(+10)
	情報知能学科	4	105	3年次5	420	学士(情報学)	1.02	平成8年度	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	情報メディア学科 95→105(+10)
	情報システム学科	4	105	3年次5	420	学士(情報学)	0.98	平成8年度		情報ネットワーク学科 95→105(+10)
	情報メディア学科	4	105	3年次5	420	学士(情報学)	1.04	平成14年度		平成31年4月から、次のとおり名称変更。
	ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	420	学士(情報学)	1.02	平成19年度		工学部 電子情報通信工学科 →電子情報システム工学科
	知的財産学部						1.05			
	知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.05	平成15年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	情報科学部 コンピュータ科学科 →情報知能学科 情報ネットワーク学科 →ネットワークデザイン学科

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学大学院								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学)	0.87 0.87	平成24年度	大阪府枚方市 長尾峠町 45番1号	
	理工学研究科 博士前期課程 社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.88 0.79	平成元年度	大阪府寝屋 川市 池田中町 17番8号	
	生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.78	平成26年度		
	生命科学専攻	2	10	—	20	修士 (理学)	1.10	平成26年度		
	理工学研究科 博士後期課程 創生工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.16 0.16	平成20年度		
	生命科学専攻	3	2	—	6	博士 (理学)	0.16	平成28年度		
	経済経営学研究科 修士課程 経済学専攻	2	5	—	10	修士 (経済学)	0.05 0.10	平成26年度		
	経営学専攻	2	5	—	10	修士 (経営学)	0.00	平成26年度		
	法学研究科 修士課程 法律学専攻	2	5	—	10	修士 (法学)	0.10 0.10	平成9年度		
	国際言語文化研究科 修士課程 国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20 0.20	平成11年度		
	看護学研究科 修士課程 看護学専攻	2	6	—	12	修士 (看護学)	0.33 0.33	平成28年度	大阪府枚方市 長尾峠町 45番1号	

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	理工学部	年	人	年次人	人		倍			大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	1.00	平成22年度		
	住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.04	平成22年度		
	建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.06	昭和50年度		
	機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.03	昭和50年度		
	電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	昭和50年度		
	都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.06	平成22年度		
	外国語学部						1.08			
	外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.08	昭和57年度		
	経営学部						1.09			
	経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.09	平成18年度		
	経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.08	昭和57年度		
	薬学部						1.03			大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	平成18年度		
	法学部						1.07			大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.07	昭和63年度		
	経済学部						1.06			
	経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.06	平成22年度		
	看護学部						1.03			大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	平成24年度		

附属施設の概要	<p>名 称：薬草園（広島国際大学薬学部専用） 目 的：学位分野の研究 所 在 地：広島県呉市広古新開五丁目1番1号 設置年月：平成16年4月（平成30年2月移転） 規 模 等：面積774.00㎡ 規 模 等：面積774.00㎡</p>	
	<p>名 称：体育館（東広島キャンパス） 目 的：学位分野の教育・研究 所 在 地：広島県東広島市黒瀬学園台555番地36 設置年月：平成10年3月 規 模 等：面積1,667.07㎡</p>	
	<p>名 称：体育館（呉キャンパス） 目 的：学位分野の教育・研究 所 在 地：広島県呉市広古新開五丁目1番1号 設置年月：昭和49年12月 規 模 等：面積3,883.45㎡</p>	

同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）

広島国際大学

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	(70)	(平成31年3月認可申請)
健康科学部 医療福祉学科	(100)	(平成31年4月届出予定)
健康科学部 医療経営学科	(90)	(平成31年4月届出予定)
健康科学部 心理学科	(100)	(平成31年4月届出予定)
健康科学部 医療栄養学科	(60)	(平成31年4月届出予定)
保健医療学部 救急救命学科	(50)	(平成31年4月届出予定)
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科 (廃止)	(△30)	
※平成32年4月学生募集停止		
医療福祉学部 医療福祉学科 (廃止)	(△100)	
(3年次編入学定員)	(△10)	
※平成32年4月学生募集停止		
(3年次編入学定員は平成34年4月学生募集停止)		
医療経営学部 医療経営学科 (廃止)	(△90)	
※平成32年4月学生募集停止		
心理学部 心理学科 (廃止)	(△90)	
(3年次編入学定員)	(△10)	
※平成32年4月学生募集停止		
(3年次編入学定員は平成34年4月学生募集停止)		
医療栄養学部 医療栄養学科 (廃止)	(△60)	
※平成32年4月学生募集停止		
保健医療学部 医療技術学科 [定員減]	(△30)	(平成32年4月)

摂南大学

農学部 農業生産学科	(80)	(平成31年3月認可申請)
農学部 応用生物科学科	(80)	(平成31年3月認可申請)
農学部 食品栄養学科	(80)	(平成31年3月認可申請)
農学部 食農ビジネス学科	(100)	(平成31年3月認可申請)

学校法人常翔学園 設置認可等に関する組織の移行表

平成 31 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	平成 32 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
広島国際大学				広島国際大学				
保健医療学部	200	-	800	保健医療学部	220	-	880	
診療放射線学科	70	-	280	診療放射線学科	70	-	280	
医療技術学科	130	-	520	医療技術学科	100	-	400	定員変更 (△30)
(臨床工学専攻)				(臨床工学専攻)				
(臨床検査学専攻)				(臨床検査学専攻)				
(救急救命学専攻)				救急救命学科	50	-	200	学科の設置 (届出)
総合リハビリテーション学部	160	-	640	総合リハビリテーション学部	180	-	720	
リハビリテーション学科	130	-	520	リハビリテーション学科	180	-	720	定員変更 (50)
(理学療法学専攻)				(理学療法学専攻)				
(作業療法学専攻)				(作業療法学専攻)				
(言語聴覚療法学専攻)				(言語聴覚療法学専攻)				
リハビリテーション支援学科	30	-	120		0	-	0	平成32年4月学生募集停止
(義肢装具学専攻)					0	-	0	平成32年4月学生募集停止
医療福祉学部	100	10	420		0	0	0	
医療福祉学科	100	10	420		0	0	0	平成32年4月学生募集停止
(医療福祉学専攻)								
(介護福祉学専攻)								
(保育学専攻)								
医療経営学部	90	-	360		0	-	0	
医療経営学科	90	-	360		0	-	0	平成32年4月学生募集停止
心理学部	90	10	380		0	0	0	
心理学科	90	10	380		0	0	0	平成32年4月学生募集停止
看護学部	120	10	500	看護学部	120	10	500	
看護学科	120	10	500	看護学科	120	10	500	
薬学部	120	-	720	薬学部	120	-	720	
薬学科	120	-	720	薬学科	120	-	720	
医療栄養学部	60	-	240		0	-	0	
医療栄養学科	60	-	240		0	-	0	平成32年4月学生募集停止
				健康科学部	350	-	1,400	学科の設置 (届出)
				医療福祉学科	100	-	400	
				(医療福祉学専攻)				
				(介護福祉学専攻)				
				(保育福祉学専攻)				
				医療経営学科	90	-	360	
				心理学科	100	-	400	
				医療栄養学科	60	-	240	
				健康スポーツ学部	70	-	280	学部の設置 (認可申請)
				健康スポーツ学科	70	-	280	
計	940	30	4,060	計	1,060	10	4,500	

平成 31 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)
広島国際大学大学院			
看護学研究科	13	-	29
看護学専攻 (M)	10	-	20
看護学専攻 (D)	3	-	9
医療・福祉科学研究科	22	-	46
医療工学専攻 (M)	10	-	20
医療工学専攻 (D)	2	-	6
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10
医療経営学専攻 (M)	5	-	10
心理科学研究科	22	-	46
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6
コミュニケーション学専攻 (M) ※平成 31 年 4 月学生募集停止予定	0	-	0
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40
薬学研究科	2	-	8
医療薬学専攻 (D)	2	-	8
計	59	-	129

平成 32 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
広島国際大学大学院				
看護学研究科	13	-	29	
看護学専攻 (M)	10	-	20	
看護学専攻 (D)	3	-	9	
医療・福祉科学研究科	22	-	46	
医療工学専攻 (M)	10	-	20	
医療工学専攻 (D)	2	-	6	
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10	
医療経営学専攻 (M)	5	-	10	
心理科学研究科	22	-	46	
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6	
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40	
薬学研究科	2	-	8	
医療薬学専攻 (D)	2	-	8	
計	59	-	129	

平成 31 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	平成 32 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
大阪工業大学				大阪工業大学				
工学部	900	40	3,680	工学部	900	40	3,680	
都市デザイン工学科	100	5	410	都市デザイン工学科	100	5	410	
建築学科	150	5	610	建築学科	150	5	610	
機械工学科	140	5	570	機械工学科	140	5	570	
電気電子システム工学科	125	5	510	電気電子システム工学科	125	5	510	
電子情報システム工学科	110	5	450	電子情報システム工学科	110	5	450	
応用化学科	130	5	530	応用化学科	130	5	530	
環境工学科	75	5	310	環境工学科	75	5	310	
生命工学科	70	5	290	生命工学科	70	5	290	
ロボティクス&デザイン工学部	280	15	1,150	ロボティクス&デザイン工学部	280	15	1,150	
ロボット工学科	90	5	370	ロボット工学科	90	5	370	
システムデザイン工学科	90	5	370	システムデザイン工学科	90	5	370	
空間デザイン学科	100	5	410	空間デザイン学科	100	5	410	
情報科学部	420	20	1,720	情報科学部	420	20	1,720	
情報知能学科	105	5	430	情報知能学科	105	5	430	
情報システム学科	105	5	430	情報システム学科	105	5	430	
情報メディア学科	105	5	430	情報メディア学科	105	5	430	
ネットワークデザイン学科	105	5	430	ネットワークデザイン学科	105	5	430	
知的財産学部	140	10	580	知的財産学部	140	10	580	
知的財産学科	140	10	580	知的財産学科	140	10	580	
計	1,740	85	7,130	計	1,740	85	7,130	

大阪工業大学大学院				大阪工業大学大学院				
工学研究科	116	-	238	工学研究科	116	-	238	
建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	
建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	
電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	100	電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	100	
電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	6	電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	6	
化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	60	化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	60	
化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	6	化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	6	
ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	66	ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	66	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	
情報科学研究科	45	-	95	情報科学研究科	45	-	95	
情報科学専攻 (M)	40	-	80	情報科学専攻 (M)	40	-	80	
情報科学専攻 (D)	5	-	15	情報科学専攻 (D)	5	-	15	
知的財産研究科	30	-	60	知的財産研究科	30	-	60	
知的財産専攻 (P)	30	-	60	知的財産専攻 (P)	30	-	60	
計	223	-	459	計	223	-	459	

平成 31 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)
摂南大学			
理工学部	500	30	2,060
生命科学科	90	5	370
住環境デザイン学科	70	5	290
建築学科	70	5	290
機械工学科	110	5	450
電気電子工学科	90	5	370
都市環境工学科	70	5	290
外国語学部	220	5	890
外国語学科	220	5	890
経営学部	270	8	1,096
経営学科	170	4	688
経営情報学科	100	4	408
薬学部	220	-	1,320
薬学科	220	-	1,320
法学部	250	5	1,010
法律学科	250	5	1,010
経済学部	250	4	1,008
経済学科	250	4	1,008
看護学部	100	-	400
看護学科	100	-	400
計	1,810	52	7,784

平成 31 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)
摂南大学大学院			
薬学研究科	4	-	16
医療薬学専攻 (D)	4	-	16
理工学研究科	38	-	80
社会開発工学専攻 (M)	12	-	24
生産開発工学専攻 (M)	12	-	24
生命科学専攻 (M)	10	-	20
創生工学専攻 (D)	2	-	6
生命科学専攻 (D)	2	-	6
経済経営学研究科	10	-	20
経済学専攻 (M)	5	-	10
経営学専攻 (M)	5	-	10
法学研究科	5	-	10
法律学専攻 (M)	5	-	10
国際言語文化研究科	5	-	10
国際言語文化専攻 (M)	5	-	10
看護学研究科	6	-	12
看護学専攻 (M)	6	-	12
計	68	-	148

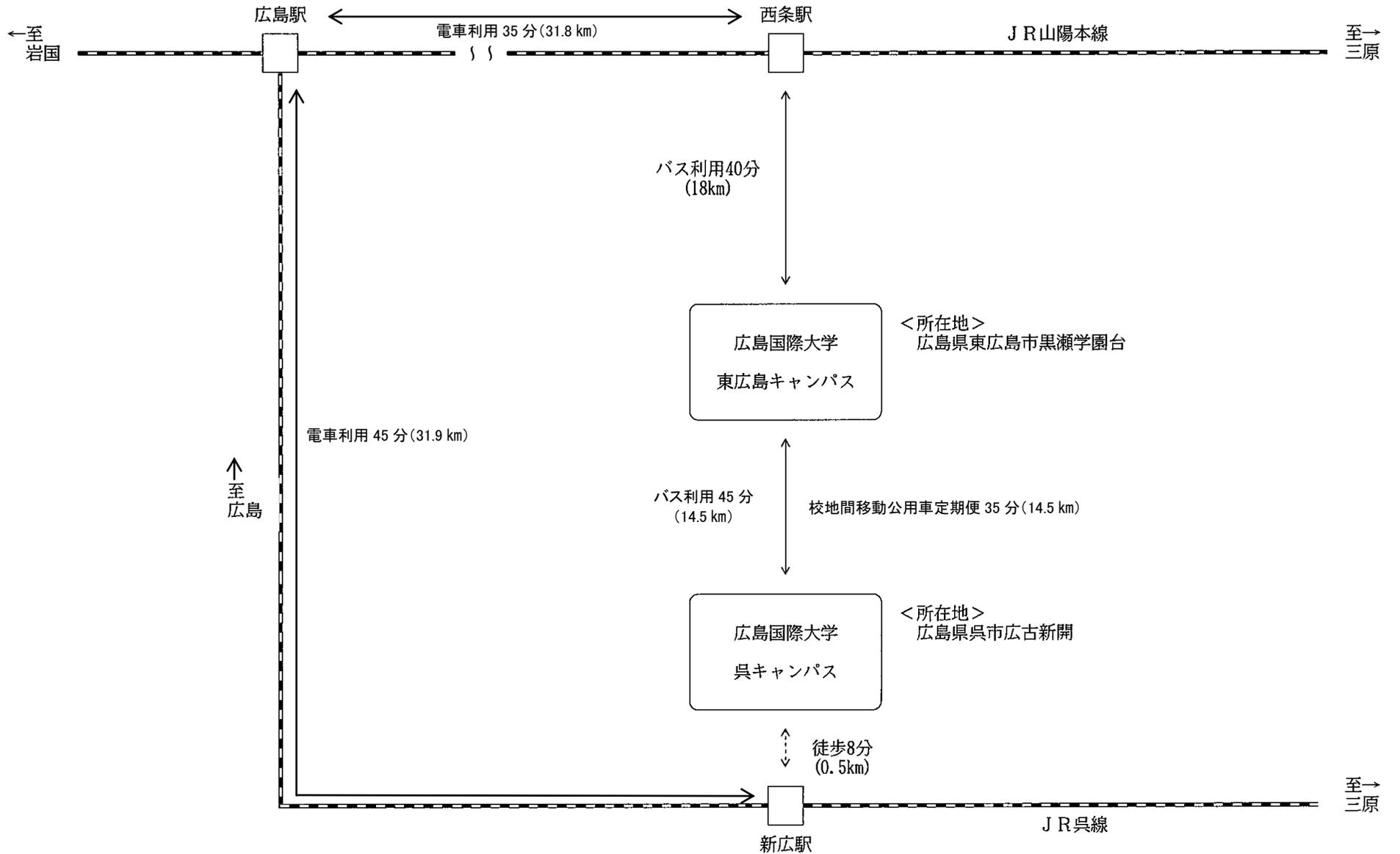
平成 32 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
摂南大学				
理工学部	500	30	2,060	
生命科学科	90	5	370	
住環境デザイン学科	70	5	290	
建築学科	70	5	290	
機械工学科	110	5	450	
電気電子工学科	90	5	370	
都市環境工学科	70	5	290	
外国語学部	220	5	890	
外国語学科	220	5	890	
経営学部	270	8	1,096	
経営学科	170	4	688	
経営情報学科	100	4	408	
薬学部	220	-	1,320	
薬学科	220	-	1,320	
法学部	250	5	1,010	
法律学科	250	5	1,010	
経済学部	250	4	1,008	
経済学科	250	4	1,008	
看護学部	100	-	400	
看護学科	100	-	400	
農学部	340	-	1,360	学部設置 (認可申請)
農業生産学科	80	-	320	
応用生物科学科	80	-	320	
食品栄養学科	80	-	320	
食農ビジネス学科	100	-	400	
計	2,150	52	9,144	

平成 32 年度	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
摂南大学大学院				
薬学研究科	4	-	16	
医療薬学専攻 (D)	4	-	16	
理工学研究科	38	-	80	
社会開発工学専攻 (M)	12	-	24	
生産開発工学専攻 (M)	12	-	24	
生命科学専攻 (M)	10	-	20	
創生工学専攻 (D)	2	-	6	
生命科学専攻 (D)	2	-	6	
経済経営学研究科	10	-	20	
経済学専攻 (M)	5	-	10	
経営学専攻 (M)	5	-	10	
法学研究科	5	-	10	
法律学専攻 (M)	5	-	10	
国際言語文化研究科	5	-	10	
国際言語文化専攻 (M)	5	-	10	
看護学研究科	6	-	12	
看護学専攻 (M)	6	-	12	
計	68	-	148	

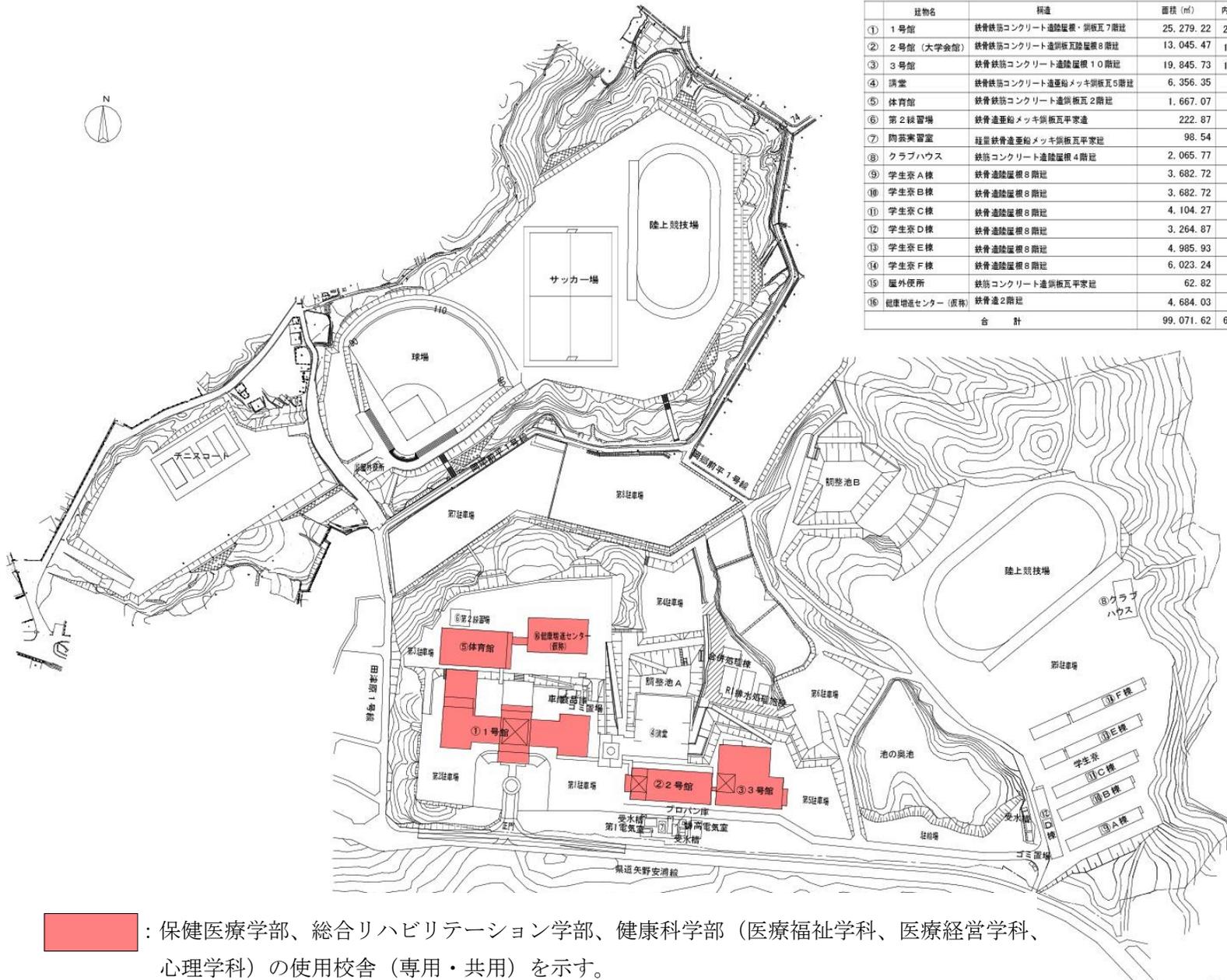
■ 広島県内における位置関係の図面



■ 広島県内における最寄り駅からの距離や交通機関等



(東広島キャンパス 校舎配置図)

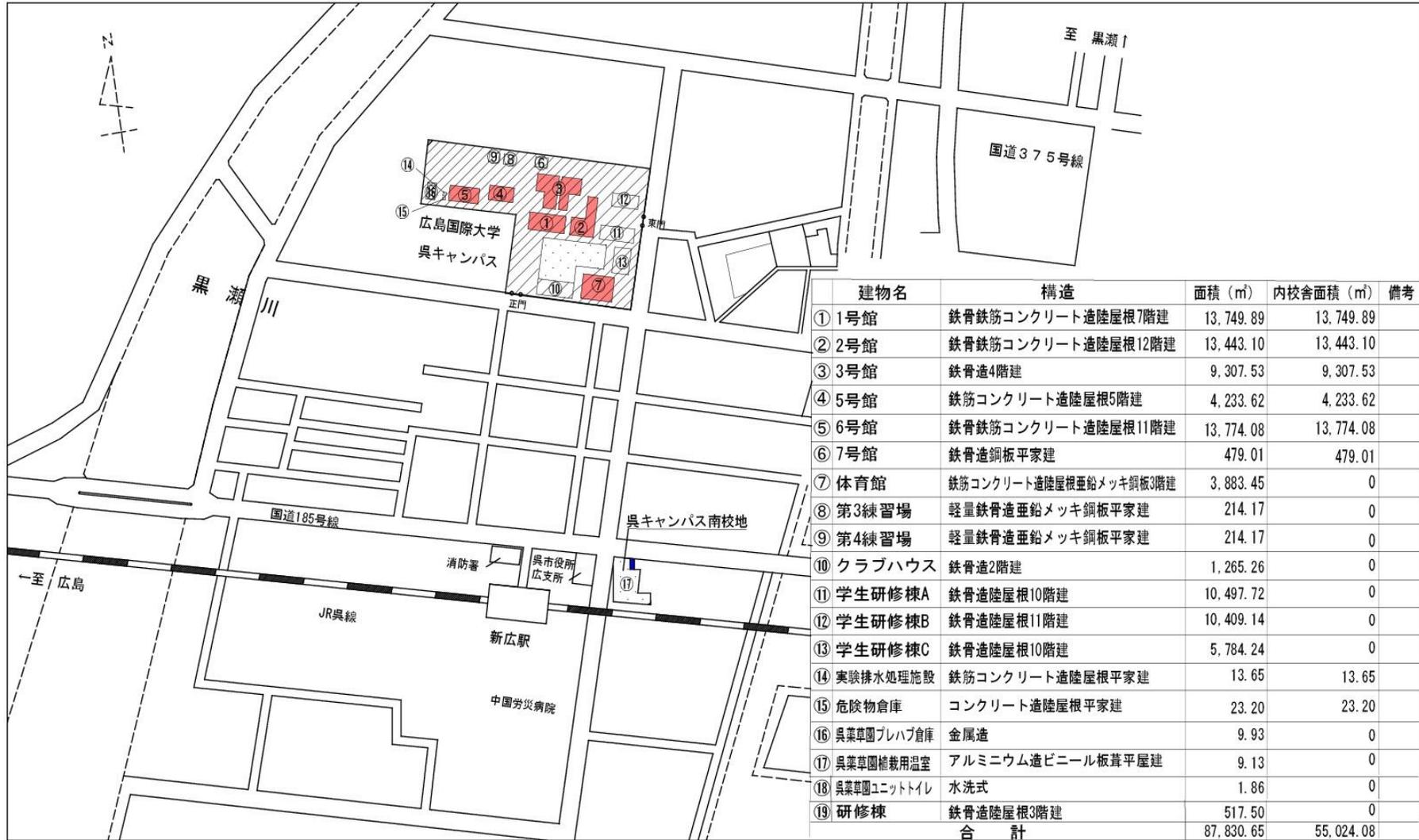


建物名	構造	面積 (㎡)	内校舎面積 (㎡)	備考
① 1号館	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根・銅板瓦7階建	25,279.22	25,279.22	
② 2号館 (大学会館)	鉄骨鉄筋コンクリート造銅板瓦陸屋根8階建	13,045.47	12,205.47	7階階高2階(840m)を除く
③ 3号館	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根10階建	19,845.73	19,845.73	
④ 講堂	鉄骨鉄筋コンクリート造重給メッキ銅板瓦5階建	6,356.35	0	
⑤ 体育館	鉄骨鉄筋コンクリート造銅板瓦2階建	1,667.07	0	
⑥ 第2練習場	鉄骨造重給メッキ銅板瓦平家建	222.87	0	
⑦ 陶芸実習室	軽量鉄骨造重給メッキ銅板瓦平家建	98.54	98.54	
⑧ クラブハウス	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	2,065.77	0	
⑨ 学生寮A棟	鉄骨造陸屋根8階建	3,682.72	0	
⑩ 学生寮B棟	鉄骨造陸屋根8階建	3,682.72	0	
⑪ 学生寮C棟	鉄骨造陸屋根8階建	4,104.27	0	
⑫ 学生寮D棟	鉄骨造陸屋根8階建	3,264.87	0	
⑬ 学生寮E棟	鉄骨造陸屋根8階建	4,985.93	0	
⑭ 学生寮F棟	鉄骨造陸屋根8階建	6,023.24	0	
⑮ 屋外便所	鉄筋コンクリート造銅板瓦平家建	62.82	0	
⑯ 健康増進センター(仮称)	鉄骨造2階建	4,684.03	4,684.03	
合計		99,071.62	62,112.99	

: 保健医療学部、総合リハビリテーション学部、健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科）の使用校舎（専用・共用）を示す。

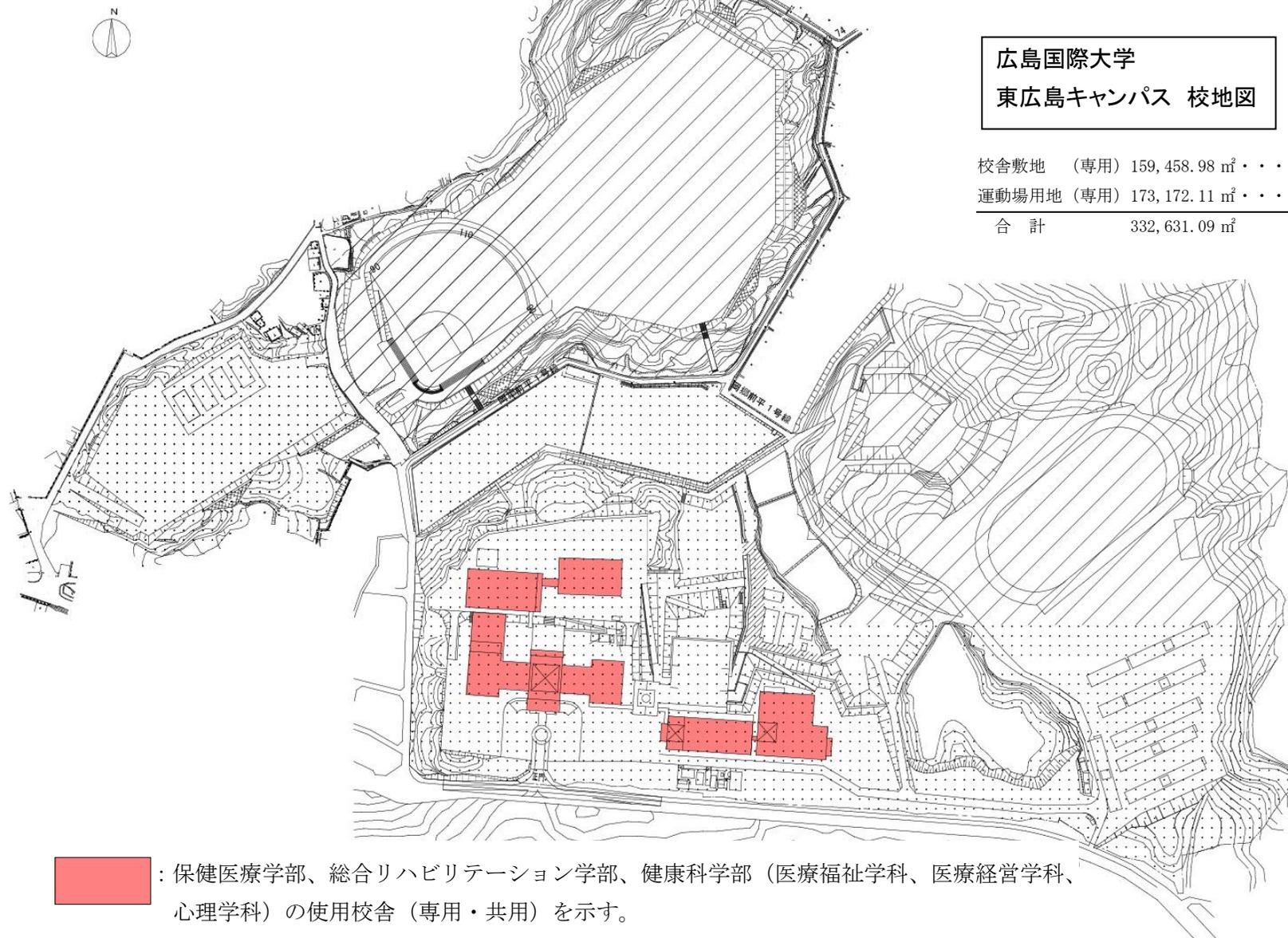
※ 本図の境界線は目安である。

(呉キャンパス 校舎配置図)



: 健康科学部医療栄養学科の使用校舎（専用・共用）を示す。

■ 校舎、運動場等の配置図
(東広島キャンパス 校地図)



(呉キャンパス 校地図)



 : 健康科学部医療栄養学科の使用校舎 (専用・共用) を示す。

1. 変更後の学則

広島国際大学学則（案）

1998年 1月27日制定

第1章 総則

（目的）

第1条 広島国際大学(以下「本大学」という)は、ひとと共に歩み、こころに届く医療を実践する専門職業人を育成し、加えてあらゆるひとの健康と幸福に資する研究を推進する。もって広く社会に貢献する。

（自己評価等）

第2条 本大学は、前条に規定する目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2 前項の点検および評価に関することは、広島国際大学自己評価委員会規定等に定める。

第2章 組織

（学部、学科および教育研究上の目的）

第3条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
保健医療学部	診療放射線学科
	医療技術学科
	救急救命学科
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科
看護学部	看護学科
薬学部	薬学科
健康科学部	心理学科
	医療栄養学科
	医療経営学科
	医療福祉学科

2 保健医療学部各学科の教育研究上の目的は、つぎの各号のとおりとする。

イ 診療放射線学科は、急速に高度化、専門化する放射線診療に対応でき、さらに新しい医用技術の開発にも参画できる信頼される医療人としての診療放射線技師を育成する。

ロ 医療技術学科は、臨床工学・臨床検査学の広い領域での知識・技術をもとに、日々進歩し続ける医療機器や医療技術の変化に対応できる能力や医療チームの牽引役になることができる能力を持つ人材を育成する。

ハ 救急救命学科は、日々進歩し続ける病院前救護に対応できる救急救命の専門知識および実践力を身につけ、病院前救護と地域社会に貢献できる質の高い救急救命士を育成する。

3 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科は、多様なリハビリテーション技

術を総合的に提供でき、すべての人々の健康と生活の向上を目的として予防から治療までの幅広い専門知識と技術に裏打ちされた問題解決能力と豊かな人間性を養った専門職業人(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士および義肢装具士)として社会に貢献できる人材を育成する。

- 4 看護学部看護学科は、生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、看護の知識・技術を習得し、質の高い看護が展開できるよう、実践力・応用力・判断力を養い、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- 5 薬学部薬学科は、専門的知識および優れた技能に加え、豊かな感性と心を持ち、広く社会に貢献できる「人間味あふれる薬剤師」を育成する。
- 6 健康科学部各学科の教育研究上の目的は、つぎの各号のとおりとする。
 - イ 心理学科は、ストレスの多い社会に対し、さまざまな心理学とコミュニケーション技術をもとに、自己や他者のこのころに関心を持つ人材、さらに肯定的自己理解と他者への共感的理解を持ちながら、温かい人間関係を構築し、社会の中で生じる課題を創造的に解決できる人材を育成する。
 - ロ 医療栄養学科は、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を育成する。
 - ハ 医療経営学科は、健康・医療分野に深く関わる経営学、経済学、法学、医学、情報学等の実践的な学びを通して、高い倫理観を持ちながら、効率的で質の高い健康・医療サービスの提供をもって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する。
 - ニ 医療福祉学科は、地域社会の一員として、他者ととともに協働しながら、あらゆるひとの自己実現と社会参加を促進し、誰もがしあわせになる社会づくりに貢献できる人材を育成する。

(助産学専攻科)

第3条の2 本大学に、助産学専攻科を置く。

2 助産学専攻科については、別に定める。

(収容定員)

第4条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	第3年次編入学定員	収容定員
保健医療学部	診療放射線学科	70名	—	280名
	医療技術学科	100名	—	400名
	救急救命学科	50名	—	200名
	計	220名	—	880名
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	180名	—	720名
	計	180名	—	720名
看護学部	看護学科	120名	10名	500名
	計	120名	10名	500名
薬学部	薬学科	120名	—	720名
	計	120名	—	720名
健康科学部	心理学科	100名	—	400名
	医療栄養学科	60名	—	240名
	医療経営学科	90名	—	360名
	医療福祉学科	100名	—	400名
	計	350名	—	1,400名

(職員)

第5条 本大学に、学長、学部長、学長室長、教授、准教授、講師、助教、助手および事務職員を置く。

2 本大学に、必要に応じて副学長を置くことができる。

3 本大学には、前2項のほか、教務部長、学生部長、入試センター長、図書館長、情報センター長、キャリアセンター長、国際交流センター長、学科長その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第6条 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行うほか、学長に事故あるときまたは欠けたときは、その職務を行う。

3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部にも所属する職員を指揮監督する。

4 学長室長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。

5 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

6 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

7 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

- 8 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 9 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 10 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 11 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(学部長会議)

第7条 本大学に、学部長会議を置く。

- 2 学部長会議は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、学長室長、入試センター長、図書館長、情報センター長、キャリアセンター長、国際交流センター長、研究支援・社会連携センター長、研究支援・社会連携センター部長および専攻科長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他学部長会議について必要な事項は、学部長会議規定に定める。

(教授会)

第8条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、当該学部のつぎの事項について審議する。
 - イ 学生の入学および卒業に関すること
 - ロ 単位の認定および学業評価に関すること
 - ハ 学部内の教育・研究に関すること
 - ニ 年間行事予定および授業時間割の編成に関すること
 - ホ 学長または学部長が諮問した事項に関すること
- 3 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第9条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 自己評価委員会
 - ロ 教員選考委員会
 - ハ 入試委員会
 - ニ 教務委員会
 - ホ 学生委員会
 - ヘ キャリア支援委員会
 - ト 図書館運営委員会
 - チ 情報センター運営委員会
 - リ 人権侵害防止委員会
 - ヌ 個人情報保護委員会
 - ル 国際交流委員会
- 2 自己評価委員会は、自己点検・評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
 - 3 教員選考委員会は、教員の採用および昇任の資格審査ならびに解雇および研修に関する

事項を審議する。

- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 7 キャリア支援委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 情報センター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報センターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 10 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 11 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 12 国際交流委員会は、学長の諮問に応じて国際交流に関し必要な事項を審議する。
- 13 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第9条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を行う。

第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条 学年は、つぎの2学期に区分し、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。

2 必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第12条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日(10月30日)

ハ 春期休業日 3月21日から3月31日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月14日まで

ホ 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第13条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

保健医療学部 4年

総合リハビリテーション学部 4年

看護学部 4年

薬学部 6年

健康科学部 4年

(長期履修学生)

第13条の2 前条の規定にかかわらず、職業を有している等の事情またはその他やむを得ない事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する学生（以下「長期履修学生」という）がその旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

2 その他長期履修学生について必要な事項は、長期履修学生規定に定める。

(在学年限)

第14条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。ただし、長期履修学生については、教授会の議を経て、相当な年限を学長が定める。

保健医療学部 8年

総合リハビリテーション学部 8年

看護学部 8年

薬学部 12年

健康科学部 8年

2 前項にかかわらず、第20条から第22条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

第5章 入学

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、第20条および第21条第1項に定める者については、後期の始めとすることができる。

(入学資格)

第16条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者

ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの

ニ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ホ 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ 文部科学大臣の指定した者

ト 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

チ その他本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第17条 本大学への入学を志願する者は、所定の入学願書および入学検定料に別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第18条 入学志願者の選考は、教授会の審議を経て、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第19条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の書類を提出し、所定の学費を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学)

第20条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学看護学部看護学科への編入学を志願するものがあるときは、選考のうえ第3年次に編入学を許可する。

イ 大学または短期大学の看護系学科を卒業した者

ロ 専修学校の専門課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)のうち看護系課程を修了した者

ハ 高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、医療福祉学科の第3年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。

イ 大学を卒業した者

ロ 大学における2年以上の課程を履修し、62単位以上を取得して退学した者

ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者

ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)付則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了または卒業した者

ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト 高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学健康科学部心理学科、医療経営学科、医療福祉学科の第2年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員が

あるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。

- イ 大学を卒業した者
- ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者
- ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
- ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)付則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了または卒業した者
- ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- ト 高等学校等の専攻科(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

4 その他編入学について必要な事項は、編入学規定に定める。

(転入学および再入学)

第21条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、当該大学を退学後引き続き本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することがある。

- イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者
- ロ 前号と同等以上の学力があると本大学が認める者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。

- イ 本大学を卒業した者
- ロ 本大学を退学した者
- ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者

3 その他転入学および再入学について必要な事項は、転入学規定または再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部および転学科)

第22条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者がある場合は、志望先に欠員のあるときに限り、志望先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可することができる。

2 その他転学部および転学科について必要な事項は、転学部・転学科規定に定める。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第23条 第19条の規定により、入学を許可された者が入学以前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)のうち30単位を限度として、学部長は教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

2 第20条から前条の規定により、入学、転学部または転学科を許可された者の、本大学もしくは他の大学においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第24条 授業科目は、共通教育科目、スタンダード科目、オプション科目および専門教育科目とし、これを必修科目、選択必修科目、選択科目および自由科目に分け、各年次に配当する。

- 2 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 3 前項の授業科目は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。なお、該当科目については、別に定める。

(単位の計算方法)

第25条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

- イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ハ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち、二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項にかかわらず、「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

- 2 成績は、S・A・B・C・D・E・F・G・*の評語をもって表し、S・A・B・C・Gを合格とする。

(単位の授与)

第27条 授業科目を履修し、前条により合格した者には、所定の単位を与える。

(他大学等における授業科目の履修等)

第28条 教育上有益と認めるときは、本大学の同一学部の他の学科、他の学部または他の大学との協議に基づき、学長(他の学科については学部長)は、当該他学科、他学部または他大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 前2項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は30単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。
- 4 第24条第3項により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数に含めることができる。

(授業および履修の方法)

第29条 授業の方法および内容ならびに年間の授業の計画、成績評価の基準は、あらかじめ学生に明示するものとする。

2 履修の方法、要件等について必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第29条の2 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第8のとおりとする。

4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、履修規定に定める。

第7章 卒業および学位

(卒業)

第30条 本大学に第13条に定める修業年限以上在学して、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

保健医療学部

診療放射線学科 130単位以上

医療技術学科 124単位以上

救急救命学科 124単位以上

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科 124単位以上

看護学部

看護学科 128単位以上

薬学部

薬学科 186単位以上

健康科学部

心理学科 124単位以上

医療栄養学科 125単位以上

医療経営学科 124単位以上

医療福祉学科 124単位以上

2 前項の規定にかかわらず、本学の学生として3年以上在学し、本大学院への進学を希望している者で、学部の定める卒業要件を満たし、かつ、優秀な成績を修めたと認められた場合、学部長が推薦し教授会の議を経て、学長が卒業を認定することができる。

3 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第31条 本大学を卒業した者には、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

保健医療学部

診療放射線学科 学士(診療放射線学)

医療技術学科 学士(臨床工学)、学士(臨床検査学)

救急救命学科 学士(救急救命学)

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科 学士(理学療法学)、学士(作業療法学)、学士(言語聴覚療
法学)、学士(義肢装具学)

看護学部

看護学科 学士(看護学)

薬学部

薬学科 学士(薬学)

健康科学部

心理学科 学士(心理学)

医療栄養学科 学士(医療栄養学)

医療経営学科 学士(医療経営学)

医療福祉学科 学士(医療福祉学)

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章 休学、留学、退学および除籍

(休学)

第32条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができな
い者は、所定の休学願を提出し、所属学部長の許可を得て休学することができる。

2 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を
命じることができる。

(休学期間)

第33条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度とし
て、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第14条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第34条 休学期間が満了したとき、または休学期間中にその理由が消滅したときは、所属
学部長の許可を得て復学することができる。

2 その他復学について必要な事項は、復学規定に定める。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することがで
きる。

2 学長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。

3 前項の許可を得て留学した期間は、第14条に定める在学期間に含めることができる。

4 第28条第2項の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学
長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ 学費を所定の期日までに納入しない者

- ロ 休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者
- ハ 第14条に定める在学年限を超えた者
- ニ 成業の見込みがないと認められる者
- ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者
- ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者
- ト 死亡が確認された者

第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

- 2 その他表彰について必要な事項は、賞罰規定に定める。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、放学、停学、けん責および訓告とする。
- 3 前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。
 - イ 性行不良で改善の見込みがない者
 - ロ 正当な理由がなくて出席常でない者
 - ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。
- 5 その他懲戒について必要な事項は、賞罰規定に定める。

第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、別表第2のとおりとする。

(学費等)

第41条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。ただし、長期履修学生の学費については、広島国際大学長期履修生規定に定める。

- 2 学費は、所定の期日までに納入しなければならない。
- 3 休学中の学費は、休学を許可された期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を納入しなければならない。
- 4 広島国際大学学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
- 5 その他休学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料、学費等)

第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定

める。

第11章 研究生、研修生、科目等履修生、特別履修生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
- 5 その他研究生について必要な事項は、研究生規定に定める。

(研修生)

第44条の2 本大学において、特定の専門事項について研修することを志願する者があるときは、選考のうえ研修生として入学を許可することがある。

- 2 研修生を志願することのできる者は、高等学校を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研修生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研修料の額は、別表第7のとおり定める。
- 5 その他研修生について必要な事項は、研修生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 授業科目を履修し合格の評価を受けた者には、所定の単位を与える。
- 3 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
- 4 その他科目等履修生について必要な事項は、科目等履修生規定に定める。

(特別履修生)

第46条 他の大学(外国の大学を含む)の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、当該大学との協議に基づき、特別履修生として入学を許可することがある。

- 2 その他特別履修生について必要な事項は、特別履修生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生の出願資格は、外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。
- 3 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ帰国学生として入学を許可することがある。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

第12章 公開講座

(公開講座)

第49条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第13章 付属施設

(図書館)

第50条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(情報センター)

第51条 本大学に、情報センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(保健室)

第52条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(心理臨床センター)

第52条の2 本大学に、心理臨床センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資するとともに、地域住民を対象とした心理臨床相談等を行う。

(福利厚生施設)

第53条 本大学に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 雑則

(細則)

第54条 この学則の施行に必要な細則は、別に定める。

(学則の改廃)

第55条 この学則の改廃は、学部長会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長が行う。

付 則

1 この学則は、1998年4月1日から施行する。ただし、第40条の別表第2は1998年度入学志願者の出願時から、第41条第1項の別表第3は1998年度入学者の入学手続時から、それぞれ適用する。

2 この改正学則は、2000年4月1日から施行する。

3 この改正学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第3は、2001年度入学者の入学手続時から適用する。

4 前項にかかわらず、1999年度以前の入学者にかかる教育課程表および卒業に必要な単位数は、なお従前の例による。

5 この改正学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の

- 別表第3は、2002年度入学者の入学手続時から適用する。
- 6 2001年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - 7 この改正学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第3は、2003年度入学者の入学手続時から、第21条第1項は2003年度転入学者の出願手続時から、それぞれ適用する。
 - 8 2002年度以前の入学者にかかる学則については、なお従前の例による。
 - 9 第3条にかかわらず、保健医療学部看護学科は、2003年4月（編入学生については、2005年4月）から学生募集を停止し、当該学科に在学する者が居なくなるまでの間、存続するものとする。
 - 10 この改正学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第3は、2004年度入学者の入学手続時から適用する。
 - 11 2002年度以前の入学者にかかる学則については、改正後の第28条第2項および第41条第4項を除き、なお従前の例による。
 - 12 この改正学則は、2005年4月1日から施行する。
 - 13 2004年度以前の入学者にかかる学則については、なお従前の例による。
 - 14 この改正学則は、2006年4月1日から施行する。
 - 15 2005年度以前の入学者にかかる学則については、なお従前の例による。
 - 16 第3条にかかわらず、人間環境学部臨床心理学科、言語・コミュニケーション学科、感性情報学科は、2006年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
 - 17 この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
 - 18 2006年度以前の入学者にかかる学則については、なお従前の例による。
 - 19 第3条にかかわらず、社会環境科学部建築創造学科、住環境デザイン学科、情報通信学科は、2007年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
 - 20 2006年度以前の入学者にかかる学則については、改正後の第5条および第6条を除き、なお従前の例による。
 - 21 この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
 - 22 2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
 - 23 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。
ロ 第4条の収容定員は、2009年度に第1年次に入学する者から適用する。
 - 24 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。
ロ 保健医療学部、医療福祉学部、心理科学部、工学部および薬学部各学科の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
ハ 看護学部看護学科の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
 - 25 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。

- ロ 保健医療学部、心理科学部および工学部各学科の 2007 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
 - ハ 医療福祉学部、看護学部および薬学部各学科の 2008 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 26 イ この改正学則は、2010 年 4 月 1 日から施行する。
- ロ 心理科学部および工学部各学科の 2009 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
 - ハ 第 24 条第 2 項別表第 1 の医療福祉学部医療福祉学科の教育課程表については、2009 年度入学者から適用する。
- 27 イ この改正学則は、2011 年 4 月 1 日から施行する。
- ロ 第 4 条の収容定員は、2011 年度に第 1 年次に入学する者から適用する。
 - ハ 第 3 条にかかわらず、保健医療学部理学療法学科、医療福祉学部医療経営学科、心理科学部コミュニケーション学科および感性デザイン学科、工学部建築学科および機械ロボティクス学科は、2011 年 3 月 31 日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
 - ニ 保健医療学部、医療福祉学部および心理科学部各学科の 2010 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
 - ホ 第 31 条にかかわらず、保健医療学部、医療福祉学部、心理科学部および工学部各学科の 2010 年度以前の入学者に授与する学位については、なお従前の例による。
 - ヘ 心理科学部および工学部の 2010 年度以前の入学者の教職課程および教育職員免許状については、なお従前の例による。
- 28 イ この改正学則は、2012 年 4 月 1 日から施行する。
- ロ 看護学部の 2011 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 29 イ この改正学則は、2012 年 4 月 1 日から施行する。
- ロ 医療福祉学部の 2011 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 30 イ この改正学則は、2013 年 4 月 1 日から施行する。
- ロ 第 3 条にかかわらず、保健医療学部臨床工学科および総合リハビリテーション学科、工学部住環境デザイン学科および情報通信学科は、2013 年 3 月 31 日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
 - ハ 前項の工学部各学科に在学する者の学則については、なお従前の例による。
 - ニ 保健医療学部の 2012 年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
 - ホ 第 31 条にかかわらず、保健医療学部の 2012 年度以前の入学者に授与する学位については、なお従前の例による。
 - ヘ 2012 年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

- 31 イ この改正学則は、2013年4月1日から施行する。
- ロ 医療福祉学部および医療経営学部の2012年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ハ 2012年度以前の入学者の成績の評価については、なお従前の例による。
- ニ 第45条第4項の別表第5にかかわらず、工学部開講科目を履修する場合の履修料については、なお従前の例による。
- 32 イ この改正学則は、2014年4月1日から施行する。
- ロ 総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科および心理科学部各学科の2013年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 33 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。
- ロ 第3条にかかわらず、心理科学部臨床心理学科およびコミュニケーション心理学科は、2015年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ハ 前項の心理科学部各学科に在学する者の学則については、改正後の第1条を除き、なお従前の例による。
- ニ 総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科の2014年度以前の入学者の収容定員ならびに修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 第31条にかかわらず、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科の2014年度以前の入学者に授与する学位については、なお従前の例による。
- 34 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。
- ロ 薬学部の2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ハ 保健医療学部診療放射線学科の2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 35 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。
- ロ 保健医療学部、総合リハビリテーション学部、医療福祉学部、医療経営学部および看護学部の2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 36 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。
- ロ 保健医療学部の2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 37 イ この改正学則は、2017年4月1日から施行する。
- ロ 2016年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ハ 改正後の第24条、第26条および第28条については、2016年度入学者から適用する。
- 38 イ この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
- ロ 医療栄養学部の2017年度以前の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数については、なお従前の例による。

- 39 イ この改正学則は、2019年4月1日から施行する。
- ロ 医療福祉学部の2018年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ハ 医療栄養学部の2018年度以前の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数については、なお従前の例による。
- 40 イ この改正学則は、2020年4月1日から施行する。
- ロ 第3条にかかわらず、保健医療学部医療技術学科救急救命学専攻、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科、医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科、心理学部心理学科および医療栄養学部医療栄養学科は、2020年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ハ 2019年度以前の入学者の学則については、改正後の第13条の2、第14条および第41条を除き、なお従前の例による。

別表第1 教育課程表

I 共通教育科目

薬学部

薬学科

授業科目			単位数	
教養科目	国際	国際社会の理解	国際社会の理解Ⅰ	2
			国際社会の理解Ⅱ	2
			国際社会の理解Ⅲ	2
	学際	人間と思想・文化	人間と思想・文化Ⅰ	2
			人間と思想・文化Ⅱ	2
		人間と現代社会	人間と現代社会Ⅰ	2
			人間と現代社会Ⅱ	2
		人間と科学・技術	人間と科学・技術Ⅰ	2
			人間と科学・技術Ⅱ	2
	基礎教育科目	人文科学	哲学	2
			文学	2
			倫理学	2
心理学			2	
芸術学			2	
文化人類学			2	
社会科学			法学	2
		社会学	2	
		歴史学	2	
		政治学	2	
		教育学	2	
自然科学		基礎数学Ⅰ	①	
		基礎数学Ⅱ	①	
		基礎物理学	①	
		基礎化学	①	
		基礎生物学	①	
情報処理		情報処理Ⅰ a	①	
		情報処理Ⅰ b	①	
		情報倫理	1	

授業科目			単位数
基礎教育科目	外国語	英語Ⅰ a	①
		英語Ⅰ b	①
		英語Ⅱ a	①
		英語Ⅱ b	①
		英語Ⅲ a	①
		英語Ⅲ b	①
		英語Ⅳ	1
		検定英語	1
	保健体育	スポーツⅠ	①
		スポーツⅡ	1
		スポーツⅢ	1
	特講	基礎ゼミナール	①
		Global Communication	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

基礎教育科目	共通基礎	社会科学		単位数
				日本語Ⅰ
			日本語Ⅱ	2
	外国語		日本語Ⅰ a	2
			日本語Ⅰ b	2
			日本語Ⅱ	2

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

- 「日本語Ⅰ」の単位を基礎教育科目社会科学科目の単位数に含める。
- 「日本語Ⅰ a」、「日本語Ⅰ b」および「日本語Ⅱ」の単位を基礎教育科目外国語科目に含める。

【卒業に必要な単位数】

区 分			学部	薬学部	
			学科	薬学科	
				必修	選択
共通教育科目	教養科目	国際	国際社会の理解	—	2
		学際	人間と思想・文化	—	2
			人間と現代社会	—	
	人間と科学・技術		—		
	基礎教育科目	共通基礎	人文科学	—	2
			社会科学	—	2
			自然科学	5	—
			情報処理	2	
			外国語	6	
			保健体育	1	1
			特 講	1	—
			計	15	9
				24 単位以上	

II スタンダード科目

保健医療学部、総合リハビリテーション学部、看護学部、
健康科学部

授 業 科 目		単位数
ス タ ン ダ ー ド 科 目	アカデミックリテラシー	①
	チュートリアル	①
	専門職連携基礎演習Ⅰ	①
	専門職連携基礎演習Ⅱ	①
	専門職連携総合演習Ⅰ	①
	専門職連携総合演習Ⅱ	①
	地域創生と危機管理	①
	デジタルコミュニケーション	①
	データサイエンスⅠ	①
	英語コミュニケーションⅠ	①
	英語コミュニケーションⅡ	①
	英語リーディングⅠ	①
	英語リーディングⅡ	①
	スポーツ学	①
	スポーツ実習Ⅰ	①

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
全学科・全専攻	15	—	15単位

Ⅲ オプション科目

1 保健医療学部

授 業 科 目		単位数	
オプション科目（ベーシック）	グローバル	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
	情報学	プログラミングⅠ	1
	人間と文化	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
	人間と社会	法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	人間と自然	統計学〔注〕	2
		数学基礎	1
		数学	2
		物理学〔注〕	2
		化学〔注〕	2
		生物学〔注〕	2
科学実験 a		1	
科学実験 b		1	
総合	日本語表現法〔注〕	2	
	コミュニケーション論〔注〕	2	
オプション科目（アドバンスド）	グローバル	Reading & Writing	1
		英語プレゼンテーション	1
		検定英語	1
		グローバル化と人間 a	1
		グローバル化と人間 b	1
	情報学	データサイエンスⅡ	1
		データ解析	1
		プログラミングⅡ	1
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1
	人間と文化	人間と文化 a	1
		人間と文化 b	1
	人間と社会	人間と社会 a	1
		人間と社会 b	1
	人間と自然	人間と自然 a	1
		人間と自然 b	1
	総合	教養ゼミ	1

〔注〕 診療放射線学科は「物理学」を必修科目とする。
 医療技術学科臨床工学専攻は「生物学」および「統計学」を必修科目とする。
 医療技術学科臨床検査学専攻は「生物学」および「化学」を必修科目とする。
 救急救命学科は「生物学」、「日本語表現法」、「コミュニケーション論」を必修科目とする。

【留学生特例科目】

		授業科目	単位数
オプション科目	人間と社会	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
	グローバル	日本語 I	2
		日本語 II	2

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 オプション科目（ベーシック）の人間と社会の2単位までを「日本事情 a」または「日本事情 b」の単位数
- 2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語 I」「日本語 II」の単位数

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
診療放射線学科	2	4	6単位以上
医療技術学科・臨床工学専攻	4	3	7単位以上
医療技術学科・臨床検査学専攻	4	3	7単位以上
救急救命学科	6	4	10単位以上

2 総合リハビリテーション学部

		授 業 科 目	単位数
オプション科目 (ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
	情報学	プログラミングⅠ	1
	人間と文化	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
	人間と社会	法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	人間と自然	統計学〔注〕	2
		数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	総合	日本語表現法	2
コミュニケーション論		2	
オプション科目 (アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	1
		英語プレゼンテーション	1
		検定英語	1
		グローバル化と人間 a	1
		グローバル化と人間 b	1
	情報学	データサイエンスⅡ	1
		データ解析	1
		プログラミングⅡ	1
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1
	人間と文化	人間と文化a	1
		人間と文化b	1
	人間と社会	人間と社会a	1
		人間と社会b	1
	人間と自然	人間と自然a	1
		人間と自然b	1
	総合	教養ゼミ	1

〔注〕リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻は「統計学」を必修科目とする。

【留学生特例科目】

授業科目			単位数
オプション科目	人間と社会	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
	グローバル	日本語 I	2
		日本語 II	2

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 オプション科目（ベーシック）の人間と社会の2単位までを「日本事情 a」または「日本事情 b」の単位数
- 2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語 I」、「日本語 II」の単位数

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
リハビリテーション学科・理学療法学専攻	-	4	4単位以上
リハビリテーション学科・作業療法学専攻	-	4	4単位以上
リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻	2	4*	6単位以上
リハビリテーション学科・義肢装具学専攻	-	6	6単位以上

*: オプション科目（ベーシック）の「人間と文化」および「人間と社会」の科目区分からそれぞれ2単位を含む計4単位以上を修得すること

3 看護学部

		授 業 科 目	単位数
オプション科目 (ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
	情報学	プログラミングⅠ	1
	人間と文化	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
	人間と社会	法学	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	人間と自然	統計学	②
		数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学	2
		生物学	②
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	総合	日本語表現法	2
コミュニケーション論		2	
オプション科目 (アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	1
		英語プレゼンテーション	1
		検定英語	1
		グローバル化と人間 a	1
		グローバル化と人間 b	1
	情報学	データサイエンスⅡ	1
		データ解析	1
		プログラミングⅡ	1
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1
	人間と文化	人間と文化a	1
		人間と文化b	1
	人間と社会	人間と社会a	1
		人間と社会b	1
	人間と自然	人間と自然a	1
		人間と自然b	1
	総合	教養ゼミ	1

[注] 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

授業科目			単位数
オプション科目	人間と社会	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
	グローバル	日本語 I	2
		日本語 II	2

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 オプション科目（ベーシック）の人間と社会の2単位までを「日本事情 a」または「日本事情 b」の単位数
- 2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語 I」、「日本語 II」の単位数

【卒業に必要な単位数】

学科	必修	選択	計
看護学科	4	4	8単位以上

4 健康科学部

医療栄養学科、医療福祉学科

授 業 科 目			単位数
オプション科目 (ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
	情報学	プログラミングⅠ	1
	人間と文化	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		芸術学	2
		文化人類学	2
	人間と社会	日本国憲法	2
		経済学	2
		歴史学	2
		政治学	2
	人間と自然	統計学〔注〕	2
		数学基礎	1
		数学	2
		物理学	2
		化学〔注〕	2
		生物学〔注〕	2
		科学実験 a	1
		科学実験 b	1
	総合	日本語表現法	2
コミュニケーション論		2	
オプション科目 (アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	1
		英語プレゼンテーション	1
		検定英語	1
		グローバル化と人間 a	1
		グローバル化と人間 b	1
	情報学	データサイエンスⅡ	1
		データ解析	1
		プログラミングⅡ	1
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1
	人間と文化	人間と文化a	1
		人間と文化b	1
	人間と社会	人間と社会a	1
		人間と社会b	1
	人間と自然	人間と自然a	1
		人間と自然b	1
	総合	教養ゼミ	1

〔注〕 医療栄養学科は「統計学」、「化学」および「生物学」を必修科目とする。

心理学科、医療経営学科

授 業 科 目		単位数		
オプション科目 (ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
		ドイツ語Ⅰ	1	
		ドイツ語Ⅱ	1	
	情報学	プログラミングⅠ	1	
	人間と文化	哲学	2	
		文学	2	
		心理学	2	
		芸術学	2	
		文化人類学	2	
	人間と社会	法学	2	
		経済学〔注〕	2	
		歴史学	2	
		政治学	2	
	人間と自然	統計学〔注〕	2	
		数学基礎	1	
		数学	2	
		物理学	2	
		化学	2	
		生物学	2	
		科学実験 a	1	
		科学実験 b	1	
	総合	日本語表現法	2	
		コミュニケーション論	2	
	オプション科目 (アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	1
			英語プレゼンテーション	1
			検定英語	1
グローバル化と人間 a			1	
グローバル化と人間 b			1	
情報学		データサイエンスⅡ	1	
		データ解析	1	
		プログラミングⅡ	1	
保健体育		スポーツ実習Ⅱ	1	
人間と文化		人間と文化a	1	
		人間と文化b	1	
人間と社会		人間と社会a	1	
		人間と社会b	1	
人間と自然		人間と自然a	1	
		人間と自然b	1	
総合		教養ゼミ	1	

〔注〕 医療経営学科は「経済学」および「統計学」を必修科目とする。

【留学生特例科目】

授業科目			単位数
オプション科目	人間と社会	日本事情 a	2
		日本事情 b	2
	グローバル	日本語 I	2
		日本語 II	2

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 オプション科目（ベーシック）の人間と社会の2単位までを「日本事情 a」または 「日本事情 b」の単位数
- 2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語 I」、「日本語 II」の単位数

【卒業に必要な単位数】

学科・専攻	必修	選択	計
心理学科	-	19*	19単位以上
医療栄養学科	6	4	10単位以上
医療経営学科	4	4	8単位以上
医療福祉学科	-	8	8単位以上

*:オプション科目(ベーシック・アドバンスド)の「グローバル」の科目区分から2単位、「情報学」の科目区分から1単位を含む計19単位以上を修得すること。

IV 専門教育科目

1 保健医療学部

イ 診療放射線学科

		授業科目	単位数
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体構造学	②
		人体構造学実習	①
		人体生理機能学	②
		人体生理機能学実習	①
		臨床生化学	①
		病理学	②
		医学医療総論(生命倫理を含む)	①
		臨床医学総論	②
		公衆衛生学	①
		医療統計学	1
		理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		①
	応用数学演習		1
	放射線物理学Ⅰ		②
	放射線物理学Ⅱ		②
	放射線物理学演習		①
	医用工学		②
	医用工学演習		①
	医用工学実験		①
	放射化学		②
	放射化学実験		①
	放射線計測技術学		②
	放射線計測統計学		①
	放射線計測学演習		1
	放射線計測学実験		①
	放射線生物学	②	
専門分野	診療画像技術学	診療画像技術学序論	①
		診療画像機器学Ⅰ	②
		診療画像機器学Ⅱ	②
		診療画像機器学Ⅲ	②
		X線撮影技術学Ⅰ	②
		X線撮影技術学Ⅱ	②
		医用磁気共鳴学	②
		断層検査技術学	②
		造影医薬品学	1
		基礎画像読影学	②
	核医学検査	放射性医薬品学	1
		核医学機器学	②
		核医学検査技術学Ⅰ	②
		核医学検査技術学Ⅱ	②

		授業科目	単位数	
専門分野	放射線治療	放射線腫瘍学	1	
		放射線治療機器学	②	
		放射線治療技術学Ⅰ	②	
		放射線治療技術学Ⅱ	②	
		医用画像情報学	医用画像工学Ⅰ	②
	医用画像工学Ⅱ		②	
	医用画像情報学実験		①	
	医療情報学		①	
	放射線安全管理学	放射線安全管理学	①	
		放射線関係法規	①	
		放射線保健管理学	②	
	放射線安全管理学	放射線安全管理学実験	①	
		医療安全管理学	救急医療総論	1
			医療安全管理学	②
	患者安全・看護論		1	
	画像診断技術学	臨床医学Ⅰ(画像診断学含む)	②	
		臨床医学Ⅱ(画像診断学含む)	②	
		臨床医学Ⅲ(画像診断学含む)	①	
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	②	
		臨床実習Ⅱ	⑩	
	技術学総合・関連分野	患者接遇論(施設見学含む)	患者接遇論(施設見学含む)	①
			総合放射線工学実験	①
		医療英語	②	
		英語講読基礎	1	
		核医学技術学特論	1	
		放射線治療技術学特論	1	
		医用画像解析学特論	1	
画像診断技術学特論		1		
総合演習Ⅰ		②		
総合演習Ⅱ		2		
卒業研究	④			

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基礎分野	33	7
専門分野	69	
計	102	7
109単位以上		

ロ 医療技術学科

①臨床工学専攻

授業科目		単位数	
専門基礎分野	キャリア支援Ⅰ	①	
	キャリア支援Ⅱ	①	
	キャリア支援Ⅲ	①	
	早期体験演習Ⅰ	①	
	早期体験演習Ⅱ	①	
	医療英語	2	
	生命倫理	②	
	人体の構造及び機能	人体構造学	②
		人体構造学実習	①
		人体生理機能学	②
		人体生理機能学実習	①
	臨床医学的基礎	医学概論	①
		生化学	②
		公衆衛生学	②
		病理学	②
		薬理学	②
		看護学概論	②
	臨床理工学的基礎	基礎数学演習	①
		基礎物理学演習	①
		応用数学	②
		電気・電子工学Ⅰ	②
		電気・電子工学Ⅱ	②
		電気・電子工学Ⅲ	②
		電気工学実習	①
		電子工学実習	①
		機械工学	②
		計測工学	②
	臨床情報技術の基礎	情報科学概論	②
システム工学		②	
システム情報工学実習		①	
医療情報技術学演習		①	
シミュレーション教育演習	シミュレーション教育演習	1	
	医工学概論	②	
	医用工学	②	
専門分野	医用工学	②	
	材料工学	②	
	医用画像工学	2	
	生体計測技術学	②	
	生体計測技術学実習	①	
	心電図判読演習	1	
	医用治療機器学	②	
	医用機器学実習	①	
医療機器学総合演習	①		
手術治療機器学演習	①		

授業科目		単位数
生体機能代行技術学	体外循環技術学	②
	体外循環技術学演習	①
	心臓カテーテル治療技術学	②
	呼吸療法技術学	②
	呼吸療法技術学演習	①
	血液浄化技術学	②
	血液浄化技術学演習	①
	集学治療技術学演習	1
	生体機能代行技術学実習	③
	医用安全管理学	機器安全管理学
機器安全管理学実習		①
関係法規Ⅰ		①
医療機器管理学演習		①
臨床関連医学	臨床医学総論Ⅰ	②
	臨床医学総論Ⅱ	②
	臨床医学総論Ⅲ	②
	臨床医学総論Ⅳ	②
臨床実習	臨床工学実習Ⅰ	①
	臨床工学実習Ⅱ	④
	国際臨床工学	1
卒業研究	卒業研究方法論	①
	卒業研究	②
専門総合分野	臨床工学演習Ⅰ	①
	臨床工学演習Ⅱ	①
	臨床工学演習Ⅲ	①
	臨床工学演習Ⅳ	①
	ME演習	1

授業科目		単位数
臨床検査学分野	病理組織細胞学Ⅰ	2
	病理組織細胞学Ⅱ	2
	病理組織細胞学実習	2
	臨床血液学	2
	臨床血液学演習	1
	臨床血液学実習	1
	一般検査学Ⅰ	2
	一般検査学実習Ⅰ	1
	一般検査学Ⅱ	2
	一般検査学実習Ⅱ	1
	臨床化学	2
	臨床化学演習	1
	臨床化学実習	1
	放射性同位元素検査技術学	2
	先進医療技術学演習・実習	2
	臨床微生物学Ⅰ	2
	臨床微生物学Ⅱ	2
	臨床微生物学演習	1
	臨床微生物学実習	1
	臨床免疫学	2
	臨床免疫学演習	1
	臨床免疫学実習	1
	臨床生理学Ⅰ	2
	臨床生理学Ⅱ	2
	臨床生理学演習	1
	臨床生理学実習	2
	医療安全管理学	1
	医療安全管理学実習	1
検査機器総論	1	
関係法規Ⅱ	1	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

②臨床検査学専攻

授業科目		単位数	授業科目		単位数		
専門基礎分野	医療技術学基礎演習Ⅰ	①	病因・生体防御検査学	臨床微生物学Ⅰ	②		
	医療技術学基礎演習Ⅱ	①		臨床微生物学演習	①		
	早期体験演習	①		臨床微生物学実習	①		
	生命倫理	②		臨床微生物学Ⅱ	②		
	医療英語	2		臨床免疫学	②		
	人体と機能の構造	人体構造学		②	臨床免疫学演習	①	
		人体構造学実習		①	臨床免疫学実習	①	
		人体生理機能学		②	輸血・移植検査学	②	
		人体生理機能学実習		①	輸血・移植検査学演習	①	
		生化学		②	輸血・移植検査学実習	①	
	基礎と疾病の関連 医学検査の	医学概論	①	感染制御学	②		
		病理学	②	生理機能検査学	臨床生理学Ⅰ	②	
		薬理学	②		臨床生理学Ⅱ	②	
	と保健医療福祉 医学検査	関係法規Ⅱ	①		臨床生理学演習	①	
		公衆衛生学	②		臨床生理学実習	②	
		健康食品学	2		心電図検査特論	1	
		食品衛生学	2	医用画像工学	2		
	医療情報科学 工学及び	医用工学概論	②	検査総合管理学	一般検査学Ⅱ	②	
		医用工学概論実習	①		一般検査学実習Ⅱ	①	
		情報科学概論	②	検査総合管理学	②		
専門分野	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	②	検査総合 医療安全	一般検査学Ⅱ	②	
		臨床病態学Ⅱ	②		一般検査学実習Ⅱ	①	
	形態検査学	病理組織細胞学Ⅰ	②		検査機器総論	①	
		病理組織細胞学Ⅱ	②	臨床実習	臨床検査学実習	⑥	
		病理組織細胞学実習	②		国際臨床検査学	1	
		臨床血液学	②	卒業研究	卒業研究方法論	②	
		臨床血液学演習	①		卒業研究	②	
		臨床血液学実習	①	専門総合分野	総合技術	臨床検査学演習Ⅰ	①
		臨床細胞診断学	②			臨床検査学演習Ⅱ	①
	生物化学分析検査学	一般検査学Ⅰ	②			臨床検査学演習Ⅲ	①
		一般検査学実習Ⅰ	①			形態・生理機能検査学総合演習	①
		臨床化学	②			生物化学分析検査学総合演習	①
		臨床化学演習	①			生体防御検査学総合演習	①
		臨床化学実習	①				
	放射性同位元素検査技術学	②					
先進医療技術学演習・実習	②						

授業科目		単位数
臨床工学分野	看護学概論	2
	基礎数学演習	1
	基礎物理学演習	1
	応用数学	2
	医工学概論	2
	電気・電子工学Ⅰ	2
	電気工学実習	1
	電気・電子工学Ⅱ	2
	電子工学実習	1
	電気・電子工学Ⅲ	2
	物性工学	2
	機械工学	2
	材料工学	2
	計測工学	2
	手術治療機器学演習	1
	体外循環技術学	2
	呼吸療法技術学	2
	血液浄化技術学	2
	心臓カテーテル治療技術学	2
	生体機能代行技術学実習	3
	医用治療機器学	2
	医用機器学実習	1
	生体計測技術学	2
	生体計測技術学実習	1
	機器安全管理学	2
	機器安全管理学実習	1
	臨床医学総論Ⅰ	2
	臨床医学総論Ⅱ	2
	臨床医学総論Ⅲ	2
	臨床医学総論Ⅳ	2
関係法規Ⅰ	1	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	臨床工学専攻		臨床検査学専攻	
	必修	選択	必修	選択
専門基礎分野	46	3*	26	2*
専門分野	49		68	
専門総合分野	4		6	
他専攻分野	—	—	—	—
計	99	3	100	2
	102単位以上		102単位以上	

臨床工学専攻

*: 専門基礎分野、専門分野および専門総合分野の選択科目から3単位以上修得すること。

臨床検査学専攻

*: 専門基礎分野、専門分野、専門総合分野および臨床工学分野の選択科目から2単位以上修得すること。

ハ 救急救命学科

		授業科目	単位数
基礎分野	科学的 基盤 的思考	自然災害防災論	2
		救急実務英語	①
		ライフサイエンス論Ⅰ	①
		ライフサイエンス論Ⅱ	①
		救急統計学	②
	人間と 生活	ビジネスマナー論	①
専門基礎分野	人体の 構造 と機能	人体構造生理学Ⅰ	②
		人体構造生理学Ⅱ	②
		人体構造生理学実習	①
	疾患の 成り 立ちの 過程 と回復	病理学	①
		生化学	①
		薬理学	①
		救急検査概論	①
		社会保 障と 健康	公衆衛生学
専門分野	救急医 学概 論	生命倫理	②
		病院前救急医療概論	①
		救急災害システム論	②
		救急関係法規	①
		救急救命処置概論	②
		災害・救護ボランティア演習	①
	救急症 候生 理・ 学	救急症候・病態生理学Ⅰ	②
		救急症候・病態生理学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
	疾病 救急 医学	救急現場活動学	②
		特定行為処置論	②
		小児科学	②
		産婦人科学	①
		精神医学	①
	外傷 救急 医学	外傷救急医学Ⅰ	②
		外傷救急医学Ⅱ	②
		急性中 毒・ 環境 障害 医学	環境障害・急性中毒学

		授業科目	単位数
専門分野	臨地 実習	救急救命処置実習Ⅰ	②
		救急救命処置実習Ⅱ	②
		救急救命処置実習Ⅲ	③
		救急救命処置実習Ⅳ	③
		救急救命高度実習Ⅰ	②
		救急救命高度実習Ⅱ	②
		救急救命総合実習	2
		応急手当実習Ⅰ	①
		応急手当実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅰ	①
		救急システム実習Ⅱ	①
		救急システム実習Ⅲ	①
		救急システム実習Ⅳ	⑥
		国内救急救命事情	1
国際救急救命学	1		
卒研 業究	卒業研究Ⅰ	②	
	卒業研究Ⅱ	②	
専門 総合 分野	総合 技術	救急救命学Ⅰ	②
		救急救命学Ⅱ	②
		救急救命学Ⅲ	2
		救急救命学Ⅳ	2
		救急救命総合学	2
		教養総合学Ⅰ	②
		教養総合学Ⅱ	②
		教養総合学Ⅲ	②
		教養総合学Ⅳ	②
		教養総合学Ⅴ	②

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
基礎分野	6	9*
専門基礎分野	11	
専門分野	59	
専門総合分野	14	
計	90	9
99単位以上		

救急救命学科

* : 9単位のうち、「国内救急救命事情」または「国際救急救命学」を修得すること。

2 総合リハビリテーション学部

イ リハビリテーション学科

①理学療法専攻

基礎分野		授業科目	単位数	専門基礎分野		授業科目	単位数	
基礎分野	人間と生活社会の理解 科学的思考の基盤	生命倫理	②	専門基礎分野	人体の構造と機能及び 心身の発達	解剖学Ⅰ	②	
		解剖学Ⅱ	②			解剖学実習	①	
生理学Ⅰ	②	生理学Ⅱ	②					
生理学実習	①	身体運動学Ⅰ	①					
身体運動学Ⅱ	①	身体運動学実習	①					
人間発達学	②	医学概論	②					
疾病と障害の回復過程の促進 の成り立ち及び	回復過程の促進	内科学	②			整形外科Ⅰ	②	
		整形外科Ⅱ	②			精神医学	②	
		脳神経学	②			加齢医学	②	
		病態生理学	②			リハビリテーション概論	②	
		公衆衛生学	①			リハビリテーション心理学	2	
		ヘルスプロモーション論	①			理学療法概論	②	
		理学療法研究法	①			機能障害学	①	
専門分野	基礎理学療法学	臨床神経学	①		専門分野	理学療法学	理学療法概論	②
		認知心理学	1				理学療法研究法	①
		臨床運動学	①				機能障害学	①
		臨床運動学実習	①				臨床神経学	①
		理学療法評価学概論	①				認知心理学	1
		機能障害評価学実習Ⅰ	①				臨床運動学	①
		機能障害評価学実習Ⅱ	①				臨床運動学実習	①
	筋骨格系解剖学実習	①	理学療法評価学概論	①				
	生活活動評価学	①	機能障害評価学実習Ⅰ	①				
	内部系理学療法評価学	①	機能障害評価学実習Ⅱ	①				
専門総合	理学療法学	理学療法特別講義	2	理学療法学	理学療法学	運動療法学	①	
		運動療法実習	①			運動療法実習	①	
		物理療法学	①			物理療法実習	①	
		義肢・装具学	①			義肢・装具学	①	
		義肢・装具学実習	①			義肢・装具学実習	①	
		臨床理学療法演習	①			臨床理学療法演習	①	
		スポーツ理学療法演習	1			スポーツ理学療法演習	1	
		高次機能障害理学療法演習	1			高次機能障害理学療法演習	1	
		Women's/Men's health理学療法演習	1			Women's/Men's health理学療法演習	1	
		運動器疼痛管理理学療法演習	1			運動器疼痛管理理学療法演習	1	
介護予防理学療法演習	1	介護予防理学療法演習	1					
理学療法学	理学療法学	運動器理学療法治療学概論	①	理学療法学	理学療法学	運動器理学療法治療学概論	①	
		運動器理学療法治療学実習	①			運動器理学療法治療学実習	①	
		スポーツ理学療法学	①			スポーツ理学療法学	①	
		運動器疼痛学	①			運動器疼痛学	①	
		中枢神経系理学療法治療学概論Ⅰ	①			中枢神経系理学療法治療学概論Ⅰ	①	
		中枢神経系理学療法治療学概論Ⅱ	①			中枢神経系理学療法治療学概論Ⅱ	①	
		中枢神経系理学療法治療学実習	①			中枢神経系理学療法治療学実習	①	
		発達障害理学療法学	①			発達障害理学療法学	①	
		内部障害理学療法治療学概論Ⅰ	①			内部障害理学療法治療学概論Ⅰ	①	
		内部障害理学療法治療学概論Ⅱ	①			内部障害理学療法治療学概論Ⅱ	①	
内部障害理学療法治療学実習	①	内部障害理学療法治療学実習	①					
生活支援系理学療法学概論	①	生活支援系理学療法学概論	①					
生活支援系理学療法学実習	①	生活支援系理学療法学実習	①					
理学療法学	理学療法学	基本動作介助法	①	理学療法学	理学療法学	基本動作介助法	①	
		地域理学療法学	①			地域理学療法学	①	
		地域在宅理学療法学演習	①			地域在宅理学療法学演習	①	
理学療法学	理学療法学	理学療法管理運営学	②	理学療法学	理学療法学	理学療法管理運営学	②	
		臨床見学実習	①			臨床見学実習	①	
		臨床評価実習Ⅰ	②			臨床評価実習Ⅰ	②	
理学療法学	理学療法学	臨床評価実習Ⅱ	⑥	理学療法学	理学療法学	臨床評価実習Ⅱ	⑥	
		総合臨床実習	⑩			総合臨床実習	⑩	
		地域理学療法実習	①			地域理学療法実習	①	
理学療法学	理学療法学	卒業研究	④	理学療法学	理学療法学	卒業研究	④	
		理学療法学演習	②			理学療法学演習	②	
		理学療法特別講義	2			理学療法特別講義	2	

[注] 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

②作業療法学専攻

		授業科目	単位数			授業科目	単位数	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	②	作業療法治療学	作業療法治療学	作業療法治療学総論	②	
		解剖学Ⅱ	②			内部障害作業療法学	②	
		解剖学実習	①			内部障害作業療法学演習	①	
		生理学Ⅰ	②			脳血管障害作業療法学	①	
		生理学Ⅱ	②			脳血管障害作業療法学演習	①	
		生理学実習	①			運動器障害作業療法学	①	
		運動学	②			運動器障害作業療法学演習	①	
		運動学実習	①			老年期作業療法学	①	
		人間発達学	②			老年期作業療法学演習	①	
		医学概論	②			発達障害作業療法学	①	
	疾病と傷害の回復過程の成り立ち	内科学	②		発達障害作業療法学演習	①		
		整形外科	②		精神障害作業療法学	①		
		精神医学	②		精神障害作業療法学演習	①		
		脳神経学	②		義肢装具学概論	②		
		加齢医学	②		日常生活活動学	①		
		病態生理学	②		日常生活活動学実習	①		
		リハビリテーションの理念とリハビリテーション保健医療福祉	リハビリテーション概論		②	地域作業療法学	地域作業療法学	①
			生命倫理		②		公衆衛生学	1
	発達障害学		②		ヘルスプロモーション論		2	
	リハビリテーション心理学		②		介護予防方法論		2	
専門基礎分野	基礎作業療法学	作業療法概論	①	福祉住環境コーディネート論	2			
		作業療法研究法	①	就労支援技術学	1			
		作業学	①	臨床実習	地域リハビリテーション実習		①	
		作業学実習	①		見学実習		②	
		作業療法理論	2		評価実習		⑤	
	作業療法評価学	作業療法評価学総論	①	総合臨床実習	⑬			
		神経系機能能力評価学	①	卒業研究	④			
		神経系機能能力評価学実習	①	専門総合分野	総合技術	作業療法学演習Ⅰ	①	
		運動系機能能力評価学	①			作業療法学演習Ⅱ	①	
		運動系機能能力評価学実習	①			作業療法学演習Ⅲ	①	
		精神・認知機能能力評価学	①			作業療法管理学	②	

[注] 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

③言語聴覚療法学専攻

		授業科目	単位数
専門基礎分野	基礎医学	医学概論	②
		解剖学	②
		生理学	②
		解剖・生理学演習	1
		病態生理学(病理学含む)	2
		人間発達学	2
		公衆衛生学	1
		加齢医学	2
	臨床医学及び歯学	リハビリテーション精神医学	②
		小児科学	②
		リハビリテーション医学	1
		内科学	①
		リハビリテーション脳神経学	①
		耳鼻咽喉科学	②
		形成外科学	①
		歯科口腔外科学	①
	聴覚医学 音声言語学	脳神経機能評価学	②
		音声聴覚医学	①
	言語学 音声学	言語理論と言語心理	②
		音声学	②
		音響・聴覚心理学	②
		言語発達学	②
	心理学	カウンセリング	2
		臨床心理学	②
		発達心理学	②
		学習心理学	2
		認知心理学	②
		心理測定法	②
		音楽療法概論	2
		グループダイナミクス	1
	社会福祉・教育	リハビリテーション概論	②
		特別支援教育総論	2
		社会保障制度論(関係法規含む)	①
生活環境科学		2	
ヘルスプロモーション論		2	
専門分野	障害学 総論	言語聴覚障害学概論Ⅰ	②
		言語聴覚障害学概論Ⅱ	②
	言語発達 障害学	発達系障害学概論Ⅰ	②
		発達系障害学概論Ⅱ	②
		発達系障害学演習Ⅰ	①
		発達系障害学演習Ⅱ	①
	高次脳機能 障害学	認知系障害学概論Ⅰ	②
		認知系障害学概論Ⅱ	②
		認知系障害学演習Ⅰ	①
		認知系障害学演習Ⅱ	①

		授業科目	単位数
専門分野	発声発語嚥下障害学	発声発語系障害学概論Ⅰ	②
		発声発語系障害学概論Ⅱ	②
		発声発語系障害学演習	①
		拡大・代替コミュニケーション論	1
	聴覚障害学	聴覚系障害学概論Ⅰ	②
		聴覚系障害学概論Ⅱ	②
		聴覚系障害学演習Ⅰ	①
		聴覚系障害学演習Ⅱ	②
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	①
		臨床実習Ⅱ	④
		臨床実習Ⅲ	⑦
		臨床研究Ⅰ	②
総合技術 専門総合	臨床研究Ⅱ	②	
	卒業研究	④	
	言語聴覚学演習	②	
	言語聴覚特別講義Ⅰ	2	
		言語聴覚特別講義Ⅱ	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

④義肢装具学専攻

授業科目			単位数	授業科目			単位数					
専門基礎分野	人体及び心身の発達と機能の構造と機能	解剖生理学基礎	②	専門分野	応用義肢装具学	義肢Ⅰ(下腿義足)	①					
		解剖学演習	①			義肢ⅠA実習(下腿義足)	①					
		機能解剖学	②			義肢ⅠB実習(下腿義足)	①					
		リハビリテーション運動学	②			義肢Ⅱ(義手)	①					
		運動機能計測学	②			義肢ⅡA実習(義手)	①					
		運動機能計測学実習	①			義肢ⅡB実習(義手)	①					
		人間工学	②			義肢Ⅲ(大腿義足)	①					
		人間工学演習	①			義肢ⅢA実習(大腿義足)	①					
		内科学概論	②			義肢ⅢB実習(大腿義足)	①					
	回復過程の促進 成り立ち及び 疾病と障害の	リハビリテーション整形外科学	②			バイオメカニクス	②					
		臨床心理学	②			バイオメカニクス演習	①					
		リハビリテーション脳神経内科学	②			装具Ⅰ(体幹装具)	①					
		社会参加と高齢者の福祉	②			装具ⅠA実習(体幹装具)	①					
		リハビリテーション概論	①			装具ⅠB実習(体幹装具)	①					
		臨床コミュニケーション	1			装具Ⅱ(下肢装具)	①					
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	認知心理学	①			装具ⅡA実習(下肢装具)	①					
		ボランティア論	①			装具ⅡB実習(下肢装具)	①					
		福祉住環境学	②			装具Ⅲ(上肢装具)	①					
		関係法規	①			装具ⅢA実習(上肢装具)	①					
		義肢装具領域における工学	図学・製図学			①	装具ⅢB実習(上肢装具)	①				
			機構学			①	装具Ⅳ(座位保持装置・車椅子)	①				
			機械工学概論	①	特殊補装具学(エピテーゼ・足底板応用編)	①						
			工学的数学基礎演習	1	特殊補装具学実習(エピテーゼ・足底板応用編)	①						
			制御工学	①	臨床実習	見学実習	①					
			ユニバーサルデザイン	②		臨地実習	1					
			プログラミング基礎	①		臨床実習Ⅰ	①					
			電気・電子回路基礎	1		臨床実習Ⅱ	④					
	福祉機器プログラミング演習Ⅰ		①	臨床実習Ⅲ		⑥						
	福祉機器プログラミング演習Ⅱ		①	卒業研究	④							
	統計学演習	①	専門分野 総合 技術	義肢装具学演習	①							
	義肢装具学概論	②		医療英語	①							
	専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具基礎工作論	②	【卒業に必要な単位数】							
			義肢装具基礎工作演習	②	科目区分	理学療法学専攻	作業療法学専攻	言語聴覚療法学専攻	義肢装具学専攻			
義肢装具材料学			②		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
義肢装具材料力学			②	基礎分野	2	—	—	—				
義肢装具材料力学基礎演習			1	専門基礎分野	35		37		38		39	
福祉用具支援論			②	専門分野	58	4*	60	3*	53	10*	59	3*
福祉用具支援論演習			①	専門総合分野	6		5		2		2	
理学療法検査測定演習			①	計	101	4	102	3	93	10	100	3
機器工作論Ⅰ			②		105単位以上		105単位以上		103単位以上		103単位以上	
機器工作演習Ⅰ			①									
機器工作論Ⅱ			①									
機器工作演習Ⅱ			①									

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	理学療法学専攻		作業療法学専攻		言語聴覚療法学専攻		義肢装具学専攻	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
基礎分野	2	—	—	—	—	—	—	—
専門基礎分野	35		37		38		39	
専門分野	58	4*	60	3*	53	10*	59	3*
専門総合分野	6		5		2		2	
計	101	4	102	3	93	10	100	3
	105単位以上		105単位以上		103単位以上		103単位以上	

理学療法学専攻

* :『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の中から4単位以上を修得すること。

専攻名	授業科目
作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学
言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ
義肢装具学専攻	臨床心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、福祉機器プログラミング演習Ⅰ

作業療法学専攻

* :『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の中から3単位以上を修得すること。

専攻名	授業科目
理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ
義肢装具学専攻	臨床心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、福祉機器プログラミング演習Ⅰ

言語聴覚療法学専攻

* :『専門基礎分野』基礎医学の科目区分のうち、「解剖・生理学演習」、臨床医学及び歯学の科目区分のうち、「リハビリテーション医学」、社会福祉・教育の科目区分のうち「加齢医学」、『専門分野』総合技術の科目区分のうち、「言語聴覚特別講義Ⅰ」、「言語聴覚特別講義Ⅱ」を含む、『専門基礎分野』、『専門分野』または以下の専攻の科目の中から10単位以上を修得すること。

専攻名	授業科目
理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学
義肢装具学専攻	臨床心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、福祉機器プログラミング演習Ⅰ

義肢装具学専攻

* :『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の専攻の科目の中から3単位以上を修得すること。

専攻名	授業科目
理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学
言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ

3 看護学部

看護学科

		授業科目	単位数
専門基礎科目		医療・生命倫理	①
		医学・医療概論	①
		人体の構造と生理機能Ⅰ	②
		人体の構造と生理機能Ⅱ	②
		栄養・代謝学と臨床生化学	②
		臨床薬理学	②
		微生物学	②
		臨床病態学Ⅰ	②
		臨床病態学Ⅱ	②
		臨床病態学Ⅲ	②
		臨床心理学	②
		カウンセリング理論と技法	1
		人間の発達と人間関係	1
		社会保障論	1
専門科目	基礎看護学系	看護学概論Ⅰ	②
		看護学概論Ⅱ	①
		基礎看護技術演習Ⅰ	①
		基礎看護技術演習Ⅱ	②
		基礎看護技術演習Ⅲ	②
		看護診断学演習	①
		基礎看護学実習Ⅰ	①
		基礎看護学実習Ⅱ	②
		成人看護学系	成人看護学概論Ⅰ
	成人看護学概論Ⅱ		②
	成人看護学各論Ⅰ		①
	成人看護学各論Ⅱ		①
	成人看護学演習Ⅰ		①
	成人看護学演習Ⅱ		①
	成人看護学実習Ⅰ		③
	成人看護学実習Ⅱ		③
	老年看護学系	老年看護学概論	②
		老年看護学各論	①
		老年看護学演習	①
		老年看護学実習	④
	小児看護学系	小児看護学概論	②
		小児看護学各論	①
		小児看護学演習	①
		小児看護学実習	②
	母性看護学系	母性看護学概論	②
		母性看護学各論	①
		母性看護学演習	①
		母性看護学実習	②

		授業科目	単位数
専門科目	精神看護学系	精神看護学概論	②
		精神看護学各論	①
		精神看護学演習	①
		精神看護学実習	②
	在宅看護学系	在宅看護学概論	②
		在宅看護学各論	①
		在宅看護学演習	①
		在宅看護学実習	②
	公衆衛生看護学系	公衆衛生看護学概論	②
		公衆衛生看護学各論Ⅰ	2
		公衆衛生看護学各論Ⅱ	4
		公衆衛生看護学各論Ⅲ	2
		学校保健	1
		産業保健	1
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	2
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	1
		保健医療福祉行政論Ⅰ	②
		保健医療福祉行政論Ⅱ	1
卒業研究	疫学	②	
	保健統計	②	
	感染制御学	1	
	子育て支援論	1	
	難病看護論	1	
	メンタルヘルス支援論	1	
	緩和ケア論	1	
	国際看護論	1	
	救急看護論	1	
	看護関係法規	①	
	看護管理学	①	
	統合看護学実習	②	
	看護学総合演習	④	
	研究方法論	②	
卒業研究	②		

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択
専門基礎科目	20	1
専門科目	78	6
計	98	7
	105単位以上	

4 薬学部

薬学科

	授業科目	単位数
専 門 科 目	医療倫理・医学概論	①
	チュートリアル	①
	薬学へのいざない	①
	薬学概論	①
	薬学と社会・薬事関係法規	①
	薬学と社会・コミュニティーファーマシー論	①
	専門職連携基礎演習Ⅰ	①
	専門職連携基礎演習Ⅱ	①
	物理化学Ⅰ	①
	物理化学Ⅱ	①
	物理化学Ⅲ	①
	分析化学Ⅰ	①
	分析化学Ⅱ	①
	機器分析学	①
	臨床分析学	①
	有機化学Ⅰ	①
	有機化学Ⅱ	①
	有機化学Ⅲ	①
	有機化学Ⅳ	①
	医薬品化学	①
	生薬学	①
	ヒトの成り立ち	①
	細胞生物学	①
	生体の機能調節	①
	微生物	①
	生化学Ⅰ	①
	生化学Ⅱ	①
	遺伝子	①
	生体防御Ⅰ	①
	生体防御Ⅱ	①
	栄養と食品	①
	食品衛生学	①
	社会集団と健康	①
	環境因子の生体影響	①
	化学物質の生体影響	①
	生活環境と健康	①
	病態と薬理総論	①
	病態と薬理Ⅰ	①
	病態と薬理Ⅱ	①
	病態と薬理Ⅲ	①
	病態と薬理Ⅳ	①

	授業科目	単位数
専 門 科 目	病態と薬理Ⅴ	①
	病態と薬理Ⅵ	①
	病態と薬理Ⅶ	①
	薬の生体内運命	①
	薬物動態解析学	①
	製剤の性質	①
	製剤設計・DDS	①
	医薬品情報	①
	患者情報	①
	医療統計学	①
	臨床薬学	①
	医療コミュニケーション	①
	治療解析	①
	物理化学・分析化学演習	①
	有機化学・生薬学演習	①
	生物学演習	①
	薬剤学演習	①
	基礎薬学演習	⑨
	応用薬学演習	⑨
	総合薬学演習	⑱
	物理化学・分析化学実習	③
	有機化学・生薬学実習	③
	生物学実習	③
	衛生薬学実習	③
	薬理学実習	③
	薬剤学実習	③
	卒業研究Ⅰ	⑤
	卒業研究Ⅱ	⑤
	卒業研究Ⅲ	②
	早期臨床体験	①
	実務事前実習	⑤
	学外実務実習	⑳
	薬学英語Ⅰ	①
薬学英語Ⅱ	1	
総合医薬科学	2	
医薬品の開発と生産	2	
臨床薬学における専門薬剤師の役割	2	
EBMの実践	2	
在宅医療・介護・フィジカルアセスメント	2	
地域保健・公衆衛生・栄養管理・保健行政	2	
医薬品流通と医療に関する経済学	2	

授業科目		単位数
専門科目	応用薬物治療学	2
	専門職連携総合演習Ⅰ	1
	専門職連携総合演習Ⅱ	1

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門科目	151	11
合計	162 単位以上	

5 健康科学部

イ 心理学科

授業科目		単位数	授業科目		単位数												
基幹科目	日本語基礎演習Ⅰ(話す・聞く)	①	医療・健康・福祉系	健康・医療心理学	2												
	日本語基礎演習Ⅱ(読む・書く)	①		コミュニティ心理学	2												
	心理学概論	②		福祉心理学	2												
	学習・言語心理学	2		公衆衛生学	2												
	発達心理学	2		睡眠改善学	2												
	感情・人格心理学	2		人体の構造と機能及び疾病	2												
	動物心理学	2		精神疾患とその治療Ⅰ	2												
	知覚・認知心理学	2		精神疾患とその治療Ⅱ	2												
	神経・生理心理学	2		高齢者支援演習	2												
	色彩心理学	2		産業・社会系	社会・集団・家族心理学A	2											
	心理学統計法	②	社会・集団・家族心理学B		2												
	心理学研究法A	②	社会調査法概論		2												
	心理学研究法B	2	司法・犯罪心理学		2												
	心理学研究法C	2	消費者心理学		2												
	ストレスマネジメント演習	①	産業・組織心理学		2												
	心理学実験	②	社会心理調査法実習Ⅰ		1												
	心理学応用実験	1	社会心理調査法実習Ⅱ		1												
	コミュニケーション演習	①	心理学実践実習(産業・社会)		1												
	専門演習Ⅰ	②	コミュニケーション		地域支援実習	1											
	専門演習Ⅱ	②		ビジネス演習	2												
	多変量解析演習	2		コミュニケーション実習	2												
	外国書講読	2		メディアコミュニケーション実習	1												
	卒業研究Ⅰ	②		キャリア体験	1												
卒業研究Ⅱ	②																
臨床心理学系	臨床心理学概論	2	【卒業に必要な単位数】														
	心理学的支援法	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目区分</th> <th>必修</th> <th>選択</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門教育科目</td> <td>20</td> <td>60^{*1}</td> <td>10^{*2}</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="2">80単位以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			科目区分	必修	選択	その他	専門教育科目	20	60 ^{*1}	10 ^{*2}	計	80単位以上		
	科目区分	必修	選択	その他													
	専門教育科目	20	60 ^{*1}	10 ^{*2}													
	計	80単位以上															
	公認心理師の職責	2	【注】*1:「心理実習」、「心理学実践実習(産業・社会)」、「コミュニケーション実習」の3科目のうち、いずれか1科目を含め、各科目区分から60単位以上を修得すること。 *2:オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。														
	心理的アセスメント	2															
	障害者・障害児心理学	2															
	認知行動療法	2															
	教育・学校心理学	2															
	心理学の現場(教育・発達)	2															
	学校カウンセリング	2															
	心理演習Ⅰ	2															
	心理演習Ⅱ	2															
心理実習	2																
関係行政論	2																

ロ 医療栄養学科

		授業科目	単位数	
専門基礎分野	医療に基礎教育 人に向けた 養成	管理栄養士概論	①	
		早期体験学習	①	
		医療・生命倫理	①	
		医学・医療概論	①	
	社会・健康 環境と	公衆衛生学Ⅰ	②	
		公衆衛生学Ⅱ	②	
		公衆衛生学Ⅲ	②	
	人体の成り立ち 疾病の構造と機能及び	生理学	②	
		解剖学	②	
		生理解剖学実習	①	
		生化学Ⅰ	②	
		生化学Ⅱ	②	
		生化学実験Ⅰ	①	
		生化学実験Ⅱ	①	
		病態学Ⅰ	②	
		病態学Ⅱ	②	
		病態学Ⅲ	②	
	病態生理学実習	①		
	食べ物と健康	調理学	②	
		調理学実習	①	
		調理科学実験	①	
		食品化学Ⅰ	②	
		食品化学Ⅱ	②	
		食品化学実験	①	
		食品加工学	②	
		食品加工学実習	①	
		食品衛生学	②	
		食品衛生学実験	①	
		献立作成実習	①	
		専門応用分野	基礎栄養学	基礎栄養学
	基礎栄養学実験			①
	食事摂取基準演習			①
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ		②	
	応用栄養学Ⅱ		②	
	応用栄養学Ⅲ		②	
	応用栄養学実習		①	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ		②	
	栄養教育論Ⅱ		②	
	栄養教育論Ⅲ		②	
	栄養教育論実習		①	
臨床栄養学	臨床栄養学総論		②	
	臨床栄養学各論Ⅰ		②	
	臨床栄養学各論Ⅱ		②	
	臨床栄養学各論Ⅲ		②	
	臨床栄養学実習Ⅰ		①	
	臨床栄養学実習Ⅱ		①	

		授業科目	単位数
専門応用分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②
		公衆栄養学Ⅱ	②
		公衆栄養学実習	①
	給食経営管理論	給食経営管理総論	②
		給食経営管理各論	②
		給食経営管理実習Ⅰ	①
		給食経営管理実習Ⅱ	①
	総合演習	総合演習Ⅰ	①
		総合演習Ⅱ	①
		総合演習Ⅲ	①
		総合演習Ⅳ	①
		総合演習Ⅴ	①
		総合専門演習Ⅰ	①
		総合専門演習Ⅱ	②
		臨地実習	①
	臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	①
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	①
		臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	②
		臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	①
		臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	①
	関連科目	食育演習Ⅰ	1
		食育演習Ⅱ	1
		食育演習Ⅲ	1
		国際栄養支援学演習	1
		食医特論	2
		栄養薬学	2
		医療・福祉・介護と栄養ケア	2
卒業研究Ⅰ		②	
卒業研究Ⅱ		②	

〔注〕 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎分野	44	5*
専門応用分野	51	
計	95	5
100単位以上		

〔注〕*:『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位を含め、『専門応用分野』およびV教職課程の1栄養に係る教育に関する科目の「学校栄養教育論Ⅰ」、「学校栄養教育論Ⅱ」から5単位を修得すること。

ハ 医療経営学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	経営学入門	②
	医療制度論	②
	社会保障論	②
	医学・医療概論	②
	医療関連法規	②
	医学用語概論	②
	情報システム学入門	②
	病院管理学	②
	救急処置演習	①
	専門科目	経営組織論
医療と経営組織		2
人的資源管理論		2
医療と人的資源管理		2
非営利組織経営論		2
経営基礎数学		2
経営科学		2
生産管理論		2
医療経営科学		2
品質マネジメント論		2
医療機器と物品管理		2
医療施設建築計画論		2
医療福祉ユニバーサルデザイン		2
簿記論		2
簿記演習		1
会計学		2
財務管理論		2
経営情報処理演習		1
管理会計		2
非営利事業会計論		2
ミクロ経済学		2
マクロ経済学		2
公共経済学		2
医療経済学		2
地域医療システム論		2
医療コミュニケーション論		2
マーケティング論		2
医療とマーケティング		2
医療とリスクマネジメント		2
医療と流通		2
医療産業論		2
経営戦略論		2
医療と経営戦略		2
人体構造機能学		2
メディカル・イングリッシュ		2
臨床医学Ⅰ		2
臨床医学Ⅱ		2
臨床医学Ⅲ		2
臨床医学Ⅳ		2

授業科目		単位数
専門科目	医療倫理	1
	公衆衛生学	1
	薬学概論	2
	疾病分類学Ⅰ	2
	疾病分類学Ⅱ	2
	疾病分類学演習	1
	診療情報管理演習Ⅰ	1
	診療情報管理演習Ⅱ	1
	診療情報管理演習Ⅲ	1
	診療報酬制度論	2
	診療報酬請求演習Ⅰ	1
	診療報酬請求演習Ⅱ	1
	医師事務作業論	2
	医師事務作業演習	1
	医療事務概論	2
	医療統計学	2
	医療情報学Ⅰ	2
	医療情報学Ⅱ	2
	医療情報システム	2
	医療情報システム演習	1
	診療情報管理論	2
	情報システム学Ⅰ	2
	情報システム学Ⅱ	2
	医療経営データベース演習	1
	医療経営情報処理演習	1
	医療経営総合演習	1
	ビジネスマナー・接遇演習	1
	医療ボランティア	1
	医療施設管理実習事前演習	1
	医療施設管理実習	2
フィールドワーク	1	
インターンシップⅠ	1	
インターンシップⅡ	1	
医療経営演習Ⅰ	①	
医療経営演習Ⅱ	①	
専門演習Ⅰ	②	
専門演習Ⅱ	②	
卒業研究Ⅰ	②	
卒業研究Ⅱ	②	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	必修	選択	その他
専門基礎科目	17	64	10*
専門科目	10		
計	27	64	
	91単位以上		

*: オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

ニ 医療福祉学科

①医療福祉学専攻

授業科目		単位数	
専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ	□2	
	現代社会と福祉Ⅱ	□2	
	ソーシャルワーク入門	①	
	医学・医療概論	1	
	医療・生命倫理	1	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病	2
		社会調査の基礎	2
		相談援助の理論と方法ⅠA	□2
		相談援助の理論と方法ⅠB	□2
		相談援助の理論と方法ⅡA	□2
		相談援助の理論と方法ⅡB	□2
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	□2
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	□2
		地域福祉の理論と方法Ⅰ	□2
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	□2
		福祉行財政と福祉計画	2
		福祉サービスの組織と経営	2
		社会保障Ⅰ	□2
		社会保障Ⅱ	□2
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	□2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	□2	
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	□2	
	障がいの理解	□2	
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	□2	
	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
	保健医療サービス	□2	
	就労支援サービス	1	
	権利擁護と成年後見制度	□2	
	更生保護制度	1	
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	3	
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	1	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	1	
	社会福祉援助技術現場実習	4	
	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ	2
		精神疾患とその治療Ⅱ	2
		精神保健の課題と支援Ⅰ	2
精神保健の課題と支援Ⅱ		2	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB	2		

授業科目		単位数
精神保健福祉系科目	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2
	精神障害者の生活支援システム	2
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	1
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1
	精神保健福祉援助実習	5
介護福祉系科目	発達と老化の理解	2
	認知症の理解	2
	認知症のケア	2
	心と体の仕組み	2
保育系科目	保育原理	2
	教育原理	2
	社会的養護Ⅰ	2
	保育者論	2
	保育の心理学	2
	子ども家庭支援の心理学	2
	子どもの保健	2
	子ども家庭支援論	2
関連科目	児童文学	2
	国際福祉論	2
	国際医療福祉演習	1
	社会福祉法概論	2
	音楽療法概論	2
	生涯発達心理学	2
	障害者心理学	2
	社会理論と社会システム	2
	社会福祉総論Ⅰ	2
	社会福祉総論Ⅱ	2
総合福祉論	4	
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	
専門演習	専門演習ⅠA	①
	専門演習ⅠB	①
	専門演習ⅡA	②
	専門演習ⅡB	②
	卒業研究Ⅰ	②
	卒業研究Ⅱ	②

〔注〕 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
 2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

②介護福祉学専攻

授業科目		単位数	授業科目		単位数	
専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ	2	介護福祉系科目	家政学演習Ⅰ(栄養)	□1	
	現代社会と福祉Ⅱ	2		家政学演習Ⅱ(被服)	1	
	ソーシャルワーク入門	①		生活支援技術Ⅰ	□2	
	医学・医療概論	1		生活支援技術Ⅱ	□2	
	医療・生命倫理	1		生活支援技術Ⅲ	□1	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病		□2	生活支援技術Ⅳ	1
		社会調査の基礎		2	介護過程Ⅰ	□2
		相談援助の理論と方法ⅠA		□2	介護過程ⅡA	□1
		相談援助の理論と方法ⅠB		□2	介護過程ⅡB	□1
		相談援助の理論と方法ⅡA		2	介護過程ⅢA	1
		相談援助の理論と方法ⅡB		2	介護過程ⅢB	1
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2	介護総合演習Ⅰ	□1
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2	介護総合演習Ⅱ	□1
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		2	介護総合演習Ⅲ	1
		地域福祉の理論と方法Ⅱ		2	介護実習Ⅰ	□2
		福祉行財政と福祉計画		2	介護実習Ⅱ	□4
		福祉サービスの組織と経営		2	介護実習Ⅲ	4
		社会保障Ⅰ		2	発達と老化の理解	□2
		社会保障Ⅱ		2	認知症の理解	□2
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ		□2	認知症のケア	□2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	□2		心と体の仕組み	□2	
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	介護予防と終末期のケア	2		
	障がい理解	□2	医療的ケアⅠ	□2		
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	□2	医療的ケアⅡ	□2		
	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	医療的ケアⅢ	□1		
	保健医療サービス	2	保育系科目	保育原理	2	
	就労支援サービス	1		教育原理	2	
	権利擁護と成年後見制度	2		社会的養護Ⅰ	2	
	更生保護制度	1		保育者論	2	
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	3		保育の心理学	2	
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2		子ども家庭支援の心理学	2	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1		子どもの保健	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	1	子ども家庭支援論		2		
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	1	児童文学		2		
社会福祉援助技術現場実習	4	関連科目		国際福祉論	2	
精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2	国際医療福祉演習	1	
	精神疾患とその治療Ⅱ		2	社会福祉法概論	2	
	精神保健の課題と支援Ⅰ		2	音楽療法概論	2	
	精神保健の課題と支援Ⅱ		2	生涯発達心理学	□2	
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2	障害者心理学	2	
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2	社会理論と社会システム	2	
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2	社会福祉総論Ⅰ	2	
	精神障害者の生活支援システム		2	社会福祉総論Ⅱ	2	
介護福祉系科目	介護の基本ⅠA		□2	総合福祉論	4	
	介護の基本ⅠB	□2	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2		
	介護の基本Ⅱ	2	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2		
	リハビリテーション論	2	専門演習	専門演習ⅠA	①	
	レクリエーション活動援助法	□1		専門演習ⅠB	①	
	介護マネジメント論	2		専門演習ⅡA	②	
	コミュニケーション技術Ⅰ	□1		専門演習ⅡB	②	
	コミュニケーション技術Ⅱ	□1		卒業研究Ⅰ	②	
家政学概論Ⅰ	□2	卒業研究Ⅱ		②		
家政学概論Ⅱ	2					

[注]1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
 2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

③保育福祉学専攻

授業科目		単位数	
専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ	2	
	現代社会と福祉Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク入門	1	
	医学・医療概論	1	
	医療・生命倫理	1	
専門科目	人体の構造と機能及び疾病	2	
	社会調査の基礎	2	
	相談援助の理論と方法ⅠA	2	
	相談援助の理論と方法ⅠB	2	
	相談援助の理論と方法ⅡA	2	
	相談援助の理論と方法ⅡB	2	
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2	
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2	
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	
	福祉行財政と福祉計画	2	
	福祉サービスの組織と経営	2	
	社会保障Ⅰ	2	
	社会保障Ⅱ	2	
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2	
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2	
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	
	障がい理解	2	
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	
	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
	保健医療サービス	2	
	就労支援サービス	1	
	権利擁護と成年後見制度	2	
	更生保護制度	1	
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	3	
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	1	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	1	
	社会福祉援助技術現場実習	4	
	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ	2
		精神疾患とその治療Ⅱ	2
		精神保健の課題と支援Ⅰ	2
精神保健の課題と支援Ⅱ		2	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2	
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2	
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2	
精神障害者の生活支援システム		2	
介護福祉系科目	発達と老化の理解	2	
	認知症の理解	2	
	認知症のケア	2	
	心と体の仕組み	2	
保育系科目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	子育て支援	1	
	社会的養護Ⅰ	2	
	保育者論	2	
	保育の心理学	2	

授業科目		単位数
保育系科目	子ども家庭支援の心理学	2
	子どもの理解と援助	1
	子どもの保健	2
	子どもの健康と安全	1
	子どもの食と栄養	2
	子ども家庭支援論	2
	保育の計画と評価	2
	保育内容総論	1
	保育内容演習Ⅰ(健康)	1
	保育内容演習Ⅱ(人間関係)	1
	保育内容演習Ⅲ(環境)	1
	保育内容演習Ⅳ(言葉)	1
	保育内容演習Ⅴ(表現)	1
	児童文学	2
	乳児保育Ⅰ	2
	乳児保育Ⅱ	1
	障がい児保育	2
	社会的養護Ⅱ	1
	保育内容の理解と方法Ⅰ	2
	保育内容の理解と方法Ⅱ	2
	保育内容の理解と方法Ⅲ	1
	母子保健	1
	病児保育	1
	保育実習概論	1
	保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	1
	保育実習指導Ⅰ-2(施設)	1
	保育実習Ⅰ-1(保育所)	2
	保育実習Ⅰ-2(施設)	2
	保育実践演習	2
	保育実習指導Ⅱ	1
	保育実習Ⅱ	2
	保育実習指導Ⅲ	1
保育実習Ⅲ	2	
関連科目	国際福祉論	2
	国際医療福祉演習	1
	社会福祉法概論	2
	音楽療法概論	2
	生涯発達心理学	2
	障害者心理学	2
	社会理論と社会システム	2
	社会福祉総論Ⅰ	2
	社会福祉総論Ⅱ	2
	総合福祉論	4
専門演習	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2
	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2
	専門演習ⅠA	1
	専門演習ⅠB	1
	専門演習ⅡA	2
	専門演習ⅡB	2
卒業研究Ⅰ	2	
卒業研究Ⅱ	2	

[注]1単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
2単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

科目区分	医療福祉学専攻			
	必修	選択必修	選択	その他
専門基礎科目	1	4	42	10*
専門科目	10	34		
計	11	38	42	
91単位以上				

科目区分	介護福祉学専攻			
	必修	選択必修	選択	その他
専門基礎科目	1	-	24	10*
専門科目	10	56		
計	11	56	24	
91単位以上				

科目区分	保育福祉学専攻			
	必修	選択必修	選択	その他
専門基礎科目	1	2	30	10*
専門科目	10	48		
計	11	50	30	
91単位以上				

*: オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

V 教職課程

1 栄養に係る教育に関する科目

授業科目	単位数
学校栄養教育論Ⅰ	2
学校栄養教育論Ⅱ	2

2 教職に関する科目

イ 健康科学部

①医療栄養学科

授業科目	単位数
教育原理	1
教職概論	2
教育制度論	1
学校教育心理学	1
特別支援教育論	1
教育課程論	2
道徳・特別活動論	2
総合的な学習の時間論	1
教育方法論	2
生徒指導論	1
教育相談	1
栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(栄養教諭)	2

〔注〕 上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。

②医療福祉学科

授業科目	単位数
介護概論（介護技術を含む）	2
社会福祉総合実習	2
福祉科教育法Ⅰ	2
福祉科教育法Ⅱ	2
教育原論	1
教職概論	2
教育制度論	2
学校教育心理学	2
特別支援教育論	1
教育課程論	2
総合的な学習の時間の指導法	1
特別活動の指導法	2
教育方法論	2
生徒指導論	1
教育相談	1
進路指導・キャリア教育論	1
教育実習（高）	3
教職実践演習（高）	2

〔注〕 上記科目は自由科目とし卒業要件の単位数には含まない。

別表第2 入学検定料

(単位：円)

種別	金額
入学検定料	35,000

別表第3 学費

各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

(1) 保健医療学部・総合リハビリテーション学部・看護学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	250,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	715,000	715,000	※ 入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	45,000	45,000	
	計	760,000	760,000	
2年次以降	授業料	715,000	715,000	
	教育充実費	100,000	100,000	
	計	815,000	815,000	

(2) 薬学部

科目	納期	納入額
入学金	入学手続時	450,000

年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	860,000	860,000	※ 入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	50,000	50,000	
	計	910,000	910,000	
2年次以降	授業料	860,000	860,000	
	教育充実費	100,000	100,000	
	計	960,000	960,000	

(3) 健康科学部（心理学科、医療経営学科、医療福祉学科）

科目	納期	納入額		備考
入学金	入学手続時	前期	後期	
		250,000		
年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	515,000	515,000	※ 入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	25,000	25,000	
	計	540,000	540,000	
2年次以降	授業料	515,000	515,000	
	教育充実費	75,000	75,000	
	計	590,000	590,000	

(4) 健康科学部（医療栄養学科）

科目	納期	納入額		備考
入学金	入学手続時	前期	後期	
		250,000		
年次	科目	納入額		備考
		前期	後期	
1年次	授業料	515,000	515,000	※ 入学年度の前期分学費は入学手続時に納入
	教育充実費	45,000	45,000	
	計	560,000	560,000	
2年次以降	授業料	515,000	515,000	
	教育充実費	100,000	100,000	
	計	615,000	615,000	

〔注〕 1. 学費の金額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

2. 第20条もしくは第21条により編入学または転入学を許可された者は、新所属の年次の学生に適用される学費を適用する。

3. この規定において1年次とは在籍1年目をいう。ただし、編入学または転入学を許可された者は除く。

別表第4 研究料

(単位：円)

学部\期間	6ヶ月	1年
保健医療学部	205,000	410,000
総合リハビリテーション学部	205,000	410,000
看護学部	205,000	410,000
薬学部	285,000	570,000
健康科学部	155,000	310,000

別表第5 履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	1単位当たり
総合リハビリテーション学部	20,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	
健康科学部	15,000	

別表第6 在籍料

(単位：円)

区分	金額
前期	60,000
後期	60,000

別表第7 研修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	月額
総合リハビリテーション学部	20,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	
健康科学部	15,000	

別表第8 教育職員免許状の種類および免許教科

教職課程を置く学部・学科・専攻		免許状の種類	免許教科
健康科学部	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状	
	医療福祉学科	高等学校教諭一種免許状	福祉

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更の内容）	1
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容	5
4. 校舎等施設、設備の変更内容	21

1. 学則変更（収容定員変更の内容）

広島国際大学学則第4条に定めている学生定員について、平成32年度から次の通り、収容定員を変更する。併せて、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科、医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科、心理学部心理学科、医療栄養学部医療栄養学科については、平成32年4月に学生募集を停止し、在籍学生が卒業した時点で廃止する。

- ① 保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の収容定員を増加させる。
- ② 保健医療学部救急救命学科を新設（届出）する。
- ③ 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科の収容定員を増加させる。
- ④ 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）を新設する。

これらの、収容定員増及び学部学科改組ならびに健康スポーツ学部の新設（認可申請）に伴い、本学全体の入学定員は940人から1,060人とし、収容定員を4,060人から4,500人に変更する。

広島国際大学収容定員増及び学部学科改組新設全体像

平成31年度					
学部・学科体制					
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員		
			入学 定員	編入学 3年次	収容 定員
東 広 島	保健医療	診療放射線	70	-	280
		医療技術	130	-	520
		(臨床工学専攻)	(50)	-	(200)
		(臨床検査学専攻)	(40)	-	(160)
		(救急救命学専攻)	(40)	-	(160)
		計	200	—	800
	総合リハビリテーション	リハビリテーション	130	-	520
		(理学療法学専攻)	(60)	-	(240)
		(作業療法学専攻)	(40)	-	(160)
		(言語聴覚療法学専攻)	(30)	-	(120)
		リハビリテーション支援	30	-	120
		(義肢装具学専攻)	(30)	-	(120)
	計	160	—	640	
	医療福祉	医療福祉	100	10	420
		(医療福祉学専攻)	(50)	-	(200)
(介護福祉学専攻)		(20)	-	(80)	
(保育学専攻)		(30)	-	(120)	
計	100	10	420		
広島	医療経営	医療経営	90	-	360
		計	90	—	360
東 広 島	心理	心理	90	10	380
		計	90	10	380
呉	医療栄養	医療栄養	60	-	240
		計	60	—	240
	看護	看護	120	10	500
		計	120	10	500
	薬	薬	120	-	720
		計	120	—	720
合 計			940	30	4,060



平成32年度						
学部・学科体制						
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員			
			入学 定員	編入学 3年次	収容 定員	
東 広 島	保健医療	診療放射線	70	-	280	
		医療技術	100	-	400	
		(臨床工学専攻)	(50)	-	(200)	
		(臨床検査学専攻)	(50)	-	(200)	
		救急救命	50	-	200	
		計	220	—	880	
	総合リハビリテーション	リハビリテーション	180	-	720	
		(理学療法学専攻)	(80)	-	(320)	
		(作業療法学専攻)	(40)	-	(160)	
		(言語聴覚療法学専攻)	(30)	-	(120)	
		(義肢装具学専攻)	(30)	-	(120)	
		学生募集停止				
	計	180	—	720		
	学生募集停止					
	呉	看護	看護	120	10	500
計			120	10	500	
薬			120	-	720	
計	120	—	720			
東 広 島	健康科	医療福祉	100	-	400	
		(医療福祉学専攻)	(50)	-	(200)	
		(介護福祉学専攻)	(20)	-	(80)	
		(保育福祉学専攻)	(30)	-	(120)	
	医療経営	90	-	360		
	心理	100	-	400		
呉	医療栄養	医療栄養	60	-	240	
		計	60	—	240	
一		計	350	—	1,400	
東 広 島	健康スポーツ	健康スポーツ	70	-	280	
		計	70	—	280	
合 計			1,060	10	4,500	

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の定員変更

臨床検査技師の職務は、日本国民の医療及び公衆衛生の向上が目的であり、国民や他の医療職種から期待されているのは、臨床検査の専門家としての「医療の実践」である。臨床検査技師が医療のため何ができるのか、何をすべきかを中心に据えた職域拡大が求められている。また、高度な技術をより生かすための高度な臨床知識が要求されるようになり、高度先進医療現場においては、決まった職務を実践するだけでなく、臨床のニーズに創造的に対応できる能力が求められている。医療の現場において「チーム医療」の考え方が進むなか、臨床検査技師は専門的な「検査」の知識や技術を持つ存在として、重要視されている。医療の高度化により、簡単な検査は機械化される一方で、今後一層、専門性の高い臨床検査技師が求められており、検査にまつわる重要なデータを提供する臨床検査技師としての業務は重要性が増している。

このことから、保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻における開設以降の入学者選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえで、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて、入学者選抜の機能が低下しない範囲である入学定員 40 名から 10 名増の 50 名とする収容定員変更を行うこととした。

（2）保健医療学部救急救命学科の設置

高齢化が急速に進展する中、救急車両の出場回数は、年々増加傾向にあり、今後も救急救命措置を必要とする人の数が増えることが予測される。救急搬送でいかに多くの命を救うかということが大きな課題となっている現在、専門的知識・技術を有する救急救命士の需要は年々増加している。さらに、日本では自然災害が頻発し、災害への関心が高まるなか、地域社会での救急救命士の役割が注目されている。

このような状況を踏まえ、社会的ニーズに対応及び開設以降の入学者選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえで「保健医療学部医療技術学科救急救命学専攻」を「保健医療学部救急救命学科」に昇格し、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて入学者選抜の機能が低下しない範囲である入学定員 40 名から 10 名増の 50 名とする収容定員変更を行うこととした。

(3) 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科の定員変更

日本は着実に超高齢社会の歩みを進めており、2017年の全人口に対する高齢者の割合は、厚生労働省の試算では75歳以上（後期高齢者）が13.8%、65～74歳（前期高齢者）を含めると27.7%とされている。また、認知症の高齢者は2020年には600万人を超えると推測され高齢化率の上昇により介護サービス難民の発生が懸念されている。今後、医療・福祉サービス従事者は、高齢者をいかに住み慣れた地域・自宅で生活させられるか、社会生活に適応させられるかが求められる。そのためには、専門的な視点で環境を整える必要があり、可能な限り自立した生活の維持と再構築ということが理学療法士としての責務であり、ますます理学療法士の需要増加が見込まれる。

このことから、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻における開設以降の入学選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえにおいて、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて、入学選抜の機能が低下しない範囲での収容定員変更を行うこととした。

また、リハビリテーション関連職種については多岐にわたり、それぞれの職種の役割と職種間連携を認識して患者・利用者に対して最も効果的な方法を探ることを提案しなければならない。

このような状況を踏まえ、社会的ニーズに対応するため、1学科1専攻である「総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻」を「リハビリテーション学科」に移行し「理学療法学専攻」、「作業療法学専攻」、「言語聴覚療法学専攻」、「義肢装具学専攻」の4専攻の教育体制を構築する。

(4) 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）の設置

本学が有する健康を軸とした幅広い学問領域を活かし、本学の様々な教育・研究を地域のあらゆる組織とつなぐ、実践的な取り組みを推進できる教育体系の整備を行うため、1学部1学科で構成されている「医療福祉学部 医療福祉学科」、「心理学部 心理学科」、「医療経営学部 医療経営学科」、「医療栄養学部 医療栄養学科」を「健康科学部」として集約し、各学科の学問領域を横断的に学び、学際的かつ実践的な取り組みを推進し、幅広い組織で活躍できる人材の育成を目指す。

具体的には、本学の特色である「専門職連携教育」を基盤とし、健康増進を形成する基本要素となる「身体活動・運動、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善について、幅広く学ぶことにより、地域や一般企業等における健康増進・組織活性化に向けて貢献できる人材の育成を目指す。

また、「心理学科」については、公認心理師法が成立したことに伴い、公認心理師養成課程を設置し、基礎となる心理学部心理学科の入学定員 90 名から 10 名増の 100 名として、設置する。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容

（1）保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻

ア 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻は、急速に高度化・専門化する臨床検査領域に対応でき、さらに、人間性を尊重し、心豊かな医療人としてチーム医療で活躍できる「臨床検査技師」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「臨床検査技師学校養成施設指定規則」に準じた授業科目構成としている。なお、1年次から専門教育科目を配置することで資格職としての意識を早期から高めており、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。2年次以降の専門科目では、病理組織細胞学、臨床血液学、臨床化学、臨床微生物学、臨床生理学などの専門知識を修得する。さらに、4年次の病院実習を通して実践能力、命の尊厳を基とした医療人としての人間性を育むための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では50人とし、実験・実習形式では実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて、臨床検査技師学校養成所指定規則に準じた人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は5人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

入学定員が10名増となるが、以下の理由により教育の質は担保できると考える。
医療技術学科専任教員19人（うち教授8人）のうち、本専攻では専門科目を担当

する専任教員9人（うち教授5人）で構成している。指定規則に準じ、臨床検査技師養成学校として必要な教員数を教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

（2）保健医療学部救急救命学科

ア 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学科の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

保健医療学部救急救命学科では、急速に高度化・専門化する救急の現場に対応でき、さらに、人間性を尊重し、心豊かな医療人として規律をもって活躍できる「救急救命士」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「救急救命士学校養成施設指定規則」に準じた授業科目構成としている。なお、時代の要請と社会実勢に応じた内容の授業科目と教授方法を取り入れ、1年次から専門教育科目を配置することで「救急救命士」としての意識を早期から高め、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学修プログラムを配している。初年次から2年次にかけて学ぶ専門基礎科目を通じて、救急救命士に必要な基礎学力を育み、2年次以降の専門科目では、救急現場活動学、救急災害システム論等の各分野について学び、全学年に配当されている実習科目を通じて、救急救命士に必要な技術を修得する。3・4年次に行う演習・実習では、

医療行為（特定行為）や実践能力を修得し、さらに、学外実習を通じて救急医療に携わる医療従事者に必要な人間性を養うための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。また、本学科の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では50人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて救急救命士学校養成所指定規則に準じた人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は6人～8人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後にかかれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を

導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

基礎となる保健医療学部救急救命学専攻から入学定員が 10 名増となるが、専任教員（教授）を 1 人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科の専任教員 8 名（うち教授 4 人）のうち、7 名は救急救命士として現場経験を持つ教員であり、中には救急現場を 20 年以上経験してきた教員もおり、本学科が目指す、救急救命学の広い領域での知識・技術をもとに、日々進歩し続ける病院前救護の変化に対応できる能力や医療チームの牽引役になることができる能力を持てる人材を育成するための教員を配置している。

また、指定規則に準じ、救急救命士養成学校として必要な教員数や教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

(3) 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・義肢装具学専攻

ア 教育課程の変更内容

理学療法学専攻収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。

義肢装具学専攻については、既設のリハビリテーション支援学科からの移行である。入学定員の変更もないため、教育課程の変更はないが、次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応

させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

理学療法学専攻及び義肢装具学専攻では、今後の社会変化や医療技術の進歩にも確実に対応できるよう、多様なリハビリテーション技術を、幅広い専門知識と技術に裏打ちされた問題解決能力を用いて総合的に提供でき、さらに、対象となる人々への深い人間愛や関係職種との協調性など、豊かな人間性を持つ「理学療法士」及びより長い期間、心豊かに人生を過ごせるよう、高齢者や障害のある方の生活自立や生活の質の向上を実現するリハビリテーション支援者として、義肢装具や福祉用具、福祉機器等の幅広い知識を有する豊かな人間味あふれる「義肢装具士」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」、「義肢装具士学校養成所指定規則」に則った授業科目構成としている。

なお、時代の要請と社会実勢に応じた内容の授業科目と教授方法を取り入れ、1年次から専門教育科目を配置し、「理学療法士」、「義肢装具士」としての誇りや喜びを感じられる教育を行うとともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。初年時から、専門教育科目の修得のための基礎を築き、確固とした基礎学力を基盤に、柔軟な応用力をもった専門職能力を修得し、演習、実習等でグループ学修を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高めるとともに能動的な学修習慣を修得する。さらに、専門分野にとどまらない幅広いニーズに対応できる人材の育成を行うための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。理学療法学専攻の講義形式は80人、義肢装具学専攻の講義形式は30人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、施設などの学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて理学療法学専攻は理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に則って1グループ40人、義肢装具学専攻は義肢装具士学校養成所指定規則に則って1

グループ 30 人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は 6 人～7 人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1 年次及び 2 年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA 制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

理学療法学専攻の入学定員が 10 名増となるが、以下の理由により教育の質は担保できると考える。

リハビリテーション学科専任教員 39 人（うち教授 15 人）のうち、理学療法学専攻では専門科目を担当する専任教員 15 人（うち教授 6 人）で構成しており、小児領域、循環器領域、整形外科領域、スポーツ医学領域、中枢神経障害領域、基礎医学領域、社会医学領域といった各領域の教員を配置している。また、指定規則に則り、理学療法士養成学校として必要な教員数を教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

なお、義肢装具学専攻については、既設のリハビリテーション支援学科からの移行である。入学定員の変更もないため、事実上教員組織に変更はない。

(4) 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）

ア 医療福祉学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から収容定員変更はしない。また、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療福祉学科の教育目標は、個人の尊厳及び主体性を尊重し、その自己実現と社会参加を促進する社会福祉を探究し、地域住民及び他の専門職と協働できる社会福祉専門職を養成するものである。この教育研究上の目標を達成するための教育課程は、資格取得のための講義や演習、学外実習に留まらず、専門的な学びを深めるために、地域住民や専門機関との連携の中で、専門職に求められる知識や技術について、実践場面での体験を中心とした学修内容を重視している。豊かな人間性を涵養し、高度な専門知識・技能を教授するために、学生の個性や自主性が発揮できるよう配慮することを編成の基本方針とする。

この基本方針を基に、「専門基礎科目」「社会福祉系科目」「精神保健福祉系科目」「介護福祉系科目」「保育福祉系科目」「関連科目」「専門演習」の7科目区分を想定し、各区分で必要となる知識・技能、及び実践力の涵養のための科目群を履修モデルとして設定する。現代における諸課題への対応、健康で文化的な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで人々の福祉向上に貢献ができる人材の育成を目標とし、教育課程を編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では100人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて社会福祉士に関する科目を定める省令、児童福祉法施行規則、社会福祉士介護福祉士学校指定規則などに則った人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は5人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後にかかれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から入学定員の変更はないが、専任教員を1人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科では、ソーシャルワークを基盤として、「社会福祉士」、「精神保健福祉士」、「介護福祉士」、「保育士」として総合的に支援ができる福祉専門職の養成を目指している。多様化する福祉ニーズに対応できる専門職の養成が行えるよう、豊富な教育研究経験をもつ教員で構成しており、専任教員21人（うち教授7人）を配置し、十分な教育研究体制を整備する。主な保有資格としては社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士、看護師を有する教員を揃えている。本学科では、医療機関や社会福祉施設などで実務の経験のある教員を配置することで、学術面だけでなく実務経験も考慮した教員構成を確保している。

イ 医療経営学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から収容定員変更はしない。また、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療経営学科では、「医療マインドと高い倫理性を持ちながら、社会的価値を高める経営手法を修得し、広い視野から医療に関わる事業組織の運営に貢献する人材」を養成することを目的に、幅広い教養教育及び導入教育を踏まえ、医療経営学

に関する基礎知識の修得を徹底して行い、そのうえで高度かつ実践的な専門教育を実施する。

医療経営を修得するためには、医療の特殊性を踏まえ、ヒト、モノ、カネ、情報のマネジメントを学修する必要がある。このため、専門教育科目では、経営学・経済学系科目、医療・医学系科目、情報学系科目をバランスよく配置し、多様な専門領域を効果的に学修できるカリキュラムを編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は90人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して、必要に応じて4人～5人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は3人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、演習科目、実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い演習科目を導入して、特定の専門分野における科学的思考を深める学修を行っていく。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイ

ダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から入学定員の変更はなく、専任教員数に変更はないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

医療経営学という幅広い教育研究を行うために、経営学、経済学、情報学、医学などを専門とする教員を中心に専任教員 14 人（うち教授 7 人）を配置し、十分な教育研究体制を整備する。教員組織は、主にこれまで医療経営学科での豊富な教育研究経験をもつ教員で構成しており、医師免許を有する教員、医療機関や医療関連企業などで実務の経験のある教員を配置し、学術的側面と実務的側面のバランスに配慮した教員構成を確保する。医療経営学という学際的分野の学科であることもあり、教員間での専門領域は極めて多様である。こうした多様性を活かした共同研究体制も構築しつつあり、基礎と応用、研究と実践というバランスの取れた研究体制も整備している。

ウ 心理学科

(ア) 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

心理学科の教育目標は、「心理学の専門知識とコミュニケーション技術を活かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。そして、自らを信頼する力を持ち、自らの意志・感情・行動を律することができ（自律）、他者を尊重し、他者のこころを理解することができ（共感）、社会のために他者とともに協力して行動する（協働）力によって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する」ことである。

この目標を達成するための教育課程は、従来の講義と学内における演習中心の学びから、更にそれに続けて学外実習までを学びの体系とし、様々な社会現場での体験学習を重視した内容で構成される。また、大学設置基準の大綱化の趣旨に準拠して、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養すること、高度な専門知識・技能を教授するにあたり学際的な分野を取り入れるなどして教育の多様化を図り、学生の個性、自主性を発揮できるよう配慮することを編成の基本方針とする。

この基本方針を基に、心理学を修めた学生のその後の進路として、「臨床心理学専門家」「医療・健康・福祉」「産業・社会」の3分野を想定し、各分野で必要となる知識・技能、及び実践力の涵養のための科目群を履修モデルとして設定する。現代社会が直面する諸課題への対応、人々が健康で上質な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで、人々の福祉向上への貢献ができる人材の育成を目標とし、教育課程を編成している。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1 クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は120人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて10人～30人のグループに分けて行

なう。

チュートリアルなどの演習科目は 10 人程度とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1 年次では専門教育科目のうち心理学基幹分野の基礎科目を中心とし、年次進行に伴いより専門応用的な科目群を導入する。学びの特徴として、講義科目と学内演習並びに学外実習を段階的に学修していき、その間に Can-do チェックを活用することで、現実の社会現場における実践力の獲得を促す。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA 制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し年間履修申請単位数の上限を半期 24 単位、年間で原則 48 単位に設定としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる心理学部心理学科から入学定員が 10 名増となるが、専任教員を 5 人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科を構成する専任教員は 18 人であり、心理学系教員、人間工学系教員、人文学系教員で構成されている。心理学系教員は 12 人おり、そのうち 5 人が臨床心理士であり、7 人が基礎・応用心理学系である。このように、臨床心理士有資格者等、専門職業人養成のための多様な心理専門家を配置している。

エ 医療栄養学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から収容定員変更はしない。また、次の教育

を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療栄養学科の教育目標は、基本的な医学・薬学の知識をもち、身近な食材・食品の成分や効能を科学的に理解し、さらには摂食嚥下機能にも配慮できる食形態まで対応できる力を備え、それを個々の健康状態にあった献立作成等に活かすとともに、健康・栄養状態の維持・改善を目的とした栄養教育・指導・管理を行うことで『食と栄養の力』でこころとからだを健康にする管理栄養士を養成することである。健康・医療・福祉分野での教育・実習の実績を活かしながら、他学部・他学科あるいは地域社会と連携した独自のカリキュラムを展開することで、医療人として高度で専門的な知識や技能のみならず、高い倫理観を備え豊かな人間性を持った「管理栄養士」の養成を実現することである。

この教育目標を達成するための教育課程は、「管理栄養士」の資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「管理栄養士学校養成指定規則」に基づき授業科目を編成し、医療人たる管理栄養士としての意識を涵養し、質の高い管理栄養士としての学問と技能を修得させ、さらに統合的健康管理のできる管理栄養士の育成と社会をリードする人材の育成を目標として、現代社会が直面する諸課題への対応、人々が健康で上質な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで、人々の福祉向上への貢献ができるようにしていくための、教育課程を編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は60人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を考慮して必要に応じて管理栄養士学校指定規則に則り10人～30人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は6人～7人とする。外国語系科目、卒業研究、臨地実習等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い専門応用分野の科目群を導入して、臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から入学定員の変更はないが、専任教員1人増員するため、教育の質は担保できると考える。

専門的知識・技能及び倫理観を兼ね備え、人々の健康維持・増進、病気の予防・改善を担う管理栄養士を養成するため、管理栄養士、医師、薬剤師などの資格を有する専任教員15人（うち教授10人）にて教員組織を編成する。

配置においては、管理栄養士学校指定規則によるとともに、本学科が目指す「医療人として食と栄養の力で活躍できる人材」を養成できる体制にしている。従来の栄養領域の学問体系の枠にとらわれることなく、また、栄養学領域、医学領域及び薬学領域の連携を図り、学際的な研究を遂行できるような体制を整えている。

以上、上記（1）～（4）に記載したとおり、教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織は、大学全体の収容定員変更前と比較しても同等以上の教育環境が保たれている。

4. 校舎等施設、設備の変更内容

(1) 校地・運動場

本大学は、広島県内に2キャンパスを有しており、東広島市に「東広島キャンパス」、呉市に「呉キャンパス」を置いている。

校地面積については、東広島キャンパス 338,372.98 m²、呉キャンパス 71,373.85 m²であり、本大学全体では 409,746.83 m²（その他面積含む）となり大学設置基準を大きく上回っている。運動場及び体育施設について、東広島キャンパスには、運動用地が 173,172.11 m²あり、多目的グラウンド、陸上競技場、野球場、サッカー場2面、テニスコート4面、体育館、第1練習場（柔道場）、第2練習場（剣道場 兼 空手道場）、弓道場を整備している。また、呉キャンパスは運動用地が 16,724.25 m²あり、総合グラウンド（サッカー場、野球場）、体育館（1階はアリーナ、2階は第1練習場〔卓球場〕、第2練習場〔トレーニングルーム〕）、第3練習場（弓道場）、第4練習場（空手道場）を整備している。

また、学生の休息場所として、東広島キャンパスは1号館1階食堂、2号館1階食堂、2階コミュニティールーム、8階自習室があり、呉キャンパスには1号館1階食堂、6号館6階コミュニティールームを整備している。

(2) 図書館

本学では、東広島キャンパス及び呉キャンパスの両キャンパスに図書館を置いており、図書 196,681 冊（うち外国書 30,198 冊）、学術雑誌 21,265 冊（うち外国書 9,526

冊)を有している。

東広島キャンパスの図書館は1号館と3号館に配置しており、2館の延べ面積は1,658.81㎡、閲覧座席数365席、視聴覚ブース11箇所、学生用検索端末機18台を設置し、館内では有線LAN、無線LANが使用できる環境となっている。また、貸出用ノート型パソコン14台を用意している。

呉キャンパスの図書館は5号館に配置しており、面積は1962.50㎡、閲覧座席数158席、視聴覚ブース10箇所、検索端末機11台を設置し、館内では有線LAN、無線LANが使用できる環境となっている。また、貸出用ノート型パソコン10台を用意している。

図書館コンピュータシステムにより、全キャンパス図書館の蔵書検索、利用状況問合せ、図書貸出予約などを可能としており、充実した教育・研究が実施できるよう整備している。

また、統合検索システム(Primo)を導入し、大学内(東広島キャンパス・呉キャンパス)からのアクセスであれば、本学が所蔵している図書の検索及び本学で契約している電子ジャーナル・データベース、学術協会等が公開している学術論文、各大学図書館等のリポジトリをキーワードで一括検索でき、学術的に信頼性の高い情報へのアクセスと、学術情報資源を効率よく収集できる環境を調えている。

(3) 校舎等施設

本学では、東広島キャンパス及び呉キャンパスの両キャンパスにおいて、講義室94室、演習室453室、実験実習室277室、情報処理学習施設11室の他、教員研究室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、保健室、事務室、学生自習室、学生食堂等を有している。

このように、学生の教育環境における校舎の増強などの必要性はなく、現状のまま、収容定員変更前と同等の教育環境を整えていることから、収容定員の変更に伴う施設・設備の変更は行わないが、今後とも必要に応じて施設・設備の充実に努めることとする。

添付資料 目次

1. 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻	1
2. 保健医療学部 救急救命学科	6
3. 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	11
4. 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻	16
5. 健康科学部 医療福祉学科	21
【参考】健康科学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻	30
【参考】健康科学部 医療福祉学科 介護福祉学専攻	36
【参考】健康科学部 医療福祉学科 保育福祉学専攻	42
6. 健康科学部 医療経営学科	48
7. 健康科学部 心理学科	53
8. 健康科学部 医療栄養学科	57

教育課程等の概要 (保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	国際 国際社会の理解	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○			1					兼2 オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼2	
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(3科目)	—	0	3	0	—			1	0	0	0	0	兼5 —	
	学際 人間と思想・文化	思想・文化を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○								兼2	
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼3 —	
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2 —	
	人間と科学・技術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2 —	
	基礎教育科目	共通基礎 人文科学	哲学	1・2前・後	2			○								兼1
			文学	1・2前・後	2			○								兼1
			心理学	1・2前・後	2			○								兼2
			日本語表現法	1・2前・後	2			○								兼1
			芸術学	1・2前・後	2			○								兼1
文化人類学			1・2前・後	2			○								兼1	
コミュニケーション論			1・2前・後	2			○								兼1	
		小計(7科目)	—	0	14	0	—			0	0	0	0	0	兼7 —	
社会科学		法学	1・2前・後	2			○								兼1	
		経済学	1・2前・後	2			○								兼1	
		歴史学	1・2前・後	2			○								兼1	
		政治学	1・2前・後	2			○								兼1	
		教育学	1・2前・後	2			○								兼1	
		小計(5科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼5 —	
自然科学	統計学	1・2前・後	2			○								兼3		
	数学基礎	1前	1			○								兼2		
	数学	1・2前・後	2			○								兼2		
	物理学	1・2前・後	2			○				1						
	物理学実験	1・2前・後	1								○			兼2 共同		
	化学	1・2前・後	2			○								兼1		
	化学実験	1・2前・後	1									○		兼3 共同		
	生物学	1・2前・後	2			○								兼2		
	生物学実験	1・2前・後	1							1		2	1	共同		
	小計(9科目)	—	0	14	0	—			1	1	2	1	0	兼11 —		
情報処理	情報基礎演習	1前	1											兼5 共同		
	情報倫理・応用演習	1前・後	1											兼6 共同		
	情報統計演習	1・2前・後	1							1				兼5 共同		
	情報管理演習	1・2前・後	1							1				兼5 共同		
	情報発展演習	1・2前・後	1							1				兼5 共同		
		小計(5科目)	—	2	3	0	—			0	1	1	0	0	兼7 —	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	英語Ⅰa	1前	1			○				1					兼4	
	英語Ⅰb	1後	1			○				1					兼4	
	英語Ⅱa	1前	1			○									兼5	
	英語Ⅱb	1後	1			○									兼5	
	英語Ⅲa	2前		1		○									兼3	
	英語Ⅲb	2後		1		○									兼3	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後		1		○									兼3	
	検定英語	2・3・4前・後		1		○				1					兼2	
	ドイツ語a	1前		1		○									兼1	
	ドイツ語b	1後		1		○									兼1	
	中国語a	1前		1		○									兼2	
	中国語b	1後		1		○									兼2	
	韓国語a	1前		1		○									兼2	
	韓国語b	1後		1		○									兼2	
小計(14科目)	—	—	4	10	0	—			0	1	0	0	0	兼16	—	
保健体育	スポーツⅠ	1前・後	1			○				1					兼1 共同	
	スポーツⅡ	1前・後		1				○		3					兼1 共同	
	スポーツⅢ	1前・後		1				○		3					兼1 共同	
小計(3科目)	—	1	2	0	—			0	3	0	0	0	兼1	—		
キャリア教育	Global Communication	2・3前・後		2		○									兼3	
	小計(1科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—	
留学生特例科目																
基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情Ⅰ	1前		2			○							兼1
			日本事情Ⅱ	1後		2			○							兼1
	小計(2科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—	
	外国語	日本語Ⅰa	1前		1				○							兼1
		日本語Ⅰb	1後		1				○							兼1
日本語Ⅱa		2前		1				○							兼1	
日本語Ⅱb	2後		1				○							兼1		
小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—		
共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0	—			2	5	3	1	0	兼42	—
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1					○							兼7 共同	
	チュートリアル	1前	1					○		5	2	6				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1					○			1	1	1		共同	
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1					○			1	2			兼2 共同	
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3前・後		1				○							兼9 共同	
	専門職連携総合演習Ⅱ	3・4前・後		1				○		2		2			兼2 共同	
	防災・危機管理学	1・2前・後		1				○							兼3 オムニバス	
	地域創生論	1・2前・後		1				○							兼4 共同	
小計(8科目)	—	4	4	0	—			6	2	8	1	0	兼24	—		
スタンダード科目 合計(8科目)			—	4	4	0	—			6	2	8	1	0	兼24	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	医療技術学基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				4				共同	
	医療技術学基礎演習Ⅱ	2前・後	1				○				4				共同	
	早期体験演習	1前・後	1				○		4		4				共同	
	生命倫理	1前・後	2			○			2		4				共同	
	医療英語	2前・後		2		○			1							
	小計（5科目）	—	5	2	0	—			5	0	4	0	0	0	—	
	人体の構造と機能	人体構造学	1前・後	2			○			1						共同
		人体構造学実習	1前・後	1					○	1		3				共同
		人体生理機能学	1前・後	2			○			1						共同
		人体生理機能学実習	2前・後	1					○	1		2	1			共同
		生化学	1前・後	2			○					1				
	小計（5科目）	—	8	0	0	—			2	0	3	1	0	0	—	
	医学概論と関連疾病の基礎	医学概論	1前・後	1			○			1						
		病理学	2前・後	2			○			1						
		小計（2科目）	—	3	0	0	—			2	0	0	0	0	—	
	保健医療福祉と関係法規	関係法規Ⅱ	2前・後	1			○			1						
		公衆衛生学	1前・後	2			○			1						
		健康食品学	2前・後		2		○					1				
		食品衛生学	2前・後		2		○					1				
		小計（4科目）	—	3	4	0	—			1	0	1	0	0	0	—
医療工学及び情報科学	医用工学概論	1前・後	2			○			1	1					オムニバス	
	医用工学概論実習	2前・後	1					○	1	1		1			共同	
	情報科学概論	2前・後	2			○			1							
	小計（3科目）	—	5	0	0	—			2	1	0	1	0	0	—	
専門分野	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			1	0	0	0	0	—	
	形態検査学	病理組織細胞学	2前・後	2			○			1						
		病理組織細胞学演習	2前・後	1				○		1						共同
		病理組織細胞学実習	2前・後	1					○	1		2				共同
		臨床血液学	3前・後	2			○					1				
		臨床血液学演習	3前・後	1				○				1				
		臨床血液学実習	3前・後	1					○	1		2			兼1	共同
		臨床細胞診断学	3前・後	2			○			1						
	小計（7科目）	—	10	0	0	—			2	0	4	0	0	兼1	—	
	生物化学分析検査学	臨床検査総論Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		臨床検査総論実習Ⅰ	2前・後	1					○	2		1			兼1	共同
臨床化学		2・3前・後	2			○					1					
臨床化学演習		2・3前・後	1				○				1					
臨床化学実習		2・3前・後	1					○			2				共同	
放射性同位元素検査技術学		3前・後	2			○					1					
遺伝子・染色体検査学演習・実習		3前・後	2				○	○			1					
バイオテクノロジー演習		2前・後		1			○		1							
小計（8科目）	—	11	1	0	—			3	0	3	0	0	兼1	—		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	病 因・ 生 体 防 御 検 査 学	臨床微生物学	2前・後	2			○			1						兼1 共同 オムニバス 共同 共同
		臨床微生物学演習	2前・後	1				○				1				
		臨床微生物学実習	2前・後	1					○		1					
		臨床免疫学	3前・後	2			○			1		1				
		臨床免疫学演習	3前・後	1				○		1		1				
		臨床免疫学実習	3前・後	1					○	1		1				
		移植・輸血検査学	3前・後	2			○			1						
		感染制御学	3前・後	2			○			1						
	小計（8科目）	—	—	12	0	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—
	生 理 機 能 検 査 学	臨床生理学	3前・後	2			○					1				兼1 共同 兼1
		臨床生理学演習	3前・後	1				○				1				
		臨床生理学実習	3前・後	1					○	1		2				
		医用画像工学	3前・後		2		○									
	小計（4科目）	—	—	4	2	0	—	—	—	1	0	2	0	0	兼2	—
	検 査 総 合 管 理 学	臨床検査総論Ⅱ	2前・後	2			○			1						兼1 共同 共同
		臨床検査総論実習Ⅱ	3前・後	1					○	2		1				
		検査総合管理学	3前・後	2			○			1		1				
	小計（3科目）	—	—	5	0	0	—	—	—	2	0	2	0	0	兼1	—
	医 療 安 全 管 理 学	医療安全管理学	2前・後	1			○			1		1				共同
		医療安全管理学実習	2前・後	1					○	1		1				
	小計（2科目）	—	—	2	0	0	—	—	—	1	0	1	0	0	0	—
	臨 床 実 習	臨床検査学実習	4前・後	6					○	4		4				0 —
		国際臨床検査学	2・3前・後		1				○			2				
		小計（2科目）	—	—	6	1	0	—	—	—	4	0	4	0	0	
	卒 業 研 究	卒業研究方法論	3前・後	2					○	4		4				0 —
		卒業研究	4前・後	2					○	4		4				
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	—	—	—	4	0	4	0	0	
専 門 総 合 分 野	総 合 技 術	臨床検査学演習Ⅰ	3前・後	1				○	4		4				0 —	
		臨床検査学演習Ⅱ	3前・後	1				○	4		4					
		臨床検査学演習Ⅲ	4前・後	1				○	4		4					
		形態・生理機能検査学総合演習	4前・後	1				○	2		1					
		生物化学分析検査学総合演習	4前・後	1				○			2					
		生体防御検査学総合演習	4前・後	1				○	2		1					
	小計（6科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	4	0	4	0	0		0
臨 床 工 学 ・ 救 急 救 命 学 分 野	薬理学	3前・後		2		○								兼1	兼1 オムニバス 共同	
	看護学概論	3前・後		2		○			1					兼1		
	基礎数学演習	1前・後		1			○				1					
	基礎物理学演習	1前・後		1			○				1					
	応用数学	2前・後		2		○					1					
	医工学概論	1前・後		2		○					1					
	電気工学	1前・後		2		○					1					
	電気工学実習	2前・後		1				○	1	1	1					
	電子工学	2前・後		2		○					1					
	電子工学実習	2前・後		1				○	1	1	1					
	物性工学	2前・後		2		○					1					
	機械工学	3前・後		2		○			1							
	材料工学	3前・後		2		○						1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
臨床工学・救急救命学分野	計測工学	2前・後		2		○			1							
	医用機器学概論	3前・後		2		○					1					
	生体機能代行技術学概論	2前・後		2		○					2	1				オムニバス
	体外循環技術学	3前・後		2		○					1					
	呼吸療法技術学	3前・後		2		○					1					
	血液浄化技術学	3前・後		2		○			1			1				オムニバス
	不整脈治療技術学演習	3前・後		1			○				1					
	生体機能代行技術学実習	3前・後		3				○			2	1				共同
	医用治療機器学	2前・後		2		○					1					
	医用機器学実習	2前・後		1				○	1		2	1				共同
	生体計測技術学	2前・後		2		○			1							
	生体計測技術学実習	3前・後		1				○	1		2	1				共同
	機器安全管理学	2前・後		2		○			1							
	機器安全管理学実習	3前・後		1				○	1		2	1				共同
	臨床医学総論Ⅰ	2前・後		2		○			1							
	臨床医学総論Ⅱ	3前・後		2		○			1							
	臨床医学総論Ⅲ	3前・後		2		○			1							
	関係法規Ⅰ	1前・後		1		○			1							
	臨床工学実習	4前・後		4				○	1	1	2	1				兼4 共同
救急救命処置演習・実習Ⅰ	1前・後		2				○	1	1						兼4 共同	
救急救命処置演習・実習Ⅱ	1前・後		2				○	1	1	1					兼4 共同	
救急医学総論	1前・後		2			○				1						
小計（35科目）		—	0	64	0	—	—	—	4	3	4	1	0	兼6	—	
専門教育科目 合計（98科目）		—	88	74	0	—	—	—	8	3	8	1	0	兼11	—	
合計（165科目）		—	99	150	0	—	—	—	8	8	9	1	0	兼66	—	
学位又は称号	学士（臨床検査学）	学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）											
卒業要件及び履修方法					授業期間等											
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、共通教育科目必修科目7単位、共通教育科目選択科目11単位、スタンダード科目必修科目4単位、スタンダード科目選択科目2単位、専門教育科目必修科目88単位、専門教育科目選択科目12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○ 共通教育科目 必修科目：7単位（『基礎教育科目』のうち、「情報処理」2単位、「外国語」4単位、「保健体育」1単位） 選択科目：11単位（『教養科目』のうち、「国際」1単位、「学際」2単位、『基礎教育科目』のうち、「共通基礎」自然科学4単位、「保健体育」1単位のほか、選択科目から3単位以上） （小計） 18単位以上 ○ スタンダード科目 必修科目：4単位 選択科目：2単位以上 （小計） 6単位以上 ○ 専門教育科目 必修科目：88単位（『専門基礎分野』24単位、『専門分野』58単位、『専門総合分野』6単位） 選択科目 12単位以上 （小計） 100単位以上 （合計） 124単位以上					1学年の学期区分		2学期									
					1学期の授業期間		15週									
					1時限の授業時間		90分									

教育課程等の概要																
(保健医療学部 救急救命学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○							兼3	オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		4	2	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○			1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○				2	1				兼4	オムニバス・共同(一部)
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○								兼2	共同
	データサイエンスⅠ	1後	1				○								兼2	共同
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1				○								兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1				○								兼5	
	スポーツ学	1前・後	1			○									兼1	
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○							兼8	共同	
小計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	2	2	0	0	兼25	—	
スタンダード科目 合計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	2	2	0	0	兼25	—	
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計 (4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1				○							兼2	共同
		小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		文学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		心理学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		芸術学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
経済学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
歴史学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
政治学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
小計 (4科目)	—	0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—		
人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後	1			○								兼1		
	数学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	物理学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	化学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	生物学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	科学実験a	1・2・3前・後	1					○						兼3	共同	
	科学実験b	1・2・3前・後	1					○						兼4	共同	
	小計 (8科目)	—	2	11	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—	
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	小計 (2科目)	—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目 アドバンスド	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1				○								兼1	オムニバス・ 共同(一部)
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1				○								兼1	
		検定英語	2・3前・後	1				○								兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1			○									兼3	
	小計 (5科目)		—	0	5	0		—		0	0	0	0	0	0	兼7	—
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		データ解析	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		小計 (3科目)		—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼3
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1						○						兼8	
		小計 (1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8
	化人 間と 文	人間と文化a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と文化b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	会人 間と 社	人間と社会a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	然人 間と 自	人間と自然a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1					○							兼8	
		小計 (1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8
	オプション	留学生特例科目															
会人 間と 社		日本事情a	1・2・3前・後	2			○									兼1	
		日本事情b	1・2・3前・後	2			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1
ルグ ロー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2			○									兼1	
	日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2			○									兼1		
小計 (2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
オプション科目 合計 (44科目)			—	6	58	0		—		0	0	0	0	0	0	兼34	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	科学的思考の基盤	自然災害防災論	2前・後	2			○									オムニバス
		救急実務英語	2前・後	1			○									兼1 集中
		ライフサイエンス論Ⅰ	1前・後	1			○									兼1
		ライフサイエンス論Ⅱ	1前・後	1			○									兼1
		救急統計学	3前・後	2			○			1						
	小計 (5科目)	—	5	2	0				1	1	1	0	0	兼2	—	
活人間生と		ビジネスマナー論	3前・後	1			○			3	2	2				オムニバス
		小計 (1科目)	—	1	0	0				3	2	2	0	0	0	—
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学Ⅰ	1前・後	2			○			0						兼1
		人体構造生理学Ⅱ	1前・後	2			○			0						兼1
		人体構造生理学実習	1前・後	1					○	0	1					兼1 共同
		小計 (3科目)	—	5	0	0				0	1	0	0	0	兼1	—
	の疾患の成り立ちと回復	病理学	2前・後	1			○			1						
		生化学	1前・後	1			○									兼1
		薬理学	3前・後	1			○			1						
		救急検査概論	3前・後	1			○			1						兼4 集中/オムニバス
		小計 (4科目)	—	4	0	0				1	0	0	0	0	兼4	—
	障社会保と		公衆衛生学	1前・後	2			○				1				
小計 (1科目)			—	2	0	0				0	1	0	0	0	0	—
専門分野	救急医学概論	生命倫理	1前・後	2			○				1	1				オムニバス
		病院前救急医療概論	1前・後	1			○			2						オムニバス
		救急災害システム論	2前・後	2			○				1					
		救急関係法規	2前・後	1			○				1					
		救急救命処置概論	1前・後	2			○				1					
		災害・救護ボランティア演習	2前・後	1				○				1				
		小計 (6科目)	—	9	0	0				2	2	2	0	0	0	—
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		救急症候・病態生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		小計 (4科目)	—	8	0	0				1	0	0	0	0	0	—
	疾病救急医学	救急現場活動学	2前・後	2			○			1						
特定行為処置論		3前	2			○			1							
小児科学		2前・後	2			○									兼1	
産婦人科学		2前・後	1			○									兼1	
精神医学		3前・後	1			○									兼1	
小計 (5科目)		—	8	0	0				2	0	0	0	0	兼3	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		小計(2科目)	—	4	0	0	—			1	0	0	0	0	0	—
	環境 医学性	環境障害・急性中毒学	3前・後	1			○			1						
		小計(1科目)	—	1	0	0	—			1	0	0	0	0	0	—
	臨地 実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2					○	1	1				兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2					○		1	1			兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3					○		1	1			兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3					○	2					兼5	共同
		救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2					○	2	2	1			兼2	共同
		救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2					○	2		1			兼2	共同
		救急救命総合実習	4前・後		2				○	1		1			兼2	共同
		応急手当実習Ⅰ	2前・後	1					○			1				
		応急手当実習Ⅱ	2前・後	1					○			1				
		救急システム実習Ⅰ	1前・後	1					○			1				
救急システム実習Ⅱ		1前・後	1					○			1					
救急システム実習Ⅲ		3前・後	1					○	3	2	2				共同	
救急システム実習Ⅳ	3前・後	6					○	4	2	2				共同		
国内救急救命事情	2前・後		1				○	1		1				共同		
国際救急救命学	2前・後		1				○	1		1				共同		
小計(15科目)	—	25	4	0	—			4	2	2	0	0	兼5	—		
卒業 研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2					○	4	2	2					
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○	4	2	2					
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			4	2	2	0	0	0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	3前・後	2			○			2	1	2			オムニバス
		救急救命学Ⅱ	3前・後	2			○			2	1	2			オムニバス
		救急救命学Ⅲ	4前・後		2		○			2	2	2			オムニバス
		救急救命学Ⅳ	4前・後		2		○			2	2	2			オムニバス
		救急救命総合学	4前・後		2		○			3	2	2			オムニバス
		教養総合学Ⅰ	2前・後	2			○			1					
		教養総合学Ⅱ	2前・後	2			○			1					
		教養総合学Ⅲ	3前・後	2			○			1					
		教養総合学Ⅳ	3前・後	2			○			1					
		教養総合学Ⅴ	4前・後	2			○			1					
		小計(10科目)	—	14	6	0	—			4	2	2	0	0	0
専門教育科目 合計(59科目)		—	90	12	0	—		4	2	2	0	0	0	兼15	—
救急救命学科 合計(118科目)		—	111	70	0	—		4	2	2	0	0	0	兼57	—
学位又は称号	学士(救急救命学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 ----- (小計) 15単位 ○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 ----- (小計) 10単位以上 ○専門教育科目 必修科目：90単位 選択必修科目：1単位 ----- (小計) 91単位 (『臨地実習』の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位) ○その他 選択科目：8単位 ----- (小計) 8単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む) (合計) 124単位以上						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要
(総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
共通教育科目	国際 国際社会の理解	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○									兼3	オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○									兼1		
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後		1		○									兼1		
		小計(3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5	—	
	学際 人間と思想・文化	思想・文化を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	人間と科学技術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	基礎教育科目	共通基礎 人文科学	哲学	1・2前・後		2		○										兼1
			文学	1・2前・後		2		○										兼1
心理学			1・2前・後		2		○										兼1	
日本語表現法			1・2前・後		2		○										兼1	
芸術学			1・2前・後		2		○										兼1	
文化人類学			1・2前・後		2		○										兼1	
コミュニケーション論			1・2前・後		2		○										兼1	
小計(7科目)		—	0	14	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—		
社会科学		法学	1・2前・後		2		○											兼1
		経済学	1・2前・後		2		○											兼1
		歴史学	1・2前・後		2		○											兼1
		政治学	1・2前・後		2		○											兼1
		教育学	1・2前・後		2		○											兼1
小計(5科目)		—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5	—		
自然科学		統計学	1・2前・後		2		○											兼1
		数学基礎	1前		1		○											兼1
		数学	1・2前・後		2		○											兼1
		物理学	1・2前・後		2		○											兼1
		物理学実験	1・2前・後		1					○								兼2 共同
		化学	1・2前・後		2		○											兼1
		化学実験	1・2前・後		1					○								兼3 共同
		生物学	1・2前・後		2		○											兼1
		生物学実験	1・2前・後		1					○								兼4 共同
小計(9科目)		—	0	14	0		—		0	0	0	0	0	0	兼11	—		
情報処理		情報基礎演習	1前		1			○										兼6 共同
	情報倫理・応用演習	1前・後		1			○										兼6 共同	
	情報統計演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	情報管理演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	情報発展演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	小計(5科目)	—	2	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	基礎教育科目 外国語	英語Ⅰa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅰb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅱa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅱb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅲa	2前		1		○									兼1	
		英語Ⅲb	2後		1		○									兼1	
		英語Ⅳ	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		検定英語	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		ドイツ語a	1前		1		○									兼1	
		ドイツ語b	1後		1		○									兼1	
		中国語a	1前		1		○									兼1	
		中国語b	1後		1		○									兼1	
		韓国語a	1前		1		○									兼1	
		韓国語b	1後		1		○									兼1	
	小計(14科目)	—	4	10	0	—				0	0	0	0	0	兼12	—	
	基礎教育科目	保健体育	スポーツⅠ	1前・後	1			○								兼1	
			スポーツⅡ	1前・後		1					○					兼4	共同
			スポーツⅢ	1前・後		1					○					兼4	共同
		小計(3科目)	—	1	2	0	—				0	0	0	0	0	兼4	—
基礎教育科目	アキ教育	Global Communication	2・3前・後		2		○								兼1		
		小計(1科目)	—	0	2	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—
留学生特例科目																	
基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情Ⅰ	1前		2		○								兼1	
			日本事情Ⅱ	1後		2		○								兼1	
			小計(2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	兼1
	基礎教育科目	外国語	日本語Ⅰa	1前		1		○								兼1	
			日本語Ⅰb	1後		1		○								兼1	
			日本語Ⅱa	2前		1		○								兼1	
			日本語Ⅱb	2後		1		○								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—	
共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0	—				0	0	0	0	0	兼45	—
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○								兼9	共同	
	チュートリアル	1前	1				○			5	2	4			兼1		
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			3		1			共同		
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1		1			兼2	共同	
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3前・後		1			○			2	1	3			兼3	共同	
	専門職連携総合演習Ⅱ	3・4前・後		1			○								兼7	共同	
	防災・危機管理学	1・2前・後		1			○								兼3	オムニバス	
	地域創生論	1・2前・後		1			○								兼4	共同	
小計(8科目)	—	4	4	0	—				8	3	7	0	0	兼26	—		
スタンダード科目 合計(8科目)			—	4	4	0	—			8	3	7	0	0	兼26	—	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能および心身の発達	解剖学Ⅰ	1前・後	2			○			1					兼1 共同 兼2 共同 共同 オムニバス オムニバス		
			解剖学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
			解剖学実習	1前・後	1					○	3		1					
			生理学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
			生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
			生理学実習	2前・後	1					○	2							
			運動学	1前・後	2			○			1							
			運動学実習	2前・後	1					○	1		1					
			機能解剖学	2前・後		2		○			1		1	1				
			人間発達学	1前・後	2			○				1	2					
小計(10科目)			—	15	2	0	—			4	1	3	1	0	兼2	—		
促進病と傷害の成り立ちおよび回復過程の	医学概論	医学概論	1前・後	2			○			3					兼1 オムニバス			
		内科学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		内科学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		精神医学	2前・後	2			○			1								
		脳神経学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		脳神経学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		発達障害学	2前・後	2			○				1	1						
		小計(9科目)			—	12	0	0	—			4	1	1		0	0	0
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	1前・後	2			○			1					—			
		生命倫理	1前・後	2			○			1								
		リハビリテーション心理学	1前・後		2		○			1								
		加齢医学	3前・後		2		○			1								
		小計(4科目)			—	4	4	0	—			3	0	0		0	0	0
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前・後	2			○				1				共同			
		理学療法研究法	3前・後	2			○			1								
		理学療法管理運営学	3前・後	2			○					1						
		小計(3科目)			—	6	0	0	—			1	1	1		0	0	0
	理学療法評価学	運動系機能能力評価学Ⅰ	2前・後	1			○						1					
		運動系機能能力評価学実習Ⅰ	2前・後	1					○				2					
		運動系機能能力評価学Ⅱ	2前・後	1			○				1							
		運動系機能能力評価学実習Ⅱ	2前・後	1					○			1	2					
		神経系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
		内部系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
生活支援系評価学		2前・後	1			○					1							
小計(7科目)			—	7	0	0	—			0	2	4	0	0	0	—		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	専門分野	理学療法治療学	徒手療法学	3前・後		2		○			1									
			運動療法学	3前・後	2			○			1									
			物理療法学	2前・後	1				○			1								
			物理療法学実習	2前・後	1						○	1		1					兼1 共同	
			義肢装具学Ⅰ	3前・後	1				○										兼2 共同	
			義肢装具学Ⅱ	3前・後	1				○										兼1	
			内部障害理学療法治療学	3前・後	1				○				1							
			内部障害理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1							共同
			運動器理学療法治療学	3前・後	1				○			1								
			運動器理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1		1					共同
			スポーツ外傷治療学	3前・後	1				○			1								
			スポーツ外傷治療学演習	3前・後	1					○		1		1						
			発達障害理学療法学	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅰ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅱ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学実習	3前・後	1						○			1						兼1 共同
			生活支援系理学療法治療学	3前・後	1				○					1						
			生活支援系理学療法治療学実習	3前・後	1						○		1	2						共同
			臨床運動学	3前・後	1				○			1								
			臨床運動学実習	3前・後	1						○	1		2						共同
			臨床理学療法演習	3前・後	1					○		1		2						共同
小計(21科目)			—	21	2	0	—			3	2	4	1	0	兼3	—				
地域理学療法学	地域理学療法学	2前・後	1				○			1										
	地域在宅理学療法学演習	3前・後	1					○		1		1					共同			
	ヘルスプロモーション論	2前・後		2			○										兼1			
	公衆衛生学	1前・後	1				○										兼1			
小計(4科目)			—	3	2	0	—			1	0	1	0	0	兼2	—				
臨床実習	臨床体験実習	1前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	検査測定実習	2前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	臨床評価実習	3前・後	2						○	6	2	4					兼2			
	総合臨床実習	4前・後	14						○	5	2	4	1							
小計(4科目)			—	18	0	0	—			6	2	4	1	0	兼2	—				
卒業研究			4前・後	4				○		5	2	4								
小計(1科目)			—	4	0	0	—			5	2	4	0	0	0	—				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
目専 野専 門専 教教 育育 科科	理学療法学演習 理学療法特別講義 小計(2科目)	4前・後	2				○		5	2	4	1			
		3前・後		2			○		5	2	4			兼1	
		—	2	2	0	—			5	2	4	1	0	兼1	—
専門教育科目 合計(65科目)		—	92	12	0	—			8	3	5	1	0	兼7	—
合計(132科目)		—	103	88	0	—			9	4	7	1	0	兼71	—
学位又は称号	学士(理学療法学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)										
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、共通教育科目必修科目7単位、共通教育科目選択科目12単位、スタンダード科目必修科目4単位、スタンダード科目選択科目2単位、専門教育科目必修科目92単位、専門教育科目選択科目7単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○ 共通教育科目 必修科目：7単位（『基礎教育科目』のうち、「情報処理」2単位、「外国語」4単位、「保健体育」1単位） 選択科目：12単位（『教養科目』のうち、「国際」1単位、「学際」2単位、『基礎教育科目』のうち、「共通基礎」6単位、「保健体育」1単位のほか、選択科目から2単位以上）</p> <hr/> (小計) 19単位以上 ○ スタンダード科目 必修科目：4単位 選択科目：2単位以上 (小計) 6単位以上 ○ 専門教育科目 必修科目：92単位（『専門基礎分野』31単位、『専門分野』59単位、『専門総合分野』2単位） 選択科目：7単位以上（『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』、または以下の学科・専攻の科目の中から7単位以上） <リハビリテーション学科・作業療法学専攻> 介護予防方法論、就労支援技術学、作業療法特別講義 <リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻> 言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ <リハビリテーション支援学科・義肢装具学専攻> リハビリテーション心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、センサー制御学演習Ⅰ <hr/> (小計) 99単位以上 (合計) 124単位以上						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

教育課程等の概要																	
(総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	国際	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○								兼3	オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1		
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後	1			○								兼1		
		小計(3科目)	—	0	3	0				0	0	0	0	0	0		兼5
	学際	人間と思想・文化	1後・2・3前・後	1			○									兼1	—
		思想・文化を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0				0	0	0	0	0	0	兼2	
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	—
		現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0				0	0	0	0	0	0	兼2	
		人間と科学・技術	1後・2・3前・後	1			○									兼1	
	人間と科学・技術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	—
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0				0	0	0	0	0	0	兼2	
		基礎教育科目	共通基礎	人文科学	哲学	1・2前・後	2			○							
	文学	1・2前・後	2			○									兼1		
	心理学	1・2前・後	2			○									兼1		
	日本語表現法	1・2前・後	2			○									兼1		
	芸術学	1・2前・後	2			○									兼1		
文化人類学	1・2前・後	2			○									兼1			
コミュニケーション論	1・2前・後	2			○									兼1			
小計(7科目)	—	0	14	0				0	0	0	0	0	0	兼6			
社会科学	法学	1・2前・後	2			○									兼1		
	経済学	1・2前・後	2			○									兼1		
	歴史学	1・2前・後	2			○									兼1		
	政治学	1・2前・後	2			○									兼1		
	教育学	1・2前・後	2			○									兼1		
	小計(5科目)	—	0	10	0				0	0	0	0	0	0	兼5		
自然科学	統計学	1・2前・後	2			○							1			—	
	数学基礎	1前	1			○									兼1		
	数学	1・2前・後	2			○									兼1		
	物理学	1・2前・後	2			○									兼1		
	物理学実験	1・2前・後	1							○					兼2		共同
	化学	1・2前・後	2			○									兼1		
	化学実験	1・2前・後	1								○				兼3		共同
	生物学	1・2前・後	2			○									兼1		
	生物学実験	1・2前・後	1									○			兼4		共同
	小計(9科目)	—	0	14	0				0	1	0	0	0	0	兼11		
情報処理	情報基礎演習	1前	1							○					兼5	共同	
	情報倫理・応用演習	1前・後	1							○			1		兼6	共同	
	情報統計演習	1・2前・後	1							○					兼2	共同	
	情報管理演習	1・2前・後	1							○					兼2	共同	
	情報発展演習	1・2前・後	1							○					兼2	共同	
	小計(5科目)	—	2	3	0				0	1	0	0	0	0	兼6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	外国語	英語Ⅰa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅰb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅱa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅱb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅲa	2前		1		○									兼1	
		英語Ⅲb	2後		1		○									兼1	
		英語Ⅳ	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		検定英語	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		ドイツ語a	1前		1		○									兼1	
		ドイツ語b	1後		1		○									兼1	
		中国語a	1前		1		○									兼1	
		中国語b	1後		1		○									兼1	
		韓国語a	1前		1		○									兼1	
		韓国語b	1後		1		○									兼1	
	小計(14科目)	—		4	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼12	—
	保健体育	スポーツⅠ	1前・後	1			○									兼2	
		スポーツⅡ	1前・後		1					○						兼5	共同
		スポーツⅢ	1前・後		1					○						兼4	共同
		小計(3科目)	—		1	2	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	教育キャリア	Global Communication	2・3前・後		2		○									兼1	
小計(1科目)		—		0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—	
共通教育科目	留学生特例科目																
	基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情Ⅰ	1前		2		○							兼1	
				日本事情Ⅱ	1後		2		○						兼1		
				小計(2科目)	—		0	4	0		—		0	0	0	0	兼1
	外国語	日本語Ⅰa	1前		1		○								兼1		
		日本語Ⅰb	1後		1		○								兼1		
		日本語Ⅱa	2前		1		○								兼1		
		日本語Ⅱb	2後		1		○								兼1		
	小計(4科目)	—		0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—	
	共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0		—		0	1	0	0	0	兼48	—
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1					○							兼11	共同	
	チュートリアル	1前	1					○				8	1	2	1		
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1					○								共同	
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1					○								共同	
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3前・後		1				○				1				兼7	共同
	専門職連携総合演習Ⅱ	3・4前・後		1				○								兼6	共同
	防災・危機管理学	1・2前・後		1			○									兼3	オムニバス
	地域創生論	1・2前・後		1			○									兼4	共同
小計(8科目)	—		4	4	0		—		8	1	2	1	0	0	兼29	—	
スタンダード科目 合計(8科目)			兼1	4	4	0		—		8	1	2	1	0	兼29	—	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能および心身の発達	解剖学Ⅰ	1前・後	2			○			1					兼1 共同 兼2 共同 共同 オムニバス オムニバス		
			解剖学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
			解剖学実習	1前・後	1					○	3		1					
			生理学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
			生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
			生理学実習	2前・後	1					○	2							
			運動学	1前・後	2			○			1							
			運動学実習	2前・後	1					○	1		1					
			機能解剖学	2前・後		2		○			1		1	1				
			人間発達学	1前・後	2			○				1	2					
小計(10科目)			—	15	2	0	—			4	1	3	1	0	兼2	—		
促進病と傷害の成り立ちおよび回復過程の	医学概論	医学概論	1前・後	2			○			3					兼1 オムニバス			
		内科学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		内科学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		精神医学	2前・後	2			○			1								
		脳神経学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		脳神経学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		発達障害学	2前・後	2			○				1	1						
		小計(9科目)			—	12	0	0	—			4	1	1		0	0	0
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	1前・後	2			○			1					—			
		生命倫理	1前・後	2			○			1								
		リハビリテーション心理学	1前・後		2		○			1								
		加齢医学	3前・後		2		○			1								
		小計(4科目)			—	4	4	0	—			3	0	0		0	0	0
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前・後	2			○				1				共同			
		理学療法研究法	3前・後	2			○			1								
		理学療法管理運営学	3前・後	2			○					1						
		小計(3科目)			—	6	0	0	—			1	1	1		0	0	0
	理学療法評価学	運動系機能能力評価学Ⅰ	2前・後	1			○						1					
		運動系機能能力評価学実習Ⅰ	2前・後	1					○				2					
		運動系機能能力評価学Ⅱ	2前・後	1			○				1							
		運動系機能能力評価学実習Ⅱ	2前・後	1					○		1	2						
		神経系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
		内部系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
生活支援系評価学	2前・後	1			○					1								
小計(7科目)			—	7	0	0	—			0	2	4	0	0	0	—		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	専門分野	理学療法治療学	徒手療法学	3前・後		2		○			1									
			運動療法学	3前・後	2			○			1									
			物理療法学	2前・後	1				○			1								
			物理療法学実習	2前・後	1						○	1		1					兼1 共同	
			義肢装具学Ⅰ	3前・後	1				○										兼2 共同	
			義肢装具学Ⅱ	3前・後	1				○										兼1	
			内部障害理学療法治療学	3前・後	1				○				1							
			内部障害理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1							共同
			運動器理学療法治療学	3前・後	1				○			1								
			運動器理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1		1					共同
			スポーツ外傷治療学	3前・後	1				○			1								
			スポーツ外傷治療学演習	3前・後	1					○		1		1						
			発達障害理学療法学	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅰ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅱ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学実習	3前・後	1						○			1						兼1 共同
			生活支援系理学療法治療学	3前・後	1				○					1						
			生活支援系理学療法治療学実習	3前・後	1						○		1	2						共同
			臨床運動学	3前・後	1				○			1								
			臨床運動学実習	3前・後	1						○	1		2						共同
			臨床理学療法演習	3前・後	1					○		1		2						共同
小計(21科目)			—	21	2	0	—			3	2	4	1	0	兼3	—				
地域理学療法学	地域理学療法学	2前・後	1				○			1										
	地域在宅理学療法学演習	3前・後	1					○		1		1					共同			
	ヘルスプロモーション論	2前・後		2			○										兼1			
	公衆衛生学	1前・後	1				○										兼1			
小計(4科目)			—	3	2	0	—			1	0	1	0	0	兼2	—				
臨床実習	臨床体験実習	1前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	検査測定実習	2前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	臨床評価実習	3前・後	2						○	6	2	4					兼2			
	総合臨床実習	4前・後	14						○	5	2	4	1							
小計(4科目)			—	18	0	0	—			6	2	4	1	0	兼2	—				
卒業研究			4前・後	4				○		5	2	4								
小計(1科目)			—	4	0	0	—			5	2	4	0	0	0	—				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
目専 野専 門専 教専 育教 科科	理学療法学演習 理学療法特別講義 小計(2科目)	4前・後	2				○		5	2	4	1			
		3前・後		2				○	5	2	4			兼1	
		—	2	2	0		—		5	2	4	1	0	兼1	—
専門教育科目 合計(65科目)		—	92	12	0		—		8	3	5	1	0	兼7	—
合計(132科目)		—	103	88	0		—		9	4	7	1	0	兼71	—
学位又は称号		学士(理学療法学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、共通教育科目必修科目7単位、共通教育科目選択科目12単位、スタンダード科目必修科目4単位、スタンダード科目選択科目2単位、専門教育科目必修科目92単位、専門教育科目選択科目7単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。							1学年の学期区分 2学期								
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。							1学期の授業期間 15週								
【履修方法】 ○ 共通教育科目 必修科目：7単位（『基礎教育科目』のうち、「情報処理」2単位、「外国語」4単位、「保健体育」1単位） 選択科目：12単位（『教養科目』のうち、「国際」1単位、「学際」2単位、『基礎教育科目』のうち、「共通基礎」6単位、「保健体育」1単位のほか、選択科目から2単位以上）							1時限の授業時間 90分								
(小計) 19単位以上															
○ スタンダード科目 必修科目：4単位 選択科目：2単位以上															
(小計) 6単位以上															
○ 専門教育科目 必修科目：92単位（『専門基礎分野』31単位、『専門分野』59単位、『専門総合分野』2単位） 選択科目：7単位以上（『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』、または以下の学科・専攻の科目の中から7単位以上） <リハビリテーション学科・作業療法学専攻> 介護予防方法論、就労支援技術学、作業療法特別講義 <リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻> 言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ <リハビリテーション支援学科・義肢装具学専攻> リハビリテーション心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、センサー制御学演習Ⅰ															
(小計) 99単位以上 (合計) 124単位以上															

教育課程等の概要																
(健康科学部 医療福祉学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○		2					兼1	オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		1	2	2	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○				1					
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○				1				兼6	オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○							兼4	共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1				○							兼4	共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○							兼3		
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○							兼3		
	英語リーディングⅠ	1前	1				○							兼3		
	英語リーディングⅡ	1後	1				○							兼3		
	スポーツ学	1前・後	1			○								兼1		
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○						兼8	共同	
小計(15科目)		—	15	0	0		—		3	5	3	1	0	兼25	—	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0	—		3	5	3	1	0	兼25	—	
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同
		小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文学	1・2・3前・後		2		○			1						
		心理学	1・2・3前・後		2		○			1						
		芸術学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	小計(5科目)	—	0	10	0	—			2	0	0	0	0	兼3	—	
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後		2		○				1					
		経済学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
歴史学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
政治学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	1	0	0	0	兼3	—		
人間と自然	統計学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後		1		○								兼1		
	数学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	物理学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	化学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	生物学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	科学実験a	1・2・3前・後		1				○						兼3	共同	
	科学実験b	1・2・3前・後		1				○						兼4	共同	
	小計(8科目)	—	0	13	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—	
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2		○			1						
コミュニケーション論		1・2・3前・後		2		○				1						
小計(2科目)	—	0	4	0	—			1	1	0	0	0	0	—		
グローバル	Reading & Writing	2・3前・後		1			○							兼1		
	英語プレゼンテーション	2・3前・後		1			○							兼1		
	検定英語	2・3前・後		1			○							兼1		
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
	グローバル化と人間b	1・2・3前・後		1		○			1							
	小計(5科目)	—	0	5	0	—			1	0	0	0	0	兼4	—	
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
	データ解析	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
	プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
小計(3科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—		
体育健	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1				○						兼8		
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—	

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手							
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1								
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0					兼1	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0					兼1	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0					兼2	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1							兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0					兼6	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																		
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1									
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1									
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0					0	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1									
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1									
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0					0		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0					兼41		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ		2		○			1					共同	
		現代社会と福祉Ⅱ		2		○			1						
		ソーシャルワーク入門	1				○		1	2					
		医学・医療概論		1			○								兼1
		医療・生命倫理		1			○								兼1
		小計(5科目)	—	1	6	0	—			3	2	0	0		0
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病		2			○								兼1
		社会調査の基礎		2			○								兼1
		相談援助の理論と方法ⅠA		2			○				1				
		相談援助の理論と方法ⅠB		2			○				1				
		相談援助の理論と方法ⅡA		2			○			1					
		相談援助の理論と方法ⅡB		2			○				1				
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2			○				1				
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2			○				1				
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		2			○				1				
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後	2			○				1				
		福祉行財政と福祉計画	2・3前・後	2			○								兼1
		福祉サービスの組織と経営	2・3前・後	2			○								兼1
		社会保障Ⅰ		2			○					1			
		社会保障Ⅱ		2			○					1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ		2			○					1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ		2			○					1			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2			○				1				
		障がいの理解		2			○				1				
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1・2前・後	2			○				1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2			○					1			
		保健医療サービス		2			○			1					
		就労支援サービス		1			○					1			
		権利擁護と成年後見制度		2			○				1				
		更生保護制度		1			○								兼1
		社会福祉援助技術演習Ⅰ		3				○		1	3		1		
		社会福祉援助技術演習Ⅱ		2				○		1	3		1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習	3通	4					○		3	1	1		
小計(30科目)	—	0	58	0	—			2	5	1	1	0	兼4	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1					
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1
		精神保健福祉援助演習Ⅰ		1			○			1					
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1			○			1					
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習	3後・4前・後	5					○	1					
		小計(19科目)	—	0	35	0	—	—	—	0	1	0	0	0	兼2
専門教育科目	介護福祉系科目	発達と老化の理解		2		○				1					
		認知症の理解		2		○									兼1
		認知症のケア		2		○				1					
		心と体の仕組み		2		○				1					
		介護の基本ⅠA		2		○				1					
		介護の基本ⅠB		2		○					1				
		介護の基本Ⅱ		2		○					1				
		リハビリテーション論		2		○									兼1
		レクリエーション活動援助法		1			○								兼1
		介護マネジメント論		2		○									兼1
		コミュニケーション技術Ⅰ		1			○			1					
		コミュニケーション技術Ⅱ		1			○								兼1
		家政学概論Ⅰ		2		○									兼1
		家政学概論Ⅱ		2		○									兼1
		家政学演習Ⅰ(栄養)		1			○								兼1
		家政学演習Ⅱ(被服)	2・3前・後	1			○								兼1
		生活支援技術Ⅰ		2			○				1				
		生活支援技術Ⅱ		2			○				1				
		生活支援技術Ⅲ		1			○				1				兼1
		生活支援技術Ⅳ		1			○				1				兼1
介護過程Ⅰ		2			○				1						
介護過程ⅡA		1			○					1					
介護過程ⅡB		1			○					1					
介護過程ⅢA		1			○					1					
介護過程ⅢB		1			○					1					
介護総合演習Ⅰ		1			○				1	2					
介護総合演習Ⅱ		1			○				1	2					
介護総合演習Ⅲ		1			○				1	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	介護福祉系科目	介護実習Ⅰ		2				○	1		2					
		介護実習Ⅱ	2通	4				○	1		2					
		介護実習Ⅲ	3通	4				○	1		2					
		介護予防と終末期のケア	3前・後・4前	2			○		1							
		医療的ケアⅠ	3前・後	2			○				1				兼1	
		医療的ケアⅡ	3前・後	2			○				1				兼1	
		医療的ケアⅢ	3前・後	1				○			1				兼1	
		小計(35科目)	—	0	59	0			—	2	2	2	0	0	兼7	—
	保育系科目	保育原理	1前・後		2			○				1				
		教育原理	1前・後		2			○							兼1	
		社会的養護Ⅰ	3前・後		2			○		1						
		保育者論	1・2前・後		2			○			1					
		保育の心理学	1前・後		2			○							兼1	
		子ども家庭支援の心理学	1前・後		2			○							兼1	
		子どもの保健	2前・後		2			○				1				
		子ども家庭支援論	2前・後		2			○			1					
		児童文学	2前・後		2			○		1					兼1	オムニバス
		子育て支援	3前・後		1				○			1				
		子どもの理解と援助	1前・後		1				○						兼1	
		子どもの健康と安全	2前・後		1				○			1				
		子どもの食と栄養	1前・後		2				○			1				
		保育の計画と評価	1前・後		2			○							兼1	
		保育内容総論	1前・後		1				○						兼1	
		保育内容演習Ⅰ(健康)	1前・後		1				○			1				
		保育内容演習Ⅱ(人間関係)	2前・後		1				○			1				
		保育内容演習Ⅲ(環境)	2前・後		1				○						兼1	
		保育内容演習Ⅳ(言葉)	1前・後		1				○		1					
		保育内容演習Ⅴ(表現)	1前・後		1				○		1					
		乳児保育Ⅰ	2前・後		2			○				1				
		乳児保育Ⅱ	2前・後		1				○			1				
		障がい児保育	3前・後		2				○			1				
		社会的養護Ⅱ	3前・後		1				○		1					
		保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後		2				○		1				兼2	
		保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後		2				○						兼1	
		保育内容の理解と方法Ⅲ	1前・後		1				○						兼1	
母子保健		3前・後		1				○			1					
病児保育		3前・後		1				○			1					
保育実習概論		2前・後		1				○		3	2					
保育実習指導Ⅰ-1(保育所)		2前・後		1				○		3	2					
保育実習指導Ⅰ-2(施設)		3前・後		1				○		3	2					
保育実習Ⅰ-1(保育所)	2通		2					○	3	2						
保育実習Ⅰ-2(施設)	3通		2					○	3	2						
保育実践演習	3・4前・後		2				○		1							
保育実習指導Ⅱ	3前・後		1				○		3	2						
保育実習Ⅱ	3通		2					○	3	2						
保育実習指導Ⅲ	3前・後		1				○		3	2						
保育実習Ⅲ	3通		2					○	3	2						
小計(39科目)	—		0	59	0			—	2	1	2	0	0	兼8	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	関連科目	国際福祉論		2		○			1								
		国際医療福祉演習	1前・後	1				○		1							
		社会福祉法概論	2前・後	2			○				1						
		音楽療法概論	2前・後	2			○			1							
		生涯発達心理学	2前・後	2			○									兼1	
		障害者心理学	1前・後	2			○			1							
		社会理論と社会システム	1前・後	2			○									兼1	
		社会福祉総論Ⅰ	4前・後	2			○					1					
		社会福祉総論Ⅱ	4前・後	2			○					1					
		総合福祉論	4前・後	4			○			2	6	2	1			兼1	オムニバス
		ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後	2			○							1			
		ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後	2			○							1			
	小計 (12 科目)	—	0	25	0			—	3	6	2	1	0		兼3	—	
	専門演習	専門演習ⅠA	2前・後	1					○								
		専門演習ⅠB	2前・後	1					○								
		専門演習ⅡA	3前・後	2					○								
		専門演習ⅡB	3前・後	2					○								
		卒業研究Ⅰ	4前・後	2					○								
		卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○								
小計 (6科目)		—	10	0	0			—	3	5	4	0	0		0	—	
専門教育科目 合計 (85 科目)		—	11	242	0			—	7	8	5	1	0		兼24	—	
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2			○									
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2						1						
	福祉科教育法Ⅰ	2・3前・後			2	○			1								
	福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後			2	○					1						
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4 科目)		—	0	0	8			—	2	0	1	0	0		0	—	
	教育原論	1前・後			1	○									兼1		
	教職概論	1前・後			2	○									兼1		
	教育制度論	2前・後			2	○									兼1		
	学校教育心理学	2前・後			2	○									兼1		
	特別支援教育論	2前・後			1	○									兼1		
	教育課程論	3前・後			2	○									兼1		
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○									兼1		
	特別活動の指導法	3前・後			2	○									兼1		
	教育方法論	2前・後			2	○									兼1		
	生徒指導論	2前・後			1	○									兼1		
	教育相談	3前・後			1	○									兼1		
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○									兼1		
	教育実習 (高)	3後・4前			3				○			1			兼3		
教職実践演習 (高)	4前・後			2				○			1			兼3			
教職に関する科目 合計 (14 科目)		—	0	0	23			—	0	0	1	0	0		兼6	—	
合計 (223 科目)		—	26	306	31			—	7	8	5	1	0		兼66	—	

学位又は称号	学士(医療福祉学)	学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p><医療福祉学専攻></p> <p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】</p> <p>○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：38単位 [「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡA」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡB」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保障Ⅰ」2単位、「社会保障Ⅱ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位]</p> <p>選択科目：42 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91 単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><介護福祉学専攻></p> <p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 〔「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程ⅡA」1単位、「介護過程ⅡB」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕</p> <p>選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91 単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><保育福祉学専攻></p> <p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕</p> <p>選択科目：30単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

【参 考】

教 育 課 程 等 の 概 要

(健康科学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○		2						兼1 オムニバス 兼6 オムニバス・共同(一部) 兼4 共同 兼4 共同 兼3 兼3 兼3 兼3 兼1 兼3 兼1 兼8 共同	
	チュートリアル	1前	1				○		1	2	2	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○				1					
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○				1						
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○									
	データサイエンスⅠ	1後	1				○									
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○									
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○									
	英語リーディングⅠ	1前	1				○									
	英語リーディングⅡ	1後	1				○									
	スポーツ学	1前・後	1			○										
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○								
小計(15科目)		—	15	0	0		—		3	5	3	1	0	兼25 —		
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0	—		3	5	3	1	0	兼25 —		
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後				○								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後				○								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後				○								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後				○								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼2 —		
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後					○								兼2 共同
		小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼2 —	
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後			2		○								兼1
		文学	1・2・3前・後			2		○		1						
		心理学	1・2・3前・後			2		○		1						
		芸術学	1・2・3前・後			2		○								兼1
		文化人類学	1・2・3前・後			2		○								兼1
	小計(5科目)	—	0	10	0	—			2	0	0	0	0	兼3 —		
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後			2		○			1					
		経済学	1・2・3前・後			2		○								兼1
歴史学		1・2・3前・後			2		○								兼1	
政治学		1・2・3前・後			2		○								兼1	
小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	1	0	0	0	兼3 —			
人間と自然	統計学	1・2・3前・後			2		○								兼1	
	数学基礎	1・2・3前・後			1		○								兼1	
	数学	1・2・3前・後			2		○								兼1	
	物理学	1・2・3前・後			2		○								兼1	
	化学	1・2・3前・後			2		○								兼1	
	生物学	1・2・3前・後			2		○								兼1	
	科学実験a	1・2・3前・後			1								○		兼3 共同	
	科学実験b	1・2・3前・後			1								○		兼4 共同	
	小計(8科目)	—	0	13	0	—			0	0	0	0	0	兼8 —		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後			2		○		1							
	コミュニケーション論	1・2・3前・後			2		○			1						
小計(2科目)	—	0	4	0	—			1	1	0	0	0	0	兼4 —		
グローバル	Reading & Writing	2・3前・後			1			○							兼1	
	英語プレゼンテーション	2・3前・後			1			○							兼1	
	検定英語	2・3前・後			1			○							兼1	
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後			1		○								兼1	
	グローバル化と人間b	1・2・3前・後			1		○		1							
小計(5科目)	—	0	5	0	—			1	0	0	0	0	兼4 —			
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後			1			○							兼2 共同	
	データ解析	1・2・3前・後			1			○							兼2 共同	
	プログラミングⅡ	1・2・3前・後			1			○							兼2 共同	
	小計(3科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼3 —		
体保 育健	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後			1										兼8	
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼8 —		

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手						
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1							
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0				兼1	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1								兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0				兼1	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0				兼2	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1						兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0				兼6	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																	
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1								
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1								
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0		—	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1								
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1								
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0		—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0				兼41		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ		2		○			1						共同 兼1 兼1
		現代社会と福祉Ⅱ		2		○			1						
		ソーシャルワーク入門	1				○		1	2					
		医学・医療概論		1			○								
		医療・生命倫理		1			○								
		小計（5科目）	—	1	6	0	—			3	2	0	0	0	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病		2		○									兼1
		社会調査の基礎		2		○									兼1
		相談援助の理論と方法ⅠA		2			○				1				
		相談援助の理論と方法ⅠB		2			○				1				
		相談援助の理論と方法ⅡA		2			○			1					
		相談援助の理論と方法ⅡB		2			○				1				
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2			○				1				
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2			○				1				
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		2			○				1				
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後	2			○				1				
		福祉行財政と福祉計画	2・3前・後	2			○								兼1
		福祉サービスの組織と経営	2・3前・後	2			○								兼1
		社会保障Ⅰ	2前・後	2			○					1			
		社会保障Ⅱ	2前・後	2			○					1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1前・後	2			○					1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1前・後	2			○					1			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前・後	2			○				1				
		障がいの理解	1前・後	2			○				1				
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1・2前・後	2			○				1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度	3前・後	2			○					1			
		保健医療サービス	2前・後	2			○			1					
		就労支援サービス	3前・後	1			○					1			
		権利擁護と成年後見制度	3前・後	2			○				1				
		更生保護制度	3前・後	1			○								兼1
		社会福祉援助技術演習Ⅰ	3前・後	3				○		1	3		1		
		社会福祉援助技術演習Ⅱ	3前・後	2				○		1	3		1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習	3通	4					○		3	1	1		
		小計（30科目）	—	0	58	0	—			2	5	1	1	0	兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1					
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1
		精神保健福祉援助演習Ⅰ		1				○		1					
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1				○		1					
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		1				○		1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1				○		1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1				○		1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1				○		1					
		精神保健福祉援助実習		5					○	1					
小計(19科目)		0	35	0				0	1	0	0	0	0	兼2	—
介護福祉系科目	発達と老化の理解		2		○				1						
	認知症の理解		2		○									兼1	
	認知症のケア		2		○				1						
	心と体の仕組み		2		○				1						
小計(4科目)		0	8	0				1	0	0	0	0	0	兼1	—
保育系科目	保育原理		2		○						1				
	教育原理		2		○									兼1	
	社会的養護Ⅰ		2		○				1						
	保育者論		2		○					1					
	保育の心理学		2		○									兼1	
	子ども家庭支援の心理学		2		○									兼1	
	子どもの保健		2		○						1				
	子ども家庭支援論		2		○					1					
	児童文学		2		○				1					兼1	オムニバス
小計(9科目)		0	18	0				2	1	2	0	0	0	兼3	—
関連科目	国際福祉論		2		○				1						
	国際医療福祉演習		1				○		1						
	社会福祉法概論		2		○					1					
	音楽療法概論		2		○				1						
	生涯発達心理学		2		○									兼1	
	障害者心理学		2		○				1						
	社会理論と社会システム		2		○									兼1	
	社会福祉総論Ⅰ		2		○						1				
	社会福祉総論Ⅱ		2		○						1				
	総合福祉論		4		○				2	6	2	1		兼1	オムニバス
	ウェルネスビジネス論Ⅰ		2		○						1				
	ウェルネスビジネス論Ⅱ		2		○						1				
小計(12科目)		0	25	0				3	6	2	1	0	0	兼3	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育科目	専門演習 I A	2前・後	1				○		2	5	4				
	専門演習 I B	2前・後	1				○		2	5	4				
	専門演習 II A	3前・後	2				○		2	5	4				
	専門演習 II B	3前・後	2				○		2	5	4				
	卒業研究 I	4前・後	2				○		3	5	4				
	卒業研究 II	4前・後	2				○		3	5	4				
	小計 (6科目)	—	10	0	0		—		3	5	4	0	0	0	—
専門教育科目 合計 (85 科目)		—	11	150	0		—		7	8	5	1	0	兼13	—
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1						
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1				
	福祉科教育法 I	2・3前・後			2	○			1						
	福祉科教育法 II	2・3前・後			2	○					1				
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4 科目)		—	0	0	8		—		2	0	1	0	0	0	—
	教育原論	1前・後			1	○									兼1
	教職概論	1前・後			2	○									兼1
	教育制度論	2前・後			2	○									兼1
	学校教育心理学	2前・後			2	○									兼1
	特別支援教育論	2前・後			1	○									兼1
	教育課程論	3前・後			2	○									兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○									兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2	○									兼1
	教育方法論	2前・後			2	○									兼1
	生徒指導論	2前・後			1	○									兼1
	教育相談	3前・後			1	○									兼1
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○									兼1
	教育実習 (高)	3後・4前			3			○			1				兼3
	教職実践演習 (高)	4前・後			2		○				1				兼3
教職に関する科目 合計 (14 科目)		—	0	0	23		—		0	0	1	0	0	兼6	—
合計 (162 科目)		—	26	214	31		—		7	8	5	1	0	兼19	—

学位又は称号	学士(医療福祉学)	学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。			
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位			
(小計) 15単位以上			
○オプション科目 選択科目：8単位			
(小計) 8単位以上			
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：38単位 [「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡA」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡB」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保障Ⅰ」2単位、「社会保障Ⅱ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位]			
選択科目：42 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)			
(小計) 91 単位以上			
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。			
(合計) 124単位以上			

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手						
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1							
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0				兼1	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1								兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0				兼1	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○											兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0				兼2	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1						兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0				兼6	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																	
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1								
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1								
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0		—	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1								
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1								
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0		—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0				兼41		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ		2		○			1						共同 兼1 兼1
		現代社会と福祉Ⅱ		2		○		1							
		ソーシャルワーク入門	1				○		1	2					
		医学・医療概論		1			○								
		医療・生命倫理		1			○								
		小計（5科目）	—	1	6	0	—	—	3	2	0	0	0	0	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病		2		○									兼1
		社会調査の基礎		2		○									兼1
		相談援助の理論と方法ⅠA		2		○				1					
		相談援助の理論と方法ⅠB		2		○				1					
		相談援助の理論と方法ⅡA		2		○			1						
		相談援助の理論と方法ⅡB		2		○				1					
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2		○				1					
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2		○				1					
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		2		○				1					
		地域福祉の理論と方法Ⅱ		2		○				1					
		福祉行財政と福祉計画		2		○									兼1
		福祉サービスの組織と経営		2		○									兼1
		社会保障Ⅰ		2		○						1			
		社会保障Ⅱ		2		○						1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ		2		○						1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ		2		○						1			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2		○					1				
		障がいの理解		2		○					1				
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		2		○					1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2		○						1			
		保健医療サービス		2		○				1					
		就労支援サービス		1		○						1			
		権利擁護と成年後見制度		2		○					1				
		更生保護制度		1		○									兼1
		社会福祉援助技術演習Ⅰ		3				○		1	3			1	
		社会福祉援助技術演習Ⅱ		2				○		1	3			1	
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習		4					○		3	1	1		
		小計（30科目）	—	0	58	0	—	—	—	2	5	1	1	0	兼4

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育科目	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1					
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0	—	—	—	0	1	0	0	0	兼2	—
介護 福祉系科目	介護の基本ⅠA	1前・後		2		○			1						
	介護の基本ⅠB	1前・後		2		○					1				
	介護の基本Ⅱ	3前・後		2		○					1				
	リハビリテーション論	3前・後		2		○									兼1
	レクリエーション活動援助法	1前・後		1			○								兼1
	介護マネジメント論	3前・後		2		○									兼1
	コミュニケーション技術Ⅰ	2前・後		1			○		1						
	コミュニケーション技術Ⅱ	3前・後		1			○								兼1
	家政学概論Ⅰ	2前・後		2		○									兼1
	家政学概論Ⅱ	2前・後		2		○									兼1
	家政学演習Ⅰ(栄養)	2前・後		1			○								兼1
	家政学演習Ⅱ(被服)	2・3前・後		1			○								兼1
	生活支援技術Ⅰ	1前・後		2			○					1			
	生活支援技術Ⅱ	1前・後		2			○					1			
	生活支援技術Ⅲ	2前・後		1			○					1			兼1
	生活支援技術Ⅳ	3前・後		1			○					1			兼1
	介護過程Ⅰ	1前・後		2		○				1					
	介護過程ⅡA	2前・後		1			○					1			
	介護過程ⅡB	2前・後		1			○					1			
	介護過程ⅢA	3前・後		1			○					1			
	介護過程ⅢB	3前・後		1			○					1			
	介護総合演習Ⅰ	1前・後		1			○			1		2			
	介護総合演習Ⅱ	2前・後		1			○			1		2			
	介護総合演習Ⅲ	3前・後		1			○			1		2			
	介護実習Ⅰ	1通		2					○	1		2			
	介護実習Ⅱ	2通		4					○	1		2			
	介護実習Ⅲ	3通		4					○	1		2			
	発達と老化の理解	2前・後		2			○			1					
	認知症の理解	3前・後		2			○								兼1
	認知症のケア	3前・後		2			○			1					
	心と体の仕組み	1前・後		2			○			1					
	介護予防と終末期のケア	3前・後・4前		2			○			1					
	医療的ケアⅠ	3前・後		2			○					1			兼1
	医療的ケアⅡ	3前・後		2			○					1			兼1
	医療的ケアⅢ	3前・後		1				○				1			兼1
小計(35科目)	—	0	59	0	—	—	—	—	1	1	2	0	0	兼7	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	保育系科目	保育原理		2		○					1				兼1		
		教育原理		2		○											
		社会的養護 I		2		○			1								
		保育者論	1・2前・後		2		○				1						
		保育の心理学		2		○										兼1	
		子ども家庭支援の心理学		2		○										兼1	
		子どもの保健		2		○						1					
		子ども家庭支援論		2		○					1						
		児童文学		2		○				1						兼1	オムニバス
	小計 (9科目)	—	0	18	0	—	—	—	2	1	2	0	0	兼3	—		
	関連科目	国際福祉論		2		○				1							
		国際医療福祉演習		1			○			1							
		社会福祉法概論		2		○					1						
		音楽療法概論		2		○				1							
		生涯発達心理学		2		○										兼1	
		障害者心理学		2		○				1							
		社会理論と社会システム		2		○										兼1	
		社会福祉総論 I		2		○						1					
		社会福祉総論 II		2		○						1					
		総合福祉論		4		○				2	6	2	1			兼1	オムニバス
		ウェルネスビジネス論 I		2		○						1					
		ウェルネスビジネス論 II		2		○						1					
	小計 (12科目)	—	0	25	0	—	—	—	3	6	2	1	0	兼3	—		
	専門演習	専門演習 I A		1			○			2	5	4					
		専門演習 I B		1			○			2	5	4					
		専門演習 II A		2			○			2	5	4					
		専門演習 II B		2			○			2	5	4					
卒業研究 I			2			○			3	5	4						
卒業研究 II			2			○			3	5	4						
小計 (6科目)		—	10	0	0	—	—	—	3	5	4	0	0	0	—		
専門教育科目 合計 (105科目)		—	11	182	0	—	—	—	7	8	5	1	0	兼18	—		
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1								
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1						
	福祉科教育法 I	2・3前・後			2	○			1								
	福祉科教育法 II	2・3前・後			2	○					1						
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4科目)		—	0	0	8	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—		
	教育原論				1	○									兼1		
	教職概論				2	○									兼1		
	教育制度論				2	○									兼1		
	学校教育心理学				2	○									兼1		
	特別支援教育論				1	○									兼1		
	教育課程論				2	○									兼1		
	総合的な学習の時間の指導法				1	○									兼1		
	特別活動の指導法				2	○									兼1		
	教育方法論				2	○									兼1		
	生徒指導論				1	○									兼1		
	教育相談				1	○									兼1		
	進路指導・キャリア教育論				1	○									兼1		
	教育実習 (高)	3後・4前		3				○			1				兼3		
	教職実践演習 (高)	4前・後		2			○				1				兼3		
教職に関する科目 合計 (14科目)		—	0	0	23	—	—	—	0	0	1	0	0	兼6	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
合計 (182 科目)		—	26	246	31	—			7	8	5	1	0	兼24	—
学位又は称号	学士(医療福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 〔「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程ⅡA」1単位、「介護過程ⅡB」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕</p> <p>選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91 単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>									1 学年の学期区分	2 学期					
									1 学期の授業期間	15 週					
									1 時限の授業時間	90 分					

【参考】

教育課程等の概要

(健康科学部 医療福祉学科 保育福祉学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1					○	2						兼1 オムニバス 兼6 オムニバス・共同(一部) 兼4 共同 兼4 共同 兼3 共同 兼3 共同 兼3 共同 兼3 共同 兼1 共同 兼8 共同
	チュートリアル	1前	1					○	1	2	2	1			
	専門職連携基礎演習 I	1前・後	1					○		1					
	専門職連携基礎演習 II	1前・後	1					○		1					
	専門職連携総合演習 I	2・3・4前・後	1					○		1					
	専門職連携総合演習 II	2・3・4前・後	1					○			1				
	地域創生と危機管理	1前・後	1				○			1					
	デジタルコミュニケーション	1前	1					○							
	データサイエンス I	1後	1					○							
	英語コミュニケーション I	1前	1					○							
	英語コミュニケーション II	1後	1					○							
	英語リーディング I	1前	1					○							
	英語リーディング II	1後	1					○							
	スポーツ学	1前・後	1				○								
スポーツ実習 I	1前・後	1						○							
小計(15科目)		—	15	0	0			—	3	5	3	1	0	兼25 —	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0		—	3	5	3	1	0	兼25 —	
オプション科目	グローバル	中国語 I	1・2・3前・後			1		○							兼1 兼1 兼1 兼1
		中国語 II	1・2・3前・後			1		○							
		ドイツ語 I	1・2・3前・後			1		○							
		ドイツ語 II	1・2・3前・後			1		○							
	小計(4科目)		—	0	4	0		—	0	0	0	0	0	兼2 —	
	情報学	プログラミング I	1・2・3前・後			1		○							兼2 兼2
		小計(1科目)		—	0	1	0		—	0	0	0	0	0	
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後			2		○							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		文学	1・2・3前・後			2		○		1					
		心理学	1・2・3前・後			2		○		1					
		芸術学	1・2・3前・後			2		○							
		文化人類学	1・2・3前・後			2		○							
小計(5科目)		—	0	10	0		—	2	0	0	0	0	兼3 —		
人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後			2		○			1				兼1 兼1 兼1 兼1	
	経済学	1・2・3前・後			2		○								
	歴史学	1・2・3前・後			2		○								
	政治学	1・2・3前・後			2		○								
小計(4科目)		—	0	8	0		—	0	1	0	0	0	兼3 —		
オプション(ベーシック)	人間と自然	統計学	1・2・3前・後			2		○						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼4	
		数学基礎	1・2・3前・後			1		○							
		数学	1・2・3前・後			2		○							
		物理学	1・2・3前・後			2		○							
		化学	1・2・3前・後			2		○							
		生物学	1・2・3前・後			2		○							
		科学実験a	1・2・3前・後			1							○		
		科学実験b	1・2・3前・後			1							○		
	小計(8科目)		—	0	13	0		—	0	0	0	0	0	兼8 —	
総合	日本語表現法	1・2・3前・後			2		○		1					兼1 兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3前・後			2		○			1					
小計(2科目)		—	0	4	0		—	1	1	0	0	0	0	兼0 —	
オプション(アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後			1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後			1									
		検定英語	2・3前・後			1									
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後			1		○							
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後			1		○		1					
	小計(5科目)		—	0	5	0		—	1	0	0	0	0	兼4 —	
	情報学	データサイエンス II	1・2・3前・後			1			○						兼2 兼2 兼2
		データ解析	1・2・3前・後			1			○						
		プログラミング II	1・2・3前・後			1			○						
	小計(3科目)		—	0	3	0		—	0	0	0	0	0	兼3 —	
体保健	スポーツ実習 II	1・2・3前・後			1									兼8 兼8	
	小計(1科目)		—	0	1	0		—	0	0	0	0	0		

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考							
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手								
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○				1										
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○												兼1		
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	1	0	0	0	0				兼1	—	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1										兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0	0				兼1	—	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	0				兼2	—	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1	1									兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	1	0	0	0	0				兼6	—	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																			
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1										
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1										
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0				—	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1										
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1										
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0				—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		2	2	0	0	0	0				兼41	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	現代社会と福祉Ⅰ	1前・後		2		○			1						共同 兼1 兼1 兼1
	現代社会と福祉Ⅱ	1前・後		2		○		1							
	ソーシャルワーク入門	1前・後	1				○		1	2					
	医学・医療概論	1前・後		1			○								
	医療・生命倫理	1前・後		1			○								
	小計（5科目）	—	1	6	0	—			3	2	0	0	0	兼1	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病	1前・後		2		○								兼1
	社会調査の基礎	2前・後		2		○									兼1
	相談援助の理論と方法ⅠA	2前・後		2		○				1					
	相談援助の理論と方法ⅠB	2前・後		2		○				1					
	相談援助の理論と方法ⅡA	2前・後		2		○			1						
	相談援助の理論と方法ⅡB	2前・後		2		○				1					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1前・後		2		○				1					
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1前・後		2		○				1					
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2前・後		2		○				1					
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後		2		○				1					
	福祉行財政と福祉計画	2・3前・後		2		○									兼1
	福祉サービスの組織と経営	2・3前・後		2		○									兼1
	社会保障Ⅰ	2前・後		2		○					1				
	社会保障Ⅱ	2前・後		2		○					1				
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1前・後		2		○					1				
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1前・後		2		○					1				
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前・後		2		○					1				
	障がいの理解	1前・後		2		○					1				
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1・2前・後		2		○					1				
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前・後		2		○						1			
	保健医療サービス	2前・後		2		○				1					
	就労支援サービス	3前・後		1		○						1			
	権利擁護と成年後見制度	3前・後		2		○					1				
	更生保護制度	3前・後		1		○									兼1
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	3前・後		3				○		1	3		1		
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	3前・後		2				○		1	3		1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習	3通		4					○		3	1	1		
小計（30科目）	—	0	58	0	—			2	5	1	1	0	兼4	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	精神保健福祉系科目 精神疾患とその治療 I 精神疾患とその治療 II 精神保健の課題と支援 I 精神保健の課題と支援 II 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス I 精神保健福祉に関する制度とサービス II 精神障害者の生活支援システム	3前・後		2		○										兼1		
		3前・後		2		○										兼1		
		2前・後		2		○										兼1		
		2前・後		2		○										兼1		
		2前・後		2		○										兼1		
		3前・後		2		○				1								
		3前・後		2		○				1								
		3前・後		2		○										兼1		
	小計(8科目)	—	0	16	0	—			0	1	0	0	0		兼2	—		
	介護福祉系科目	発達と老化の理解 認知症の理解 認知症のケア 心と体の仕組み	2前・後		2		○			1							兼1	
			3前・後		2		○											
			3前・後		2		○			1								
			1前・後		2		○			1								
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			1	0	0	0	0		兼1	—		
	保育系科目	保育原理 教育原理 子育て支援 社会的養護 I 保育者論 保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 子どもの保健 子どもの健康と安全 子どもの食と栄養 子ども家庭支援論 保育の計画と評価 保育内容総論 保育内容演習 I (健康) 保育内容演習 II (人間関係) 保育内容演習 III (環境) 保育内容演習 IV (言葉) 保育内容演習 V (表現) 児童文学 乳児保育 I 乳児保育 II 障がい児保育 社会的養護 II 保育内容の理解と方法 I 保育内容の理解と方法 II	1前・後		2		○						1				兼1	
			1前・後		2		○											
			3前・後		1			○				1						
			3前・後		2		○				1							
			1・2前・後		2		○					1						
			1前・後		2		○											兼1
			1前・後		2		○											兼1
			1前・後		1			○										兼1
			2前・後		2		○							1				
2前・後				1			○						1					
1前・後				2			○						1					
2前・後				2		○					1							
1前・後				2		○											兼1	
1前・後				1			○										兼1	
1前・後				1			○						1					
2前・後				1			○							1				
2前・後				1			○						1					
3前・後				2			○						1					
3前・後				1			○				1							
1前・後				2			○				1						兼2	
2前・後				2			○										兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手						
専門 教育 科目	保育系 科目	保育内容の理解と方法Ⅲ		1			○										兼1		
		母子保健	3前・後	1			○					1							
		病児保育	3前・後	1			○					1							
		保育実習概論	2前・後	1			○			3		2							
		保育実習指導Ⅰ-1 (保育所)	2前・後	1			○			3		2							
		保育実習指導Ⅰ-2 (施設)	3前・後	1			○			3		2							
		保育実習Ⅰ-1 (保育所)	2通	2					○	3		2							
		保育実習Ⅰ-2 (施設)	3通	2					○	3		2							
		保育実践演習	3・4前・後	2				○		1									
		保育実習指導Ⅱ	3前・後	1				○		3		2							
		保育実習Ⅱ	3通	2					○	3		2							
		保育実習指導Ⅲ	3前・後	1				○		3		2							
		保育実習Ⅲ	3通	2					○	3		2							
		小計 (39科目)		—	0	59	0	—	—	—	3	1	2	0	0			兼8	—
		関連 科目	国際福祉論	2前・後		2		○			1								
国際医療福祉演習	1前・後			1			○		1										
社会福祉法概論	2前・後			2		○				1									
音楽療法概論	2前・後			2		○			1										
生涯発達心理学	2前・後			2		○											兼1		
障害者心理学	1前・後			2		○			1										
社会理論と社会システム	1前・後			2		○											兼1		
社会福祉総論Ⅰ	4前・後			2		○					1								
社会福祉総論Ⅱ	4前・後			2		○					1								
総合福祉論	4前・後			4		○			2	6	2	1					兼1	オムニバス	
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後			2		○					1								
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後		2		○					1									
小計 (12科目)		—	0	25	0	—	—	—	3	6	2	1	0			兼3	—		
専門 演習	専門演習ⅠA	2前・後	1				○		2	5	4								
	専門演習ⅠB	2前・後	1				○		2	5	4								
	専門演習ⅡA	3前・後	2				○		2	5	4								
	専門演習ⅡB	3前・後	2				○		2	5	4								
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2				○		3	5	4								
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2				○		3	5	4								
	小計 (6科目)		—	10	0	0	—	—	—	3	5	4	0	0			0	—	
専門教育科目 合計 (104科目)		—	11	172	0	—	—	—	7	8	5	1	0			兼19	—		
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1										
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1								
	福祉科教育法Ⅰ	2・3前・後			2	○			1										
	福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後			2	○					1								
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4科目)		—	0	0	8	—	—	—	2	0	1	0	0			0	—		
	教育原論	1前・後			1	○										兼1			
	教職概論	1前・後			2	○										兼1			
	教育制度論	2前・後			2	○										兼1			
	学校教育心理学	2前・後			2	○										兼1			
	特別支援教育論	2前・後			1	○										兼1			
	教育課程論	3前・後			2	○										兼1			
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○										兼1			
	特別活動の指導法	3前・後			2	○										兼1			
	教育方法論	2前・後			2	○										兼1			
	生徒指導論	2前・後			1	○										兼1			
	教育相談	3前・後			1	○										兼1			
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○										兼1			

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	教育実習(高)	3後・4前			3			○			1				兼3
	教職実践演習(高)	4前・後			2		○				1				兼3
教職に関する科目 合計(14科目)		—	0	0	23	—			0	0	1	0	0	兼6	—
合計(181科目)		—	26	236	31	—			7	8	5	1	0	兼25	—
学位又は称号	学士(医療福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕</p> <p>選択科目：30単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>									1学年の学期区分		2学期				
									1学期の授業期間		15週				
									1時限の授業時間		90分				

教育課程等の概要 (健康科学部 医療経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○				1	1			兼1 オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○			7	3	2	1			
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○			1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1				○				1	1			兼4 オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1					○				1			兼3 共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1					○				1			兼3 共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1					○			1				兼4	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1					○			1				兼4	
	英語リーディングⅠ	1前	1					○							兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1					○							兼5	
	スポーツ学	1前・後	1				○								兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1						○						兼8 共同	
小計(15科目)		—	15	0	0		—			7	4	2	1	0	兼22 —	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0		—		7	4	2	1	0	兼22 —	
オープン科目 (ベシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		小計(4科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1				○							兼2 共同
		小計(1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		文学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		心理学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		芸術学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		文化人類学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
	小計(5科目)		—	0	10	0		—		0	1	0	0	0	兼4 —	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		経済学	1・2・3前・後	2				○			1					兼1
		歴史学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
		政治学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
	小計(4科目)		—	2	6	0		—		1	1	0	0	0	兼2 —	
	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2				○				1				兼1
		数学基礎	1・2・3前・後		1			○								兼1
		数学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		物理学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		化学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		生物学	1・2・3前・後		2			○								兼1
科学実験a		1・2・3前・後		1										○	兼3 共同	
科学実験b		1・2・3前・後		1									○	兼3 共同		
小計(8科目)		—	2	11	0		—		0	1	1	0	0	兼6 —		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3前・後		2			○								兼1	
小計(2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オープン科目 (アドバンスド)	グローバル Reading & Writing 英語プレゼンテーション 検定英語 グローバル化と人間a グローバル化と人間b 小計(5科目)	2・3前・後		1			○								兼1		
		2・3前・後		1			○								兼1		
		2・3前・後		1			○								兼1		
		1・2・3前・後		1			○								兼1		
		1・2・3前・後		1			○								兼1		
		—	0	5	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5	—	
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		データ解析	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼3	—	
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1				○							兼8	
		小計(1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8	—
	化人 間と 文	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	会人 間と 社	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○				1					兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		—	0	2	0		—		0	1	0	0	0	0	兼1	—	
	然人 間と 自	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○					1				兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		—	0	2	0		—		0	0	1	0	0	0	兼1	—	
	総合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1			○			1					兼7	
		小計(1科目)	—	0	1	0		—		0	1	0	0	0	0	兼7	—
オープン 留學生 特例 科目	留學生特例科目																
	会人 間と 社	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		日本事情 b	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	ルグ ロー バ	日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○									兼1	
日本語Ⅱ		1・2・3前・後		2		○									兼1		
	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
オープン科目	合計(44科目)	—	4	60	0		—		1	2	1	0	0	兼29	—		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	経営学入門	1前・後	2			○			1			1		共同
		医療制度論	1前・後	2			○			1					共同
		社会保障論	1前・後	2			○			1			1		共同
		医学・医療概論	1前・後	2			○			1					
		医療関連法規	2前・後	2			○			1					
		医学用語概論	2前・後	2			○			1					
		情報システム学入門	1前・後	2			○			1					
		病院管理学	1前・後	2			○			1					
		救急処置演習	1前・後	1				○				1			
		小計 (9 科目)	—	—	17	0	0	—	—	—	4	0	1	1	0
専門 科目	専門 科目	経営組織論	2前・後		2		○						1		
		医療と経営組織	2前・後		2		○				1				
		人的資源管理論	2前・後		2		○						1		
		医療と人的資源管理	2前・後		2		○						1		
		非営利組織経営論	2後・3前		2		○						1		
		経営基礎数学	1前・後		2		○				1				
		経営科学	2前・後		2		○				1				
		生産管理論	2前・後		2		○				1				
		医療経営科学	3前・後		2		○					1			
		品質マネジメント論	3前・後		2		○					1			
		医療機器と物品管理	3前・後		2		○			1	1				共同
		医療施設建築計画論	3前・後		2		○				1				
		医療福祉ユニバーサルデザイン	3前・後		2		○				1				
		簿記論	2前・後		2		○								兼1
		簿記演習	2前・後		1			○							兼1
		会計学	2前・後		2		○								兼1
		財務管理論	2・3前・後		2		○					1			
		経営情報処理演習	2・3前・後		1			○				1			
		管理会計	2・3前・後		2		○								兼1
		非営利事業会計論	3前・後		2		○								兼1
		ミクロ経済学	2前・後		2		○				1				
		マクロ経済学	2・3前・後		2		○				1				
		公共経済学	2後・3前		2		○				1				
		医療経済学	3前・後		2		○				1				
		地域医療システム論	4前・後		2		○				1				
		医療コミュニケーション論	2前・後		2		○					1			
		マーケティング論	2後・3前		2		○				1				
		医療とマーケティング	3前・後		2		○				1				
		医療とリスクマネジメント	3前・後		2		○						1		
		医療と流通	3後・4前		2		○				1				
医療産業論	3・4前・後		2		○					1					
経営戦略論	2後・3前		2		○				1						
医療と経営戦略	3後・4前		2		○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	人体構造機能学	1後・2前		2		○									兼1	
	メディカル・イングリッシュ	2前・後		2		○			1							
	臨床医学Ⅰ	2前・後		2		○									兼1	
	臨床医学Ⅱ	2後・3前		2		○									兼1	
	臨床医学Ⅲ	2後・3前		2		○									兼1	
	臨床医学Ⅳ	2後・3前		2		○			1							
	医療倫理	2後・3前		1		○			1							
	公衆衛生学	3前・後		1		○			1							
	薬学概論	3前・後		2		○										兼1
	疾病分類学Ⅰ	2・3前・後		2		○			1							
	疾病分類学Ⅱ	2・3前・後		2		○					1					
	疾病分類学演習	3前・後		1			○		1		1				共同	
	診療情報管理演習Ⅰ	3・4前・後		1			○		1							
	診療情報管理演習Ⅱ	3・4前・後		1			○		1							
	診療情報管理演習Ⅲ	3・4前・後		1			○				1					
	診療報酬制度論	2前・後		2		○			1							
	診療報酬請求演習Ⅰ	2前・後		1			○		1							
	診療報酬請求演習Ⅱ	2前・後		1			○		1							
	医師事務作業論	2後・3前		2		○			1							
	医師事務作業演習	2後・3前		1			○		1							
	医療事務概論	2・3前・後		2		○			1							
	医療統計学	2・3前・後		2		○			1							
	医療情報学Ⅰ	2前・後		2		○			1							
	医療情報学Ⅱ	2・3前・後		2		○			1							
	医療情報システム	3・4前・後		2		○					1					
	医療情報システム演習	4前・後		1			○		1							
	診療情報管理論	2前・後		2		○					1					
	情報システム学Ⅰ	2前・後		2		○			1							
	情報システム学Ⅱ	3前・後		2		○			1							
	医療経営データベース演習	3前・後		1			○		1							
	医療経営情報処理演習	3前・後		1			○		2						共同	
	医療経営総合演習	2・3前・後		1			○		1							
	ビジネスマナー・接遇演習	3前・後		1			○								兼1	
	医療ボランティア	1前・後		1			○		1	1	1				共同	
	医療施設管理実習事前演習	2前・後		1			○		5	1	1				共同	
	医療施設管理実習	3前・後		2					5	1	1				共同	
	フィールドワーク	3前・後		1			○		1	1		1			共同	
	インターンシップⅠ	2前・後		1					1							
	インターンシップⅡ	2前・後		1					1							
	医療経営演習Ⅰ	2前・後		1			○		6	3	2	1				
医療経営演習Ⅱ	2前・後		1			○		6	3	2	1					
専門演習Ⅰ	3前・後		2			○		6	3	1	1					
専門演習Ⅱ	3前・後		2			○		6	3	1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	卒業研究Ⅰ	4前・後	2				○		6	3	1				
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2				○		6	3	1				
	小計 (78科目)	—	10	123	0		—		7	3	2	1	0	兼4	—
専門教育科目 合計 (87科目)		—	27	123	0		—		7	3	2	1	0	兼4	—
合計 (146科目)		—	46	183	0		—		7	4	2	1	0	兼4	—
学位又は称号		学士 (医療経営学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)、経済学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○ スタンダード科目 必修科目：15単位 ○ オプション科目 必修科目：4単位 選択科目：4単位 (小計) 23単位以上 ○ 専門教育科目 ・ 専門基礎科目 必修科目 17単位 ・ 専門科目 必修科目 10単位 選択科目 64単位以上 (小計) 91単位以上 ○ その他：10単位 ・ オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。 (合計) 124単位以上								1学年の学期区分				2学期			
								1学期の授業期間				15週			
								1時限の授業時間				90分			

教育課程等の概要																
(健康科学部 心理学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○								兼2 オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		1	3	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○								兼1	
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○									兼7 オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○			1					兼3 共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1				○			1					兼3 共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼3	
	英語リーディングⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語リーディングⅡ	1後	1				○								兼3	
	スポーツ学	1前・後	1				○								兼1	
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1						○						兼8 共同		
小計(15科目)		—	15	0	0				1	6	3	0	0	兼26	—	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0			1	6	3	0	0	兼26	—	
オープン科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○			1					
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○			1					
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○			1					
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○			1					
		小計(4科目)		—	0	4	0			0	2	0	0	0	0	—
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○								兼2 共同
		小計(1科目)		—	0	1	0			0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2			○			1					
		文学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		心理学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		芸術学	1・2・3前・後		2			○		1						
		文化人類学	1・2・3前・後		2			○								兼1
	小計(5科目)		—	0	10	0			1	1	0	0	0	兼3	—	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後		2			○								兼1
経済学		1・2・3前・後		2			○								兼1	
歴史学		1・2・3前・後		2			○			1						
政治学		1・2・3前・後		2			○								兼1	
小計(4科目)			—	0	8	0			0	1	0	0	0	兼3	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
オプション科目目	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2		○										兼1
		数学基礎	1・2・3前・後	1		○										兼1
		数学	1・2・3前・後	2		○										兼1
		物理学	1・2・3前・後	2		○										兼1
		化学	1・2・3前・後	2		○										兼1
		生物学	1・2・3前・後	2		○										兼1
		科学実験a	1・2・3前・後	1					○							兼3 共同
		科学実験b	1・2・3前・後	1					○							兼4 共同
	小計 (8科目)		—	0	13	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2		○									兼1
コミュニケーション論		1・2・3前・後		2		○									兼1	
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
オプション (アドバンス)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1			○									兼1
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1			○									兼1
		検定英語	2・3前・後	1				○								兼1
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1		○				1						兼1
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1		○										兼1
	小計 (5科目)		—	0	5	0	—			1	0	0	0	0	兼4	—
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2 共同
		データ解析	1・2・3前・後		1			○								兼2 共同
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2 共同
		小計 (3科目)		—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼3
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1				○							兼8
		小計 (1科目)		—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼8
	人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○									兼1
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○				1					兼1
		小計 (2科目)		—	0	2	0	—			1	0	0	0	0	兼1
	人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○									兼1
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○									兼1
		小計 (2科目)		—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2
	人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○									兼1
人間と自然b		1・2・3前・後		1		○									兼1	
小計 (2科目)			—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○			1	1			兼6	
	小計 (1科目)		—	0	1	0	—			1	1	0	0	0	兼6	—
オプション	留学生特例科目															
	人間と社会	日本事情a	1・2・3前・後		2		○									兼1
		日本事情b	1・2・3前・後		2		○									兼1
		小計 (2科目)		—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1
	グローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○									兼1
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○									兼1
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—			2	8	3	0	0	兼40	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門 教育 科目	日本語基礎演習Ⅰ(話す・聞く)	1前・後	1					○			1					兼1	共同
	日本語基礎演習Ⅱ(読む・書く)	1前・後	1					○			1					兼1	共同
	心理学概論	1・2前・後	2			○				1	1						オムニバス
	学習・言語心理学	1・2前・後	2			○				1							
	発達心理学	1・2前・後	2			○					1						
	感情・人格心理学	1・2前・後	2			○					1	1					オムニバス
	動物心理学	2・3前・後	2			○				1							
	知覚・認知心理学	2・3前・後	2			○						1					
	神経・生理心理学	2・3前・後	2			○				1							
	色彩心理学	2・3前・後	2			○										兼1	
	心理学統計法	2・3前・後	2			○				2							共同
	心理学研究法A	2・3前・後	2			○				1							
	心理学研究法B	2・3前・後	2		2	○					1						
	心理学研究法C	3・4前・後	2		2	○					1						
	ストレスマネジメント演習	1前・後	1					○					1				
	心理学実験	2前・後	2						○	3	2	2	1				共同
	心理学応用実験	2前・後		1					○	3	1	2	1				共同
	コミュニケーション演習	2前・後	1							2	2	2	1				共同
	専門演習Ⅰ	3前・後	2					○		3	4	4	4				共同
	専門演習Ⅱ	3前・後	2					○		3	4	4	4				共同
	多変量解析演習	3・4前・後	2					○		1							
	外国書講読	3・4前・後	2				○			1	1						共同
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2						○	3	4	4					共同
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2						○	3	4	4					共同
	小計(24科目)		20	23	0			—	3	7	4	1	0		兼2	—	
臨床 心理 学系	臨床心理学概論	1・2前・後	2			○				1							
	心理学的支援法	2・3前・後	2			○				1	3	1					オムニバス
	公認心理師の職責	2・3前・後	2			○				1	1						オムニバス
	心理的アセスメント	2・3前・後	2			○					1						
	障害者・障害児心理学	2・3前・後	2			○					1						
	認知行動療法	3・4前・後	2			○						1				兼1	
	教育・学校心理学	2・3前・後	2			○					1						
	心理学の現場(教育・発達)	3・4前・後	2					○								兼2	オムニバス・共同(一部)
	学校カウンセリング	3・4前・後	2					○								兼1	
	心理演習Ⅰ	2・3前・後	2					○		1	2	2					共同
	心理演習Ⅱ	2・3前・後	2					○		1	2	2					共同
	心理実習	3・4前・後	2						○		2	2					共同
	関係行政論	3・4前・後	2				○					3				兼2	オムニバス
	小計(13科目)		0	26	0			—	1	3	3	1	0		兼4	—	
医療 ・ 健康 ・ 福祉 系	健康・医療心理学	2・3前・後	2			○							1			兼1	
	コミュニティ心理学	1・2前・後	2			○				1							
	福祉心理学	3・4前・後	2			○					1	1					オムニバス
	公衆衛生学	2・3前・後	2			○						1					共同
	睡眠改善学	2・3前・後	2			○				2							
	人体の構造と機能及び疾病	3・4前・後	2			○										兼1	
	精神疾患とその治療Ⅰ	2・3前・後	2			○										兼1	
	精神疾患とその治療Ⅱ	2・3前・後	2			○										兼1	
	高齢者支援演習	3・4前・後	2					○		1						兼2	共同
	小計(9科目)		0	18	0			—	2	2	2	1	0		兼3	—	
産業 ・ 社会 系	社会・集団・家族心理学A	1・2前・後	2			○				1						兼1	
	社会・集団・家族心理学B	2・3前・後	2			○											
	社会調査法概論	2前・後	2			○					1						
	司法・犯罪心理学	3・4前・後	2			○										兼1	
	消費者心理学	2・3前・後	2			○					1						
	産業・組織心理学	3・4前・後	2			○						1				兼1	
	社会心理調査法実習Ⅰ	3・4前・後	1								2	1					共同
	社会心理調査法実習Ⅱ	3・4前・後	1								2	1					共同
	心理学実践実習(産業・社会)	3・4前・後	1						○	1	1	1					共同
	小計(9科目)		0	15	0			—	1	1	2	1	0		兼4	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域支援実習	1前・後		1				○	1			1		兼2	共同
	ビジネス演習	2前・後		2			○							兼1	共同
	コミュニケーション実習	3・4前・後		2				○		2					共同
	メディアコミュニケーション実習	2・3前・後		1				○		2	1				共同
	キャリア体験	3・4前・後		1				○			1				
	小計(5科目)	—	0	7	0	—	—	—	1	3	2	1	0	兼3	—
専門教育科目 合計(60科目)		—	20	89	0	—	—	—	4	7	4	1	0	兼14	—
合計(119科目)		—	35	153	0	—	—	—	5	8	4	1	0	兼50	—
学位又は称号	学士(心理学)		学位又は学科の分野				文学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○スタンダード科目：必修科目15単位 ○オプション科目：選択科目19単位 (グローバルから2単位、情報学から1単位を含む。ベーシック、アドバンスドは問わない。) <hr/> (小計) 34単位以上 ○専門教育科目 必修科目：20単位 (『基礎科目』20単位) 選択科目：60単位 (『臨床心理学系』の「心理実習」、『産業・社会系』の「心理学実践実習(産業・社会)」、『コミュニケーションプログラム』の「コミュニケーション実習」の3科目のうちいずれか1科目を含め、60単位以上) <hr/> (小計) 80単位以上 ○その他：10単位(オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること) (合計) 124単位以上							1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

教育課程等の概要																	
(健康科学部 医療栄養学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○		1						兼3	オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		8	1	1	1					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○		1								
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○		1								
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○		1								
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○		1								
	地域創生と危機管理	3前・後	1			○				1					兼6	オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○								兼2	共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1				○								兼2	共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼2		
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼2		
	英語リーディングⅠ	2前	1				○								兼2		
	英語リーディングⅡ	2後	1				○								兼2		
	スポーツ学	2前・後	1			○									兼1		
スポーツ実習Ⅰ	1・2前・後	1					○							兼8	共同		
小計 (15 科目)		—	15	0	0		—		9	2	1	1	0	兼17	—		
スタンダード科目 合計 (15 科目)			—	15	0	0		—	9	2	1	1	0	兼17	—		
オプション科目 (ベーシック)	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○								兼1	
		小計 (4 科目)		—	0	4	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		小計 (1 科目)		—	0	1	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—	
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		文学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		心理学	1・2・3前・後		2		○				1						
		芸術学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
	小計 (5 科目)		—	0	10	0		—	0	1	0	0	0	兼4	—		
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		経済学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		歴史学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		政治学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
	小計 (4 科目)		—	0	8	0		—	0	0	0	0	0	兼4	—		
	人間と自然	統計学	1前・後	2			○									兼1	
		数学基礎	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		数学	1・2・3前・後		2		○									兼1	
物理学		1・2・3前・後		2		○									兼1		
化学		1前・後	2			○									兼1		
生物学		1前・後	2			○			1								
科学実験a		1・2・3前・後		1				○							兼2	共同	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目	人間と自然	科学実験b	1・2・3前・後		1			○	1						兼2	共同	
		小計（8科目）	—	6	7	0		—	2	0	0	0	0		兼6	—	
オプション科目	総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2		○								兼1		
		コミュニケーション論	1・2・3前・後		2		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—		
オプション科目（アドバンスド）	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後		1			○							兼1		
		英語プレゼンテーション	2・3前・後		1			○							兼1		
		検定英語	2・3前・後		1			○							兼1		
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後		1		○								兼2		
		小計（5科目）	—	0	5	0		—	0	0	0	0	0		兼5	—	
情報学		データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		データ解析	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		小計（3科目）	—	0	3	0		—	0	0	0	0	0		兼3	—	
育保体		スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼8		
		小計（1科目）	—	0	1	0		—	0	0	0	0	0		兼8	—	
人間と文化		人間と文化a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
人間と社会		人間と社会a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
人間と自然		人間と自然a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
総合		教養ゼミ	1・2・3前・後		1			○			1				兼7		
		小計（1科目）	—	0	1	0		—	0	1	0	0	0		兼7	—	
オプション科目	留学生特例科目																
	人間と社会		日本事情a	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			日本事情b	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0		兼1	—
	グローバル		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0		兼1	—	
オプション科目 合計（44科目）			—	6	58	0		—	2	1	0	0	0	兼29	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	医療人養成に向けた基礎教育	管理栄養士概論	1前・後	1			○			4	1	1				オムニバス 一部共同 兼1 オムニバス 兼1 オムニバス
		早期体験学習	1前・後	1				○		4			1	1		
		医療・生命倫理	1前・後	1				○		1						
		医学・医療概論	1前・後	1				○		1						
	健康・社会・環境と	公衆衛生学Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		公衆衛生学Ⅱ	1前・後	2			○			1						
		公衆衛生学Ⅲ	2前・後	2			○			1						
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生理学	1前・後	2			○			1						兼1 共同 兼1 オムニバス 兼1 オムニバス 兼1 共同
		解剖学	1前・後	2			○			1						
		生理解剖学実習	1前・後	1					○	2			1			
		生化学Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		生化学Ⅱ	1前・後	2			○			1						
		生化学実験Ⅰ	1前・後	1					○	1			1			
		生化学実験Ⅱ	2前・後	1					○	2			1			
		病態学Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		病態学Ⅲ	2前・後	2			○			1				兼1		
	病態生理学実習	2前・後	1					○	2			1				
	食べ物と健康	調理学	1前・後	2			○									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼5 兼1 兼1 共同
		調理学実習	1前・後	1					○				1			
		調理科学実験	1前・後	1					○				1			
		食品化学Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		食品化学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		食品化学実験	2前・後	1					○	1			1			
		食品加工学	2前・後	2			○			1						
		食品加工学実習	3前・後	1					○	1			1			
		食品衛生学	1前・後	2			○							兼1		
		食品衛生学実験	3前・後	1					○					兼5		
	献立作成実習	2前・後	1					○				1	兼1			
小計（29科目）			—	44	0	0	—			8	1	1	1	4	兼9	—
専門応用分野	基礎栄養学	基礎栄養学	1前・後	2			○			2			1			共同 共同 共同
		基礎栄養学実験	2前・後	1					○	2			1			
		食事摂取基準演習	2前・後	1					○	2			1			
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		応用栄養学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		応用栄養学Ⅲ	2前・後	2			○			1						
		応用栄養学実習	2前・後	1					○	1			1			
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		栄養教育論Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		栄養教育論Ⅲ	2前・後	2			○			1						
		栄養教育論実習	2前・後	1					○	1			1			
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2前・後	2			○				1					
		臨床栄養学各論Ⅰ	2前・後	2			○				1					
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前・後	2			○			1						
臨床栄養学各論Ⅲ		3前・後	2			○			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	養学 臨床 栄	臨床栄養学実習Ⅰ	3前・後	1				○		1			1		
		臨床栄養学実習Ⅱ	3前・後	1				○		1			1		
	公衆 栄 養 学	公衆栄養学Ⅰ	2前・後	2			○			1					
		公衆栄養学Ⅱ	3前・後	2			○			1					
		公衆栄養学実習	3前・後	1					○	1				1	
	給食 経 営 管 理 論	給食経営管理総論	2前・後	2			○					1			
		給食経営管理各論	2前・後	2			○					1			
		給食経営管理実習Ⅰ	2前・後	1					○			1		2	
		給食経営管理実習Ⅱ	3前・後	1					○			1		2	
	総 合 演 習	総合演習Ⅰ	3前・後	1					○			1		1	
		総合演習Ⅱ	4前・後		1				○			1		1	一部共同
		総合演習Ⅲ	4前・後	1					○	1	1			1	一部共同
		総合演習Ⅳ	4前・後		1				○	1				1	
		総合演習Ⅴ	4前・後		1				○	1				1	
		総合専門演習Ⅰ	3前・後	1					○	8	1	1	1	5	一部共同
	総合専門演習Ⅱ	4前・後	2					○	8		1	1	5	オムニバス	
	臨 地 実 習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3前・後	1					○			1		1	
		臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	4前・後		1				○	1	1	1		1	
		臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4前・後	2					○	1	1			1	
		臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4前・後		1				○	1	1			1	
		臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	4前・後		1				○	1				1	
	関 連 科 目	食育演習Ⅰ	1前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同
		食育演習Ⅱ	2前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同
		食育演習Ⅲ	3前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同
		国際栄養支援学演習	1・2前・後		1				○	2					兼1 共同
		食医特論	3前・後		2		○			4					オムニバス
		栄養薬学	3前・後		2		○			1					
		医療・福祉・介護と栄養ケア	3前・後		2		○			1					
		卒業研究Ⅰ	4前・後	2					○	8	1	1		4	
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○	8	1	1		4		
小計（45科目）		—	51	16	0	—			9	1	1	1	5	兼1 —	
専門教育科目 合計（74科目）		—	95	16	0	—			9	1	1	1	5	兼10 —	
栄養に係る教育に関する科目															
	学校栄養教育論Ⅰ	3前・後		2		○								兼2 オムニバス	
	学校栄養教育論Ⅱ	3前・後		2		○								兼2 オムニバス	
栄養に係る教育に関する科目 合計（2科目）		—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼2 —	
教職に関する科目															
	教育原理	1前・後			1	○								兼1	
	教職概論	1前・後			2	○			1						
	教育制度論	2前・後			1	○								兼1	
	学校教育心理学	1前・後			1	○				1					
	特別支援教育論	2前・後			1	○								兼1	
	教育課程論	3前・後			2	○			1						
	道徳・特別活動論	3前・後			2	○			1						
	総合的な学習の時間論	3前・後			1	○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育方法論	2前・後			2	○			1						
	生徒指導論	2前・後			1	○			1						
	教育相談	3前・後			1	○				1					
	栄養教育実習Ⅰ	4前・後			1			○	3	1					
	栄養教育実習Ⅱ	4前・後			1			○	3	1					
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2		○		3	1					
	小計(14科目)	—	0	0	19				3	1	0	0	0	兼3	—
教職に関する科目 合計(14科目)		—	0	0	19				3	1	0	0	0	兼3	—
合計(149科目)		—	116	78	19				10	2	1	1	5	兼44	—
学位又は称号	学士(医療栄養学)	学位又は学科の分野			家政関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計125単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】</p> <p>○スタンダード科目 必修科目：15単位 ----- (小計) 15単位</p> <p>○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 ----- (小計) 10単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：95単位 (『専門基礎分野』44単位、『専門応用分野』51単位) 選択必修科目：2単位 (『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位) ----- (小計) 97単位以上</p> <p>○その他：3単位 『専門応用分野』及び『栄養に係る教育に関する科目』の「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」ならびに他学科の専門教育科目から3単位 ----- (小計) 3単位以上 (合計) 125単位以上</p> <p>○教職科目 教職に必要な単位は、 『スタンダード科目』(6単位) [「スポーツ学」1単位、「スポーツ実習Ⅰ」1単位、「英語コミュニケーションⅠ」1単位、「英語コミュニケーションⅡ」1単位、「デジタルコミュニケーション」1単位、「データサイエンスⅠ」1単位]、 『オプション科目』(2単位) [「日本国憲法」2単位]、 『栄養に係る教育に関する科目』(4単位) [「学校栄養教育論Ⅰ」2単位、「学校栄養教育論Ⅱ」2単位]、 『教職に関する科目』(19単位) の合計31単位を修得しなければならない。</p>									1学年の学期区分			2学期			
									1学期の授業期間			15週			
									1時限の授業時間			90分			

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
(1) 学生の確保の見通し	1
ア 定員充足の見込み(概要)	1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	11
2. 人材需要の動向等社会の要請	14
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)	14
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	18

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み（概要）

[1] 入学定員設定の考え方、定員充足の見込

入学定員は、保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻を40人から50人に変更、保健医療学部救急救命学科は既設の救急救命学専攻を学科へ昇格させることとし、入学定員を40人から50人に変更、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の入学定員を60人から80人へと変更することとした。

また、健康科学部は既設の医療福祉学部、医療経営学部、心理学部、医療栄養学部を発展的に統合させたもので、健康科学部心理学科のみ入学定員を90人から100人に変更する。

さらに、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻は、同学部のリハビリテーション支援学科から、リハビリテーション学科に統合させるが、入学定員に変更はない。

これらは、過去の志願状況や就職状況を踏まえるとともに、広島県をはじめとする中国・近畿・四国・九州・沖縄に所在する高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果に加えて、本学への求人実績のある企業・団体を対象とした人材需要調査の結果などを総合的に勘案したうえで設定しており、十分な学生確保を見込むことができるものと考えている。

[2] 医療福祉学部医療福祉学科の定員未充足の原因分析と定員設定の合理性

既設の医療福祉学部医療福祉学科の最近5年間の定員充足率の平均は0.68倍で定員未充足となっているが、この主な原因としては、福祉・介護現場における賃金格差や昇給などの賃金処遇の問題、労働時間や労働環境の問題、キャリア展望の不透明さなど、福祉・介護職としての卒業後の進路に対する不安が大きく影響しているものと考えられ、18歳人口の減少とも相まって、大学生及び短期大学生の総数に占める福祉・介護分野を学ぶ学生数は減少し続けている。

このような状況下で、医療福祉学部医療福祉学科の定員規模の在り方について、大学内において検討を行った結果、高齢化の更なる進展に伴う福祉・介護需要が確実に増加していく中で、福祉・介護人材の量的及び質的な確保は重要な課題であり、福祉・介護人材を安定的に輩出することは、本学の使命であるとともに、地域福祉の推進に寄与するものでもあることから、現行定員を維持する方向で、募集戦略の強化による学生確保を目指すこととした。

具体的には、平成30年度入試より、「福祉興味層の確実な志願」、「福祉興味層の就学資金支援の強化」、「福祉興味層の掘り起こしによる広報」、「留学生の確保に向けた広報」を念頭に置き、高校内ガイダンスの実施回数の増加、職場見学会ツアー

の実施、学科独自の奨学金制度等の導入、社会福祉協議会との協働事業の開催、日本語学校への訪問による留学生獲得活動の強化等を行った。

その結果、平成30年度単年度の定員充足率は0.66倍と、前年度の定員充足率0.56倍と比較すると改善傾向を示していることから、募集戦略の強化による効果が現われているものと考えており、この平成30年度の入学者数を踏まえつつ、高齢化社会の進展に伴う福祉・介護人材に対する社会的な需要等の観点から、当面の間、現行の入学定員100人を維持することとしている。

なお、本学では、平成32年4月より、既設の医療福祉学部、医療経営学部、心理学部、医療栄養学部を発展的に統合し、新たに健康科学部の医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科として設置することで、医療・福祉・健康分野の学部教育の充実と発展を図るとともに、定員充足にむけた各種改善策の取組みに加えて、学生募集戦略の一層の強化による学生確保に努めることとしているが、引き続き、医療福祉学科の入学者数の実態や推移等を見極めつつ、適正規模について検討していくこととする。

(別紙資料1)「広島国際大学 改組計画一覧」

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

[1] 過去5年間の入学志願状況等

今般、入学定員を変更しようとする学部・学科・専攻(改組を予定している学部は基礎となる学部)の過去5年間の入学志願状況等は、次表のとおりである。医療福祉学部医療福祉学科以外の平均定員超過率は0.76~1.18倍で推移しており、昨今の18歳人口の減少期においても大きな影響を受けることなく、安定的な入学志願状況等を維持していることから、収容定員を変更した場合でも十分に定員の充足ができるものと考えられる。

なお、医療福祉学科については、前述の説明([2] 医療福祉学部医療福祉学科の定員未充足の原因分析と定員設定の合理性)のとおり引続き受験生の動向に留意し、学生募集活動等を行っていくこととする。

<過去5年間の入学志願状況等>

(単位：人)

年度	学部	保健医療		総合リハビリテーション		医療福祉	医療経営	心理	医療栄養
	学科	医療技術		リハビリテーション	リハビリテーション支援	医療福祉	医療経営	心理	医療栄養
	専攻	臨床検査学	救急救命学	理学療法学	義肢装具学	—	—	—	—
平成30	入学定員	40	40	60	30	100	90	90	60
	志願者	269	182	517	62	189	230	307	184
	受験者	235	166	480	60	164	202	268	158
	合格者	129	72	145	47	152	192	235	144
	入学者	43	47	79	24	66	96	97	52
	定員超過率(倍)	1.07	1.17	1.31	0.80	0.66	1.06	1.07	0.86
平成29	入学定員	40	40	60	30	100	90	90	60
	志願者	312	134	472	68	145	188	301	211
	受験者	270	126	421	65	131	172	261	187
	合格者	118	63	147	54	124	156	246	158
	入学者	39	41	65	28	56	74	88	59
	定員超過率(倍)	0.97	1.02	1.08	0.93	0.56	0.82	0.97	0.98
平成28	入学定員	40	40	60	30	100	90	90	60
	志願者	330	130	557	70	208	188	281	235
	受験者	292	124	509	65	188	167	234	193
	合格者	112	67	144	51	178	157	225	150
	入学者	46	37	67	30	70	69	82	62
	定員超過率(倍)	1.15	0.92	1.11	1.00	0.70	0.76	0.91	1.03
平成27	入学定員	40	40	60	30	120	140	90	60
	志願者	310	208	576	84	236	250	282	275
	受験者	277	194	514	79	208	235	251	230
	合格者	134	95	150	64	192	209	227	159
	入学者	50	61	76	36	85	77	90	68
	定員超過率(倍)	1.25	1.52	1.26	1.20	0.70	0.55	1.00	1.13
平成26	入学定員	40	40	60	30	120	140	100	60
	志願者	307	105	622	61	295	230	215	217
	受験者	284	95	595	57	275	212	197	190
	合格者	120	87	145	52	231	195	173	143
	入学者	51	38	71	32	99	86	70	58
	定員超過率(倍)	1.27	0.95	1.18	1.06	0.82	0.61	0.70	0.96
平均	入学定員	—	—	—	—	—	—	—	—
	志願者	305	151	548	69	214	217	277	224
	受験者	271	141	503	65	193	197	242	191
	合格者	122	76	146	53	175	181	221	150
	入学者	45	44	71	30	75	80	85	59
	定員超過率(倍)	1.14	1.11	1.18	0.99	0.68	0.76	0.93	0.99

[2]既設学部等の都道府県別入学者数の状況

本大学既設学部等における最近5年間の都道府県別の入学者の状況をみると、広島県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数4,751人の約57.7%にあたる2,741人となっている。

また、山口県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数4,751人の約8.0%にあたる382人、愛媛県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数4,751人の約5.2%にあたる249人となっており、既設学部等における広島県、山口県、愛媛県内の高等学校を卒業した者の占める割合は、入学者総数4,751人の約71.0%にあたる3,372人と高いものとなっている。

(別紙資料2)「広島国際大学 都道府県別入学者数の状況」

[3]広島県及び隣接県の高等学校及び中学校の在籍者数

平成30年度の広島県、山口県、愛媛県の学校基本調査によると、学部・学科改組再編初年度となる平成32年度に受験対象者となる広島県、山口県、愛媛県内の高等学校に在籍している2年生の生徒数は45,945人、学部・学科改組再編2年目に受験対象者となる広島県、山口県、愛媛県内の高等学校に在籍している1年生の生徒数は45,425人となっている。

また、学部・学科改組再編3年目に受験対象者となる広島県、山口県、愛媛県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は49,269人、学部・学科改組再編4年目に受験対象者となる広島県、山口県、愛媛県内の中学校に在籍している2年生の生徒数は47,858人となっている。

なお、平成30年3月の広島県、山口県、愛媛県内の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率の最近3年間の平均は98.4%となっており、広島県、山口県、愛媛県内の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を見ても、今後、広島県、山口県、愛媛県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

(別紙資料3)「平成30年度 学校基本調査 高等学校(全日制)の学年別生徒数」

(別紙資料4)「平成30年度 学校基本調査 中学校の学年別生徒数」

[4]広島県及び隣接県の人口動向等一年齢別人口による中長期的な見通し

全国的に18歳人口の減少が予測されている中で、広島県、山口県、愛媛県における学齢人口の減少は比較的緩やかな傾向が示されており、広島県、山口県、愛媛県が公表している最新の年齢(5歳階級)別推計人口をみると、10歳~14歳の人口は265,567人、5歳~9歳の人口は252,421人となっており、今後の大学受験対象者となる5歳~14歳までの年齢別人口は、微増減を繰り返しながら穏やかに推移し

ていくことから、中長期的にみても大学受験対象者が急激に減少することはないものと見込まれる。

(別紙資料 5)「年齢別人口の推計」

[5]広島県及び隣接県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

平成 30 年度の広島県、山口県、愛媛県の学校基本調査によると、広島県、山口県、愛媛県内の高等学校を卒業した者の最近 3 年間の大学等進学状況は、平成 30 年度は卒業生 46,290 人のうち大学等進学者は 25,144 人で大学等進学率は 54.3%、平成 29 年度は卒業生 47,311 人のうち大学等進学者は 25,534 人で大学等進学率は 54.0%、平成 28 年度は卒業生 47,127 人のうち大学等進学者は 25,071 人で大学等進学率は 53.2%となっている。

また、広島県、山口県、愛媛県内の高等学校を卒業した者の最近 3 年間の大学等進学率は、平成 28 年度の 53.2%から毎年微増しており、平成 30 年度は 54.3%と 1.1 ポイント上昇しており、18 歳人口の減少期においても安定した大学等進学状況で推移していることから、中長期的な確保の見通しがあるものと考えられる。

(別紙資料 6)「平成 30 年度学校基本調査 高等学校の進路別卒業生の推移」

[6]新設学部等の分野の動向

日本私立学校振興・共済事業団が作成した「平成 30 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「学部系統別の動向」における「保健系」「人文科学系」「家政学」「その他」の全国的な動向をみると、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の入学定員に対する志願者数と志願倍率の平均は、「保健系」は入学定員 30,704 人に対して志願者数 174,517 人、志願倍率 5.70 倍、「人文科学系」は入学定員 69,828 人に対して志願者数 544,678 人、志願倍率 7.80 倍、「家政学」は入学定員 16,385 人に対して志願者数 78,581 人、志願倍率 4.81 倍、「その他」は入学定員 67,051 人に対して志願者数 456,639 人、志願倍率 6.80 倍と安定した志願者数と志願倍率で推移しており、また、5 年間の入学定員充足率の平均は、「保健系」は 1.04 倍、「人文科学系」は 1.05 倍、「家政学」は 1.00 倍、「その他」は 1.03 倍となっており、わが国を取り巻く社会環境の変化に伴う保健・医療・福祉の多様化や高度化、により、国や地域が提唱する、保健・医療・福祉サービスや健康増進等の推進と相まって、今後もこれらの系統の志願者数の増加を見込むことができるものと考えられる。

(別紙資料 7)「学部系統別の志願者・入学者動向(保健系、人文科学系、家政学、その他)」

[7]想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

「保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻」

保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科（入学定員50人）、国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科（入学定員80人）、森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科（入学定員60人）である。各大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科は、募集人員50人に対して志願者数約238人、志願倍率約4.8倍、実質倍率約1.3倍、定員充足率約1.11倍、国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科は、募集人員80人に対して志願者数約350人、志願倍率約4.4倍、実質倍率約2.5倍、定員充足率約1.07倍、森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科は、募集人員60人に対して志願者数約384人、志願倍率約6.4倍、実質倍率約3.0倍、定員充足率約1.20倍となっている。

このように、保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻との競合が想定される大学の学部・学科では、18歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持していることから、保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

（別紙資料 8）想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻>

「保健医療学部救急救命学科」

保健医療学部救急救命学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、京都橘大学健康科学部救急救命学科（入学定員50人）、杏林大学保健学部救急救命学科（入学定員50人）、日本体育大学保健医療学部救急医療学科（入学定員80人）、新潟医療福祉大学医療技術学部救急救命学科（入学定員55人）である。各大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間（一部2年間）の平均の志願者状況をみると、京都橘大学健康科学部救急救命学科は募集人員50人に対して志願者数約839人、志願倍率約16.8倍、実質倍率約5.2倍、定員充足率約1.08倍、杏林大学保健学部救急救命学科は募集人員50人に対して志願者数約333人、志願倍率約6.7倍、実質倍率約2.9倍、定員充足率約1.11倍、日本体育大学保健医療学部救急医療学科は募集人員80人に対して志願者数約140人、志願倍率約1.7倍、実質倍率約1.3倍、定員充足率約1.01倍、新潟医療福祉大学医療技術学部救急救命学科は募集人員55人に対して志願者数約298人、志願倍率約5.4倍、実質倍率約4.1倍、定員充足率約1.00倍となっている。

このように、保健医療学部救急救命学科との競合が想定される大学の学部・学科では、18歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持していることから、保健医療学部救急救命学科の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

（別紙資料 9） 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<保健医療学部救急救命学科>

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻」

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成 30 年 4 月現在、広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員 60 人）、吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学専攻（入学定員 40 人）、川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員 60 人）である。各大学が公表している入試方式の集計値による最近 3 年間の平均（一部単年度の数値）の志願者状況をみると広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻は、募集人員 60 人に対して志願者数約 220 人、志願倍率約 3.7 倍、実質倍率約 1.8 倍、定員充足率約 1.01 倍（単年度）、吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学専攻は、募集人員 40 人～60 人に対して志願者数約 146 人、志願倍率約 3.2 倍、実質倍率約 1.8 倍、定員充足率約 1.04 倍、川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科理学療法学専攻は、募集人員 40 人～60 人に対して志願者数約 477 人、志願倍率約 9.0 倍、実質倍率約 5.9 倍となっている。

このように、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻との競合が想定される大学の学部・学科では、18歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持していることから、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

（別紙資料 10） 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻>

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻」

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成 30 年 4 月現在、北海道科学大学保健医療学部義肢装具学科（入学定員 50 人）、新潟医療福祉大学医療技術学部義肢装具自立支援学科（入学定員

40人)、人間総合科学大学保健医療学部リハビリテーション学科(義肢装具学専攻)(入学定員70人[学科単位])である。各大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、北海道科学大学保健医療学部義肢装具学科は募集人員50人に対して志願者数約268人、志願倍率約5.4倍、実質倍率約1.1倍、定員充足率約0.69倍、新潟医療福祉大学医療技術学部義肢装具自立支援学科は募集人員40人に対して志願者数約81人、志願倍率約2.0倍、実質倍率約1.2倍、定員充足率約1.04倍、人間総合科学大学保健医療学部リハビリテーション学科は募集人員70人に対して志願者数約197人、志願倍率約2.8倍、実質倍率約1.6倍、定員充足率約0.93倍となっている。

このように、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻との競合が想定される大学の学部・学科では、定員未充足の大学もあるが、何れの大学も本学の近隣大学ではないこと、また総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻は既設のリハビリテーション支援学科からの移行であり、入学定員の変更を行わないこと、これらにより学生確保については十分な見通しがあると考えている。

(別紙資料11) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻>

「健康科学部(医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科)」

①健康科学部医療福祉学科

健康科学部医療福祉学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、広島文化学園大学社会情報学部健康福祉学科(入学定員120人)、広島文教女子大学人間科学部人間福祉学科(入学定員80人)、福山平成大学福祉健康学部福祉学科(入学定員60人)である。各大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、広島文化学園大学社会情報学部健康福祉学科は募集人員60~120人に対して志願者数約106人、志願倍率約1.3倍、実質倍率約1.0倍、定員充足率約1.03倍、広島文教女子大学人間科学部人間福祉学科は募集人員80人に対して志願者数約99人、志願倍率約1.2倍、実質倍率約1.1倍、定員充足率約0.37倍、福山平成大学福祉健康学部福祉学科は募集人員60人に対して志願者数約52人、志願倍率約0.9倍、実質倍率約1.2倍、定員充足率約0.40倍となっている。

このように、健康科学部医療福祉学科との競合が想定される大学の学部・学科でも、定員未充足の大学が複数あるが、前述の説明([2]医療福祉学部医療福祉学科の定員未充足の原因分析と定員設定の合理性)のとおり、引続き受験生の動向に留意し、学生募集活動等を行っていくこととする。

(別紙資料 12) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<健康科学部医療福祉学科>

②健康科学部医療経営学科

健康科学部医療経営学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成 30 年 4 月現在、藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科（入学定員 40 人）、保健医療経営大学保健医療経営学部保健医療経営学科（入学定員 80 人）、川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療福祉経営学科（入学定員 60 人）である。大学が公表している入試方式の集計値による最近 3 年間の平均の志願者状況をみると、藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科は募集人員 40 人に対して志願者数約 208 人、志願倍率約 5.2 倍、実質倍率約 1.4 倍、定員充足率約 1.08 倍、保健医療経営大学保健医療学部保健医療経営学科は募集人員 80 人に対して志願者数約 51 人、志願倍率約 0.6 倍、実質倍率約 1.0 倍、定員充足率約 0.38 倍、川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療福祉経営学科は募集人員 60 人に対して志願者数約 78 人、志願倍率約 1.3 倍、実質倍率約 1.1 倍となっている。

このように、健康科学部医療経営学科との競合が想定される大学の学部・学科のうち、保健医療経営大学は、定員未充足であるが、本学とは異なる単科大学である。本学は学科での学びはもちろんのこと、健康・医療・福祉分野の他学部と連携した学びも教育の特色としており、本学と同様の健康・医療・福祉分野等の複数の学部・学科を有している藤田保健衛生大学および川崎医療福祉大学は、18 歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持している。このことから、健康科学部医療経営学科の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

(別紙資料 13) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<健康科学部医療経営学科>

③健康科学部心理学科

健康科学部心理学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成 30 年 4 月現在、安田女子大学心理学部現代心理学科（入学定員 60 人）、広島文教女子大学人間科学部心理学科（入学定員 70 人）、広島修道大学健康科学部心理学科（入学定員 80 人）である。大学が公表している入試方式の集計値による最近 3 年間の平均（一部 2 年間）の志願者状況をみると、福山大学人間文化学部心理学科は募集人員 50 人に対して志願者数約 112 人、志願倍率約 2.2 倍、実質倍率約 1.3 倍、定員充足率約 1.15 倍、比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科は募集人員 60 人に対して志願者数約 170 人、志願倍率約 2.8 倍、実質倍率約 1.3 倍、定員充足率約 1.32 倍、広島修道大学健康科学部心理学科は募集人員 80 人に対して志願者数約 701 人、志願倍率約 8.8 倍、

実質倍率約 3.0 倍、定員充足率約 1.06 倍となっている。

このように、健康科学部心理学科との競合が想定される大学の学部・学科では、18 歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持していることから、健康科学部心理学科の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

(別紙資料 14) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<健康科学部心理学科>

④健康科学部医療栄養学科

健康科学部医療栄養学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成 30 年 4 月現在、安田女子大学家政学部管理栄養学科（入学定員 120 人）、広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科（入学定員 70 人）、文教女子大学人間科学部人間栄養学科（入学定員 70 人）、福山大学生命工学部生命栄養科学科（入学定員 50 人）である。大学が公表している入試方式の集計値による最近 3 年間の平均の志願者状況をみると、安田女子大学家政学部管理栄養学科は募集人員 120 人に対して志願者数約 520 人、志願倍率約 4.3 倍、実質倍率約 2.0 倍、定員充足率約 0.95 倍、広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科は募集人員 70 人に対して志願者数約 279 人、志願倍率約 4.0 倍、実質倍率約 1.5 倍、定員充足率約 1.08 倍、文教女子大学人間科学部人間栄養学科は募集人員 70 人に対して志願者数約 155 人、志願倍率約 2.2 倍、実質倍率約 1.1 倍、定員充足率約 0.84 倍となっている。

このように、健康科学部医療栄養学科との競合が想定される大学の学部・学科では、18 歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持していることから、健康科学部医療栄養学科の学生確保については十分な見通しがあると考えている。

(別紙資料 15) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況<健康科学部医療栄養学科>

[8] 専門の調査機関による進学需要調査結果

保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻及び総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の定員変更、保健医療学部救急救命学科及び健康科学部の設置は、過去の志願状況や就職状況を踏まえるとともに、競合が想定される学科等の受験者動向などを踏まえた上で計画しているが、収容定員変更計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、広島県をはじめとする中国・四国・近畿・九州・沖縄に所在する高等学校の 2 年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

< 調査概要 >

アンケートタイトル：広島国際大学学部/学科に関するアンケート調査【高校生対象】

調査対象：中国地方を中心とした高校の高校2年生

調査方法：調査対象校に調査票を送付し、実施協力を依頼

各高校のホームルーム等の時間に教室にて配布し、回答・回収

回収数：合計 20,340 サンプル（有効回答数）

回答高校数：145 校

調査期間：平成 30 年 10 月 25 日（木）～平成 30 年 12 月 17 日（月）

< 調査結果 >

学部名	学科名・専攻名	受験したい回答者数	
			入学したい回答者数
保健医療学部	医療技術学科	211 人	159 人
	臨床検査学専攻		
	救急救命学科	200 人	164 人
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	298 人	237 人
	理学療法学専攻		
健康科学部	医療福祉学科	200 人	149 人
	医療経営学科	144 人	100 人
	心理学科	267 人	198 人
	医療栄養学科	190 人	137 人

上表のアンケート調査の結果のとおり、広島県をはじめとする中国・近畿・四国・九州・沖縄に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、高い進学意向が確認できたことから、学生確保においては十分な見通しがあるものと考えられる。

（別紙資料 16）「広島国際大学 学部/学科に関するアンケート【高校生対象】調査結果 報告書」

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況は、大学案内やリーフレット等の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けの SNS 等の電子媒体による情報の提供、受験生向けの受験雑誌や受験情報サイト等の各種メディアを活用した PR 活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととしている。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会をはじめ各地域における進学相談会等の開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通じた活動や想定

される進路等様々な教育情報について、設置圏域を中心とする高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

[1]高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別アプローチによる募集戦略の強化も図ることとしている。高校訪問は、入試業務全般を所管する入試センターの職員が中心となって、広島県の他、中四国・九州エリアの高等学校を訪問する。その中で、重点募集対象地域及び重点訪問校を設定し、訪問計画を策定する。また、指定校推薦入学選考の設定により、広島県内の高等学校及び中四国・九州エリアの高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。

具体的な訪問時期は、高校生の進路検討時期に合わせ、4～7月（A0入試・推薦入試の情報提供）、9月～10月（オープンキャンパス報告・A0入試報告）、11月～12月（推薦入試報告及び一般入試に向けた情報提供）、2月～3月（次年度広報）の4期に分けるとともに、上記に合わせ在学生の成績報告（前期・後期年2回）を行う等、広島県内及び重点校を幅広く訪問している。

なお、広島県内の高校は、平成30年度（3月7日現在）において訪問した116校中、43校で年4回以上訪問するなど、きめ細やかな訪問を行っている。

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、長年の取組みにより、一定数の高等学校と信頼関係を構築している。これにより高校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介をしてもらえるなどの効果が期待される。

また、本学では主に高校1・2年次の進路探求に繋がる独自の高大連携事業も進めており、学びのサポートという視点も踏まえ、高校との関わりをより深める活動を行っている。

[2]オープンキャンパス

本学への入学を希望・考慮している高校生やその保護者を対象として、大学の学びを理解いただき、本学への関心を深めてもらうため、施設内を積極的に公開し、入学に繋げる促進的なイベントとして、平成31年度は6月16日（日）、7月28日（日）、8月24日（土）、9月21日（土）に全てのキャンパス（東広島・呉・広島キャンパス）で同時開催によるオープンキャンパスの実施を予定している。

オープンキャンパスでは、学部長等による学部紹介、在学生や教職員による施設見学会、教員による模擬授業、大学で学べる学問内容、取得可能資格、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、よりミスマッチの少ない学生を受入れる。

[3]高等学校教員向け説明会

広島県や隣接県に所在している高等学校の教員を対象とする説明会を5月に開催する予定としており、大学紹介、学部別の個別説明、入試概要、奨学金制度、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととしている。

本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立てていただく。

平成30年度は、58校67人の高校教員に参加いただくことができた。平成31年度は学部・学科の改組再編に伴い、今年度を上回る参加者数を見込んでいる。

[4]進学相談会

民間業者が主催し、中四国・九州エリアを中心とした主要な都市で開催される進学相談会への参加を予定している。

進学相談会では、大学・学部資料の配付から、学位授与・教育課程編成・入学者受入の方針、選抜方法の種類や試験科目、書類審査、学力試験、面接試験、小論文試験などの実施方法、授業科目や講義等の内容、取得可能な資格、想定される卒業後の進路、大学周辺の施設や環境、下宿やアパート物件などに関する情報を広く提供することにより、広島県及び隣接県の高等学校以外からの学生を確保することの効果期待される。

平成30年度は、延べ164会場に参加し、1,869人（平成31年3月7日現在）の来談を受けている。平成31年度は学部・学科の改組再編に伴い、今年度を上回る来談者数を見込んでいる。なお、最近5年間の入学定員充足率の平均が0.7倍未満となっている、医療福祉学部医療福祉学科（0.68倍）については、定員規模の在り方について、大学内において検討を行った結果、高齢化の更なる進展に伴う福祉・介護需要が確実に増加していく中で、福祉・介護人材の量的及び質的な確保は重要な課題であり、福祉・介護人材を安定的に輩出することは、本大学の使命であるとともに、地域福祉の推進に寄与するものでもあることから、現行定員を維持する方向で、募集戦略の強化による学生確保を目指すこととした。具体的には、平成30年度入試より、通常の「高等学校訪問」、「オープンキャンパス」、「高等学校教員向け説明会」、「進学相談会」に加え、「福祉興味層の確実な志願」、「福祉興味層の就学資金支援の強化」、「福祉興味層の掘り起こしによる広報」、「留学生の確保に向けた広報」を念頭に置き、高校内ガイダンスの実施回数の増加、職場見学会ツアーの実施、学科独自の奨学金制度などの導入、社会福祉協議会との協働事業の開催、日本語学校への訪問による留学生獲得活動の強化等を行った。高齢化社会の進展に伴う福祉・介護人材に対する社会的な需要等の観点から、今後も継続して、学生確保に向けた取組を行うこととしている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

[1] 人材の養成に関する目的

今般、入学定員を変更しようとする学部・学科の教育研究上の目的は以下のとおりである。

「保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻」

【教育研究上の目的】

医療技術学科は、臨床工学・臨床検査学の広い領域での知識・技術をもとに、日々進歩し続ける医療機器や医療技術の変化に対応できる能力や医療チームの牽引役になることができる能力を持つ人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1) 臨床検査技師としての強い使命感と責任感を持つとともに、他人を思いやる心と医療人としての高い倫理観を身につける。
- 2) 専門的な医療技術に対応できる知識と技能を身につけ、医療現場で活躍できる。
- 3) 医療現場で必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、「いのちのそばに、ひととともに」を共有するチーム医療に貢献できる。
- 4) 専門知識とともに幅広い教養を身につけ、俯瞰的な立場から適切な情報提供と対応ができる。
- 5) 臨床検査のスペシャリストとして常に高度専門技術の向上に努め、研修・研鑽を行う意欲を持つ。

「保健医療学部救急救命学科」

【教育研究上の目的】

救急救命学の広い領域での知識・技術をもとに、日々進歩し続ける病院前救護の変化に対応できる能力や医療チームの牽引役になることができる能力、さらに救急活動や救急統計を研究・分析し業務改善につなげる能力を持てる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1) 救急救命士としての強い使命感と責任感を持つとともに、豊かな人間性と高い倫理観を身につける。
- 2) 救急救命士として必要な専門的な医療技術に対応できる知識と技能を身につけ、医療現場で活躍できる。
- 3) 救急現場活動で必要とされるコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけ、「いのちのそばに。ひととともに。」を共有するチーム医療に貢献できる。
- 4) 地域における救急医療でのさまざまな問題について、専門的な立場から適切な情報提供と対応ができる。

- 5) 病院前救護のスペシャリストとして常に高度専門技術の向上に努め、研修・研鑽を行う意欲を持つ。

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科」

【教育研究上の目的】

多様なリハビリテーション技術を総合的に提供でき、すべての人々の健康と生活の向上を目的として予防から治療までの幅広い専門知識と技術に裏打ちされた問題解決能力と豊かな人間性を養った専門職業人(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士および義肢装具士)として社会に貢献できる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

□理学療法学専攻

- 1) 豊かな人間性と倫理観を備え、あらゆる人々の心と体の回復を支えることを喜びとすることができる。
- 2) 医療の進歩に対応できる多様なリハビリテーション技術を総合的に提供できる。
- 3) 基礎的な医学の知識を身につけ理学療法士としての診断と治療の技術を修得している。
- 4) 理学療法に関する知識や技術を社会において応用・発展させる能力を身につけている。
 - ①社会の様々なニーズに柔軟に対応できる。
 - ②医療サービス対象者のことを第一に考え、医療チームの一員として他の専門職と協働できる。
- 5) 地域の健康、医療、福祉に貢献できる能力を備えている。

□義肢装具学専攻

- 1) 命の尊さを大切にするための「医の心」と「ものづくりの技術」を身につけ、利用者のニーズに適確に応える能力を修得している。
- 2) 基礎的な医学と工学の知識を身につけリハビリテーション支援における課題を科学的、論理的に解決する技術を修得している。
- 3) リハビリテーション支援に関係するものづくりの技術を中心に、関係する他の専門職者と協力しながら問題を解決できる。
- 4) 地域の医療、福祉に貢献できる能力を備えている。
- 5) 生涯にわたり、健康寿命の延伸のために、その時代の社会の必要性に応じて、学んだ知識や技術を応用し発展させる能力を身につけている。

「健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）」

①健康科学部医療福祉学科

【教育研究上の目的】

社会福祉学に関する専門知識と技術を幅広く修得し、豊かな人間性を土台として、専門的知識・技術を用いて、さまざまな生活上の問題を抱える人々に寄り添いながら、地域生活を支援できる人材の育成を目指す。ソーシャルワークを基礎とした専門職として、クライアントの思いや価値観等を受容し、信頼関係を築いていくことのできる専門職となり、「ひと・家族」と「地域」をつなぐ役割を担える専門職を育成する。地域社会の一員として、他者ととともに協働しながら、あらゆるひとの自己実現と社会参加を促進し、誰もがしあわせになる社会づくりに貢献できる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

□医療福祉学専攻

- 1) 社会福祉に関する価値、知識、援助技術を修得している。
- 2) 豊かな人間性を土台に、専門的な学びを深めながら、さまざまな生活上の問題を抱えた人びとの支援および地域社会に貢献することができる。

□介護福祉学専攻

- 1) 利用者の生活状況を的確に把握し、根拠に基づいた個別の生活支援ができる。
- 2) 豊かな人間性を土台に、専門的な学びを深めながら、介護福祉専門職として利用者の「尊厳と自立を支えるケア」が実践できる。

□保育福祉学専攻

- 1) 子どもをとりまく環境を深く理解し、子どもの最善の利益を考えた支援ができる。
- 2) 豊かな人間性を土台に、専門的な学びを深めながら、保護者や地域と連携した「子育て・子育ち・親育ち・地育ち」支援ができる。

②健康科学部医療経営学科

【教育研究上の目的】

医療機関あるいは医療機関を支える医療関連産業において、効率的な医療提供を進め、人々の健康の維持・増進に貢献する人材の育成が急務であり、医療関連の業務を通じて活躍する人材においては、効率的運用という視点のみでなく、健康や命という極めて公益性の強い事業である性質に鑑みれば、地域という広い視点からマネジメントできる能力が不可欠となる。高い倫理観や豊かな人間性にに基づきながら、医学をはじめとして、医療に関わる経営学、経済学を学び、医師と協働し医療機関を維持運営管理する経営担当の専門家を養成していく必要があるだけでなく、医療分野においてはビッグデータの活用の高まっており、医療に関わる統計学や情報学にも精通した能力も必要であることから、強い公共心を持ちながら、医学をはじめ医療に関わる経営学、経済学、情報学、統計学について学び、広い視野から公益に資するマネジメント能力を持った人材、そしてあらゆる領域で人々のしあわせに貢献できる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1) 地域の人々のしあわせに貢献できる。
- 2) 医療マインドと高い倫理性を持つ。
- 3) 医療専門職や地域と連携し、医療機関を管理運営、サポートできる。
- 4) 経営学、経済学、医学、情報学の基礎を理解し、医療経営手法を修得している。

③健康科学部心理学科

【教育研究上の目的】

心理学の専門知識とコミュニケーション技術を活かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。そして、自らを信頼する力を持ち、自らの意志・感情・行動を律することができ（自律）、他者を尊重し、他者のこころを理解することができ（共感）、社会のために他者とともに協力して行動する（協働）力によって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1) 総体としての人間、心の多様性と普遍性、人間と環境との相互作用を客観的に理解し、人間に関する専門職業人として社会貢献することができる。
- 2) 人間を複眼的に見る力、批判的実証的態度、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力など実社会で役立つ汎用技術を修得している。

④健康科学部医療栄養学科

【教育研究上の目的】

「食と栄養」を科学的に学ぶことを皮切りに、「食と栄養の力」で人々の健康維持・増進、病気の予防、改善を図る担い手であると同時に、医療人としての専門的知識・技能及び倫理観を兼ね備え、健康、医療、福祉、介護の幅広い分野で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1) 管理栄養士としての強い使命感と責任感を持つとともに、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。
- 2) 専門的な医療技術に対応できる知識と技能を身につけ、総合的な健康管理のできる管理栄養士として、健康、医療、福祉、介護の現場で活躍できる。
- 3) 現場で必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、「いのちのそばに。ひととともに。」を共有するチーム医療に貢献できる。
- 4) 地域社会のさまざまな問題について、専門的な立場から食と栄養に関する適切な情報提供と対応ができる。

5) 将来にわたって自己研鑽できる力と自らの考えを発信できる力を身につけ、食生活及び栄養状態の改善に貢献できる。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

「保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻」

臨床検査技師の職務は、日本国民の医療及び公衆衛生の向上が目的であり、国民や他の医療職種から期待されているのは、臨床検査の専門家としての「医療の実践」である。臨床検査技師が医療のために何ができるのか、何をすべきかを中心に据えた職域拡大が求められている。また、高度な技術をより生かすための高度な臨床知識が要求されるようになり、高度先進医療現場においては、決まった職務を実践するだけではなく、臨床のニーズに創造的に対応できる能力が求められている。医療の現場において「チーム医療」の考え方が進む中、臨床検査技師は専門的な「検査」の知識や技術を持つ存在として、重要視されている。医療の高度化により、簡単な検査は機械化される一方で、今後一層、専門性の高い臨床検査技師が求められており、検査にまつわる重要なデータを提供する臨床検査技師としての業務は重要性が増している。

「保健医療学部救急救命学科」

高齢化が急速に進展する中、救急車両の出場回数は、年々増加傾向にあり、今後も救急救命措置を必要とする人の数が増えることが予測される。救急搬送でいかに多くの命を救うかということが大きな課題となっている現在、専門的知識・技術を有する救急救命士の需要は年々増加している。さらに、日本では自然災害が頻発し、災害への関心が高まる中、地域社会での救急救命士の役割が注目されている。

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科」

日本は着実に超高齢社会の歩みを進めており、2017年の全人口に対する高齢者の割合は、厚生労働省の試算では75歳以上（後期高齢者）が13.8%、65～74歳（前期高齢者）を含めると27.7%とされている。また、認知症の高齢者は2020年には600万人を超えると推測され高齢化率の上昇により介護サービス難民の発生が懸念されている。今後、医療・福祉サービス従事者は、高齢者をいかに住み慣れた地域・自宅で生活させられるか、社会生活に適応させられるかが求められる。そのためには、専門的な視点で環境を整える必要があり、可能な限り自立した生活の維持と再構築ということが理学療法士としての責務であり、ますます理学療法士の需要増加が見込まれる。

また、近年、急速に進展している日本の少子高齢化、福祉医療技術の高度化に伴い、高齢者や障害者に対する義肢装具等による支援の必要性は高まり、また多様化

してきており、義肢装具士の需要は今後も見込まれる。

「健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）」

①健康科学部医療福祉学科

少子高齢化の進行や世帯構成の変化、国民のライフスタイルの多様化等により、国民の福祉・介護ニーズは多様化し、高度化している状況にあり、これらのニーズに対応する福祉・介護人材は、質・量の両面において一層の充実が求められている状況である。こうした少子高齢化の進行により、労働力人口が減少し、全産業的に労働力の確保が困難となっていくことが見込まれる中で、限られた労働力の中から、国民のニーズに的確に対応できる質の高い福祉・介護人材を安定的に確保していくことは喫緊の課題であり、国民生活を支える福祉・介護制度を維持していく上で、不可欠な要素である。

②健康科学部医療経営学科

少子高齢化社会の到来とともに、医療保険財源の確保が困難となりつつある。また、それに関連し、病院の経営、特に公的病院の経営は困難化している。このような社会的情勢のため、医療機関の経営を担う人材へのニーズは高まっている。また、医療産業が大きな成長産業と期待されており、本学科で育成を目指す「医療マインドを持つ経営人材」の活動領域は、医療機関だけでなく拡大している。

③健康科学部心理学科

これまで地域医療の基本方針となる医療計画に盛り込むべき疾病として指定してきた「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」の4大疾病に、新たに「精神疾患」を加え、「5大疾病」となっている。これは、人口の急速な高齢化や社会構造の多様化、大規模災害などの要因から、精神疾患患者数が年々増加傾向にあることをうかがわせ、この対策として心理職へのニーズが高まっていることを意味している。

④健康科学部医療栄養学科

超高齢社会を迎える我が国において、社会保障費や医療費の増大による財政圧迫は大きな社会問題となっている。医療費に着目すると、がん、糖尿病、動脈硬化症などいわゆる慢性疾患患者の急増、とりわけ生活習慣病など食生活の改善により予防や治療に効果が期待できる疾患への対応策は喫緊の社会的課題となっている。また、要介護状態を少なくすることは疾病の早期発見や重症化の防止にもつながることが期待され、その対策も急がれる。このように、病院での治療を要する者だけでなく、施設或いは在宅で介護を受ける者や健常者をも包含した保健・医療サービスの供給体制の整備とそれを支えるスペシャリストの養成が強く求められている。

1) 過去の求人件数及び就職者数の状況

「保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻」

保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の過去4年間の求人件数は、平成26年度は就職希望者32人に対して求人件数382件で求人倍率は11.9倍、平成27年度は就職希望者33人に対して求人件数385件で求人倍率は11.7倍、平成28年度は就職希望者42人に対して求人件数398件で求人倍率は9.5倍、平成29年度は就職希望者41人に対して求人件数396件で求人倍率は9.7倍と高い求人倍率となっている。

また、過去4年間の就職率は、平成26年度は100%（就職者数32人／就職希望者32人）、平成27年度は87.9%（就職者数33人／就職希望者29人）、平成28年度は97.6%（就職者数42人／就職希望者41人）、平成29年度は97.6%（就職者数41人／就職希望者40人）と高い就職率を示している。

「保健医療学部救急救命学科」

基礎となる既設の保健医療学部医療技術学科救急救命学専攻（平成25年度専攻開設）の過去2年間の求人件数の実績は、平成28年度は就職希望者31人に対して求人件数23件で求人倍率は0.7倍、平成29年度は就職希望者24人に対して求人件数17件で求人倍率は0.7倍となっている。これは救急救命士としての求人件数が少ないためであるが、次に記載する就職状況により、就職状況が高い傾向であることがわかる。

過去2年間の就職率は、平成28年度は100%（就職者数31人／就職希望者31人）、平成29年度は100%（就職者数24人／就職希望者24人）と高い就職率を示している。

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻」

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の過去5年間の求人件数は、平成25年度は就職希望者57人に対して求人件数757件で求人倍率は13.3倍、平成26年度就職希望者60人に対して求人件数1,100件で求人倍率は18.3倍、平成27年度は就職希望者48人に対して求人件数1,084件で求人倍率は22.6倍、平成28年度は就職希望者65人に対して求人件数1,034件で求人倍率は15.9倍、平成29年度は就職希望者55人に対して求人件数990件で求人倍率は18.0倍と高い求人倍率となっている。

また、過去5年間の就職率は、平成25年度は100%（就職者数57人／就職希望者57人）、平成26年度は100%（就職者数60人／就職希望者60人）、平成27年度は100%（就職者数48人／就職希望者48人）、平成28年度は100%（就職者数65人／就職希望者65人）、平成29年度は100%（就職者数55人／就職希望者55人）

と高い就職率を示している。

「総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻」

基礎となる既設の総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科義肢装具学専攻（平成 25 年度専攻開設）の過去 2 年間の求人件数の実績は、平成 28 年度は就職希望者 13 人に対して求人件数 168 件で求人倍率は 12.9 倍、平成 29 年度は就職希望者 15 人に対して求人件数 164 件で求人倍率は 10.9 倍と高い求人倍率となっている。

また、過去 2 年間の就職率は、平成 28 年度は 100%（就職者数 13 人／就職希望者 13 人）、平成 29 年度は 100%（就職者数 15 人／就職希望者 15 人）と高い就職率を示している。

「健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）」

①医療福祉学部医療福祉学科

基礎となる既設の医療福祉学部医療福祉学科の過去 5 年間の求人件数の実績は、平成 25 年度は就職希望者 63 人に対して求人件数 946 件で求人倍率は 15.0 倍、平成 26 年度は就職希望者 75 人に対して求人件数 1,160 件で求人倍率は 15.5 倍、平成 27 年度は就職希望者 75 人に対して求人件数 1,284 件で求人倍率は 17.1 倍、平成 28 年度は就職希望者 78 人に対して求人件数 595 件で求人倍率は 7.6 倍、平成 29 年度は就職希望者 92 人に対して求人件数 516 件で求人倍率は 5.6 倍と高い求人倍率となっている。

また、過去 5 年間の就職率は、平成 25 年度は 100%（就職者数 63 人／就職希望者 63 人）、平成 26 年度は 100%（就職者数 75 人／就職希望者 75 人）、平成 27 年度は 100%（就職者数 75 人／就職希望者 75 人）、平成 28 年度は 100%（就職者数 78 人／就職希望者 78 人）、平成 29 年度は 100%（就職者数 92 人／就職希望者 92 人）と高い就職率を示している。

②医療経営学部医療経営学科

基礎となる既設の医療経営学部医療経営学科の過去 5 年間の求人件数の実績は、平成 25 年度は就職希望者 69 人に対して求人件数 234 件で求人倍率は 3.4 倍、平成 26 年度は就職希望者 99 人に対して求人件数 268 件で求人倍率は 2.7 倍、平成 27 年度は就職希望者 100 人に対して求人件数 237 件で求人倍率は 2.4 倍、平成 28 年度は就職希望者 90 人に対して求人件数 276 件で求人倍率は 3.1 倍、平成 29 年度は就職希望者 77 人に対して求人件数 272 件で求人倍率は 3.5 倍と高い求人倍率となっている。

また、過去 5 年間の就職率は、平成 25 年度は 100%（就職者数 69 人／就職希望者 69 人）、平成 26 年度は 97%（就職者数 99 人／就職希望者 96 人）、平成 27 年度

は95%（就職者数100人／就職希望者95人）、平成28年度は96.7%（就職者数90人／就職希望者87人）、平成29年度は96.1%（就職者数77人／就職希望者74人）と高い就職率を示している。

③心理学部心理学科

基礎となる既設の心理学部心理学科の過去5年間の求人件数の実績は、平成25年度は就職希望者55人に対して求人件数1,701件で求人倍率は30.9倍、平成26年度は就職希望者69人に対して求人件数2,161件で求人倍率は31.3倍、平成27年度は就職希望者53人に対して求人件数2,262件で求人倍率は42.7倍、平成28年度は就職希望者50人に対して求人件数2,469件で求人倍率は49.4倍、平成29年度は就職希望者50人に対して求人件数2,904件で求人倍率は58.1倍と高い求人倍率となっている。

また、過去5年間の就職率は、平成25年度は92.7%（就職者数55人／就職希望者51人）、平成26年度は97.1%（就職者数69人／就職希望者67人）、平成27年度は94.3%（就職者数53人／就職希望者50人）、平成28年度は96%（就職者数50人／就職希望者48人）、平成29年度は98%（就職者数50人／就職希望者49人）と高い就職率を示している。

④医療栄養学部医療栄養学科

基礎となる既設の医療栄養学部医療栄養学科（平成26年度学部開設）の求人件数の実績は、平成29年度のみであるが、就職希望者50人に対して求人件数293件で求人倍率は5.9倍と高い求人倍率となっている。

また、平成29年度の就職率は、98%（就職者数50人／就職希望者49人）と高い就職率を示している。

（別紙資料17）「学科・専攻別 就職希望者数、求人件数の推移（平成25年度～平成29年度）」

（別紙資料18）「進路決定状況（平成25年度～平成29年度）」

2) 専門の調査機関による採用意向調査結果

収容定員を変更する上で、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、全国の本学への求人実績のある企業・団体などを対象として保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻における教育や人材育成と卒業生に対する採用意向に関するアンケート調査を実施した。

<調査概要>

アンケートタイトル：広島国際大学学部/学科に関するアンケート調査【企業対象】

調査対象：全国の広島国際大学への求人実績のある企業・団体

(1,047 事業所へ配布)

調査方法：郵送配布・回収によるアンケート調査

回収数：296 社（回収率 28.3%）

調査期間：平成 30 年 10 月 24 日（水）～平成 31 年 1 月 11 日（金）

＜学部等の教育や人材育成に係る調査結果＞

学部名	学科名・専攻名	学部等の教育や人材育成への質問	
		とても期待できる回答①	期待できる回答数②
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	117 件	42 件
	救急救命学科	108 件	42 件
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	169 件	43 件
健康科学部	医療福祉学科	167 件	47 件
	医療経営学科	119 件	53 件
	心理学科	120 件	46 件
	医療栄養学科	129 件	54 件

＜卒業生の採用意向に係る調査結果＞

学部名	学科名・専攻名	卒業生の採用意向への質問	
		採用対象となる回答①	おそらく採用対象となる回答①
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	88 件	44 件
	救急救命学科	69 件	32 件
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	153 件	41 件
健康科学部	医療福祉学科	165 件	40 件
	医療経営学科	115 件	48 件
	心理学科	119 件	53 件
	医療栄養学科	129 件	48 件

上表のアンケート調査の結果のとおり、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであるとともに、本学への求人実績のある企業・団体に限定した調査結果においても、本学で学んだ卒業生に対する採用意向が示されていることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

（別紙資料 19）「広島国際大学学部／学科に関するアンケート【企業対象】調査結果 報告書」

以上

資料目次

- (別紙資料 1) 「広島国際大学 改組計画一覧」
- (別紙資料 2) 「広島国際大学 都道府県別入学者数の状況」
- (別紙資料 3) 「平成 30 年度 学校基本調査 高等学校（全日制）の学年別生徒数」
- (別紙資料 4) 「平成 30 年度 学校基本調査 中学校の学年別生徒数」
- (別紙資料 5) 「年齢別人口の推計」
- (別紙資料 6) 「平成 30 年度学校基本調査 高等学校の進路別卒業者の推移」
- (別紙資料 7) 「学部系統別の志願者・入学者動向（保健系、人文科学系、家政学、その他）」
- (別紙資料 8) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻＞
- (別紙資料 9) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜保健医療学部救急救命学科＞
- (別紙資料 10) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻＞
- (別紙資料 11) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻＞
- (別紙資料 12) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜健康科学部医療福祉学科＞
- (別紙資料 13) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜健康科学部医療経営学科＞
- (別紙資料 14) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜健康科学部心理学科＞
- (別紙資料 15) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況
＜健康科学部医療栄養学科＞
- (別紙資料 16) 「広島国際大学 学部／学科に関するアンケート【高校生対象】調査結果 報告書」
- (別紙資料 17) 「学科・専攻別 就職希望者数、求人件数の推移（平成 25 年度～平成 29 年度）」
- (別紙資料 18) 「進路決定状況（平成 25 年度～平成 29 年度）」
- (別紙資料 19) 「広島国際大学学部／学科に関するアンケート【企業対象】調査結果 報告書」

広島国際大学 改組計画一覧

別紙資料 1

■学部

現行(2018年度)

学部・学科体制						
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員			
			入学定員	編入学3年次	収容定員	
東広島	保健医療	診療放射線	70	-	280	
		医療技術	130	-	520	
		計	200	—	800	
		総合リハビリテーション	130	-	520	
	総合リハビリテーション	リハビリテーション支援	30	-	120	
		計	160	—	640	
	医療福祉	医療福祉	100	10	420	
		計	100	10	420	
	広島	医療経営	医療経営	90	-	360
			計	90	—	360
東広島	心理	心理	90	10	380	
		計	90	10	380	
呉	医療栄養	医療栄養	60	-	240	
		計	60	—	240	
	看護	看護	120	10	500	
		計	120	10	500	
	薬	薬	120	-	720	
		計	120	—	720	
合 計			940	30	4,060	

改組後 (2020年度)

学部・学科体制						
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員			
			入学定員	編入学3年次	収容定員	
東広島	保健医療	診療放射線	70	-	280	
		医療技術	100	-	400	
		救急救命	50	-	200	
		計	220	—	880	
	総合リハビリテーション	リハビリテーション	180	-	720	
		学生募集停止				
	計			180	—	720
	学生募集停止					
	呉	看護	看護	120	10	500
			計	120	10	500
薬		薬	120	-	720	
		計	120	—	720	
東広島	健康科	医療福祉	100	-	400	
		医療経営	90	-	360	
		心理	100	-	400	
呉		医療栄養	60	-	240	
—	計			350	—	1,400
東広島	健康スポーツ	健康スポーツ	70	-	280	
		計	70	—	280	
合 計			1,060	10	4,500	

広島国際大学 都道府県別入学者数の状況

都道府県別入学者数(広島県・山口県・愛媛県)一覧

(単位:人)

	入学者数					計	割合
	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度		
広島県	525	518	515	584	599	2,741	57.7%
山口県	79	72	73	71	87	382	8.0%
愛媛県	47	51	46	52	53	249	5.2%
小計	651	641	634	707	739	3,372	71.0%
入学者総計	943	906	892	991	1,019	4,751	—

平成30年度 学校基本調査 高等学校(全日制)の学年別生徒数

(単位:人)

	1学年	2学年
広島県	23,338	23,604
山口県	10,963	11,256
愛媛県	11,124	11,085
合計	45,425	45,945

※各県が公表している平成30年度学校基本調査のデータ(別添)に基づき本学が作成

学校基本調査 広島県 高等学校の学年別生徒数

出展： 広島県HP

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkoukihon30.html>

7 高等学校(全日制・定時制)

7 高等学校(全日制・定時制)

区分	学校数 計	生徒数							生徒数															教員数(本務者)			教員数(兼務者)			区分
		(内) 併置	計	男	女	本科生の学年別				専攻科	本科生の学科別										計	男	女	管理職	計	男	女			
						1学年	2学年	3学年	4学年		普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	福祉科	その他	総合 学科	管理職								女		
平成26年5月1日	129	19	74,445	37,452	36,993	25,589	24,324	24,101	354	77	54,282	1,575	5,574	4,173	915	119	72	546	7,112	5,360	3,678	284	1,682	17	2,275	1,160	1,115	934	26	年
27 "	129	19	73,624	37,080	36,544	24,920	24,566	23,710	354	74	53,698	1,586	5,466	4,146	882	120	84	535	7,033	5,366	3,650	278	1,716	18	2,156	1,137	1,019	926	27	
28 "	129	19	73,258	37,034	36,224	24,791	24,075	23,990	326	76	53,495	1,561	5,493	4,104	824	120	68	539	6,978	5,380	3,614	277	1,766	22	2,199	1,193	1,006	919	28	
29 "	130	19	72,914	36,831	36,083	24,939	24,058	23,549	288	80	53,333	1,537	5,364	4,114	792	161	58	527	6,948	5,367	3,574	276	1,793	22	2,195	1,205	990	905	29	
30 "	131	19	71,948	36,367	35,581	23,944	24,113	23,489	320	82	52,518	1,518	5,280	3,995	811	188	56	508	6,992	5,312	3,543	276	1,769	27	2,211	1,203	1,008	925	30	
(設置者別の内訳)																														
国立	2	-	1,207	646	561	406	401	400	-	-	1,207	-	-	-	-	-	-	-	-	77	55	2	22	-	45	33	12	7	国立	
公立	93	18	47,349	23,148	24,201	15,724	15,789	15,434	320	82	29,958	1,518	4,372	3,609	656	119	56	346	6,633	3,760	2,410	201	1,350	21	1,322	729	593	653	公立	
私立	36	1	23,392	12,573	10,819	7,814	7,923	7,655	-	-	21,353	-	908	386	155	69	-	162	359	1,475	1,078	73	397	6	844	441	403	265	私立	
(職種別の内訳)																														
全日制	127	...	70,103	35,224	34,879	23,338	23,604	23,079	-	82	51,313	1,518	5,070	3,805	811	188	56	508	6,752	5,031	3,349	248	1,682	26	2,020	1,105	915	871	全日	
定時制	23	19	1,845	1,143	702	606	509	410	320	-	1,205	-	210	190	-	-	-	-	240	281	194	28	87	1	191	98	93	54	定時	
(中町別の内訳)																														
1 広島市	45	5	32,526	16,507	16,019	10,911	10,855	10,573	105	82	26,109	-	1,961	1,946	155	119	-	118	2,036	2,108	1,428	93	680	11	902	509	393	358	1	
2 呉市	11	3	4,774	2,401	2,373	1,550	1,624	1,577	23	-	2,809	-	869	548	-	69	-	-	479	404	272	23	132	4	123	65	58	70	2	
3 竹原市	2	-	453	202	251	125	174	154	-	-	384	-	-	69	-	-	-	-	-	49	30	4	19	-	19	12	7	7	3	
4 三原市	5	1	2,713	1,425	1,288	926	920	836	31	-	1,938	-	433	109	233	-	-	-	228	159	13	69	-	100	58	42	50	4		
5 尾道市	8	1	3,109	1,621	1,488	1,054	1,018	1,021	16	-	1,525	-	156	572	-	-	-	-	856	287	181	18	106	-	83	45	38	40	5	
6 福山市	19	4	11,602	5,819	5,783	3,762	3,916	3,816	108	-	7,509	62	829	539	55	-	-	120	2,488	891	583	44	308	2	397	213	184	135	6	
7 府中市	3	-	1,191	638	553	388	402	401	-	-	1,011	-	180	-	-	-	-	-	-	95	63	6	32	-	41	26	15	16	7	
8 三次市	3	1	1,078	509	569	362	358	356	2	-	840	-	-	-	-	-	-	-	238	94	67	7	27	-	55	24	31	19	8	
9 庄原市	4	-	865	446	419	296	301	268	-	-	517	348	-	-	-	-	-	-	-	94	59	7	35	1	36	16	20	27	9	
10 大竹市	1	-	536	273	263	200	167	169	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	536	45	23	1	22	1	16	9	7	6	10	
11 東広島市	9	1	3,995	2,047	1,948	1,328	1,319	1,340	8	-	3,115	824	-	-	-	-	56	-	-	318	216	16	102	5	138	80	58	61	11	
12 廿日市市	5	2	2,932	1,379	1,553	967	982	970	13	-	1,918	-	852	-	-	-	-	162	-	218	145	11	73	1	76	43	33	43	12	
13 安芸高田市	2	-	502	301	201	168	177	157	-	-	330	99	-	-	-	-	-	-	-	57	36	4	21	-	26	12	14	10	13	
14 江田島市	1	-	73	47	26	25	29	19	-	-	73	-	-	-	-	-	-	-	-	12	9	2	3	-	7	3	4	4	14	
15 府中市	1	-	582	270	312	197	196	189	-	-	474	-	-	-	-	-	-	-	-	40	24	2	16	-	16	8	8	4	15	
16 濨田町	2	1	2,429	1,020	1,409	811	803	801	14	-	1,839	-	-	231	-	-	-	359	134	84	5	50	1	67	25	42	13	16		
17 熊野町	1	-	458	232	226	137	162	159	-	-	458	-	-	-	-	-	-	-	-	39	27	2	12	-	13	7	6	4	17	
18 坂町	1	-	673	392	281	254	225	194	-	-	461	-	-	212	-	-	-	-	-	32	22	2	10	-	19	11	8	5	18	
19 安芸太田町	2	-	200	122	78	65	63	72	-	-	200	-	-	-	-	-	-	-	-	26	22	3	4	-	17	11	6	6	19	
20 北広島町	2	-	601	344	257	199	195	207	-	-	601	-	-	-	-	-	-	-	-	55	41	5	14	-	20	9	11	24	20	
21 大崎上島町	2	-	101	51	50	36	36	29	-	-	101	-	-	-	-	-	-	-	-	28	17	4	11	1	9	1	8	9	21	
22 世羅町	1	-	364	198	166	120	126	118	-	-	207	93	-	-	64	-	-	-	-	36	19	2	17	-	18	7	11	6	22	
23 神石高原町	1	-	191	123	68	63	65	63	-	-	99	92	-	-	-	-	-	-	-	22	16	2	6	-	13	9	4	8	23	

注1) 「学校数」の「(内) 併置」は、全日制と定時制の併置校をいう。

学校基本調査_山口県_高等学校の学年別生徒数

出展：山口県HP

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/gakkokihon/index.html>

表2 児童・生徒・園児数

区 分	平成29年度	平成30年度									
		計			国 立		公 立		私 立		
		計	男	女	男	女	男	女	男	女	
幼稚園	15,359	15,015	7,658	7,357	50	56	698	669	6,910	6,632	
3歳	4,881	4,674	2,401	2,273	13	12	144	130	2,244	2,131	
4歳	5,114	5,171	2,629	2,542	23	20	257	265	2,349	2,257	
5歳	5,364	5,170	2,628	2,542	14	24	297	274	2,317	2,244	
幼保連携型認定こども園	1,773	2,189	1,130	1,059	-	-	522	466	608	593	
0歳	50	53	29	24	-	-	11	12	18	12	
1歳	174	234	123	111	-	-	63	51	60	60	
2歳	234	310	163	147	-	-	77	62	86	85	
3歳	438	509	266	243	-	-	116	105	150	138	
4歳	449	539	265	274	-	-	122	120	143	154	
5歳	428	544	284	260	-	-	133	116	151	144	
小学校	68,788	68,208	34,657	33,551	357	401	34,300	33,150	-	-	
1学年	11,450	10,884	5,509	5,375	57	67	5,452	5,308	-	-	
2学年	11,305	11,454	5,831	5,623	62	69	5,769	5,554	-	-	
3学年	11,477	11,300	5,735	5,565	51	59	5,684	5,506	-	-	
4学年	11,611	11,450	5,823	5,627	64	67	5,759	5,560	-	-	
5学年	11,557	11,590	5,902	5,688	63	73	5,839	5,615	-	-	
6学年	11,388	11,530	5,857	5,673	60	66	5,797	5,607	-	-	
中学校	35,488	34,467	17,663	16,804	331	337	16,715	15,876	617	591	
1学年	11,581	11,103	5,675	5,428	107	116	5,370	5,111	198	201	
2学年	11,813	11,564	5,950	5,614	116	111	5,621	5,314	213	189	
3学年	12,094	11,800	6,038	5,762	108	110	5,724	5,451	206	201	
高等学校	34,625	33,868	16,782	17,086	-	-	11,613	11,948	5,169	5,138	
本科	34,335	33,588	16,739	16,849	-	-	11,591	11,855	5,148	4,994	
全日制	34,132	33,148	16,475	16,673	-	-	11,327	11,679	5,148	4,994	
1学年	11,491	10,963	5,423	5,540	-	-	3,662	3,817	1,761	1,723	
2学年	11,147	11,256	5,668	5,588	-	-	3,946	3,904	1,722	1,684	
3学年	11,204	10,929	5,384	5,545	-	-	3,719	3,958	1,665	1,587	
定時制	493	440	264	176	-	-	264	176	-	-	
1学年	155	117	72	45	-	-	72	45	-	-	
2学年	122	138	82	56	-	-	82	56	-	-	
3学年	133	108	63	45	-	-	63	45	-	-	
4学年	83	77	47	30	-	-	47	30	-	-	
専攻科	290	280	43	237	-	-	22	93	21	144	
高等学校(通信制)	2,845	2,884	1,485	1,399	-	-	
中等教育学校	662	651	261	390	-	-	261	390	-	-	
前期課程	326	312	110	202	-	-	110	202	-	-	
1学年	104	105	29	76	-	-	29	76	-	-	
2学年	104	103	40	63	-	-	40	63	-	-	
3学年	118	104	41	63	-	-	41	63	-	-	
後期課程	336	339	151	188	-	-	151	188	-	-	
1学年	110	117	57	60	-	-	57	60	-	-	
2学年	117	107	52	55	-	-	52	55	-	-	
3学年	109	115	42	73	-	-	42	73	-	-	
特別支援学校	1,805	1,817	1,206	611	27	16	1,179	595	-	-	
専修学校	4,975	4,887	1,807	3,080	-	-	74	297	1,733	2,783	
各種学校	3,041	2,956	1,824	1,132	-	-	-	-	1,824	1,132	

(注) 高等学校(通信制)については、「設置者別の男女」の集計無し

学校基本調査_愛媛県_高等学校の学年別生徒数

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou->

高等学校の状況

区分	学校数		併置		計	男	女	生徒数							
	学校数	全日制	定時制	併置				本科全日制生徒数計		1学年		2学年		3学年	
								計	女	男	女	男	女	男	
															計
立国	1	1	-	-	365	129	236	45	76	38	83	46	77		
立公	53	43	1	9	25,056	12,934	12,122	24,674	3,871	4,167	4,062	4,301	4,052		
立私	12	12	-	-	8,521	4,361	4,160	8,291	1,517	1,369	1,366	1,445	1,200		
県計	66	56	1	9	33,942	17,424	16,518	33,330	5,783	5,574	5,511	5,792	5,329		
市計	57	47	1	9	31,542	16,285	15,257	30,930	5,417	4,948	5,045	5,385	4,927		
郡計	9	9	-	-	2,400	1,139	1,261	2,400	366	366	466	407	402		
松山市	16	13	-	3	14,660	7,581	7,079	14,398	2,621	2,348	2,351	2,495	2,204		
今治市	9	8	-	1	3,845	1,908	1,937	3,820	614	647	623	655	622		
宇和島市	5	4	-	1	1,673	959	714	1,613	306	233	312	293	232		
八幡浜市	3	2	-	1	1,148	635	513	1,134	199	162	225	206	182		
新居浜市	5	4	-	1	2,978	1,486	1,492	2,911	471	477	488	486	490		
西条市	5	4	-	1	2,189	1,081	1,108	2,143	344	361	351	364	379		
大洲市	6	5	1	-	1,344	684	660	1,234	215	189	244	191	189		
伊予市	1	1	-	-	601	294	307	601	106	77	77	111	118		
四国中央市	3	2	-	1	1,731	890	841	1,703	285	272	288	294	294		
西予市	3	3	-	-	548	304	244	548	98	78	84	122	90		
東温市	1	1	-	-	825	463	362	825	158	104	137	168	127		
越智郡	1	1	-	-	75	25	50	75	9	20	7	9	10		
上島町	1	1	-	-	75	25	50	75	9	20	7	9	10		
上浮穴郡	1	1	-	-	123	58	65	123	16	28	18	24	22		
久万高原町	1	1	-	-	123	58	65	123	16	28	18	24	22		
伊予郡	2	2	-	-	991	463	528	991	151	165	160	152	167		
松前町	1	1	-	-	873	454	419	873	150	126	155	149	132		
砥部町	1	1	-	-	118	9	109	118	1	39	5	3	35		
喜多郡	2	2	-	-	412	216	196	412	68	59	64	84	59		
内子町	2	2	-	-	412	216	196	412	68	59	64	84	59		
西宇和郡	1	1	-	-	112	57	55	112	15	11	11	31	25		
伊方町	1	1	-	-	112	57	55	112	15	11	11	31	25		
北宇和郡	1	1	-	-	282	122	160	282	35	58	47	40	41		
松野町	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0		
鬼北町	1	1	-	-	282	122	160	282	35	58	47	40	41		
南宇和郡	1	1	-	-	405	198	207	405	72	52	59	67	78		
愛南町	1	1	-	-	405	198	207	405	72	52	59	67	78		

平成30年度 学校基本調査 中学校の学年別生徒数

(単位:人)

	1学年	2学年	3学年
広島県	24,402	25,011	25,636
山口県	11,103	11,564	11,800
愛媛県	10,826	11,283	11,833
合計	46,331	47,858	49,269

進学率

(単位:%)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	3年間の平均
広島県	98.6	98.6	98.6	98.6
山口県	98.2	98.2	98.2	98.2
愛媛県	98.8	98.4	98.3	98.5
合計	98.5	98.4	98.4	98.4

※各県が公表している平成30年度学校基本調査のデータ(別添)に基づき本学が作成

学校基本調査 広島県 中学校の学年別生徒数

出展：広島県HP

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkouihon30.html>

5 中学校

5 中学校

区分	学校数	生徒数										職員数 (本務者)				職員数 (本務者)	区分				
		学年別		編制方式別		外国人児童数 (中報)	計		管理職	計	男	女	管理職	計	男			女			
		1学年	2学年	3学年	単式		特別支援学級	男											女		
平成26年月日	274	2,788	394	2,394	26,759	26,600	26,704	78,828	1,235	378	5,559	3,124	439	2,435	57	1,653	776	877	863	26	年
27 "	272	2,791	2,383	408	25,962	26,771	26,568	77,957	1,344	375	5,582	3,119	449	2,463	53	2,106	948	1,158	822	27	
28 "	270	2,772	2,360	412	25,810	25,988	26,738	77,146	1,390	345	5,577	3,092	447	2,485	55	2,072	924	1,148	802	28	
29 "	267	2,709	2,289	420	25,012	25,672	25,836	75,027	1,493	377	5,524	3,029	434	2,495	66	2,030	955	1,075	812	29	
30 "	248	2,690	2,253	437	24,402	25,011	25,636	73,537	1,512	432	5,451	2,951	417	2,500	78	2,033	947	1,086	800	30	
(設置者別の内訳)	4	33	30	3	1,224	606	409	402	413	6	68	45	3	23	1	110	78	32	—	—	国立
国立	236	2,442	2,008	434	21,576	22,153	22,772	65,003	1,498	413	4,859	2,590	395	2,269	73	1,443	612	831	730	—	公立
私立	28	215	215	—	2,417	2,456	2,451	7,324	—	13	524	316	19	208	4	480	257	223	70	—	私立
(市町別の内訳)	79	1,094	959	135	11,014	11,249	11,401	33,086	578	192	2,078	1,114	112	964	28	872	383	489	413	1	
1広島市	29	216	173	43	2,548	1,705	1,762	5,064	95	41	450	238	46	212	8	124	48	76	80	2	
2呉市	3	21	15	6	469	249	164	462	7	3	50	27	5	23	1	10	4	6	5	3	
3原市	13	100	79	21	2,546	1,315	889	2,473	73	23	219	123	22	96	1	117	63	54	17	4	
4三原市	17	128	105	23	3,187	1,680	991	3,112	75	8	280	156	27	124	6	105	52	53	50	5	
5尾道市	41	461	380	81	12,887	6,587	4,142	12,531	356	62	879	469	62	410	13	293	170	123	57	6	
6福山市	2	19	15	4	512	278	181	505	7	4	40	19	4	21	—	8	4	4	5	7	
7府中市	13	68	54	14	1,333	676	403	453	22	7	173	99	21	74	4	70	25	45	34	8	
8三原市	7	43	33	10	826	441	289	800	26	1	105	57	13	48	1	27	11	16	24	9	
9庄原市	3	25	18	7	582	279	167	215	11	—	55	30	4	25	2	23	12	11	2	10	
10大竹市	18	192	163	29	5,648	2,861	1,830	1,894	99	53	380	215	29	165	5	120	63	57	43	11	
11東広島市	11	103	88	15	2,911	1,487	986	2,862	49	5	212	111	17	101	3	94	34	60	17	12	
12廿日町	6	34	24	10	667	349	226	213	20	6	92	57	12	35	—	28	17	11	7	13	
13安芸高田市	4	20	17	3	388	190	136	382	6	4	53	25	8	28	—	23	11	12	6	14	
14江田町	2	37	32	5	1,192	620	383	405	17	7	74	41	3	33	1	21	7	14	4	15	
15府中町	2	24	20	4	729	379	242	248	12	15	49	29	4	20	—	20	7	13	7	16	
16海田町	2	24	18	6	641	324	214	207	11	—	46	25	4	21	—	19	4	15	5	17	
17熊野町	2	13	10	3	355	178	123	117	11	—	23	10	1	13	—	6	2	4	5	18	
18坂田町	2	9	6	3	113	53	37	45	5	—	30	15	5	15	—	10	8	2	2	19	
19安芸太田町	5	28	22	6	583	284	189	214	15	—	77	42	9	35	—	26	14	12	7	20	
20北広島町	2	4	3	1	104	53	37	28	39	—	19	10	1	9	2	5	2	3	1	21	
21大崎町	3	18	13	5	366	194	127	126	13	—	40	23	5	17	1	7	3	4	7	22	
22世羅町	2	9	6	3	167	94	73	56	61	—	27	16	3	11	1	5	3	2	2	23	

注1)「単式学級」とは、同一学年の生徒のみで編成している学級をいう。
注2)平成28年度からは、二部授業を行う学校は含まれない。

学校基本調査 山口県 中学校の学年別生徒数

出展：山口県HP

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/gakkokihon/index.html>

表2 児童・生徒・園児数

区 分	平成29年度	平成30年度									
		計			国 立		公 立		私 立		
		計	男	女	男	女	男	女	男	女	
幼稚園	15,359	15,015	7,658	7,357	50	56	698	669	6,910	6,632	
3 歳	4,881	4,674	2,401	2,273	13	12	144	130	2,244	2,131	
4 歳	5,114	5,171	2,629	2,542	23	20	257	265	2,349	2,257	
5 歳	5,364	5,170	2,628	2,542	14	24	297	274	2,317	2,244	
幼保連携型認定こども園	1,773	2,189	1,130	1,059	-	-	522	466	608	593	
0 歳	50	53	29	24	-	-	11	12	18	12	
1 歳	174	234	123	111	-	-	63	51	60	60	
2 歳	234	310	163	147	-	-	77	62	86	85	
3 歳	438	509	266	243	-	-	116	105	150	138	
4 歳	449	539	265	274	-	-	122	120	143	154	
5 歳	428	544	284	260	-	-	133	116	151	144	
小学校	68,788	68,208	34,657	33,551	357	401	34,300	33,150	-	-	
1 学年	11,450	10,884	5,509	5,375	57	67	5,452	5,308	-	-	
2 学年	11,305	11,454	5,831	5,623	62	69	5,769	5,554	-	-	
3 学年	11,477	11,300	5,735	5,565	51	59	5,684	5,506	-	-	
4 学年	11,611	11,450	5,823	5,627	64	67	5,759	5,560	-	-	
5 学年	11,557	11,590	5,902	5,688	63	73	5,839	5,615	-	-	
6 学年	11,388	11,530	5,857	5,673	60	66	5,797	5,607	-	-	
中学校	35,488	34,467	17,663	16,804	331	337	16,715	15,876	617	591	
1 学年	11,581	11,103	5,675	5,428	107	116	5,370	5,111	198	201	
2 学年	11,813	11,564	5,950	5,614	116	111	5,621	5,314	213	189	
3 学年	12,094	11,800	6,038	5,762	108	110	5,724	5,451	206	201	
高等学校	34,625	33,868	16,782	17,086	-	-	11,613	11,948	5,169	5,138	
本 科	34,335	33,588	16,739	16,849	-	-	11,591	11,855	5,148	4,994	
全 日 制	34,132	33,148	16,475	16,673	-	-	11,327	11,679	5,148	4,994	
1 学年	11,491	10,963	5,423	5,540	-	-	3,662	3,817	1,761	1,723	
2 学年	11,147	11,256	5,668	5,588	-	-	3,946	3,904	1,722	1,684	
3 学年	11,204	10,929	5,384	5,545	-	-	3,719	3,958	1,665	1,587	
定 時 制	493	440	264	176	-	-	264	176	-	-	
1 学年	155	117	72	45	-	-	72	45	-	-	
2 学年	122	138	82	56	-	-	82	56	-	-	
3 学年	133	108	63	45	-	-	63	45	-	-	
4 学年	83	77	47	30	-	-	47	30	-	-	
専 攻 科	290	280	43	237	-	-	22	93	21	144	
高等学校 (通信制)	2,845	2,884	1,485	1,399	-	-	
中等教育学校	662	651	261	390	-	-	261	390	-	-	
前期課程	326	312	110	202	-	-	110	202	-	-	
1 学年	104	105	29	76	-	-	29	76	-	-	
2 学年	104	103	40	63	-	-	40	63	-	-	
3 学年	118	104	41	63	-	-	41	63	-	-	
後期課程	336	339	151	188	-	-	151	188	-	-	
1 学年	110	117	57	60	-	-	57	60	-	-	
2 学年	117	107	52	55	-	-	52	55	-	-	
3 学年	109	115	42	73	-	-	42	73	-	-	
特別支援学校	1,805	1,817	1,206	611	27	16	1,179	595	-	-	
専修学校	4,975	4,887	1,807	3,080	-	-	74	297	1,733	2,783	
各種学校	3,041	2,956	1,824	1,132	-	-	-	-	1,824	1,132	

(注) 高等学校(通信制)については、「設置者別の男女」の集計無し

学校基本調査 愛媛県 中学校の学年別生徒数

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou-p18.html>

中学校の状況

区分	学 校 数		学 級 数			生 徒 数			
	計	へき地等指定校	学級数	単式学級	複式学級	特別支援学級	計	男	女
国	1	-	12	12	-	-	445	223	222
立 公	129	15	1,281	1,004	-	277	32,543	16,751	15,792
立 私	4	-	32	32	-	-	954	531	423
計 県	134	15	1,325	1,048	-	277	33,942	17,505	16,437
計 市	109	7	1,183	936	-	247	30,923	15,967	14,956
計 郡	25	8	142	112	-	30	3,019	1,538	1,481
松 山 市	32	1	448	380	-	68	13,065	6,744	6,321
今 治 市	16	1	155	115	-	40	3,762	1,945	1,817
宇 和 島 市	6	-	57	44	-	13	1,415	747	668
八 幡 浜 市	5	-	40	30	-	10	781	392	389
新 居 浜 市	12	1	116	94	-	22	3,150	1,624	1,526
西 条 市	10	-	115	83	-	32	2,690	1,429	1,261
大 洲 市	10	2	55	43	-	12	1,116	580	536
伊 予 市	4	-	35	30	-	5	924	470	454
四 国 中 央 市	7	1	91	64	-	27	2,216	1,155	1,061
西 予 市	5	1	40	29	-	11	895	448	447
東 温 市	2	-	31	24	-	7	909	433	476
越 智 郡	4	3	9	8	-	1	114	44	70
上 島 町	4	3	9	8	-	1	114	44	70
上 浮 穴 郡	2	1	9	8	-	1	185	104	81
久 万 高 原 町	2	1	9	8	-	1	185	104	81
伊 予 郡	4	-	44	37	-	7	1,342	703	639
松 前 町	3	-	27	22	-	5	777	408	369
砥 部 町	1	-	17	15	-	2	565	295	270
喜 多 郡	4	1	24	17	-	7	425	223	202
内 子 町	4	1	24	17	-	7	425	223	202
西 宇 和 郡	3	1	12	9	-	3	160	76	84
伊 方 町	3	1	12	9	-	3	160	76	84
北 宇 和 郡	3	1	16	12	-	4	322	159	163
松 野 町	1	-	4	3	-	1	92	51	41
鬼 北 町	2	1	12	9	-	3	230	108	122
南 宇 和 郡	5	1	28	21	-	7	471	229	242
愛 南 町	5	1	28	21	-	7	471	229	242

中学校(つづき)

区分	生徒数						教員数(本務者)			職員数 (本務者)
	1学年		2学年		3学年		計	男	女	
	男	女	男	女	男	女				
立国	64	64	80	79	79	79	23	15	8	6
立公	5,325	5,049	5,489	5,292	5,937	5,451	2,791	1,519	1,272	346
立私	173	151	198	145	160	127	72	56	16	20
計	5,562	5,264	5,767	5,516	6,176	5,657	2,886	1,590	1,296	372
計	5,086	4,801	5,236	5,026	5,645	5,129	2,516	1,380	1,136	301
計	476	463	531	490	531	528	370	210	160	71
松山市	2,148	2,007	2,229	2,129	2,367	2,185	916	505	411	68
今治市	612	597	639	586	694	634	322	173	149	34
宇和島市	247	215	257	249	243	204	143	86	57	35
八幡浜市	128	111	132	143	132	135	89	48	41	9
新居浜市	526	496	515	514	583	516	246	127	119	28
西条市	443	401	478	412	508	448	239	126	113	59
大洲市	182	167	188	178	210	191	138	79	59	16
伊予市	148	142	153	156	169	156	81	47	34	8
四国中央市	395	339	358	363	402	359	179	99	80	7
西予市	118	167	147	129	183	151	94	56	38	32
東温市	139	159	140	167	154	150	69	34	35	5
越智郡	11	25	21	23	12	22	24	13	11	5
上島町	11	25	21	23	12	22	24	13	11	5
上浮穴郡	27	29	33	25	44	27	33	19	14	4
久万高原町	27	29	33	25	44	27	33	19	14	4
伊予郡	225	206	236	211	242	222	114	53	61	12
松前町	137	117	137	125	134	127	67	33	34	6
砥部町	88	89	99	86	108	95	47	20	27	6
喜多郡	70	49	78	76	75	77	54	32	22	7
内子町	70	49	78	76	75	77	54	32	22	7
西宇和郡	27	25	19	24	30	35	32	21	11	8
伊方町	27	25	19	24	30	35	32	21	11	8
北宇和郡	52	55	57	61	50	47	41	30	11	18
松野町	18	17	17	10	16	14	12	8	4	1
鬼北町	34	38	40	51	34	33	29	22	7	17
南宇和郡	64	74	87	70	78	98	72	42	30	17
愛南町	64	74	87	70	78	98	72	42	30	17

学校基本調査 都道府県別進学率（最近3年間）

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou-p18.html>

都道府県別進学率（平成30年3月卒）

(1) 中学校卒業者の高等学校等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	98.8	0.0
1	新 潟	99.6	0.0
2	岩 手	99.5	0.0
3	山 形	99.5	0.0
4	石 川	99.4	-0.1
5	富 山	99.4	0.1
6	福 井	99.3	0.1
7	和 歌 山	99.3	0.3
8	長 崎	99.3	0.2
9	宮 城	99.3	0.1
10	京 都	99.3	0.0
11	青 森	99.2	0.1
12	熊 本	99.2	0.1
13	大 分	99.1	0.1
14	神 奈 川	99.1	0.2
15	滋 賀	99.1	0.0
16	長 野	99.1	0.0
17	徳 島	99.1	0.2
18	奈 良	99.0	0.0
19	秋 田	99.0	-0.1
20	埼 玉	99.0	-0.1
21	岐 阜	99.0	0.0
22	北 海 道	98.9	-0.1
23	島 根	98.9	0.0
24	群 馬	98.9	0.0
25	鹿 児 島	98.9	-0.1
26	栃 木	98.9	-0.1
27	千 葉	98.9	0.0
28	茨 城	98.8	-0.1
29	兵 庫	98.8	0.0
30	愛 媛	98.8	0.4
31	東 京	98.7	0.0
32	三 重	98.7	0.0
33	鳥 取	98.7	0.7
34	岡 山	98.7	0.1
35	香 川	98.7	0.4
36	山 梨	98.7	0.3
37	広 島	98.6	0.1
38	静 岡	98.6	-0.1
39	高 知	98.6	-0.1
40	大 阪	98.5	0.0
41	愛 知	98.5	0.0
42	宮 崎	98.4	0.0
43	福 島	98.3	0.2
44	山 口	98.2	0.1
45	福 岡	98.2	0.2
46	佐 賀	98.1	0.0
47	沖 縄	97.4	0.5

(2) 高等学校卒業者の大学等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	54.7	0.0
1	京 都	65.9	-0.3
2	東 京	64.7	-1.2
3	神 奈 川	61.0	-0.3
4	広 島	60.6	-0.1
5	兵 庫	60.6	-0.1
6	大 阪	59.5	-0.2
7	愛 知	58.2	0.4
8	奈 良	58.2	-0.5
9	山 梨	57.2	0.3
10	埼 玉	57.2	-0.4
11	福 井	56.8	0.9
12	千 葉	55.7	0.0
13	岐 阜	55.5	-0.4
14	石 川	55.1	0.7
15	滋 賀	54.6	-1.3
16	愛 媛	53.7	1.0
17	福 岡	53.5	-0.8
18	静 岡	53.0	0.1
19	栃 木	52.5	0.7
20	香 川	52.2	0.5
21	徳 島	52.0	-1.1
22	群 馬	51.9	-0.3
23	富 山	51.9	-0.3
24	岡 山	51.0	0.3
25	茨 城	50.6	0.0
26	三 重	50.6	-0.3
27	高 知	49.3	2.0
28	宮 城	49.3	0.1
29	大 分	47.9	0.6
30	和 歌 山	47.8	-1.1
31	長 野	47.7	-0.4
32	青 森	46.9	2.4
33	熊 本	46.8	-0.1
34	島 根	46.7	0.9
35	新 潟	46.4	1.1
36	福 島	46.3	0.7
37	宮 崎	46.0	1.0
38	北 海 道	45.5	1.0
39	秋 田	45.3	0.1
40	山 形	45.3	-0.1
41	長 崎	45.0	1.3
42	佐 賀	44.7	0.7
43	岩 手	44.6	1.0
44	鹿 児 島	44.2	1.0
45	山 口	44.1	0.6
46	鳥 取	43.8	1.5
47	沖 縄	39.7	0.2

1.進学率＝進学者数(就職進学者を含む)／卒業生総数×100(%)

2.小数点第1位が同数の場合は、2位以下の数値により順位を決定した。

都道府県別進学率(平成29年3月卒)

(1)中学校卒業者の高等学校等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	98.8	0.1
1	新 潟	99.6	0.0
2	石 川	99.5	0.1
3	山 形	99.5	0.1
4	岩 手	99.4	0.1
5	富 山	99.3	0.3
6	京 都	99.2	0.3
7	福 井	99.2	0.0
8	宮 城	99.2	-0.1
9	青 森	99.1	0.1
10	長 崎	99.1	0.1
11	滋 賀	99.1	0.1
12	埼 玉	99.1	0.1
13	長 野	99.1	0.0
14	熊 本	99.1	0.0
15	秋 田	99.1	0.0
16	鹿 児 島	99.0	0.2
17	大 分	99.0	0.0
18	和 歌 山	99.0	-0.2
19	北 海 道	99.0	0.1
20	奈 良	99.0	0.1
21	栃 木	99.0	0.2
22	岐 阜	98.9	0.1
23	神 奈 川	98.9	0.0
24	群 馬	98.9	0.0
25	島 根	98.9	-0.1
26	茨 城	98.9	0.1
27	千 葉	98.9	0.1
28	徳 島	98.8	-0.2
29	兵 庫	98.8	0.1
30	三 重	98.7	-0.1
31	東 京	98.7	-0.1
32	静 岡	98.7	0.1
33	高 知	98.7	0.4
34	岡 山	98.6	0.0
35	広 島	98.6	0.0
36	愛 知	98.5	0.2
37	大 阪	98.5	0.2
38	宮 崎	98.4	0.2
39	愛 媛	98.4	0.1
40	山 梨	98.4	-0.2
41	香 川	98.3	0.2
42	山 口	98.2	-0.1
43	福 島	98.1	-0.1
44	佐 賀	98.1	0.2
45	福 岡	98.0	0.0
46	鳥 取	98.0	-0.7
47	沖 縄	96.9	0.4

(2)高等学校卒業者の大学等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	54.7	0.0
1	京 都	66.2	-0.2
2	東 京	65.9	-0.6
3	神 奈 川	61.3	-0.2
4	広 島	60.7	0.8
5	兵 庫	60.7	0.1
6	大 阪	59.7	-0.8
7	奈 良	58.7	-0.2
8	愛 知	57.9	-0.9
9	埼 玉	57.6	0.7
10	山 梨	56.9	0.6
11	滋 賀	55.9	1.0
12	岐 阜	55.9	0.8
13	福 井	55.9	-0.2
14	千 葉	55.7	-0.4
15	石 川	54.4	-0.3
16	福 岡	54.2	-0.1
17	徳 島	53.1	1.4
18	静 岡	52.9	-0.2
19	愛 媛	52.7	0.4
20	富 山	52.2	0.2
21	群 馬	52.2	-0.4
22	栃 木	51.8	-0.2
23	香 川	51.7	1.1
24	三 重	50.9	0.4
25	岡 山	50.7	0.1
26	茨 城	50.6	0.0
27	宮 城	49.3	-0.2
28	和 歌 山	48.8	-0.7
29	長 野	48.1	-0.8
30	高 知	47.3	-0.1
31	大 分	47.2	0.8
32	熊 本	47.0	0.8
33	島 根	45.8	-1.2
34	福 島	45.7	-0.1
35	山 形	45.3	0.5
36	新 潟	45.3	-1.4
37	秋 田	45.3	0.6
38	宮 崎	45.0	-0.3
39	青 森	44.6	0.9
40	北 海 道	44.5	1.1
41	佐 賀	44.0	0.9
42	長 崎	43.7	-0.9
43	岩 手	43.6	-0.6
44	山 口	43.5	0.7
45	鹿 児 島	43.2	0.8
46	鳥 取	42.3	-1.2
47	沖 縄	39.5	0.3

(注) 1.進学率=進学者数(就職進学者を含む)/卒業生総数×100(%)
 2.小数点1位が同数の場合は、2位以下の数値により順位を決定した。

別表13:都道府県別進学率(平成28年3月卒)

(1)中学校卒業者の高等学校等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	98.7	0.2
1	新 潟	99.6	0.1
2	石 川	99.4	0.2
3	岩 手	99.3	-0.2
4	山 形	99.3	-0.1
5	宮 城	99.2	0.0
6	和 歌 山	99.2	0.3
7	福 井	99.2	0.2
8	秋 田	99.1	0.1
9	長 崎	99.1	0.1
10	熊 本	99.1	0.0
11	島 根	99.1	0.0
12	長 野	99.1	0.2
13	徳 島	99.0	0.3
14	青 森	99.0	0.0
15	富 山	99.0	-0.1
16	大 分	99.0	0.4
17	埼 玉	99.0	0.1
18	滋 賀	99.0	0.1
19	京 都	98.9	-0.1
20	群 馬	98.9	0.3
21	神 奈 川	98.9	0.3
22	三 重	98.9	0.2
23	北 海 道	98.9	0.0
24	奈 良	98.9	0.1
25	岐 阜	98.9	0.1
26	茨 城	98.8	0.0
27	鹿 児 島	98.8	0.0
28	東 京	98.8	0.3
29	千 葉	98.8	0.2
30	栃 木	98.8	0.1
31	鳥 取	98.7	0.1
32	岡 山	98.7	0.5
33	兵 庫	98.7	0.1
34	静 岡	98.6	0.3
35	広 島	98.6	0.2
36	山 梨	98.6	0.2
37	愛 知	98.4	0.3
38	大 阪	98.3	0.2
39	愛 媛	98.3	0.1
40	高 知	98.3	0.2
41	宮 崎	98.3	0.3
42	山 口	98.2	0.1
43	福 島	98.2	0.2
44	香 川	98.1	0.2
45	福 岡	98.0	0.3
46	佐 賀	97.9	0.3
47	沖 縄	96.5	0.1

(2)高等学校卒業者の大学等進学率

順位	都道府県名	進学率	前年差
	全 国 平 均	54.7	0.2
1	東 京	66.5	-0.3
2	京 都	66.5	0.1
3	神 奈 川	61.5	-0.2
4	兵 庫	60.6	-0.2
5	大 阪	60.5	1.1
6	広 島	59.9	-0.1
7	奈 良	58.9	-1.1
8	愛 知	58.7	-0.1
9	埼 玉	56.9	-0.4
10	山 梨	56.4	-0.7
11	千 葉	56.1	0.6
12	福 井	56.1	0.8
13	岐 阜	55.1	-0.9
14	滋 賀	55.0	-0.6
15	石 川	54.7	0.3
16	福 岡	54.4	0.1
17	静 岡	53.1	-0.8
18	群 馬	52.6	0.5
19	愛 媛	52.2	0.2
20	栃 木	52.1	0.0
21	富 山	52.0	0.0
22	徳 島	51.7	2.3
23	茨 城	50.6	0.9
24	香 川	50.6	-0.6
25	岡 山	50.5	-0.1
26	三 重	50.5	-1.0
27	和 歌 山	49.5	1.9
28	宮 城	49.5	0.7
29	長 野	48.9	0.8
30	高 知	47.4	0.5
31	島 根	47.1	0.8
32	新 潟	46.7	-0.1
33	大 分	46.4	-0.6
34	熊 本	46.2	0.6
35	福 島	45.7	1.5
36	宮 崎	45.2	1.7
37	山 形	44.9	-0.2
38	秋 田	44.6	0.2
39	長 崎	44.6	3.3
40	岩 手	44.2	1.5
41	青 森	43.7	-0.4
42	鳥 取	43.5	1.5
43	北 海 道	43.3	1.0
44	佐 賀	43.0	-0.4
45	山 口	42.7	-0.7
46	鹿 児 島	42.7	0.5
47	沖 縄	39.2	-0.6

(注) 1.進学率=進学者数(就職進学者を含む)/卒業者総数×100(%)
2.小数点1位が同数の場合は、2位以下の数値により順位を決定した。

年齢別人口の推計

(単位:人)

	5～9歳	10～14歳	
広島県	126,143	126,750	平成31年1月1日現在
山口県	54,853	57,560	平成30年10月1日現在
愛媛県	71,425	81,257	平成29年12月現在
合計	252,421	265,567	

※各県が公表している年齢別推計人口のデータ(別添)に基づき本学が作成

広島県推計人口の抜粋

出展：広島県HP

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/21/jinkougeposaisin.html>

第5表-1 年齢(5歳階級)別, 男女別推計人口

(単位:人)

年齢階級	平成31年1月1日現在推計人口								
	総数			日本人			外国人		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総数	2,818,251	1,366,766	1,451,485	2,772,503	1,343,708	1,428,795	45,748	23,058	22,690
0～4歳	114,006	58,171	55,835	112,725	57,485	55,240	1,281	686	595
5～9歳	126,143	64,586	61,557	125,107	64,073	61,034	1,036	513	523
10～14歳	126,750	64,802	61,948	125,805	64,334	61,472	945	468	476
15～19歳	134,079	69,068	65,010	132,265	68,203	64,062	1,814	865	948
20～24歳	141,012	72,809	68,203	132,365	68,369	63,996	8,647	4,439	4,207
25～29歳	137,963	72,331	65,632	129,618	67,360	62,258	8,345	4,971	3,374
30～34歳	152,681	78,623	74,058	146,531	75,069	71,461	6,150	3,554	2,596
35～39歳	166,524	84,500	82,024	162,200	82,441	79,759	4,324	2,059	2,266
40～44歳	199,580	100,726	98,854	196,749	99,590	97,159	2,831	1,136	1,695
45～49歳	213,492	107,432	106,060	210,903	106,442	104,460	2,589	989	1,600
50～54歳	175,611	87,226	88,385	173,671	86,463	87,208	1,940	762	1,178
55～59歳	161,323	79,731	81,592	159,929	79,109	80,819	1,394	622	773
60～64歳	164,678	80,769	83,909	163,578	80,239	83,339	1,100	530	570
65～69歳	205,014	98,717	106,297	203,928	98,189	105,739	1,086	527	558
70～74歳	193,464	91,272	102,192	192,584	90,859	101,724	880	412	468
75～79歳	154,857	68,566	86,292	154,197	68,292	85,905	660	274	387
80～84歳	116,266	47,232	69,034	115,858	47,062	68,796	409	170	239
85歳以上	134,807	40,206	94,602	134,491	40,126	94,365	316	80	237

注)各年齢階級別推計人口は、平成30年12月末日現在の住民基本台帳に登録されている年齢別人口の割合を基に算出している。
このため、各年齢階級別の計と合計(総数)が一致しないものがある。

第5表-2 年齢(5歳階級)別, 男女別推計人口(対前年同月差)

(単位:人)

年齢階級	対前年同月差(H31.1.1とH30.1.1との差)								
	総数			日本人			外国人		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総数	△ 10,237	△ 4,408	△ 5,829	△ 13,473	△ 6,299	△ 7,174	3,236	1,891	1,345
0～4歳	△ 3,259	△ 1,703	△ 1,555	△ 3,313	△ 1,760	△ 1,554	55	56	△ 1
5～9歳	△ 1,000	△ 399	△ 601	△ 1,018	△ 405	△ 613	18	6	11
10～14歳	△ 594	△ 422	△ 172	△ 660	△ 442	△ 217	66	20	45
15～19歳	△ 791	△ 553	△ 238	△ 1,015	△ 663	△ 353	224	110	114
20～24歳	149	184	△ 34	△ 870	△ 344	△ 526	1,019	527	491
25～29歳	△ 2,007	△ 708	△ 1,299	△ 2,583	△ 1,087	△ 1,496	576	379	197
30～34歳	△ 3,399	△ 1,346	△ 2,053	△ 3,839	△ 1,721	△ 2,118	440	375	65
35～39歳	△ 4,226	△ 2,151	△ 2,075	△ 4,541	△ 2,384	△ 2,157	315	233	82
40～44歳	△ 9,463	△ 5,039	△ 4,424	△ 9,604	△ 5,085	△ 4,519	141	46	95
45～49歳	6,529	3,808	2,721	6,499	3,776	2,723	30	32	△ 2
50～54歳	5,542	2,864	2,678	5,397	2,830	2,566	145	34	111
55～59歳	△ 1,504	△ 533	△ 971	△ 1,600	△ 557	△ 1,043	95	24	72
60～64歳	△ 3,958	△ 1,991	△ 1,967	△ 3,937	△ 1,977	△ 1,961	△ 21	△ 15	△ 6
65～69歳	△ 13,512	△ 6,668	△ 6,843	△ 13,514	△ 6,684	△ 6,829	2	16	△ 14
70～74歳	10,604	5,426	5,179	10,560	5,418	5,141	45	7	37
75～79歳	7,479	3,226	4,254	7,428	3,209	4,220	51	17	34
80～84歳	△ 1,122	20	△ 1,142	△ 1,131	6	△ 1,137	9	14	△ 5
85歳以上	4,294	1,579	2,715	4,267	1,569	2,698	27	10	17

山口県推計人口の抜粋

出展：山口県HP

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/jinko/suikai.html>

年齢(各歳)、男女別人口

■県総数
平成30年10月1日現在
(単位:人)

年齢	総数	男	女	年齢	総数	男	女
総数	1,368,495	649,238	719,257				
0-4	48,509	25,061	23,448	50-54	79,610	38,593	41,017
0	9,016	4,621	4,395	50	17,266	8,353	8,913
1	9,442	4,817	4,625	51	17,311	8,347	8,964
2	10,007	5,184	4,823	52	12,793	6,216	6,577
3	10,053	5,296	4,757	53	16,558	8,021	8,537
4	9,991	5,143	4,848	54	15,682	7,656	8,026
5-9	54,853	27,993	26,860	55-59	80,151	38,731	41,420
5	10,571	5,439	5,132	55	15,681	7,668	8,013
6	10,565	5,392	5,173	56	15,457	7,511	7,946
7	11,243	5,658	5,585	57	15,615	7,488	8,127
8	11,086	5,605	5,481	58	16,223	7,835	8,388
9	11,388	5,899	5,489	59	17,175	8,229	8,946
10-14	57,560	29,369	28,191	60-64	89,703	43,359	46,344
10	11,398	5,735	5,663	60	17,371	8,348	9,023
11	11,398	5,831	5,567	61	16,676	8,030	8,646
12	11,374	5,838	5,536	62	18,407	8,886	9,521
13	11,548	5,850	5,698	63	18,407	8,896	9,511
14	11,842	6,115	5,727	64	18,842	9,199	9,643
15-19	63,410	32,391	31,019	65-69	118,910	57,126	61,784
15	12,131	6,195	5,936	65	20,384	9,834	10,550
16	12,695	6,542	6,153	66	21,847	10,632	11,215
17	12,843	6,484	6,359	67	23,337	11,227	12,110
18	12,867	6,607	6,260	68	25,254	12,144	13,110
19	12,874	6,563	6,311	69	28,088	13,289	14,799
20-24	56,381	29,960	26,421	70-74	103,869	47,599	56,270
20	13,006	6,736	6,270	70	26,006	12,118	13,888
21	12,050	6,317	5,733	71	26,067	12,099	13,968
22	10,453	5,707	4,746	72	16,087	7,367	8,720
23	10,577	5,674	4,903	73	16,360	7,379	8,981
24	10,295	5,526	4,769	74	19,349	8,636	10,713
25-29	53,973	28,483	25,490	75-79	87,504	37,666	49,838
25	10,480	5,567	4,913	75	18,846	8,411	10,435
26	10,538	5,532	5,006	76	19,235	8,351	10,884
27	10,628	5,674	4,954	77	19,363	8,359	11,004
28	10,962	5,809	5,153	78	16,192	6,815	9,377
29	11,365	5,901	5,464	79	13,868	5,730	8,138
30-34	64,029	32,627	31,402	80-84	71,052	27,763	43,289
30	11,882	6,202	5,680	80	14,701	6,039	8,662
31	12,299	6,395	5,904	81	15,337	6,180	9,157
32	12,747	6,462	6,285	82	14,670	5,734	8,936
33	13,373	6,748	6,625	83	13,642	5,087	8,555
34	13,727	6,820	6,907	84	12,702	4,723	7,979
35-39	72,457	36,375	36,082	85-89	50,441	16,801	33,640
35	14,065	7,060	7,005	85	12,001	4,196	7,805
36	14,017	7,125	6,892	86	11,387	3,933	7,454
37	14,234	7,195	7,039	87	10,361	3,479	6,882
38	14,809	7,383	7,426	88	8,567	2,715	5,852
39	15,332	7,612	7,720	89	8,125	2,478	5,647
40-44	89,414	45,084	44,330	90-94	24,904	6,336	18,568
40	15,892	8,066	7,826	90	6,946	1,970	4,976
41	17,017	8,455	8,562	91	5,862	1,621	4,241
42	17,971	9,132	8,839	92	5,007	1,253	3,754
43	18,752	9,327	9,425	93	3,873	842	3,031
44	19,782	10,104	9,678	94	3,216	650	2,566
45-49	93,690	46,602	47,088	95-97	5,492	974	4,518
45	19,970	10,092	9,878	95	2,474	450	2,024
46	19,761	10,019	9,742	96	1,729	305	1,424
47	18,547	9,289	9,258	97	1,289	219	1,070
48	17,906	8,721	9,185	98~	2,583	345	2,238
49	17,506	8,481	9,025				

(山口県「推計人口」)

注) 30-34歳の総数及び女には、不詳(1人)が含まれているため、各歳の合計と一致しない。

愛媛県推計人口の抜粋

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/kokutyou/2000/kokutyou-p14.html>

第3表 年齢(各歳), 男女別人口, 年齢別割合, 平均年齢及び年齢中位数(総数及び日本人)

－ 都道府県*, 市部*, 郡部*, 市町村

平成29年12月

Table 3. Population (Total and Japanese Population), by Age (Single Years) and Sex, Percentage by age, Average Age and Median Age
- Prefecture*, All Shi*, All Gun*, Shi, Machi, and Mura

年齢(各歳)			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
Age (single years)			Both sexes	Male	Female	Both sexes	Male	Female	Both sexes	Male	Female
総数 Total			38 愛媛県			市部			郡部		
			Ehime-ken			All shi			All gun		
総	数	All ages	1,493,092	704,289	788,803	1,076,423	507,598	568,825	416,669	196,691	219,978
0	～	4歳	66,658	33,935	32,723	51,019	25,965	25,054	15,639	7,970	7,669
	0		12,871	6,517	6,354	10,060	5,107	4,953	2,811	1,410	1,401
	1		12,994	6,583	6,411	9,995	5,047	4,948	2,999	1,536	1,463
	2		13,640	6,972	6,668	10,469	5,355	5,114	3,171	1,617	1,554
	3		13,657	6,919	6,738	10,335	5,241	5,094	3,322	1,678	1,644
	4		13,496	6,944	6,552	10,160	5,215	4,945	3,336	1,729	1,607
	5	～	71,425	36,714	34,711	52,613	26,950	25,663	18,812	9,764	9,048
	5	9	14,063	7,291	6,772	10,492	5,400	5,092	3,571	1,891	1,680
	6		14,120	7,314	6,806	10,482	5,426	5,056	3,638	1,888	1,750
	7		14,113	7,238	6,875	10,344	5,285	5,059	3,769	1,953	1,816
	8		14,572	7,484	7,088	10,638	5,421	5,217	3,934	2,063	1,871
	9		14,557	7,387	7,170	10,657	5,418	5,239	3,900	1,969	1,931
	10	～	81,257	41,557	39,700	58,541	29,964	28,577	22,716	11,593	11,123
	10	14	15,083	7,690	7,393	11,017	5,611	5,406	4,066	2,079	1,987
	11		15,672	8,069	7,603	11,216	5,745	5,471	4,456	2,324	2,132
	12		16,300	8,339	7,961	11,763	6,047	5,716	4,537	2,292	2,245
	13		16,828	8,607	8,221	12,026	6,217	5,809	4,802	2,390	2,412
	14		17,374	8,852	8,522	12,519	6,344	6,175	4,855	2,508	2,347
	15	～	85,225	43,085	42,140	62,873	31,667	31,206	22,352	11,418	10,934
	15	19	18,096	9,224	8,872	13,006	6,661	6,345	5,090	2,563	2,527
	16		18,625	9,657	8,968	13,414	6,942	6,472	5,211	2,715	2,496
	17		18,940	9,661	9,279	13,618	6,942	6,676	5,322	2,719	2,603
	18		16,234	8,091	8,143	12,219	6,040	6,179	4,015	2,051	1,964
	19		13,330	6,452	6,878	10,616	5,082	5,534	2,714	1,370	1,344
	20	～	80,144	38,648	41,496	63,084	30,311	32,773	17,060	8,337	8,723
	20	24	14,408	6,929	7,479	11,534	5,534	6,000	2,874	1,395	1,479
	21		14,572	6,921	7,651	11,561	5,504	6,057	3,011	1,417	1,594
	22		15,844	7,713	8,131	12,480	6,042	6,438	3,364	1,671	1,693
	23		17,224	8,211	9,013	13,474	6,401	7,073	3,750	1,810	1,940
	24		18,096	8,874	9,222	14,035	6,830	7,205	4,061	2,044	2,017
	25	～	98,351	47,942	50,409	77,698	37,549	40,149	20,653	10,393	10,260
	25	29	19,340	9,451	9,889	15,127	7,284	7,843	4,213	2,167	2,046
	26		19,998	9,758	10,240	15,752	7,573	8,179	4,246	2,185	2,061
	27		20,402	9,989	10,413	16,196	7,866	8,330	4,206	2,123	2,083
	28		19,675	9,589	10,086	15,516	7,553	7,963	4,159	2,036	2,123
	29		18,936	9,155	9,781	15,107	7,273	7,834	3,829	1,882	1,947
	30	～	85,848	41,408	44,440	67,191	32,350	34,841	18,657	9,058	9,599
	30	34	18,490	8,937	9,553	14,685	7,056	7,629	3,805	1,881	1,924
	31		17,942	8,637	9,305	14,110	6,773	7,337	3,832	1,864	1,968
	32		17,947	8,697	9,250	13,991	6,787	7,204	3,956	1,910	2,046
	33		17,877	8,602	9,275	13,922	6,718	7,204	3,955	1,884	2,071
	34		13,592	6,535	7,057	10,483	5,016	5,467	3,109	1,519	1,590
	35	～	86,858	41,954	44,904	65,637	31,629	34,008	21,221	10,325	10,896
	35	39	18,528	8,885	9,643	14,248	6,829	7,419	4,280	2,056	2,224
	36		17,553	8,538	9,015	13,410	6,568	6,842	4,143	1,970	2,173
	37		17,009	8,175	8,834	12,742	6,075	6,667	4,267	2,100	2,167
	38		16,810	7,956	8,854	12,670	5,954	6,716	4,140	2,002	2,138
	39		16,958	8,400	8,558	12,567	6,203	6,364	4,391	2,197	2,194
	40	～	92,324	45,008	47,316	67,313	32,649	34,664	25,011	12,359	12,652
	40	44	17,646	8,566	9,080	13,098	6,312	6,786	4,548	2,254	2,294
	41		18,741	9,062	9,679	13,747	6,616	7,131	4,994	2,446	2,548
	42		18,490	9,053	9,437	13,391	6,512	6,879	5,099	2,541	2,558
	43		18,236	8,910	9,326	13,266	6,508	6,758	4,970	2,402	2,568
	44		19,211	9,417	9,794	13,811	6,701	7,110	5,400	2,716	2,684

平成30年度学校基本調査 高等学校の進路別卒業者の推移

高等学校卒業生数

(単位:人)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
広島県	23,896	24,510	24,260
山口県	11,291	11,321	11,286
愛媛県	11,103	11,480	11,581
合計	46,290	47,311	47,127

大学進学者数

(単位:人)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
広島県	14,207	14,567	14,201
山口県	4,976	4,920	4,821
愛媛県	5,961	6,047	6,049
合計	25,144	25,534	25,071

進学率

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
広島県	59.5%	59.4%	58.5%
山口県	44.1%	43.5%	42.7%
愛媛県	53.7%	52.7%	52.2%
合計	54.3%	54.0%	53.2%

※各県が公表している平成30年度学校基本調査のデータ(別添)に基づき本学が作成

学校基本調査 広島県 高等学校の進路別卒業者の推移

出展：広島県HP

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkoukihon30.html>

1.6 高等学校等の卒業後の状況(高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部))

区分	卒業者数			大学等進学者			専修学校(短期課程)進学者			専修学校(一般課程)進学者			各種学校進学者			公認職業能力開発校等進学者			就職者			一時的な仕事に就業者(通勤制を除く)			左記以外の者			進学・入学した者のうち就職している者(出展)			卒業者に占める大学等への進学への割合		卒業者に占める就職者の割合		区分		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
高等学校 平成 26 年	24,289	12,089	12,200	14,157	6,842	7,315	1,241	2,206	279	233	958	480	156	17	3,406	2,125	1,281	—	—	67	140	421	524	—	4	65	26	39	—	—	56.3	14.3	26	年			
	24,598	12,291	12,307	14,428	6,967	7,461	1,211	2,247	305	321	926	432	145	17	3,603	2,323	1,280	8	55	55	137	358	412	1	—	41	11	30	40	—	—	56.7	14.8	27	年		
	24,260	12,120	12,140	14,200	6,799	7,402	1,231	1,954	267	398	928	438	145	19	3,687	2,287	1,400	9	60	60	132	399	396	4	—	51	10	41	46	3	—	—	56.5	15.4	28	年	
	24,510	12,358	12,152	14,567	7,038	7,529	1,105	1,809	368	504	894	470	153	12	3,602	2,317	1,285	12	43	43	101	438	442	2	—	27	3	24	27	—	—	59.4	14.8	29	年		
23,896	12,061	11,835	14,207	6,822	7,385	1,006	1,691	396	569	804	400	169	16	3,670	2,351	1,319	27	51	51	59	461	396	1	—	24	6	18	24	—	—	59.5	15.5	30	年			
(設置者別の内訳)																																					
国立	406	220	186	276	140	136	—	1,329	—	—	—	—	—	—	3	2	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.0	0.7	国立	
公立	15,668	7,568	8,100	8,935	4,108	4,827	687	1,329	—	—	—	—	—	—	150	13	2,970	1,872	1,098	2,870	27	43	52	166	213	20	4	16	20	—	—	57.0	19.1	公立			
私立	7,822	4,273	3,549	4,996	2,574	2,422	319	362	—	—	—	—	—	3	697	477	220	656	—	8	7	295	182	—	—	4	2	2	4	—	—	63.9	9.0	私立			
(課程別の内訳)																																					
全日制	22,917	11,502	11,415	14,056	6,744	7,312	922	1,619	383	555	794	384	147	13	3,402	2,168	1,234	21	33	46	311	252	—	—	24	6	18	24	—	—	61.3	14.9	全日制				
夜間制	308	195	113	29	18	11	21	14	4	3	6	9	—	154	106	48	148	6	18	13	15	18	1	—	—	—	—	—	—	—	9.4	50.0	夜間制				
通信制	671	364	307	122	60	62	63	58	9	11	7	10	13	3	114	77	37	—	—	—	135	126	—	—	—	—	—	—	—	—	18.2	17.0	通信制				
(設置者別の内訳)																																					
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	中等(後)	
公立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26 年		
私立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27 年		
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28 年		
公立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28 年		
私立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29 年		
(設置者別の内訳)																																					
国立	327	207	120	8	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	108	71	37	—	—	—	125	79	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	33.0	国立
公立	399	269	130	3	1	2	1	—	—	—	—	—	2	—	112	84	28	—	—	—	180	100	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	28.1	公立		
私立	429	295	134	5	3	2	—	—	—	—	—	—	3	2	134	89	45	—	—	—	200	85	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	31.2	私立	
国立	398	260	138	3	1	2	—	—	—	—	—	—	2	1	115	83	32	—	—	—	174	103	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	28.9	国立	
公立	428	281	147	6	6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	150	104	46	—	—	—	171	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	35.0	公立	
私立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	私立

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、短期大学の別科、高等学校の専攻科及び特別支援学校高等部専攻科へ進んだ者である。また、進学・入学から就職している者を含む。

学校基本調査_山口県_高等学校の進路別卒業者の推移

出展：山口県HP

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/gakkokihon/index.html>

表 1 0 高等学校の状況別卒業者数

区 分	平成 29年3月	平成 30 年 3 月		
		計	男	女
卒業 者 数	11,321	11,291	5,652	5,639
大学等進学者 A	4,920	4,976	2,209	2,767
専修学校(専門課程)進学者 B	1,859	1,869	632	1,237
専修学校(一般課程)等入学者 C	746	790	501	289
公共職業能力開発施設等入学者 D	94	81	67	14
就職者(上記 A～D を除く) E	3,404	3,314	2,132	1,182
正規の職員等	3,373	3,293	2,126	1,167
正規の職員等でない者	31	21	6	15
一時的な仕事に就いた者 F	38	24	6	18
上記以外の者 G	260	231	100	131
不詳・死亡の者 H	-	6	5	1
上記 A, B, C, D のうち就職している者	28	23	2	21
I (再掲)	7	5	-	5
大学等進学率 (%)	43.5	44.1	39.1	49.1
就職率 (%)	30.4	29.6	37.8	21.4
就職者総数 E + I	3,439	3,342	2,134	1,208
うち県内就職者数	2,758	2,692	1,636	1,056
県内就職率 (%)	80.2	80.6	76.7	87.4
うち県外就職者数	681	650	498	152
県外就職率 (%)	19.8	19.4	23.3	12.6

(注1) 「大学等進学者 A」～「不詳・死亡の者 H」の説明については、11 ページを参照のこと。

表 1 1 - 1 高等学校卒業者の産業別就職者数

区 分	計	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	左記以外のもの
実 数					
平成26年 3 月	3,226	25	1,561	1,630	10
27	3,421	17	1,794	1,580	30
28	3,473	18	1,834	1,595	26
29	3,439	16	1,832	1,563	28
30	3,342	22	1,813	1,463	44
男	2,134	18	1,480	605	31
女	1,208	4	333	858	13
構成比 (%)					
平成26年 3 月	100.0	0.8	48.4	50.5	0.3
27	100.0	0.5	52.4	46.2	0.9
28	100.0	0.5	52.8	45.9	0.7
29	100.0	0.5	53.3	45.4	0.8
30	100.0	0.7	54.2	43.8	1.3
男	100.0	0.8	69.4	28.4	1.5
女	100.0	0.3	27.6	71.0	1.1

学校基本調査 山口県 高等学校の進路別卒業者の推移

出展：山口県HP

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/gakkokihon/index.html>

2 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者

(1) 概要

平成29年3月の高等学校(全日制課程・定時制課程)卒業者数は11,321人(男子5,628人、女子5,693人)で、前年度より35人(0.3%)増加している。

卒業者を状況別にみると、大学等進学者4,920人(全卒業者数の43.5%)、専修学校(専門課程)進学者1,859人(同16.4%)、専修学校(一般課程)等入学者746人(同6.6%)、公共職業能力開発施設等入学者94人(同0.8%)、就職者3,404人(同30.1%)、一時的な仕事に就いた者38人(同0.3%)、左記以外の者260人(同2.3%)、不詳・死亡の者0人となっている。

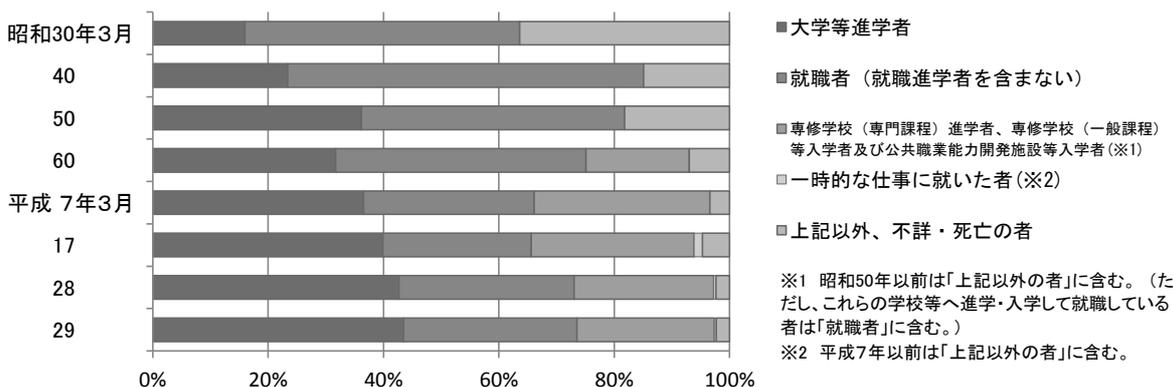
なお、「大学等進学者」、「専修学校(専門課程)進学者」、「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者(以下、「就職進学者」という。)は35人となっている。(表72、表73、図11)

表72 状況別卒業者数

区分	計	(高等学校卒業者)											大学等 進学率 (%)	就職率 (%)					
		大学等 進学者 A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等 入学者 D	就職者 E	左記A~Dを除く		一時的な 仕事に 就いた者 F	左記 以外の 者 G	不詳・ 死亡の 者 H	左記A、B、C、Dのうち 就職している者(再掲)							
							正規の 職員等	正規の職 員等でないもの				Aの うち			Bの うち	Cの うち	Dの うち	正規の職員 等でないもの	
平成25年3月	11,813	4,893	2,093	1,013	95	3,261	70	388	-	-	19	4	2	41.4	27.8
26	11,261	4,748	2,075	765	104	3,194	71	303	1	-	24	4	4	42.2	28.6
27	11,384	4,944	1,897	790	79	3,371	3,328	43	64	239	-	44	6	43.4	30.1
28	11,286	4,821	1,913	732	86	3,425	3,397	28	43	266	-	48	-	42.7	30.8
29	11,321	4,920	1,859	746	94	3,404	3,373	31	38	260	-	28	7	43.5	30.4
男	5,628	2,151	658	462	79	2,154	2,141	13	11	113	-	2	1	38.2	38.3
女	5,693	2,769	1,201	284	15	1,250	1,232	18	27	147	-	26	6	48.6	22.5

- (注) 1 「大学等進学者A」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、放送大学(全科履修生)、高等学校・特別支援学校高等部の専攻科へ進学した者をいう。また、進学しかつ就職した者を含む。
 2 「専修学校(専門課程)進学者B」とは、専修学校の専門課程(高等学校卒業程度を入学資格とする課程)へ進学した者をいう。また、進学しかつ就職した者を含む。
 3 「専修学校(一般課程)等入学者C」とは、専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校(予備校等)に入学した者をいう。また、入学しかつ就職した者を含む。
 4 「公共職業能力開発施設等入学者D」とは、公共職業能力開発施設等へ入学した者をいう。また、入学しかつ就職した者を含む。
 5 「就職者E」とは、上記A~D以外の者で、経常的な収入を得る仕事に就いた者をいう。また、「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上の期間の定めがある者で、かつ1週間の所定労働時間が、30~40時間の者をいう。
 6 「一時的な仕事に就いた者F」とは、臨時的な収入を得る仕事に就いた者をいう。
 7 「左記以外の者G」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、上記A~Fに該当しない者で進路が未定であることが明らかな者をいう。
 8 「不詳・死亡の者H」とは、上記A~Gのいずれに該当するか不明の者、当該年の5月1日までに死亡した者をいう。
 9 「大学等進学率」とは、卒業者のうち「大学等進学者A」の占める割合で、「就職率」とは、卒業者のうち「就職者E」及び「左記A、B、C、Dのうち就職している者(再掲)」(就職進学者)の占める割合である。

図11 卒業後の状況(高等学校卒業者)



学校基本調査 愛媛県 高等学校の進路別卒業者の推移【平成30年度】

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou->

高等学校卒業者の状況【平成30年度】

区分	卒業者総数		A 大学等進学者													
	計	男	女	計			大学(学部)			短期大学(本科)			その他			
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
国	115	44	71	106	42	64	104	42	42	62	2	-	2	-	-	-
立	8,409	4,186	4,223	4,472	2,102	2,370	3,961	2,034	2,034	1,927	500	58	442	11	10	1
立	2,579	1,343	1,236	1,383	684	699	1,111	638	638	473	148	26	122	124	20	104
立	11,103	5,573	5,530	5,961	2,828	3,133	5,176	2,714	2,714	2,462	650	84	566	135	30	105
計	10,292	5,205	5,087	5,585	2,658	2,927	4,871	2,554	2,554	2,317	579	74	505	135	30	105
計	811	368	443	376	170	206	305	160	160	145	71	10	61	-	-	-
松山市	4,613	2,374	2,239	2,855	1,400	1,455	2,538	1,353	1,353	1,185	240	40	200	77	7	70
今治市	1,245	598	647	665	299	366	592	283	283	309	70	13	57	3	3	-
宇和島市	574	324	250	239	120	119	212	108	108	104	17	2	15	10	10	-
八幡浜市	386	212	174	214	97	117	192	96	96	96	22	1	21	-	-	-
新居浜市	988	474	514	454	180	274	388	177	177	211	65	3	62	1	-	1
西条市	719	351	368	340	164	176	294	158	158	136	46	6	40	-	-	-
大洲市	452	231	221	259	136	123	200	126	126	74	15	-	15	44	10	34
伊予市	224	104	120	52	18	34	30	30	17	13	22	1	21	-	-	-
四国中央市	588	295	293	285	147	138	258	143	143	115	27	4	23	-	-	-
西予市	202	94	108	85	39	46	71	39	39	32	14	-	14	-	-	-
東温市	301	148	153	137	58	79	96	54	54	42	41	4	37	-	-	-
越智郡	15	7	8	4	2	2	4	2	2	2	-	-	-	-	-	-
上島町	15	7	8	4	2	2	4	2	2	2	-	-	-	-	-	-
上浮穴郡	43	25	18	15	7	8	11	6	6	5	4	1	3	-	-	-
久万高原町	43	25	18	15	7	8	11	6	6	5	4	1	3	-	-	-
伊予郡	340	145	195	226	108	118	192	103	103	89	34	5	29	-	-	-
松前町	300	141	159	215	106	109	183	101	101	82	32	5	27	-	-	-
砥部町	40	4	36	11	2	9	9	2	2	7	2	-	2	-	-	-
喜多郡	140	68	72	53	20	33	36	18	18	18	17	2	15	-	-	-
内子町	140	68	72	53	20	33	36	18	18	18	17	2	15	-	-	-
西宇和郡	22	14	8	7	5	2	5	4	4	1	2	1	1	-	-	-
伊方町	22	14	8	7	5	2	5	4	4	1	2	1	1	-	-	-
北宇和郡	95	35	60	19	6	13	12	6	6	6	7	-	7	-	-	-
松野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鬼北町	95	35	60	19	6	13	12	6	6	6	7	-	7	-	-	-
南宇和郡	156	74	82	52	22	30	45	21	21	24	7	1	6	-	-	-
愛南町	156	74	82	52	22	30	45	21	21	24	7	1	6	-	-	-

1. 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。

2. 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校へ入学した者である。

3. 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時な収入を得る仕事に就いた者である。

4. 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしてる者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者の合計である。

5. 「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」及び「A,B,C,Dのうち就職している者」の占める割合である。

学校基本調査_愛媛県_高等学校の進路別卒業者の推移【平成29年度】

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou->

高等学校卒業者の状況【平成29年度】

区分	卒業者総数		A 大学等進学者												
	計	男	女	計	大学(学部)		短期大学(本科)		その他						
					男	女	計	男	女	計	男	女			
国立	120	51	69	103	38	65	102	38	64	1	-	-	-	-	-
公立	8,722	4,365	4,357	4,561	2,163	2,398	4,044	2,088	1,956	503	67	14	8	6	6
私立	2,638	1,365	1,273	1,383	672	711	1,088	628	460	171	28	124	16	108	108
県計	11,480	5,781	5,699	6,047	2,873	3,174	5,234	2,754	2,480	675	95	138	24	114	114
市計	10,617	5,384	5,233	5,622	2,684	2,938	4,892	2,579	2,313	593	81	137	24	113	113
郡計	863	397	466	425	189	236	342	175	167	82	14	1	-	1	1
松山市	4,625	2,353	2,272	2,842	1,357	1,485	2,524	1,320	1,204	244	31	74	6	68	68
今治市	1,390	672	718	690	326	364	599	303	296	86	21	5	2	3	3
宇和島市	596	319	277	242	111	131	202	102	100	31	1	9	8	1	1
八幡浜市	409	218	191	203	92	111	182	92	90	21	-	-	-	-	-
新居浜市	931	462	469	412	183	229	372	180	192	40	3	-	-	-	-
西条市	771	377	394	346	158	188	289	151	138	56	7	1	-	1	1
大洲市	491	257	234	269	136	133	203	127	76	19	1	47	8	39	39
伊予市	234	117	117	56	26	30	33	22	11	23	4	-	-	-	-
四国中央市	643	313	330	306	149	157	279	146	133	27	3	-	-	-	-
西予市	214	119	95	91	53	38	77	51	26	14	2	-	-	-	-
東温市	313	177	136	165	93	72	132	85	47	32	8	1	-	1	1
越智郡	24	7	17	10	1	9	6	1	5	4	-	-	-	-	-
上島町	24	7	17	10	1	9	6	1	5	4	-	-	-	-	-
上浮穴郡	34	20	14	13	7	6	8	5	3	5	2	-	-	-	-
久万高原町	34	20	14	13	7	6	8	5	3	5	2	-	-	-	-
伊予郡	334	149	185	246	118	128	209	112	97	36	6	1	-	1	1
松前町	293	142	151	236	113	123	200	107	93	35	6	1	-	1	1
砥部町	41	7	34	10	5	5	9	5	4	1	-	-	-	-	-
喜多郡	149	72	77	54	20	34	38	19	19	16	1	-	-	-	-
内子町	149	72	77	54	20	34	38	19	19	16	1	-	-	-	-
西宇和郡	33	18	15	12	8	4	10	6	4	2	2	-	-	-	-
伊方町	33	18	15	12	8	4	10	6	4	2	2	-	-	-	-
北宇和郡	107	47	60	18	7	11	13	7	6	5	-	-	-	-	-
松野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鬼北町	107	47	60	18	7	11	13	7	6	5	-	-	-	-	-
南宇和郡	182	84	98	72	28	44	58	25	33	14	3	-	-	-	-
愛南町	182	84	98	72	28	44	58	25	33	14	3	-	-	-	-

1. 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校等の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。
2. 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)及び高等課程又は各種学校へ入学した者である。また、入学しかつ就職した者を含む。
3. 「一時的な仕事に就いた者」とは、専修学校(一般課程)に就いた者である。
4. 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしていない者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者の合計である。
5. 「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」及び「A,B,C,Dのうち就職している者」の占める割合である。

学校基本調査 愛媛県 高等学校の進路別卒業者の推移【平成28年度】

出展：愛媛県HP

<https://www.pref.ehime.jp/toukeibox/datapage/gakutyou/2018/gakutyou->

別表10：高等学校卒業者の進路【平成28年度】

区分	卒業者総数		A 大学等進学者												
	計	男	女	大学(学部)			短期大学(本科)			その他					
				計	男	女	計	男	女	計	男	女			
国	116	45	71	99	41	58	97	41	56	2	-	-	-	-	-
立	8,925	4,499	4,426	4,632	2,276	2,356	4,081	2,190	1,891	532	74	458	19	12	7
立	2,540	1,252	1,288	1,318	616	702	1,062	577	485	150	26	124	106	13	93
立	11,581	5,796	5,785	6,049	2,933	3,116	5,240	2,808	2,432	684	100	584	125	25	100
計	10,692	5,411	5,281	5,607	2,745	2,862	4,884	2,630	2,254	598	90	508	125	25	100
計	889	385	504	442	188	254	356	178	178	86	10	76	-	-	-
松山市	4,655	2,387	2,268	2,811	1,406	1,405	2,500	1,351	1,149	232	43	189	79	12	67
今治市	1,337	682	655	676	312	364	585	299	286	86	12	74	5	1	4
宇和島市	596	340	256	252	146	106	209	131	78	32	6	26	11	9	2
八幡浜市	452	243	209	217	100	117	192	99	93	24	1	23	1	-	1
新居浜市	1,018	471	547	453	194	259	395	188	207	58	6	52	-	-	-
西条市	765	370	395	369	179	190	316	177	139	53	2	51	-	-	-
大洲市	471	244	227	249	127	122	208	124	84	12	-	12	29	3	26
伊予市	220	103	117	42	14	28	23	12	11	19	2	17	-	-	-
四国中央市	648	302	346	291	136	155	261	134	127	30	2	28	-	-	-
西予市	229	117	112	91	44	47	80	44	36	11	-	11	-	-	-
東温市	301	152	149	156	87	69	115	71	44	41	16	25	-	-	-
越智郡	14	4	10	2	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-
上島町	14	4	10	2	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-
上浮穴郡	50	30	20	16	9	7	12	8	4	4	1	3	-	-	-
久万高原町	50	30	20	16	9	7	12	8	4	4	1	3	-	-	-
伊予郡	342	134	208	244	111	133	208	106	102	36	5	31	-	-	-
松前町	303	128	175	232	111	121	199	106	93	33	5	28	-	-	-
砥部町	39	6	33	12	-	12	9	-	9	3	-	3	-	-	-
喜多郡	150	60	90	70	21	49	48	18	30	22	3	19	-	-	-
内子町	150	60	90	70	21	49	48	18	30	22	3	19	-	-	-
西宇和郡	38	21	17	13	8	5	11	7	4	2	1	1	-	-	-
伊方町	38	21	17	13	8	5	11	7	4	2	1	1	-	-	-
北宇和郡	104	44	60	17	5	12	7	5	2	10	-	10	-	-	-
松野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鬼北町	104	44	60	17	5	12	7	5	2	10	-	10	-	-	-
南宇和郡	191	92	99	80	34	46	68	34	34	12	-	12	-	-	-
愛南町	191	92	99	80	34	46	68	34	34	12	-	12	-	-	-

1. 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校等の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。

2. 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校へ入学した者である。また、入学しかつ就職した者を含む。

3. 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を得る仕事に就いた者である。

4. 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学者、進路が未定であることが明らかでない者の合計である。

5. 「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」及び「A,B,C,Dのうち就職している者」の占める割合である。

学部系統別の志願者・入学者動向 (保健系、人文科学系、家政学、その他)

(単位:人)

区分		平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	5年間平均
保健系	入学定員	34,307	32,850	30,330	28,998	27,033	30,704
	志願者	185,322	179,961	172,040	170,602	164,659	174,517
	志願倍率(倍)	5.40	5.48	5.67	5.88	6.09	5.70
	入学者	34,669	33,560	31,584	31,206	29,156	32,035
	入学定員充足率(倍)	1.01	1.02	1.04	1.08	1.08	1.04
人文科学系	入学定員	69,738	69,921	69,619	69,607	70,257	69,828
	志願者	616,582	556,791	525,219	513,232	511,565	544,678
	志願倍率(倍)	8.84	7.96	7.54	7.37	7.28	7.80
	入学者	72,518	73,806	73,092	73,121	73,365	73,180
	入学定員充足率(倍)	1.04	1.06	1.05	1.05	1.04	1.05
家政学	入学定員	17,254	16,961	16,386	15,911	15,413	16,385
	志願者	77,099	77,566	78,959	78,182	81,097	78,581
	志願倍率(倍)	4.47	4.57	4.82	4.91	5.26	4.81
	入学者	16,816	16,655	16,252	16,245	15,707	16,335
	入学定員充足率(倍)	0.97	0.98	0.99	1.02	1.02	1.00
その他	入学定員	70,614	67,993	67,038	64,924	64,684	67,051
	志願者	514,539	477,563	450,380	417,162	423,550	456,639
	志願倍率(倍)	7.29	7.02	6.72	6.43	6.55	6.80
	入学者	72,366	69,917	69,458	66,588	65,917	68,849
	入学定員充足率(倍)	1.02	1.03	1.04	1.03	1.02	1.03

※日本私立学校振興・共済事業団が公表している平成26年度、28年度、30年度「学部系統別の志願者・入学者動向(大学)」のデータ(別添)に基づき本学が作成

4. 学部系統別の動向(大学)

全学部を『今日の私学財政』の系統別に区分した(学部系統区分については、1ページ及び27ページを参照)。

区分	年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	27	29	3,709	110,851	102,562	8,299	3,751	29.89	8.09	45.20	101.13
	28	30	3,827	112,082	104,450	8,710	3,865	29.29	8.34	44.37	100.99
	増減	1	118	1,231	1,888	411	114	△ 0.60	0.25	△ 0.83	△ 0.14
歯学	27	17	2,063	9,898	9,056	3,413	1,840	4.80	37.69	53.91	89.19
	28	17	2,063	9,656	8,911	3,494	1,768	4.68	39.21	50.60	85.70
	増減	0	0	△ 242	△ 145	81	△ 72	△ 0.12	1.52	△ 3.31	△ 3.49
薬学	27	57	11,564	116,498	110,490	30,051	11,816	10.07	27.20	39.32	102.18
	28	57	11,595	105,573	99,609	30,842	11,420	9.11	30.96	37.03	98.49
	増減	0	31	△ 10,925	△ 10,881	791	△ 396	△ 0.96	3.76	△ 2.29	△ 3.69
保健系	27	192	28,998	170,602	163,950	61,599	31,206	5.88	37.57	50.66	107.61
	28	198	30,330	172,040	165,349	63,762	31,584	5.67	38.56	49.53	104.13
	増減	6	1,332	1,438	1,399	2,163	378	△ 0.21	0.99	△ 1.13	△ 3.48
理・工学系	27	147	59,933	665,838	641,487	222,088	65,164	11.11	34.62	29.34	108.73
	28	146	59,108	664,238	639,655	220,815	62,536	11.24	34.52	28.32	105.80
	増減	△ 1	△ 825	△ 1,600	△ 1,832	△ 1,273	△ 2,628	0.13	△ 0.10	△ 1.02	△ 2.93
農学系	27	18	7,515	85,235	81,261	24,459	8,491	11.34	30.10	34.72	112.99
	28	18	7,515	83,540	79,288	24,805	8,416	11.12	31.28	33.93	111.99
	増減	0	0	△ 1,695	△ 1,973	346	△ 75	△ 0.22	1.18	△ 0.79	△ 1.00
人文科学系	27	237	69,607	513,232	495,924	199,872	73,121	7.37	40.30	36.58	105.05
	28	240	69,619	525,219	507,470	196,137	73,092	7.54	38.65	37.27	104.99
	増減	3	12	11,987	11,546	△ 3,735	△ 29	0.17	△ 1.65	0.69	△ 0.06
社会科学系	27	509	165,244	1,182,405	1,134,404	436,585	173,373	7.16	38.49	39.71	104.92
	28	510	165,013	1,264,473	1,216,545	434,006	174,262	7.66	35.68	40.15	105.61
	増減	1	△ 231	82,068	82,141	△ 2,579	889	0.50	△ 2.81	0.44	0.69
家政学	27	73	15,911	78,182	75,808	32,428	16,245	4.91	42.78	50.10	102.10
	28	75	16,386	78,959	75,980	32,594	16,252	4.82	42.90	49.86	99.18
	増減	2	475	777	172	166	7	△ 0.09	0.12	△ 0.24	△ 2.92
教育学	27	86	15,378	104,551	100,953	35,076	16,354	6.80	34.74	46.62	106.35
	28	89	15,891	105,310	101,767	35,682	16,276	6.63	35.06	45.61	102.42
	増減	3	513	759	814	606	△ 78	△ 0.17	0.32	△ 1.01	△ 3.93
体育学	27	10	4,642	18,451	18,085	7,026	5,417	3.97	38.85	77.10	116.70
	28	10	4,907	17,760	17,416	7,064	5,401	3.62	40.56	76.46	110.07
	増減	0	265	△ 691	△ 669	38	△ 16	△ 0.35	1.71	△ 0.64	△ 6.63
芸術系	27	58	14,209	40,594	39,753	22,072	13,698	2.86	55.52	62.06	96.40
	28	58	14,233	40,047	39,207	23,330	13,879	2.81	59.50	59.49	97.51
	増減	0	24	△ 547	△ 546	1,258	181	△ 0.05	3.98	△ 2.57	1.11
その他	27	255	64,924	417,162	402,697	158,294	66,588	6.43	39.31	42.07	102.56
	28	264	67,038	450,380	434,151	164,622	69,458	6.72	37.92	42.19	103.61
	増減	9	2,114	33,218	31,454	6,328	2,870	0.29	△ 1.39	0.12	1.05
合計	27	1,688	463,697	3,513,499	3,376,430	1,241,262	487,064	7.58	36.76	39.24	105.04
	28	1,712	467,525	3,629,277	3,489,798	1,245,863	488,209	7.76	35.70	39.19	104.42
	増減	24	3,828	115,778	113,368	4,601	1,145	0.18	△ 1.06	△ 0.05	△ 0.62

4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統別に区分した（学部系統区分については、1ページ及び27ページを参照）。

区分	年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	29	31	3,993	114,359	105,685	8,686	4,025	28.64	8.22	46.34	100.80
	30	31	4,100	118,463	109,898	8,796	4,134	28.89	8.00	47.00	100.83
	増減	0	107	4,104	4,213	110	109	0.25	△ 0.22	0.66	0.03
歯学	29	17	2,063	9,279	8,486	3,617	1,687	4.50	42.62	46.64	81.77
	30	17	2,063	9,332	8,543	3,622	1,677	4.52	42.40	46.30	81.29
	増減	0	0	53	57	5	△ 10	0.02	△ 0.22	△ 0.34	△ 0.48
薬学	29	57	11,517	101,109	95,075	31,195	11,482	8.78	32.81	36.81	99.70
	30	57	11,451	96,008	89,848	30,387	10,949	8.38	33.82	36.03	95.62
	増減	0	△ 66	△ 5,101	△ 5,227	△ 808	△ 533	△ 0.40	1.01	△ 0.78	△ 4.08
保健系	29	209	32,850	179,961	173,270	67,108	33,560	5.48	38.73	50.01	102.16
	30	220	34,307	185,322	177,967	69,269	34,669	5.40	38.92	50.05	101.06
	増減	11	1,457	5,361	4,697	2,161	1,109	△ 0.08	0.19	0.04	△ 1.10
理・工学系	29	149	61,579	694,118	667,511	232,114	64,685	11.27	34.77	27.87	105.04
	30	150	61,917	728,042	700,150	230,144	62,876	11.76	32.87	27.32	101.55
	増減	1	338	33,924	32,639	△ 1,970	△ 1,809	0.49	△ 1.90	△ 0.55	△ 3.49
農学系	29	18	7,741	85,357	80,682	25,443	8,174	11.03	31.53	32.13	105.59
	30	21	8,309	83,392	78,650	25,821	8,256	10.04	32.83	31.97	99.36
	増減	3	568	△ 1,965	△ 2,032	378	82	△ 0.99	1.30	△ 0.16	△ 6.23
人文科学系	29	240	69,921	556,791	537,631	187,202	73,806	7.96	34.82	39.43	105.56
	30	245	69,738	616,582	596,086	178,046	72,518	8.84	29.87	40.73	103.99
	増減	5	△ 183	59,791	58,455	△ 9,156	△ 1,288	0.88	△ 4.95	1.30	△ 1.57
社会科学系	29	515	168,025	1,421,465	1,367,679	422,798	179,664	8.46	30.91	42.49	106.93
	30	513	169,202	1,557,832	1,500,515	398,295	176,801	9.21	26.54	44.39	104.49
	増減	△ 2	1,177	136,367	132,836	△ 24,503	△ 2,863	0.75	△ 4.37	1.90	△ 2.44
家政学	29	77	16,961	77,566	74,617	33,080	16,655	4.57	44.33	50.35	98.20
	30	81	17,254	77,099	74,082	34,516	16,816	4.47	46.59	48.72	97.46
	増減	4	293	△ 467	△ 535	1,436	161	△ 0.10	2.26	△ 1.63	△ 0.74
教育学	29	91	15,893	104,972	101,373	34,781	16,294	6.60	34.31	46.85	102.52
	30	94	16,678	108,370	104,582	36,470	16,722	6.50	34.87	45.85	100.26
	増減	3	785	3,398	3,209	1,689	428	△ 0.10	0.56	△ 1.00	△ 2.26
体育学	29	10	4,942	16,720	16,437	6,947	5,348	3.38	42.26	76.98	108.22
	30	11	5,043	16,172	15,771	7,090	5,368	3.21	44.96	75.71	106.44
	増減	1	101	△ 548	△ 666	143	20	△ 0.17	2.70	△ 1.27	△ 1.78
芸術系	29	56	14,184	43,312	42,287	22,825	14,380	3.05	53.98	63.00	101.38
	30	56	14,310	47,342	45,868	22,998	14,621	3.31	50.14	63.58	102.17
	増減	0	126	4,030	3,581	173	241	0.26	△ 3.84	0.58	0.79
その他	29	273	67,993	477,563	461,494	162,763	69,917	7.02	35.27	42.96	102.83
	30	280	70,614	514,539	497,572	166,045	72,366	7.29	33.37	43.58	102.48
	増減	7	2,621	36,976	36,078	3,282	2,449	0.27	△ 1.90	0.62	△ 0.35
合計	29	1,743	477,662	3,882,572	3,732,227	1,238,559	499,677	8.13	33.19	40.34	104.61
	30	1,776	484,986	4,158,495	3,999,532	1,211,499	497,773	8.57	30.29	41.09	102.64
	増減	33	7,324	275,923	267,305	△ 27,060	△ 1,904	0.44	△ 2.90	0.75	△ 1.97

4. 学部系統別の動向(大学)

【平成26年度】

全学部を『今日の私学財政』の系統別に区分した(学部系統区分については、1ページ及び24ページを参照)。

区分	年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	25	29	3,660	97,521	90,859	7,427	3,691	26.65	8.17	49.70	100.85
	26	29	3,668	110,427	102,365	7,799	3,736	30.11	7.62	47.90	101.85
	増減	0	8	12,906	11,506	372	45	3.46	△ 0.55	△ 1.80	1.00
歯学	25	17	2,063	6,466	5,860	3,229	1,694	3.13	55.10	52.46	82.11
	26	17	2,063	8,029	7,394	3,424	1,755	3.89	46.31	51.26	85.07
	増減	0	0	1,563	1,534	195	61	0.76	△ 8.79	△ 1.20	2.96
薬学	25	57	11,524	104,253	99,117	29,632	12,556	9.05	29.90	42.37	108.96
	26	57	11,484	121,877	115,936	29,455	12,225	10.61	25.41	41.50	106.45
	増減	0	△ 40	17,624	16,819	△ 177	△ 331	1.56	△ 4.49	△ 0.87	△ 2.51
保健系	25	161	24,734	157,627	152,437	50,020	27,307	6.37	32.81	54.59	110.40
	26	175	27,033	164,659	158,154	56,334	29,156	6.09	35.62	51.76	107.85
	増減	14	2,299	7,032	5,717	6,314	1,849	△ 0.28	2.81	△ 2.83	△ 2.55
理・工学系	25	147	59,211	607,166	586,479	204,000	64,934	10.25	34.78	31.83	109.67
	26	146	59,281	651,819	627,653	215,453	64,437	11.00	34.33	29.91	108.70
	増減	△ 1	70	44,653	41,174	11,453	△ 497	0.75	△ 0.45	△ 1.92	△ 0.97
農学系	25	17	6,960	77,662	74,596	20,640	7,814	11.16	27.67	37.86	112.27
	26	17	6,960	82,167	78,620	21,842	7,789	11.81	27.78	35.66	111.91
	増減	0	0	4,505	4,024	1,202	△ 25	0.65	0.11	△ 2.20	△ 0.36
人文科学系	25	238	70,568	512,645	496,363	186,300	75,409	7.26	37.53	40.48	106.86
	26	238	70,257	511,565	494,487	194,269	73,365	7.28	39.29	37.76	104.42
	増減	0	△ 311	△ 1,080	△ 1,876	7,969	△ 2,044	0.02	1.76	△ 2.72	△ 2.44
社会科学系	25	507	167,324	1,156,547	1,110,865	405,260	171,992	6.91	36.48	42.44	102.79
	26	505	165,517	1,146,575	1,099,861	419,943	168,524	6.93	38.18	40.13	101.82
	増減	△ 2	△ 1,807	△ 9,972	△ 11,004	14,683	△ 3,468	0.02	1.70	△ 2.31	△ 0.97
家政学	25	69	15,048	83,524	81,338	30,091	16,264	5.55	37.00	54.05	108.08
	26	72	15,413	81,097	78,834	30,962	15,707	5.26	39.27	50.73	101.91
	増減	3	365	△ 2,427	△ 2,504	871	△ 557	△ 0.29	2.27	△ 3.32	△ 6.17
教育学	25	71	13,453	103,966	100,496	29,781	14,917	7.73	29.63	50.09	110.88
	26	80	14,400	104,780	100,940	32,076	15,453	7.28	31.78	48.18	107.31
	増減	9	947	814	444	2,295	536	△ 0.45	2.15	△ 1.91	△ 3.57
体育学	25	10	4,582	17,669	17,355	6,686	5,438	3.86	38.52	81.33	118.68
	26	10	4,582	17,241	16,821	6,680	5,325	3.76	39.71	79.72	116.22
	増減	0	0	△ 428	△ 534	△ 6	△ 113	△ 0.10	1.19	△ 1.61	△ 2.46
芸術系	25	61	15,213	42,305	41,445	23,084	14,836	2.78	55.70	64.27	97.52
	26	60	14,909	40,643	39,880	23,231	14,242	2.73	58.25	61.31	95.53
	増減	△ 1	△ 304	△ 1,662	△ 1,565	147	△ 594	△ 0.05	2.55	△ 2.96	△ 1.99
その他	25	251	64,116	422,718	409,212	151,028	67,105	6.59	36.91	44.43	104.66
	26	253	64,684	423,550	408,899	154,276	65,917	6.55	37.73	42.73	101.91
	増減	2	568	832	△ 313	3,248	△ 1,188	△ 0.04	0.82	△ 1.70	△ 2.75
合計	25	1,635	458,456	3,390,069	3,266,422	1,147,178	483,957	7.39	35.12	42.19	105.56
	26	1,659	460,251	3,464,429	3,329,844	1,195,744	477,631	7.53	35.91	39.94	103.78
	増減	24	1,795	74,360	63,422	48,566	△ 6,326	0.14	0.79	△ 2.25	△ 1.78

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30～平成28 (平均)			平成30年度						平成29年度						平成28年度								
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	志願者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)
岡山県	倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科	4.8	1.3	1.11	238	50	163	137	51	1.02	1.2	50	241	209	153	64	1.28	1.4	50	311	269	180	51	1.02	1.5
福岡県	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科	4.4	2.5	1.07	350	80	252	150	87	1.08	1.7	80	398	394	149	87	1.08	2.6	80	401	401	126	84	1.05	3.2
大阪府	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	6.4	3.0	1.20	384	60	399	129	72	1.20	3.1	60	437	428	122	72	1.20	3.5	60	315	306	121	72	1.20	2.5

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜保健医療学部救急救命学科＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30～平成28（平均）			平成29年度						平成28年度																
		志願倍率 （倍）	実質倍率 （倍）	定員充足率 （倍）	志願者	入学定員	志願者	合格者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 （倍）	競争倍率 （倍）	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 （倍）	競争倍率 （倍）							
京都府	京都橘大学 健康科学部 救急救命学科	16.8	5.2	1.08	839	50	1,041	1,003	167	48	0.96	6.0	50	865	837	144	51	51	1.02	5.8	50	611	591	157	63	1.26	3.8
東京都	杏林大学 保健学部 救急救命学科	6.7	2.9	1.11	333	50	378	366	123	61	1.22	3.0	50	312	302	108	50	50	1.00	2.8	50	310	304	106	55	1.10	2.9
東京都	日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科	1.7	1.3	1.01	140	80	127	121	96	78	0.97	1.3	80	151	147	102	82	82	1.02	1.4	80	143	132	104	84	1.05	1.3
新潟県	新潟医療福祉大学 医療技術学部 救急救命学科	5.4	4.1	1.00	298	55	334	323	61	55	1.00	5.3	55	261	252	86	55	55	1.00	2.9	55	—	—	—	—	—	—

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況く総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30～平成28 (平均)			平成29年度						平成28年度															
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	合格者	受験者	入学者	競争倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	合格者	受験者	入学者	競争倍率 (倍)	定員充足率 (倍)								
広島県	広島都市学園大学 ※1) 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	3.7	1.8	1.01	220	60	145	141	105	61	1.01	1.3	60	258	253	135	101	—	1.9	—	258	251	120	117	—	2.1
岡山県	吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学療法学科	3.2	1.8	1.04	146	40	109	104	83	37	0.92	1.3	60	159	154	69	42	0.70	2.2	0.70	170	164	89	60	1.50	1.8
岡山県	川崎医療福祉大学 ※2) 医療技術学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	9.0	5.9	—	477	60	441	440	100	—	—	4.4	60	611	605	77	—	—	7.9	—	379	375	68	—	—	5.5

※1) 広島都市学園大学の平成29～28年度の入学者は非公開。それに伴い定員充足率も一部未記入。

※2) 川崎医療福祉大学の専攻ごとの入学者は非公開。それに伴い定員充足率も未記入。

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30～平成28 (平均)			平成30年度					平成29年度					平成28年度									
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	
北海道	北海道科学大学 保健医療学部 義肢装具学科	5.4	1.1	0.69	50	228	220	209	22	40	50	301	288	250	43	0.86	1.2	50	274	269	233	39	0.78	1.2
新潟県	新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立 支援学科	2.0	1.2	1.04	40	67	58	56	42	40	40	103	88	58	43	1.07	1.5	40	72	70	59	40	1.00	1.2
埼玉県	人間総合科学大学 ※1) 保健医療学部 リハビリテーション学科 (義肢装具学専攻)	2.8	1.6	0.93	70	185	176	108	64	70	70	174	165	122	68	0.97	1.4	70	232	204	118	63	0.90	1.7

※1) 学科単位で算出

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜健康科学部医療福祉学科＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30～平成28 (平均)			平成30年度						平成29年度						平成28年度								
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)
広島県	広島文化学園大学 社会情報学部 健康福祉学科	1.3	1.0	1.03	120	160	159	157	128	1.06	1.0	60	82	82	82	70	1.16	1.0	60	77	76	76	53	0.88	1.0
広島県	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科	1.3	1.1	—	136	146	143	134	—	—	1.1	136	191	189	177	—	—	1.1	136	201	193	176	—	—	1.1
広島県	福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科	0.9	1.2	0.40	60	49	49	36	20	0.33	1.4	60	49	43	38	24	0.40	1.1	60	64	64	57	28	0.46	1.1

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜健康科学部医療経営学科＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30-平成28 (平均)			平成30年度						平成29年度						平成28年度									
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)
愛知県	藤田医科大学 ※1) 医療科学部 医療経営情報学科	5.2	1.4	1.08	208	40	219	219	142	43	1.07	1.5	40	202	60	139	46	1.15	1.5	40	202	202	153	41	1.02	1.3
福岡県	保健医療経営大学 保健医療経営学部 保健医療経営学科	0.6	1.0	0.38	51	80	39	38	22	0.27	1.0	80	39	39	66	60	37	0.46	1.0	80	60	54	50	33	0.41	1.1
岡山県	川崎医療福祉大学 ※2) 医療福祉マネジメント学部 医療福祉経営学科	1.3	1.1	—	78	60	67	65	—	—	1.0	60	66	66	80	75	66	—	1.1	60	80	85	82	—	—	1.0

※1) 2018年10月藤田保健衛生大学から名称変更

※2) 川崎医療福祉大学の学科単位での入学者は非公開。それに伴い定員充足率も未記入。

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜健康科学部心理学科＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30-平成28 (平均)			平成30年度					平成29年度					平成28年度											
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)
広島県	福山大学 人間文化学部 心理学科	2.2	1.3	1.15	112	50	121	120	86	62	1.24	1.4	50	115	113	81	58	1.16	1.4	50	100	99	80	53	1.06	1.2
広島県	比治山大学 現代文化学部 社会臨床心理学科	2.8	1.3	1.32	170	60	180	177	132	86	1.43	1.3	60	177	173	131	79	1.31	1.3	60	154	153	130	74	1.23	1.2
広島県	広島修道大学 ※1) 健康科学部 心理学科	8.8	3.0	1.06	701	80	638	631	233	84	1.05	2.7	80	763	750	234	85	1.06	3.2	—	—	—	—	—	—	—

※1) 平成29年度開設

想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況＜健康科学部医療栄養学科＞

※旺文社大学受験パスナビ及び各大学ホームページから引用し、本学で集計。

地区	大学名等	平成30-平成28 (平均)					平成29年度						平成28年度													
		志願倍率 (倍)	実質倍率 (倍)	定員充足率 (倍)	志願者	入学定員	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率 (倍)	競争倍率 (倍)						
広島県	安田女子大学 家政学部 管理栄養学科	4.3	2.0	0.95	520	120	543	518	216	107	0.89	2.4	120	447	428	291	125	1.04	1.5	120	569	549	269	112	0.93	2.0
広島県	広島女学院大学 人間生活学部 管理栄養学科	4.0	1.5	1.08	279	70	241	240	202	84	1.20	1.2	70	300	298	165	65	0.92	1.8	70	296	286	199	79	1.12	1.4
広島県	文教女子大学 人間科学部 人間栄養学科	2.2	1.1	0.84	155	70	169	167	140	57	0.81	1.2	70	134	132	119	44	0.62	1.1	70	162	161	154	76	1.08	1.0

広島国際大学 御中



広島国際大学
学部/学科に関するアンケート

【高校生対象】
調査結果 報告書

2019年2月22日

目次

✓目次	3
✓調査概要【高校生】	4
▶ 回答企業・団体プロフィール	5
✓1. 高校設置者種別	6
✓2. 性別	7
✓3. 高校卒業後の希望進路	
①すべて	8
②第一希望	9
✓4. 進学先で学ぶ分野として興味がある分野	
①すべて	10
②最も	11
✓5. 進学希望エリア	12
▶ 新学科（専攻）の受容性 1. 興味関心	13
✓1. 新学科（専攻）への興味関心	14
✓2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由	15
▶ 新学科（専攻）の受容性 2. 受験意向	21
✓新学科（専攻）への受験意向	22
①「受験意向あり・計」	
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	23
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	24
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	25
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	26
②トップボックス「受験したい」	
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	27
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	28
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	29
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	30
▶ 新学科（専攻）の受容性 3. 入学意向	31
①受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)の入学意向	32
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	33
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	34
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	35
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	36
②トップボックス「受験したい」意向者の入学意向	37
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	38
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	39
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	40
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	41
▶ 調査結果まとめ	43
✓新学科（専攻）への受験・入学意向者数 まとめ	44
▶ 調査対象校・有効回答数	
▶ 資料：調査票・呈示資料	

調査概要 【高校生】調査

▶ 調査目的

✓ 広島国際大学で設置を計画している新学部・新学科について、高校2年生にその興味関心度や入学意向等を調査し、受容性を確認する。

▶ 調査対象

✓ 中国地方を中心とした高校の高校2年生。

▶ 調査方法

✓ 調査対象校に調査票を送付し、実査協力を依頼。
 ✓ 各高校のホームルームなどの時間に教室にて配布し、回答・回収。

▶ 回収数

✓ 合計：20,340サンプル（有効回答数）
 ✓ 回答高校数：145校

▶ 調査期間20,340

✓ 2018年10月25日（木）発送開始 ～ 2018年12月17日（月）到着分までを集計・分析対象としている。

■ 高校所在地（全体／高校所在地より分類）

	近畿		中国			四国			九州・沖縄						近畿	中国	四国	九州・沖縄
	大阪	広島	山口	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄				
調査数																		
20,340	5.0%	43.5%	10.2%	5.4%	8.1%	5.1%	9.2%	1.1%	2.7%	0.4%	2.5%	3.0%	2.6%	1.2%	5.0%	53.7%	18.6%	22.7%
	1014人	8857人	2070人	1093人	1657人	1030人	1875人	227人	547人	81人	514人	602人	520人	253人	1014人	10927人	3780人	4619人

調査概要



回答者プロフィール

1. 高校設置者種別

▶「公立」が全体の59%（「県立」54%+「市立」5%）。「私立」が41%。

✓高校所在エリア別に見ると、「公立」が過半数を占めるのは、中国、四国。「私立」が過半数を占めるのは近畿、九州・沖縄。

■高校設置者（全体／高校名から分類）

(%)



※小計：「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / △=5pt以上低い
高校設置者

2. 性別

▶ 全体の男女比は、「男子」52%、「女子」48%。

✓ 高校所在エリア別に見ると、近畿は他エリアに比べ「男子」比率が高く、68%。

✓ 高校設置者種別に見ると、公立では男女比はほぼ同率だが、私立は「男子」比率が高く、56%。

■ 性別（全体／単一回答）

Q1. あなたの性別をマークしてください。

(%)



Q1

広告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

3. 高校卒業後の希望進路 ①すべて

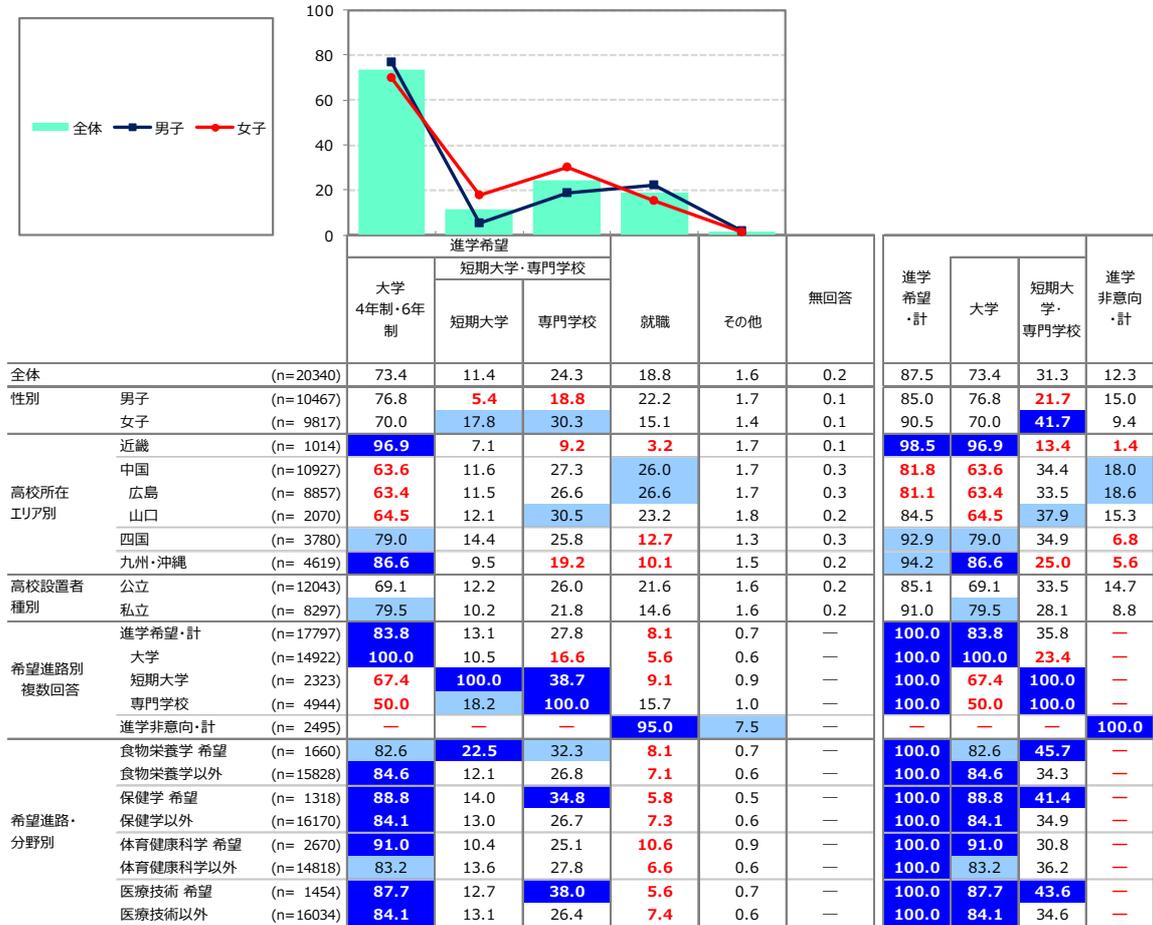
▶ 高校卒業後の希望進路は、「大学(4年制・6年制)」が突出(73%)。以下、「専門学校」(24%)、「就職」(19%)、「短期大学」(11%)が続く。

- ✓ 男女とも、「大学(4年制・6年制)」が最も多く、男子では77%、女子では70%に達する。以下、男子は「就職」(22%)、女子は「専門学校」(30%)が続く。
- ✓ 高校所在エリア別に見ると、いずれのエリアも「大学(4年制・6年制)」が最多。中国は他エリアに比べ「就職」希望(26%)が高い。

■ 高校卒業後の希望進路：すべて (全体/複数回答)

(%)

Q2. あなたは高校を卒業後、どのような進路に進みたいと思っていますか。あてはまるものをすべてマークしてください。



※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ■=5pt以上 / ■=5pt以上低い

Q2

3. 高校卒業後の希望進路 ②第一希望

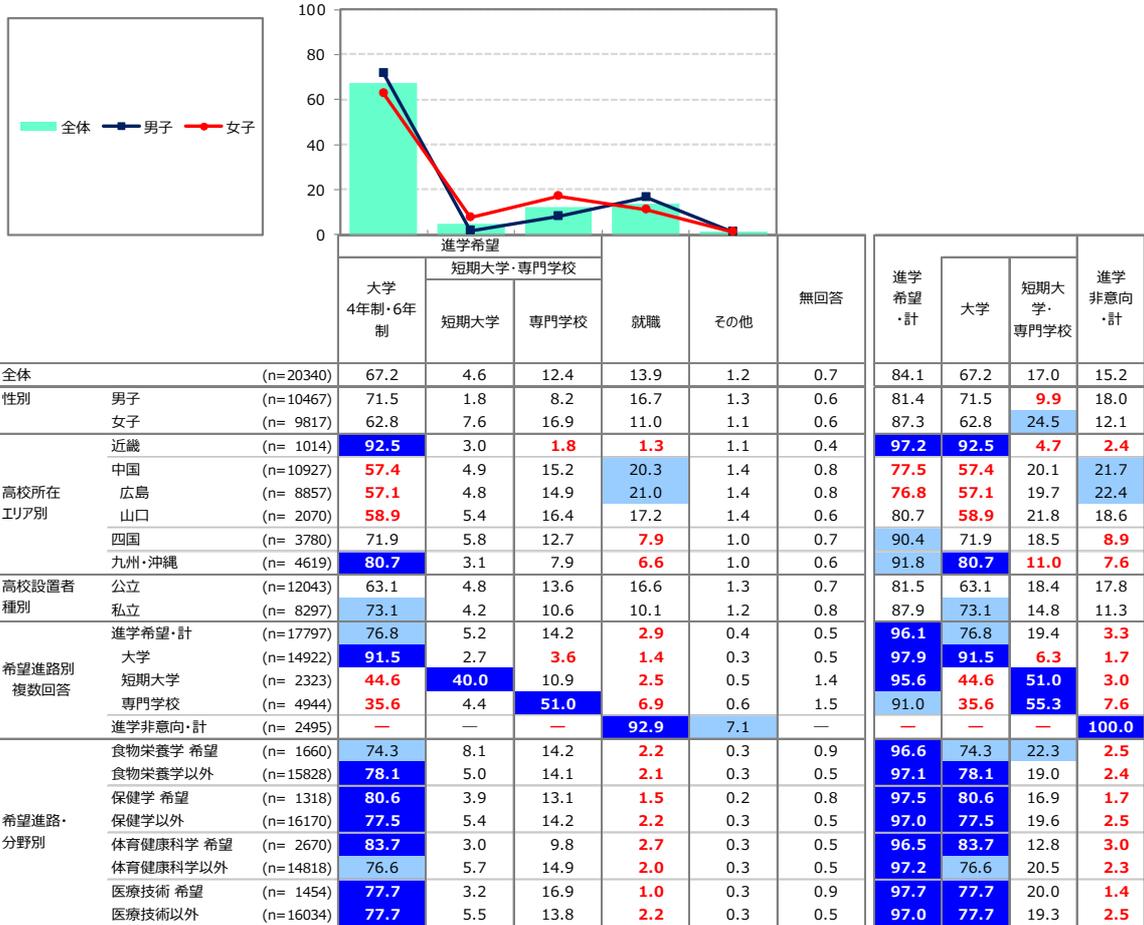
▶ 第一希望進路は、「大学(4年制・6年制)」が突出(67%)。
以下、「就職」(14%)、「専門学校」(12%)、「短期大学」(5%)が続く。

- ✓男女とも、「大学(4年制・6年制)」が最も多く、男子では72%、女子では63%に達する。
以下、男子は「就職」(17%)、女子は「専門学校」(17%)が続く。
- ✓高校所在エリア別に見ると、いずれのエリアも「大学(4年制・6年制)」が最多。
中国は他エリアに比べ「就職」希望(20%)が高い。

■高校卒業後の希望進路：第一希望（全体／単一回答）

(%)

Q2. また、問2で選んだ番号のうち、最も希望する進路の番号を下欄にひとつだけマークしてください。



※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い

Q2SQ1

4. 進学先で学ぶ分野として興味がある分野 ①すべて

※本ページ以降は、進学希望者(【Q2.高校卒業後の希望進路 すべて】で「大学」「短期大学」「専門学校」いずれか選択)による回答の結果である。

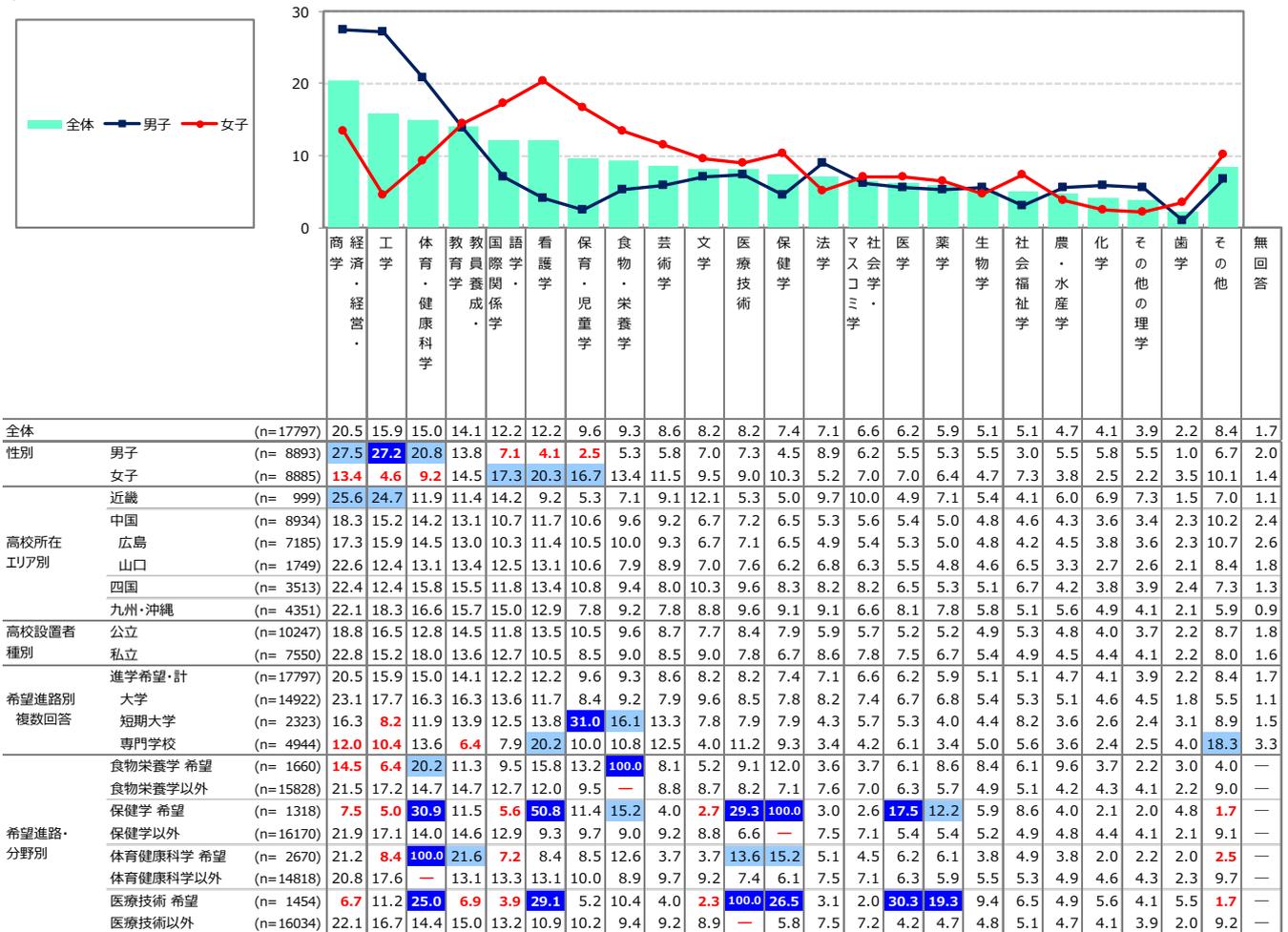
▶ 進学先で学ぶ分野として興味がある分野は、「経済・経営・商学」が最多(21%)。以下、「工学」(16%)、「体育・健康科学」(15%)、「教員養成・教育学」(14%)、「語学・国際関係学」「看護学」(いずれも12%)、「保育・児童学」(10%)までが1割以上。

- ✓男女で希望分野の順位は異なる。
男子は「経済・経営・商学」(28%)が最多。次いで「工学」(27%)、「体育・健康科学」(21%)、「教員養成・教育学」(14%)までが1割以上。
女子は、「看護学」(20%)が最多。次いで「語学・国際関係学」「保育・児童学」(いずれも17%)、「教員養成・教育学」(15%)、「経済・経営・商学」「食物・栄養学」(いずれも13%)、「芸術学」(12%)、「保健学」「文学」(いずれも10%)までは1割以上。男子に比べ希望分野の選択が幅広い。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアも「経済・経営・商学」が最多。

■進学先で興味がある分野：すべて（進学希望／複数回答）

(%)

Q3. 進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。あてはまるものをすべてマークしてください。



※「全体」降順ソート

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い

Q3

4. 進学先で学ぶ分野として興味がある分野 ②最も

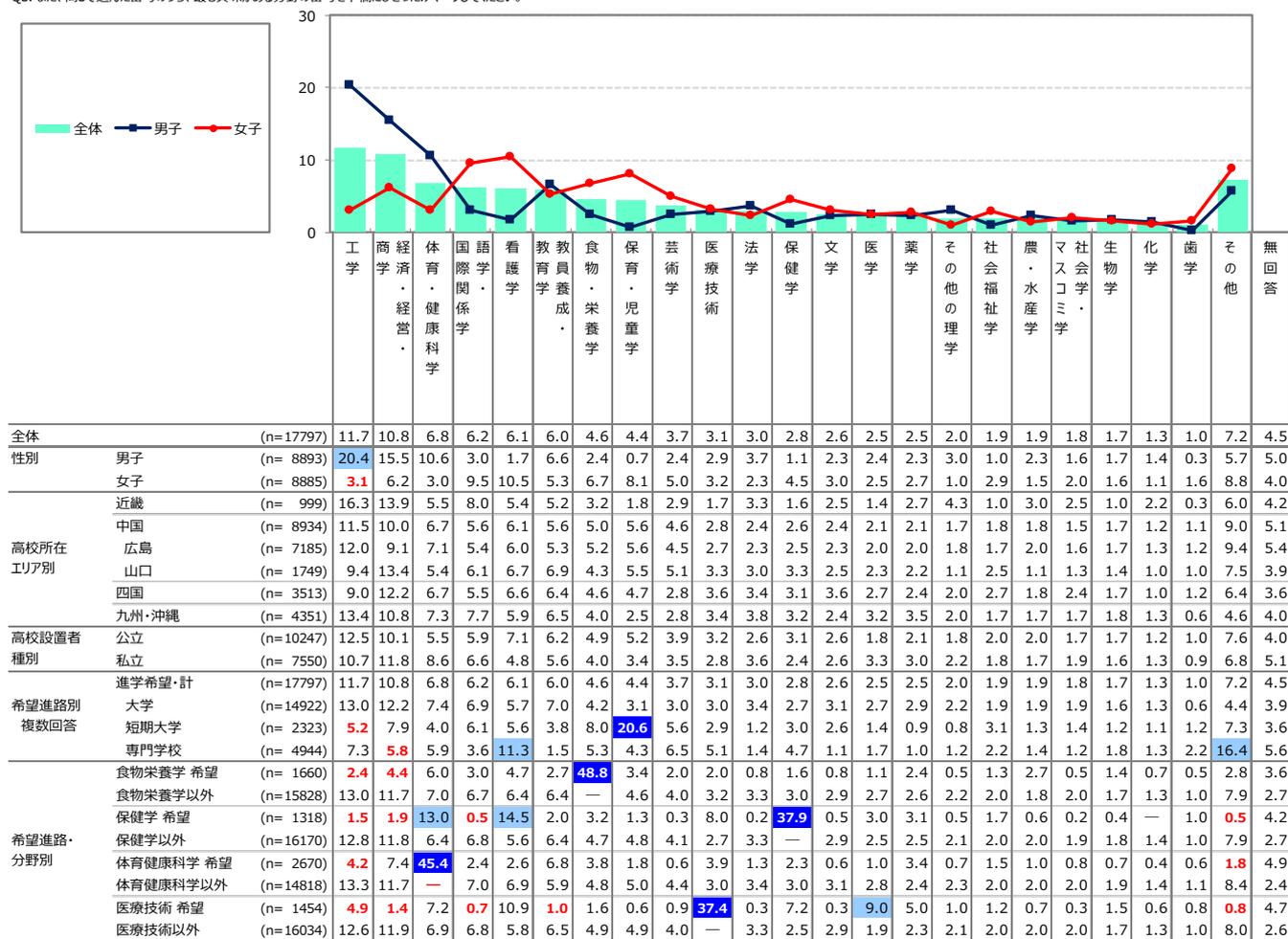
▶ 最も興味がある分野は、「工学」が最多(12%)。僅差で「経済・経営・商学」(11%)が続く。以下、「体育・健康科学」(7%)、「語学・国際関係学」「看護学」「教員養成・教育学」(いずれも6%)、「食物・栄養学」までが5%以上。

- ✓ 男女で希望分野の順位は異なる。
男子は、「工学」(20%)が突出。次いで「経済・経営・商学」(16%)、「体育・健康科学」(11%)、「教員養成・教育学」(7%)までが5%以上。
女子は、「看護学」(11%)が最多。僅差で「語学・国際関係学」(10%)が続く。以下、「保育・児童学」(8%)、「食物・栄養学」(7%)、「経済・経営・商学」(6%)、「教員養成・教育学」「芸術学」「保健学」(5%)までが5%以上。
- ✓ 高校所在エリア別にみると、いずれのエリアも「工学」「経済・経営・商学」が上位。

■ 進学先で興味がある分野：最も (進学希望/単一回答)

Q3. また、問3で選んだ番号のうち、最も興味がある分野の番号を下欄にひとつだけマークしてください。

(%)



※「全体」降順ソート

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い

Q3SQ1

5. 進学希望エリア

▶ 高校卒業後、進学先として希望するエリアは、「広島県」が最多(43%)。以下「福岡県」(26%)、「大阪府」(21%)、「東京などの首都圏」(18%)、「岡山県」(13%)が続く。

✓男女とも進学希望エリアの上位は同傾向。

✓高校所在エリア別にみると、エリアにより順位は異なる。

近畿は、近畿エリアが上位であり、「大阪府」が突出(88%)。以下、「京都府」(37%)、「兵庫県」(25%)、「その他近畿圏」(18%)が続く。

中国は、「広島県」が突出(72%)。以下、「山口県」(20%)、「福岡県」(18%)、「岡山県」「大阪府」(いずれも16%)、「東京など首都圏」(15%)が続く。

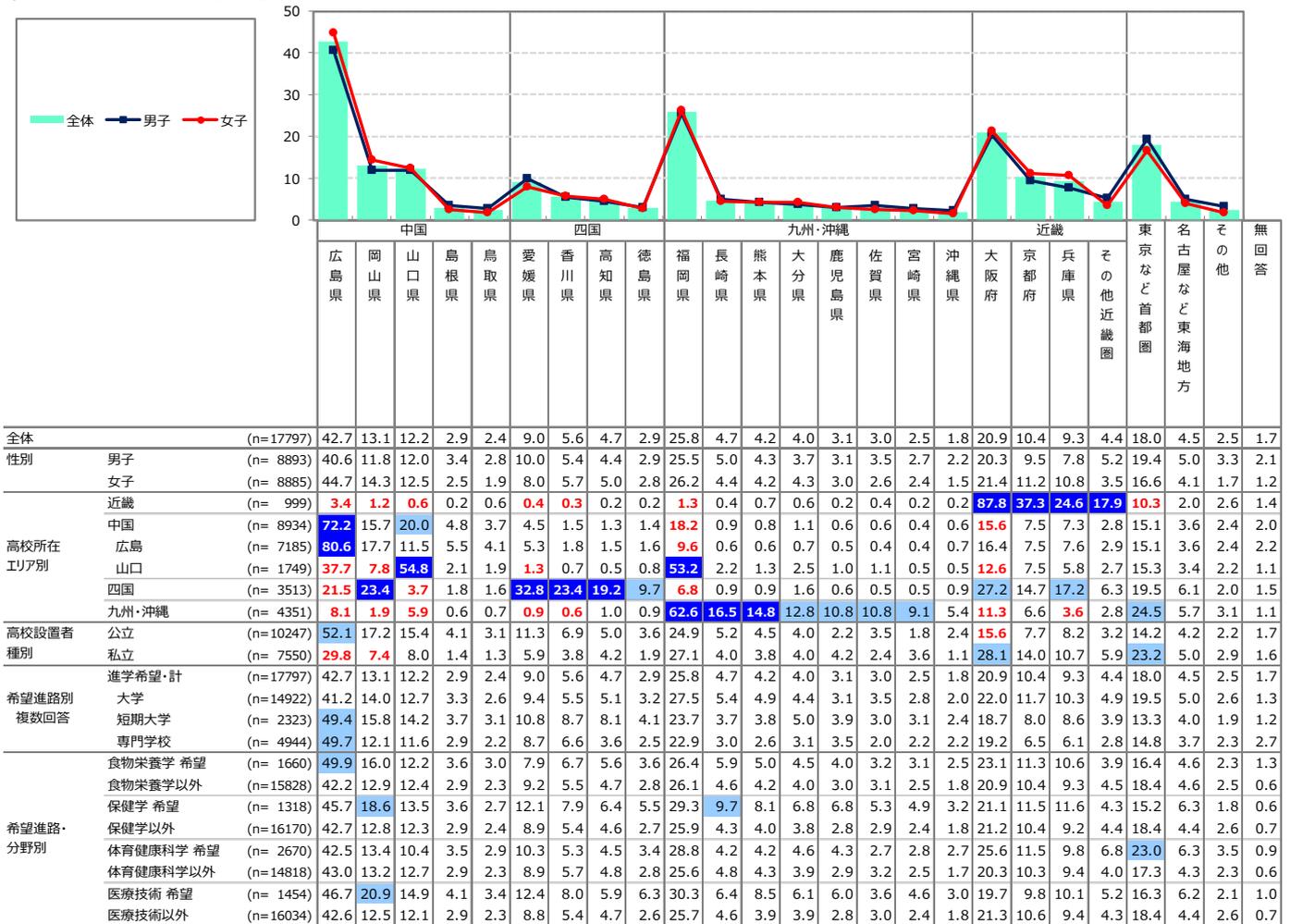
四国は、「愛媛県」が最多(33%)。以下、「大阪府」(27%)、「香川県」「岡山県」(いずれも23%)、「広島県」(22%)、「東京など首都圏」(20%)が続く。

九州・沖縄は、「福岡県」が突出(63%)。以下、「東京など首都圏」(25%)、「長崎県」(17%)、「熊本県」(15%)、「大分県」(13%)、「大阪府」「鹿児島県」「佐賀県」(いずれも11%)が続く。

■ 進学希望エリア：すべて (進学希望/複数回答)

(%)

Q4. あなたは、高校卒業後のエリアでの進学を希望しますか。あてはまるものをすべてマークしてください。



※エリアごと「全体」降順ソート

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い

Q4



新学科（専攻）の受容性

1. 興味関心

1. 新学科（専攻）への興味関心

▶ 広島国際大学の新学科(専攻)に対し、進学希望者の5割が興味や関心があると回答。

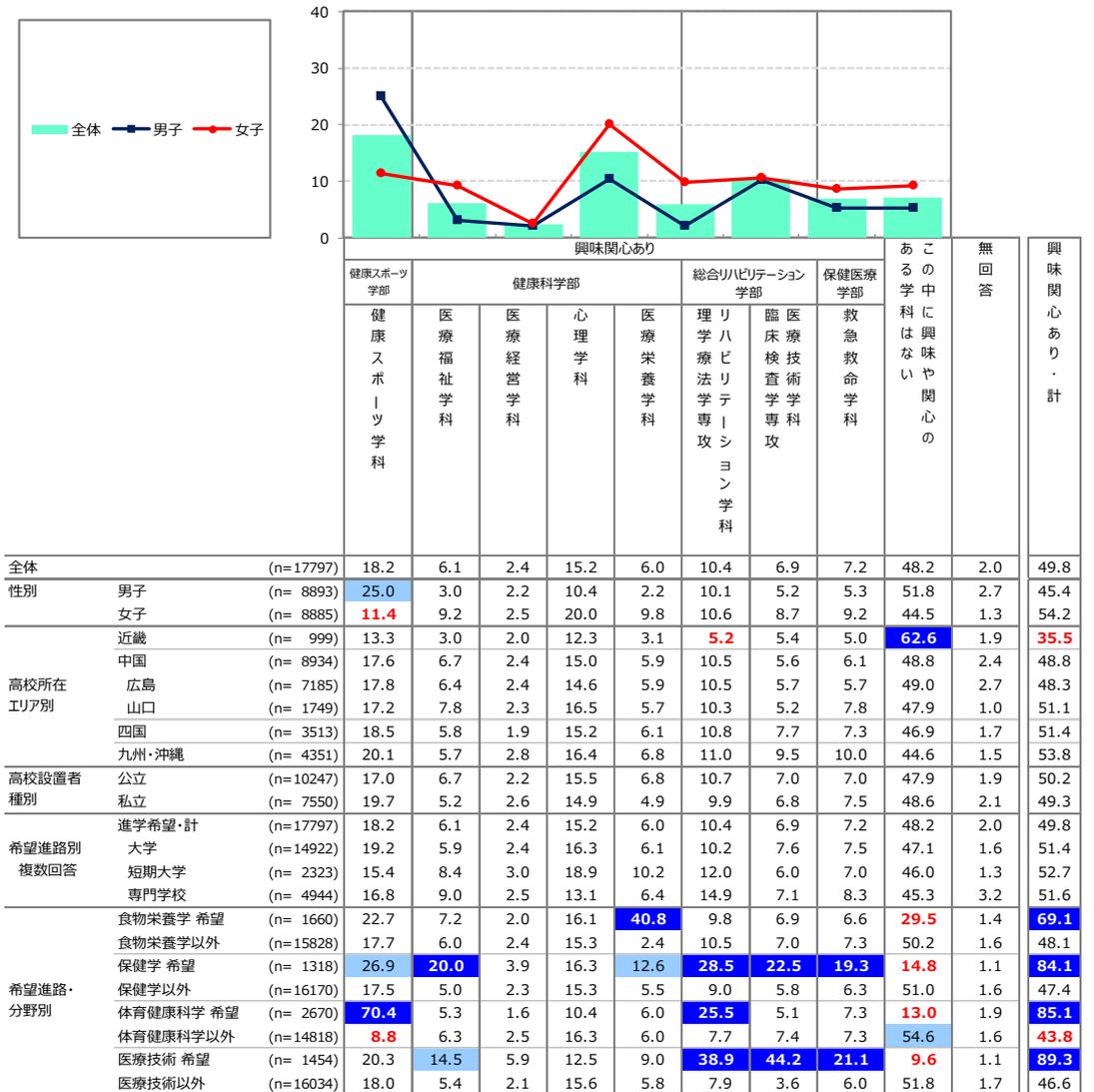
▶ 新学科(専攻)に対する興味関心の割合は以下の通り。

- ① 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科：18%
- ② 健康科学部 心理学科：15%
- ③ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻：10%
- ④ 保健医療学部 救急救命学科：7%
総合リハビリテーション学部 医療技術学科 臨床検査学専攻：7%
- ⑥ 健康科学部 医療福祉学科：6%
健康科学部 医療栄養学科：6%
- ⑧ 健康科学部 医療経営学科：2%

✓「興味関心あり・計」は女子(54%)が男子(45%)に比べ高い。
 学科(専攻)について、女子は「心理学科」への興味関心が最も高い(20%)。女子は8学科(専攻)中5学科(専攻)のスコアが男子に比べ高い。
 男子は「健康スポーツ学科」への興味関心が最も高く(25%)、女子のスコアを上回る。
 「医療経営学科」「リハビリテーション学科 理学療法学専攻」は男女ともほぼ同スコア。
 ✓希望分野別にみると、学科(専攻)それぞれ、関連する食物栄養学／保健学／体育健康科学／医療技術各分野希望者の「興味関心あり・計」のスコアが全体に比べ高い。

■新学科（専攻）への興味関心（進学希望／複数回答）

Q5. 広島国際大学の以下の学科（専攻）の中で、あなたが興味や関心のある学科（専攻）はありますか。あてはまるものをすべてマークしてください。 ※全て興味・関心がない方は、「9.この中に興味や関心



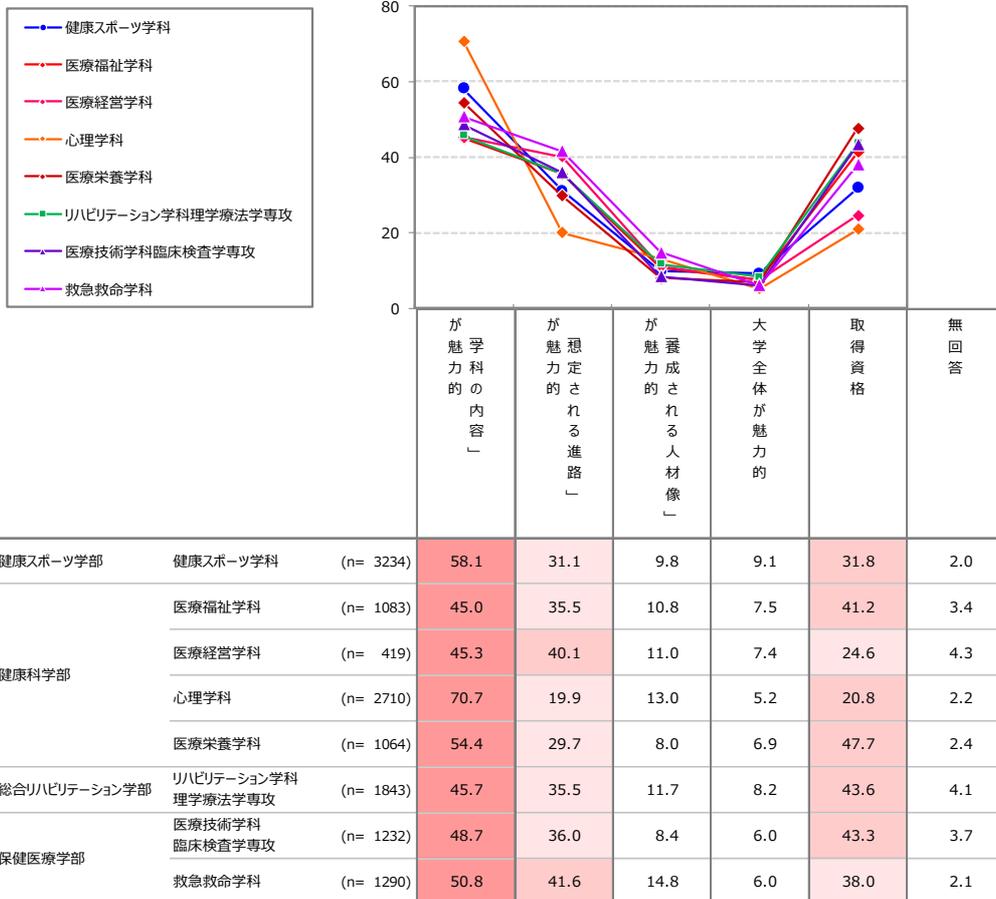
※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ▨=5pt以上 / ▩=5pt以上低い

Q5

2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由 ①

- ▶ 興味や関心がある新学科(専攻)について理由を尋ねたところ、いずれの学科(専攻)とも、「『学科の内容』が魅力的」が最も高い。
- ▶ 次いで「『想定される進路』が魅力的」「取得資格」が続く。
 - ✓健康スポーツ学科、心理学科は、「『想定される進路』が魅力的」「取得資格」いずれもスコアが拮抗して続く。
 - ✓医療経営学科、救急救命学科は、「『想定される進路』が魅力的」が相対的に高く、2位。
 - ✓医療福祉学科、医療栄養学科、リハビリテーション学科理学療法学専攻、医療技術学科臨床検査学専攻は「取得資格」が2位。

■ 興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・各学科（専攻）ごと「興味関心がある」回答者／複数回答） (9%)
 Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。



※学科（専攻）ごとのスコア ■ =1位 / ■ =2位 / ■ =3位

Q6_MX

2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由 ②

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【健康スポーツ学部 健康スポーツ学科】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が魅 学 力 科 的 の 内 容	が進 魅 路 力 一 定 的 さ れ る	が人 魅 材 養 力 像 成 的 さ れ る	魅大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体	(n= 3234)	58.1	31.1	9.8	9.1	31.8	2.0
性別	男子 (n= 2220)	56.1	31.6	9.7	10.1	32.0	2.3
	女子 (n= 1010)	62.5	30.0	10.1	6.7	31.6	1.3
	近畿 (n= 133)	56.4	24.8	3.8	7.5	27.1	1.5
高校所在	中国 (n= 1576)	60.2	30.6	10.0	9.1	31.2	2.0
	広島 (n= 1276)	59.9	30.7	9.5	9.2	31.3	1.9
エリア別	山口 (n= 300)	61.7	30.3	12.0	9.0	30.7	2.3
	四国 (n= 651)	54.8	33.6	9.7	7.8	34.7	2.0
	九州・沖縄 (n= 874)	56.9	30.9	10.5	10.1	31.7	2.2
高校設置者	公立 (n= 1744)	60.7	33.5	11.2	8.6	30.4	1.7
種別	私立 (n= 1490)	55.0	28.3	8.1	9.6	33.5	2.4
希望進路別	進学希望・計 (n= 3234)	58.1	31.1	9.8	9.1	31.8	2.0
	大学 (n= 2869)	58.3	31.5	9.9	9.2	31.3	2.1
複数回答	短期大学 (n= 357)	62.7	33.1	7.0	7.0	30.5	1.7
	専門学校 (n= 829)	57.8	29.9	9.5	10.1	36.2	2.2
希望進路・	食物栄養学 希望 (n= 377)	67.6	27.1	8.5	10.1	25.7	1.9
分野別	食物栄養学以外 (n= 2799)	56.7	31.7	10.0	8.8	32.5	2.0
	保健学 希望 (n= 354)	53.7	38.7	12.4	7.9	41.2	1.1
	保健学以外 (n= 2822)	58.5	30.2	9.5	9.1	30.5	2.1
	体育健康科学 希望 (n= 1879)	55.1	36.6	10.0	8.7	38.2	1.8
	体育健康科学以外 (n= 1297)	62.1	23.4	9.7	9.3	22.3	2.3
	医療技術 希望 (n= 295)	59.7	28.8	11.2	12.2	32.2	2.0
	医療技術以外 (n= 2881)	57.8	31.4	9.7	8.6	31.7	2.0

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い Q6.1

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【健康科学部 医療福祉学科】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が魅 学 力 科 的 の 内 容	が進 魅 路 力 一 定 的 さ れ る	が人 魅 材 養 力 像 成 的 さ れ る	魅大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体	(n= 1083)	45.0	35.5	10.8	7.5	41.2	3.4
性別	男子 (n= 263)	43.0	35.4	10.6	8.7	35.0	5.7
	女子 (n= 817)	45.5	35.6	10.9	7.1	43.2	2.7
	近畿 (n= 30)	46.7	26.7	6.7	10.0	36.7	3.3
高校所在	中国 (n= 600)	44.2	33.8	11.0	8.2	42.7	3.3
	広島 (n= 463)	44.5	33.9	11.0	9.1	43.8	2.8
エリア別	山口 (n= 137)	43.1	33.6	10.9	5.1	38.7	5.1
	四国 (n= 205)	42.9	38.0	11.2	4.9	44.9	4.9
	九州・沖縄 (n= 248)	48.4	38.3	10.5	7.7	35.1	2.4
高校設置者	公立 (n= 689)	45.7	37.4	11.0	6.8	40.5	3.8
種別	私立 (n= 394)	43.7	32.0	10.4	8.6	42.4	2.8
希望進路別	進学希望・計 (n= 1083)	45.0	35.5	10.8	7.5	41.2	3.4
	大学 (n= 877)	45.6	36.5	11.2	7.6	39.9	3.4
複数回答	短期大学 (n= 194)	42.8	35.6	11.3	4.1	50.5	3.1
	専門学校 (n= 443)	44.5	31.4	9.7	8.6	48.8	2.9
希望進路・	食物栄養学 希望 (n= 120)	46.7	43.3	14.2	10.0	39.2	3.3
分野別	食物栄養学以外 (n= 956)	44.7	34.3	10.4	7.1	41.2	3.3
	保健学 希望 (n= 263)	43.0	34.6	11.4	7.6	42.2	2.7
	保健学以外 (n= 813)	45.5	35.5	10.6	7.4	40.6	3.6
	体育健康科学 希望 (n= 142)	42.3	38.0	8.5	7.0	31.7	2.1
	体育健康科学以外 (n= 934)	45.3	34.9	11.1	7.5	42.4	3.5
	医療技術 希望 (n= 211)	51.2	28.9	9.0	7.1	41.7	3.3
	医療技術以外 (n= 865)	43.4	36.9	11.2	7.5	40.8	3.4

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い Q7.TOPBOX

2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由 ③

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【健康科学部 医療経営学科】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が 魅 学 力 科 的 の 内 容 」	が 進 魅 路 力 一 定 的 的 さ れ る	が 人 魅 材 養 力 像 成 的 一 さ れ る	魅 大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体	(n= 419)	45.3	40.1	11.0	7.4	24.6	4.3
性別	男子 (n= 197)	48.7	36.5	12.7	8.1	15.2	5.6
	女子 (n= 222)	42.3	43.2	9.5	6.8	32.9	3.2
近畿	(n= 20)	60.0	25.0	5.0	—	20.0	—
中国	(n= 214)	39.3	44.9	10.3	7.5	26.6	4.7
広島	(n= 174)	39.1	46.6	10.3	8.0	27.0	4.6
山口	(n= 40)	40.0	37.5	10.0	5.0	25.0	5.0
四国	(n= 65)	47.7	32.3	13.8	7.7	29.2	6.2
九州・沖縄	(n= 120)	52.5	38.3	11.7	8.3	19.2	3.3
公立	(n= 225)	40.4	44.0	12.0	6.7	25.3	5.8
私立	(n= 194)	51.0	35.6	9.8	8.2	23.7	2.6
進学希望・計	(n= 419)	45.3	40.1	11.0	7.4	24.6	4.3
大学	(n= 356)	48.9	39.9	11.5	7.3	21.6	3.1
短期大学	(n= 70)	38.6	42.9	10.0	2.9	37.1	5.7
専門学校	(n= 126)	38.9	34.9	11.1	7.9	34.1	7.1
食物栄養学 希望	(n= 34)	44.1	41.2	17.6	8.8	32.4	2.9
食物栄養学以外	(n= 382)	45.3	40.1	10.2	7.1	23.8	4.5
保健学 希望	(n= 52)	53.8	38.5	21.2	13.5	21.2	3.8
保健学以外	(n= 364)	44.0	40.4	9.3	6.3	25.0	4.4
体育健康科学 希望	(n= 44)	38.6	45.5	9.1	6.8	22.7	6.8
体育健康科学以外	(n= 372)	46.0	39.5	11.0	7.3	24.7	4.0
医療技術 希望	(n= 86)	45.3	34.9	15.1	11.6	33.7	2.3
医療技術以外	(n= 330)	45.2	41.5	9.7	6.1	22.1	4.8

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い／■=5pt以上／■=5pt以上低い

Q6.3

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【健康科学部 心理学科】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が 魅 学 力 科 的 の 内 容 」	が 進 魅 路 力 一 定 的 的 さ れ る	が 人 魅 材 養 力 像 成 的 一 さ れ る	魅 大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体	(n= 2710)	70.7	19.9	13.0	5.2	20.8	2.2
性別	男子 (n= 928)	75.6	15.4	11.5	4.8	14.1	3.0
	女子 (n= 1779)	68.2	22.2	13.7	5.3	24.3	1.7
近畿	(n= 123)	73.2	15.4	9.8	2.4	18.7	4.1
中国	(n= 1340)	69.9	21.1	12.3	5.2	19.4	2.5
広島	(n= 1052)	69.6	20.4	12.5	5.6	19.4	2.7
山口	(n= 288)	71.2	23.6	11.8	3.8	19.4	2.1
四国	(n= 533)	72.2	18.9	14.8	4.5	23.6	1.7
九州・沖縄	(n= 714)	70.7	18.9	13.3	6.0	21.8	1.5
公立	(n= 1585)	70.8	21.7	13.5	5.6	21.3	2.1
私立	(n= 1125)	70.7	17.2	12.2	4.6	20.3	2.3
進学希望・計	(n= 2710)	70.7	19.9	13.0	5.2	20.8	2.2
大学	(n= 2433)	71.0	19.9	13.0	5.1	20.8	2.1
短期大学	(n= 439)	67.2	22.1	13.9	6.4	26.9	2.5
専門学校	(n= 648)	69.1	20.4	12.2	5.9	23.8	1.9
食物栄養学 希望	(n= 267)	68.5	21.0	14.6	6.4	24.0	2.6
食物栄養学以外	(n= 2421)	70.9	19.8	12.8	5.0	20.6	2.1
保健学 希望	(n= 215)	65.1	21.9	16.3	7.0	20.0	2.8
保健学以外	(n= 2473)	71.1	19.8	12.7	5.0	21.0	2.1
体育健康科学 希望	(n= 279)	65.6	24.0	9.7	7.5	23.3	4.7
体育健康科学以外	(n= 2409)	71.2	19.5	13.4	4.9	20.6	1.8
医療技術 希望	(n= 182)	70.3	19.2	12.6	6.0	22.0	1.6
医療技術以外	(n= 2506)	70.7	20.0	13.0	5.1	20.8	2.2

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い／■=5pt以上／■=5pt以上低い

Q6.4

2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由 ④

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【健康科学部 医療栄養学科】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が魅 学力 科的 の 内 容 」	が進 魅路 力ー 一定 的さ れる	が人 魅材 養力 像成 的ー さ れる	魅大 力学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体 (n= 1064)		54.4	29.7	8.0	6.9	47.7	2.4
性別	男子 (n= 193)	53.4	26.4	8.8	8.8	35.8	5.2
	女子 (n= 869)	54.5	30.5	7.8	6.4	50.5	1.8
高校所在 エリア別	近畿 (n= 31)	38.7	29.0	6.5	6.5	58.1	3.2
	中国 (n= 525)	53.9	29.1	8.2	6.5	49.9	2.9
	広島 (n= 426)	53.3	28.9	8.7	6.8	51.6	2.8
	山口 (n= 99)	56.6	30.3	6.1	5.1	42.4	3.0
	四国 (n= 213)	50.2	30.5	7.5	7.5	48.8	2.3
高校設置者 種別	九州・沖縄 (n= 295)	60.0	30.2	8.1	7.1	42.0	1.7
	公立 (n= 693)	54.5	32.6	8.5	5.9	47.8	2.5
	私立 (n= 371)	54.2	24.3	7.0	8.6	47.7	2.4
希望進路別 複数回答	進学希望・計 (n= 1064)	54.4	29.7	8.0	6.9	47.7	2.4
	大学 (n= 912)	55.6	30.0	8.1	6.8	47.4	2.6
	短期大学 (n= 238)	52.1	32.4	6.3	7.1	51.3	3.8
	専門学校 (n= 315)	51.1	29.8	8.9	6.3	45.1	4.4
希望進路・ 分野別	食物栄養学 希望 (n= 677)	52.6	32.2	8.1	6.4	58.2	2.2
	食物栄養学以外 (n= 377)	57.8	25.2	7.4	8.0	29.2	2.7
	保健学 希望 (n= 166)	54.8	29.5	11.4	3.0	43.4	3.6
	保健学以外 (n= 888)	54.4	29.7	7.2	7.7	48.6	2.1
	体育健康科学 希望 (n= 160)	61.3	28.8	7.5	5.0	45.0	3.1
	体育健康科学以外 (n= 894)	53.2	29.9	7.9	7.3	48.3	2.2
	医療技術 希望 (n= 131)	70.2	21.4	6.9	7.6	41.2	1.5
医療技術以外 (n= 923)	52.2	30.9	8.0	6.8	48.8	2.5	

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ▨=5pt以上低い Q6.5

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてマークしてください。

		が魅 学力 科的 の 内 容 」	が進 魅路 力ー 一定 的さ れる	が人 魅材 養力 像成 的ー さ れる	魅大 力学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体 (n= 1843)		45.7	35.5	11.7	8.2	43.6	4.1
性別	男子 (n= 900)	43.6	37.1	11.1	7.8	42.2	4.4
	女子 (n= 941)	47.8	34.1	12.3	8.6	44.8	3.8
高校所在 エリア別	近畿 (n= 52)	38.5	25.0	7.7	1.9	38.5	3.8
	中国 (n= 934)	48.4	34.9	12.8	10.0	43.8	4.3
	広島 (n= 753)	49.9	35.6	13.0	10.5	43.0	4.4
	山口 (n= 181)	42.0	32.0	12.2	7.7	47.0	3.9
	四国 (n= 378)	40.7	39.4	11.4	6.1	46.6	4.5
高校設置者 種別	九州・沖縄 (n= 479)	45.3	34.9	10.2	7.1	41.3	3.5
	公立 (n= 1096)	47.4	37.0	11.8	7.8	42.8	3.6
	私立 (n= 747)	43.4	33.3	11.6	8.8	44.7	4.8
希望進路別 複数回答	進学希望・計 (n= 1843)	45.7	35.5	11.7	8.2	43.6	4.1
	大学 (n= 1528)	45.5	36.3	11.5	8.1	42.5	4.3
	短期大学 (n= 278)	43.2	39.2	10.8	6.5	41.4	6.8
	専門学校 (n= 739)	44.0	36.9	12.3	8.3	51.3	3.2
希望進路・ 分野別	食物栄養学 希望 (n= 162)	56.8	33.3	11.1	7.4	40.7	3.7
	食物栄養学以外 (n= 1663)	44.6	35.7	11.6	8.2	43.8	4.2
	保健学 希望 (n= 376)	50.3	38.0	11.2	6.4	49.5	1.9
	保健学以外 (n= 1449)	44.4	34.8	11.7	8.6	42.0	4.8
	体育健康科学 希望 (n= 680)	46.9	39.3	11.0	8.5	46.3	5.1
	体育健康科学以外 (n= 1145)	44.9	33.2	11.9	7.9	41.9	3.6
	医療技術 希望 (n= 565)	48.3	35.4	11.2	9.7	51.3	2.8
医療技術以外 (n= 1260)	44.4	35.5	11.7	7.5	40.1	4.8	

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ▨=5pt以上低い Q6.6

2. 新学科（専攻）へ興味関心がある理由 ⑤

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻】

Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてをマークしてください。

	が魅 学 力 科 的 の 内 容 」	が進 魅 路 力 一 定 的 さ れ る	が人 魅 材 養 力 像 成 的 」 さ れ る	魅 大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体 (n= 1232)	48.7	36.0	8.4	6.0	43.3	3.7
性別						
男子 (n= 458)	45.9	34.1	9.4	6.8	38.9	4.8
女子 (n= 771)	50.3	37.2	7.8	5.4	46.0	3.1
近畿 (n= 54)	40.7	25.9	1.9	3.7	37.0	11.1
中国 (n= 497)	51.3	33.4	8.5	6.4	42.7	4.2
広島 (n= 406)	53.7	33.3	9.1	6.2	41.6	4.4
山口 (n= 91)	40.7	34.1	5.5	7.7	47.3	3.3
四国 (n= 269)	42.8	38.7	7.1	5.6	48.0	2.6
九州・沖縄 (n= 412)	50.5	38.6	10.0	6.1	41.7	2.9
高校設置者 種別						
公立 (n= 720)	46.0	39.9	8.2	5.6	45.6	2.5
私立 (n= 512)	52.5	30.5	8.6	6.6	40.0	5.5
進学希望・計 (n= 1232)	48.7	36.0	8.4	6.0	43.3	3.7
大学 (n= 1139)	49.0	36.3	8.4	5.8	43.5	3.2
短期大学 (n= 140)	54.3	34.3	5.0	5.7	45.0	5.0
専門学校 (n= 352)	48.6	34.9	8.0	6.8	45.5	7.1
希望進路・ 複数回答						
食物栄養学 希望 (n= 115)	55.7	38.3	7.8	4.3	44.3	4.3
食物栄養学以外 (n= 1112)	48.0	35.7	8.4	6.2	43.1	3.7
保健学 希望 (n= 296)	44.6	41.6	10.1	5.7	49.0	4.1
保健学以外 (n= 931)	50.1	34.2	7.7	6.1	41.4	3.7
体育健康科学 希望 (n= 135)	48.1	44.4	8.9	5.9	40.7	5.2
体育健康科学以外 (n= 1092)	48.8	34.9	8.2	6.0	43.5	3.6
医療技術 希望 (n= 642)	48.1	39.7	9.0	6.9	51.4	2.6
医療技術以外 (n= 585)	49.4	31.8	7.5	5.1	34.2	5.0

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ■=5pt以上 / ■=5pt以上低い

Q6.7

■興味関心がある学科（専攻）の理由（進学希望・「興味関心がある」回答者／複数回答） (%)

【保健医療学部 救急救命学科】

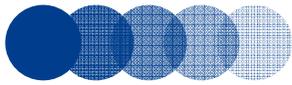
Q6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものすべてをマークしてください。

	が魅 学 力 科 的 の 内 容 」	が進 魅 路 力 一 定 的 さ れ る	が人 魅 材 養 力 像 成 的 」 さ れ る	魅 大 力 学 的 全 体 が	取 得 資 格	無 回 答
全体 (n= 1290)	50.8	41.6	14.8	6.0	38.0	2.1
性別						
男子 (n= 468)	40.4	45.1	17.7	8.1	40.8	2.4
女子 (n= 821)	56.6	39.6	13.2	4.8	36.4	1.9
近畿 (n= 50)	46.0	36.0	10.0	2.0	38.0	—
中国 (n= 545)	50.5	43.9	13.4	6.2	38.5	2.2
広島 (n= 408)	51.0	42.9	13.5	6.4	37.0	2.2
山口 (n= 137)	48.9	46.7	13.1	5.8	43.1	2.2
四国 (n= 258)	52.7	43.4	19.0	7.4	43.8	1.9
九州・沖縄 (n= 437)	50.6	38.2	14.6	5.3	33.9	2.3
高校設置者 種別						
公立 (n= 722)	51.5	43.4	16.2	5.8	38.2	2.1
私立 (n= 568)	49.8	39.3	13.0	6.2	37.7	2.1
進学希望・計 (n= 1290)	50.8	41.6	14.8	6.0	38.0	2.1
大学 (n= 1116)	51.8	41.3	15.1	6.0	37.1	2.1
短期大学 (n= 163)	56.4	41.1	12.3	7.4	38.0	1.8
専門学校 (n= 409)	49.9	42.5	16.6	6.6	41.1	1.5
希望進路・ 複数回答						
食物栄養学 希望 (n= 110)	60.9	45.5	19.1	2.7	34.5	6.4
食物栄養学以外 (n= 1163)	49.8	41.2	14.4	6.4	37.8	1.7
保健学 希望 (n= 255)	51.8	45.1	16.9	7.5	41.2	2.4
保健学以外 (n= 1018)	50.5	40.7	14.2	5.7	36.6	2.1
体育健康科学 希望 (n= 195)	39.0	51.3	17.4	6.7	40.5	3.6
体育健康科学以外 (n= 1078)	52.9	39.8	14.3	5.9	37.0	1.9
医療技術 希望 (n= 307)	50.5	46.6	14.7	5.9	46.3	2.0
医療技術以外 (n= 966)	50.8	40.0	14.8	6.1	34.8	2.2

※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ■=5pt以上 / ■=5pt以上低い

Q6.8

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.



新学科（専攻）の受容性

2. 受験意向

3. 新学科（専攻）への受験意向

▶ 広島国際大学の新学科(専攻)への進学希望者の受験意向「受験意向あり・計」およびトップボックス「受験したい」の割合は、以下の通り。

<健康スポーツ学部>

▶ 健康スポーツ学科：「受験意向あり・計」15%／「受験したい」2%

<健康科学部>

▶ 医療福祉学科：「受験意向あり・計」8%／「受験したい」1%

▶ 医療経営学科：「受験意向あり・計」6%／「受験したい」1%

▶ 心理学科：「受験意向あり・計」13%／「受験したい」2%

▶ 医療栄養学科：「受験意向あり・計」8%／「受験したい」1%

<総合リハビリテーション学部>

▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻：「受験意向あり・計」11%／「受験したい」2%

<保健医療学部>

▶ 医療技術学科臨床検査学専攻：「受験意向あり・計」8%／「受験したい」1%

▶ 救急救命学科：「受験意向あり・計」8%／「受験したい」1%

■ 新学部学科（専攻）の受験意向（進学希望者／各単一回答）

(%)

Q7. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）を、あなたほどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

		受験意向あり					受験意向なし					無回答					
		受験したい		受験先の一つとして検討したい			あまり受験したくない		受験したくない								
		受験意向あり・計	受験意向なし・計	受験意向あり・計	受験したい	受験先の一つとして検討したい	受験意向あり・計	受験意向なし・計	受験意向あり・計	受験したい	受験先の一つとして検討したい	実数					
(n=17797)		●凡例															
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	2.0	12.9	17.1	47.9			20.2					14.8	64.9	2638	349	2289
健康科学部	医療福祉学科	1.1	7.3	17.0	49.3			25.3					8.4	66.3	1502	200	1302
	医療経営学科	0.8	4.8	17.1	50.7			26.5					5.7	67.8	1006	144	862
	心理学科	1.5	11.2	19.2	44.6			23.5					12.7	63.8	2262	267	1995
	医療栄養学科	1.1	7.3	17.7	48.3			25.7					8.4	65.9	1492	190	1302
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	1.7	9.6	16.5	48.4			23.9					11.2	64.9	2000	298	1702
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	1.2	6.7	16.6	50.0			25.5					7.9	66.6	1402	211	1191
	救急救命学科	1.1	6.9	16.7	49.8			25.5					8.0	66.5	1430	200	1230

Q7.MX

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

①「受験意向あり・計」

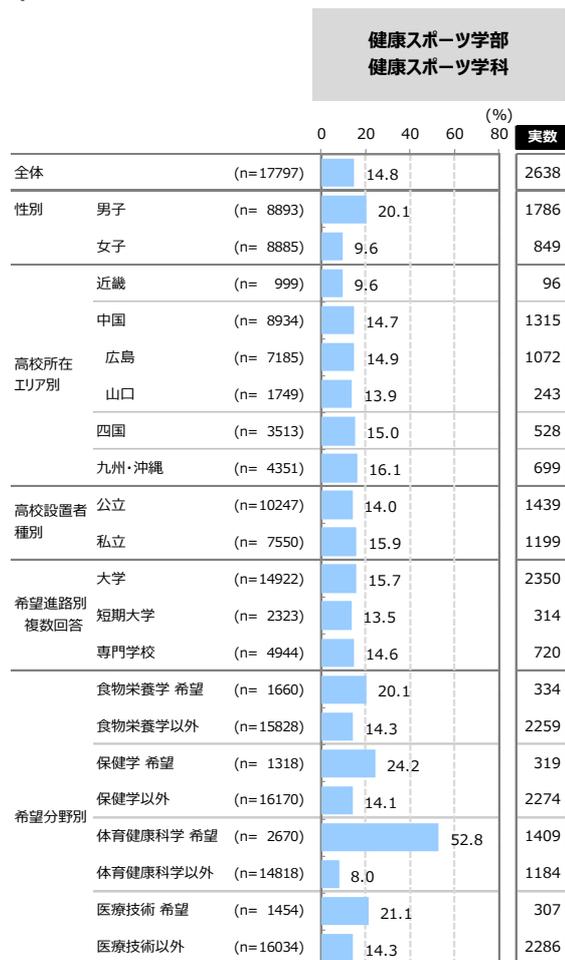
以下、新学科(専攻)への進学希望者の受験意向「受験意向あり・計」スコアを属性別にみていく。

▶ 健康スポーツ学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の15%。

- ✓性別にみると、男子の受験意向(20%)が女子(10%)に比べ高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄(16%)。僅差で四国、中国(いずれも15%)。
- ✓希望分野別にみると、「体育健康科学」希望層の受験意向が突出しており、53%。

■新学部学科(専攻) 受験意向：「受験意向あり・計」(進学希望/各単一回答)

Q7. 以下の広島国際大学の学科(専攻)をあなたほどの程度受験したいと思えますか。それぞれの学科(専攻)ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む



健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科

① 「受験意向あり・計」

▶ 医療福祉学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の8%。

- ✓性別にみると、女子の受験意向(10%)が男子(7%)に比べやや高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄、中国(いずれも9%)。
- ✓希望分野別にみると、「保健学」希望層の受験意向が最も高く、21%。次いで「医療技術」希望層(18%)。

▶ 医療経営学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の6%。

- ✓男子(6%)、女子(5%)とも、受験意向はほぼ同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄(7%)、中国(6%)。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の受験意向が最も高く、11%。

▶ 心理学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の13%。

- ✓性別にみると、女子の受験意向(15%)が男子(11%)に比べやや高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、中国、九州・沖縄(いずれも13%)。
- ✓希望分野別にみると、「保健学」希望層の受験意向が最も高く、17%。僅差で「食物栄養学」希望層(16%)。

▶ 医療栄養学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の8%。

- ✓性別にみると、女子の受験意向(11%)が男子(6%)に比べ高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄、中国(いずれも9%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の受験意向が突出しており、35%。

■新学部学科(専攻)受験意向：「受験意向あり・計」(進学希望/各単一回答)

Q7. 以下の広島国際大学の学科(専攻)をあなたほどの程度受験したいと思えますか。それぞれの学科(専攻)ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

		健康科学部 医療福祉学科		健康科学部 医療経営学科		健康科学部 心理学科		健康科学部 医療栄養学科	
		(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数
全体	(n=17797)	8.4	1502	5.7	1006	12.7	2262	8.4	1492
性別									
男子	(n= 8893)	6.8	603	6.2	553	10.6	939	6.0	537
女子	(n= 8885)	10.1	898	5.1	452	14.9	1322	10.7	954
高校所在 エリア別									
近畿	(n= 999)	5.5	55	5.3	53	9.7	97	5.3	53
中国	(n= 8934)	8.9	791	5.8	515	13.2	1182	8.8	785
広島	(n= 7185)	8.8	629	6.0	430	13.2	950	8.8	632
山口	(n= 1749)	9.3	162	4.9	85	13.3	232	8.7	153
四国	(n= 3513)	7.4	260	4.4	153	11.8	413	7.2	253
九州・沖縄	(n= 4351)	9.1	396	6.6	285	13.1	570	9.2	401
高校設置者 種別									
公立	(n=10247)	8.6	885	5.2	537	12.8	1315	8.8	903
私立	(n= 7550)	8.2	617	6.2	469	12.5	947	7.8	589
希望進路別 複数回答									
大学	(n=14922)	8.6	1287	5.9	879	13.7	2042	8.7	1301
短期大学	(n= 2323)	10.6	246	7.0	162	15.9	370	12.1	280
専門学校	(n= 4944)	10.5	521	5.6	277	11.6	574	8.7	429
希望分野別									
食物栄養学 希望	(n= 1660)	10.9	181	6.8	113	16.2	269	35.2	585
食物栄養学以外	(n=15828)	8.2	1303	5.6	881	12.5	1972	5.6	893
保健学 希望	(n= 1318)	20.9	275	8.7	115	16.5	218	16.9	223
保健学以外	(n=16170)	7.5	1209	5.4	879	12.5	2023	7.8	1255
体育健康科学 希望	(n= 2670)	9.0	239	5.4	145	11.3	302	9.4	251
体育健康科学以外	(n=14818)	8.4	1245	5.7	849	13.1	1939	8.3	1227
医療技術 希望	(n= 1454)	17.5	255	10.5	152	13.6	198	14.0	204
医療技術以外	(n=16034)	7.7	1229	5.3	842	12.7	2043	7.9	1274

総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻

①「受験意向あり・計」

▶ 総合リハビリテーション学科理学療法学専攻に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の11%。

- ✓ 男子(12%)、女子(11%)とも、受験意向はほぼ同程度。
- ✓ 高校所在エリア別に見ると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄(12%)。僅差で中国、四国が続く(いずれも11%)。
- ✓ 希望分野別に見ると、「医療技術」希望層の受験意向が最も高く、36%。次いで「保健学」希望層(28%)、「体育健康科学」希望層(24%)。

■ 新学部学科（専攻）受験意向：「受験意向あり・計」（進学希望／各単一回答）

Q7. 以下の広島国際大学の学科（専攻）をあなたはどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む



保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科

①「受験意向あり・計」

▶ 医療技術学科臨床検査学専攻に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の8%。

- ✓男子(7%)、女子(9%)とも、受験意向はほぼ同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄(10%)。次いで、四国、中国(いずれも7%)。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の受験意向が最も高く、37%。次いで「保健学」希望層(22%)。

▶ 救急救命学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の8%。

- ✓男女とも、受験意向はほぼ同程度(8%)。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、九州・沖縄(10%)。次いで、四国(8%)、中国(7%)。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の受験意向が最も高く、22%。次いで「保健学」希望層(19%)。

■新学部学科(専攻) 受験意向：「受験意向あり・計」(進学希望/各単一回答)

Q7. 以下の広島国際大学の学科(専攻)をあなたはどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

	保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻		保健医療学部 救急救命学科	
	(%)	実数	(%)	実数
全体 (n=17797)	7.9	1402	8.0	1430
性別				
男子 (n= 8893)	7.2	639	7.9	704
女子 (n= 8885)	8.6	761	8.2	725
高校所在 エリア別				
近畿 (n= 999)	5.5	55	6.2	62
中国 (n= 8934)	7.2	644	7.4	660
広島 (n= 7185)	7.2	520	7.2	517
山口 (n= 1749)	7.1	124	8.2	143
四国 (n= 3513)	7.4	260	7.5	264
九州・沖縄 (n= 4351)	10.2	443	10.2	444
高校設置者 種別				
公立 (n=10247)	7.9	807	7.6	775
私立 (n= 7550)	7.9	595	8.7	655
希望進路別 複数回答				
大学 (n=14922)	8.6	1288	8.3	1244
短期大学 (n= 2323)	7.9	184	8.0	187
専門学校 (n= 4944)	7.7	379	8.4	417
希望分野別				
食物栄養学 希望 (n= 1660)	10.5	174	9.6	159
食物栄養学以外 (n=15828)	7.7	1216	7.9	1254
保健学 希望 (n= 1318)	22.2	293	19.4	256
保健学以外 (n=16170)	6.8	1097	7.2	1157
体育健康科学 希望 (n= 2670)	7.9	212	10.1	271
体育健康科学以外 (n=14818)	7.9	1178	7.7	1142
医療技術 希望 (n= 1454)	37.3	542	22.1	322
医療技術以外 (n=16034)	5.3	848	6.8	1091

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

② トップボックス「受験したい」

以下、新学科(専攻)への進学希望者の受験意向トップボックス「受験したい」スコアを属性別にみていく。

▶ 健康スポーツ学科に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の2%。

- ✓ 男子(3%)、女子(1%)とも、「受験したい」はほぼ同程度。
- ✓ 高校所在エリア別に見ると、いずれのエリアとも「受験したい」は1~3%。
- ✓ 希望分野別に見ると、「体育健康科学」希望層の「受験したい」が最も高く、7%。

■ 新学部学科(専攻) 受験意向：トップボックス「受験したい」 (進学希望/各単一回答)

Q7. 以下の広島国際大学の学科(専攻)をあなたはどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む



健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科

② トップボックス「受験したい」

▶ 医療福祉学科に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の1%。

- ✓性別にみると、男女とも「受験したい」は1%。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1%。
- ✓希望分野別にみると、いずれの分野希望者とも「受験したい」は1～2%。

▶ 医療経営学科に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の1%。

- ✓性別にみると、男女とも「受験したい」は1%。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1%。
- ✓希望分野別にみると、いずれの分野希望者とも「受験したい」は1～2%。

▶ 心理学科に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の2%。

- ✓性別にみると、「受験したい」は男子(1.6%)、女子(1.4%)とも同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1～2%。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」「保健学」希望層の「受験したい」が相対的に高く、3%。

▶ 医療栄養学科に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の1%。

- ✓性別にみると、男女とも「受験したい」は1%。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1%。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の「受験したい」が最も高く、5%。

■ 新学部学科（専攻）受験意向：トップボックス「受験したい」（進学希望/各単一回答）

Q7. 以下の広島国際大学の学科（専攻）をあなたほどの程度受験したいと思えますか。それぞれの学科（専攻）ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

	健康科学部 医療福祉学科		健康科学部 医療経営学科		健康科学部 心理学科		健康科学部 医療栄養学科	
	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数
全体 (n=17797)	1.1	200	0.8	144	1.5	267	1.1	190
性別								
男子 (n= 8893)	1.2	108	1.2	103	1.6	145	1.2	105
女子 (n= 8885)	1.0	91	0.5	40	1.4	121	0.9	84
高校所在 エリア別								
近畿 (n= 999)	1.4	14	0.8	8	0.8	8	1.0	10
中国 (n= 8934)	1.2	108	0.8	71	1.6	147	1.2	103
広島 (n= 7185)	1.3	94	0.9	62	1.8	126	1.1	79
山口 (n= 1749)	0.8	14	0.5	9	1.2	21	1.4	24
四国 (n= 3513)	0.7	25	0.6	22	1.1	39	0.8	29
九州・沖縄 (n= 4351)	1.2	53	1.0	43	1.7	73	1.1	48
高校設置者 種別								
公立 (n=10247)	1.0	101	0.7	71	1.4	146	1.0	103
私立 (n= 7550)	1.3	99	1.0	73	1.6	121	1.2	87
希望進路別 複数回答								
大学 (n=14922)	1.2	173	0.8	125	1.6	242	1.1	169
短期大学 (n= 2323)	1.1	26	0.7	16	1.6	38	1.0	24
専門学校 (n= 4944)	1.4	71	0.7	37	1.2	59	0.9	44
希望分野別								
食物栄養学 希望 (n= 1660)	2.2	36	1.9	32	2.6	43	5.2	86
食物栄養学以外 (n=15828)	1.0	160	0.7	109	1.4	220	0.6	101
保健学 希望 (n= 1318)	2.2	29	1.1	15	2.5	33	1.9	25
保健学以外 (n=16170)	1.0	167	0.8	126	1.4	230	1.0	162
体育健康科学 希望 (n= 2670)	1.2	31	0.8	21	1.4	38	1.2	33
体育健康科学以外 (n=14818)	1.1	165	0.8	120	1.5	225	1.0	154
医療技術 希望 (n= 1454)	2.0	29	0.8	12	1.3	19	1.1	16
医療技術以外 (n=16034)	1.0	167	0.8	129	1.5	244	1.1	171

総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻

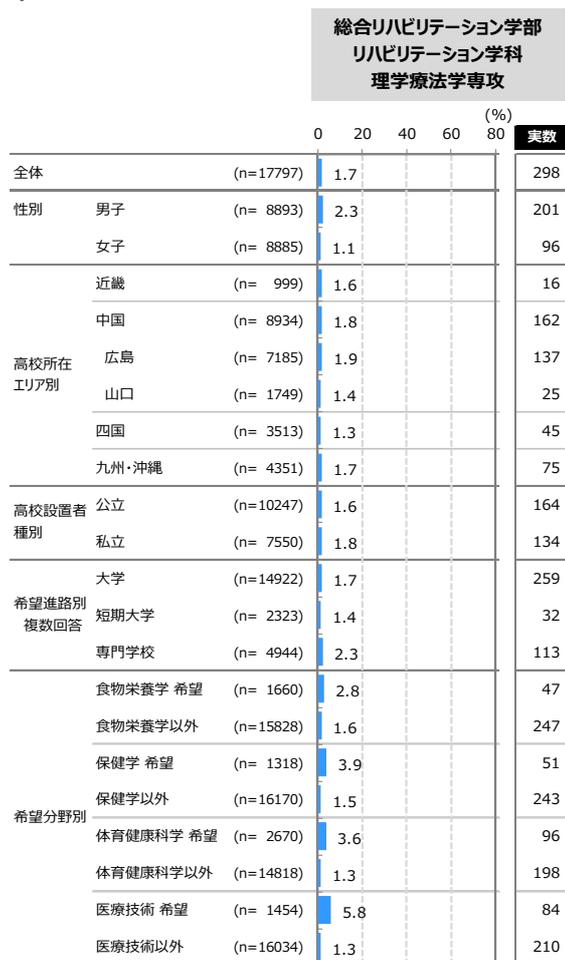
② トップボックス「受験したい」

▶ 総合リハビリテーション学科理学療法学専攻に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の2%。

- ✓ 男子(2%)、女子(1%)とも、「受験したい」はほぼ同程度。
- ✓ 高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1~2%。
- ✓ 希望分野別にみると、「医療技術」希望層の「受験したい」が最も高く、6%。

■ 新学部学科（専攻）受験意向：トップボックス「受験したい」（進学希望／各単一回答）

Q7. 以下の広島国際大学の学科（専攻）をあなたはどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む



保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科

② トップボックス「受験したい」

▶ 医療技術学科臨床検査学専攻に対する受験意向：「受験したい」は、進学希望者の1%。

- ✓性別にみると、男女とも「受験したい」は1%。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1%。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の「受験したい」が最も高く、5%。

▶ 救急救命学科に対する受験意向：「受験意向あり・計」は、進学希望者の1%。

- ✓性別にみると、男女とも「受験したい」は1%。
- ✓高校所在エリア別にみると、いずれのエリアとも「受験したい」は1%。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の「受験したい」が相対的に高く、3%。

■新学部学科（専攻）受験意向：トップボックス「受験したい」（進学希望/各単一回答）

Q7. 以下の広島国際大学の学科（専攻）をあなたはどの程度受験したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとにマークしてください。※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

		保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻			保健医療学部 救急救命学科						
		実数 (%)			実数 (%)						
		0	20	40	60	80	0	20	40	60	80
全体	(n=17797)	1.2					211	1.1			200
性別	男子 (n= 8893)	1.4					123	1.4			128
	女子 (n= 8885)	1.0					87	0.8			71
高校所在 エリア別	近畿 (n= 999)	1.4					14	1.3			13
	中国 (n= 8934)	1.2					109	1.2			108
	広島 (n= 7185)	1.2					88	1.1			80
	山口 (n= 1749)	1.2					21	1.6			28
	四国 (n= 3513)	0.7					26	0.7			25
	九州・沖縄 (n= 4351)	1.4					62	1.2			54
高校設置者 種別	公立 (n=10247)	1.1					114	1.0			102
	私立 (n= 7550)	1.3					97	1.3			98
希望進路別 複数回答	大学 (n=14922)	1.3					196	1.2			175
	短期大学 (n= 2323)	0.9					20	0.9			22
	専門学校 (n= 4944)	1.1					53	1.3			62
希望分野別	食物栄養学 希望 (n= 1660)	2.4					40	1.9			32
	食物栄養学以外 (n=15828)	1.1					168	1.0			163
	保健学 希望 (n= 1318)	3.0					40	2.4			32
	保健学以外 (n=16170)	1.0					168	1.0			163
	体育健康科学 希望 (n= 2670)	1.2					32	1.3			36
	体育健康科学以外 (n=14818)	1.2					176	1.1			159
	医療技術 希望 (n= 1454)	5.2					76	3.2			47
	医療技術以外 (n=16034)	0.8					132	0.9			148



新学科（専攻）の受容性

3. 入学意向

4. 新学科（専攻）への入学意向

① 受験意向あり・計（受験したい～受験先の一つとして検討したい）の入学意向

- ▶ 各学科(専攻)受験意向者に、合格した場合の入学意向を尋ねた。受験意向者の2割以上が「入学したい」と回答。

✓「入学するか検討したい」を含めた「入学意向あり・計」は約9割に達する。

<健康スポーツ学部>

- ▶ 健康スポーツ学科：27%。

<健康科学部>

- ▶ 医療福祉学科：26%。
- ▶ 医療経営学科：20%。
- ▶ 心理学科：22%
- ▶ 医療栄養学科：24%

<総合リハビリテーション学部>

- ▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻：27%

<保健医療学部>

- ▶ 医療技術学科臨床検査学専攻：27%
- ▶ 救急救命学科：29%

■新学部学科（専攻）の入学意向（進学希望者・各学科（専攻）「受験意向あり・計」回答者／各単一回答）

(%)

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。



まとめ

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

①受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)の入学意向

以下、新学科(専攻)受験意向者の入学意向「入学したい」スコアを属性別にみていく。

▶健康スポーツ学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の27%。

- ✓性別にみると、男子の入学意向(28%)が女子(25%)に比べやや高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、中国(28%)。次いで九州・沖縄、四国(いずれも26%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、34%。次いで「保健学」「体育健康科学」希望層が約3割。

■新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験意向あり・計」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。



健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科

①受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)の入学意向

- ▶ **医療福祉学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の26%。**
 - ✓性別にみると、女子の入学意向(28%)が男子(23%)に比べ高い。
 - ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、中国(28%)。次いで近畿(27%)。
 - ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く37%。次いで「保健学」希望層(30%)。
- ▶ **医療経営学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の20%。**
 - ✓性別にみると、入学意向は男女とも20%。
 - ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、中国(22%)。次いで四国(20%)。
 - ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、35%。
- ▶ **心理学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の22%。**
 - ✓性別にみると、入学意向は男女とも22%。
 - ✓高校所在エリア別にみると、入学意向は中国、九州・沖縄、四国(いずれも22%)が並ぶ。
 - ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、31%。
- ▶ **医療栄養学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の24%。**
 - ✓性別にみると、男子(23%)、女子(24%)とも入学意向は同程度。
 - ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、中国(26%)。次いで四国(22%)、九州・沖縄(21%)。
 - ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、31%。

■新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験意向あり・計」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。

	健康科学部 医療福祉学科		健康科学部 医療経営学科		健康科学部 心理学科		健康科学部 医療栄養学科	
	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数
全体 (n= 1502)	26.1	392	20.3	204	21.6	489	23.7	354
性別								
男子 (n= 603)	23.4	141	20.4	113	21.7	204	22.7	122
女子 (n= 898)	27.8	250	19.9	90	21.5	284	24.2	231
高校所在 エリア別								
近畿 (n= 55)	27.3	15	15.1	8	11.3	11	17.0	9
中国 (n= 791)	28.4	225	21.7	112	22.3	264	26.2	206
広島 (n= 629)	30.0	189	23.3	100	22.6	215	26.4	167
山口 (n= 162)	22.2	36	14.1	12	21.1	49	25.5	39
四国 (n= 260)	24.6	64	20.3	31	21.5	89	21.7	55
九州・沖縄 (n= 396)	22.2	88	18.6	53	21.9	125	20.9	84
高校設置者 種別								
公立 (n= 885)	28.7	254	22.0	118	23.7	312	25.5	230
私立 (n= 617)	22.4	138	18.3	86	18.7	177	21.1	124
希望進路別 複数回答								
大学 (n= 1287)	25.5	328	20.7	182	21.8	445	23.4	305
短期大学 (n= 246)	26.4	65	19.1	31	24.9	92	24.3	68
専門学校 (n= 521)	32.2	168	23.1	64	22.3	128	26.3	113
希望分野別								
食物栄養学 希望 (n= 181)	37.0	67	35.4	40	30.5	82	30.9	181
食物栄養学以外 (n= 1303)	24.5	319	18.4	162	20.3	401	18.9	169
保健学 希望 (n= 275)	29.5	81	20.9	24	23.9	52	22.0	49
保健学以外 (n= 1209)	25.2	305	20.3	178	21.3	431	24.0	301
体育健康科学 希望 (n= 239)	23.8	57	17.9	26	23.5	71	20.3	51
体育健康科学以外 (n= 1245)	26.4	329	20.7	176	21.2	412	24.4	299
医療技術 希望 (n= 255)	25.9	66	19.1	29	20.7	41	19.1	39
医療技術以外 (n= 1229)	26.0	320	20.5	173	21.6	442	24.4	311

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

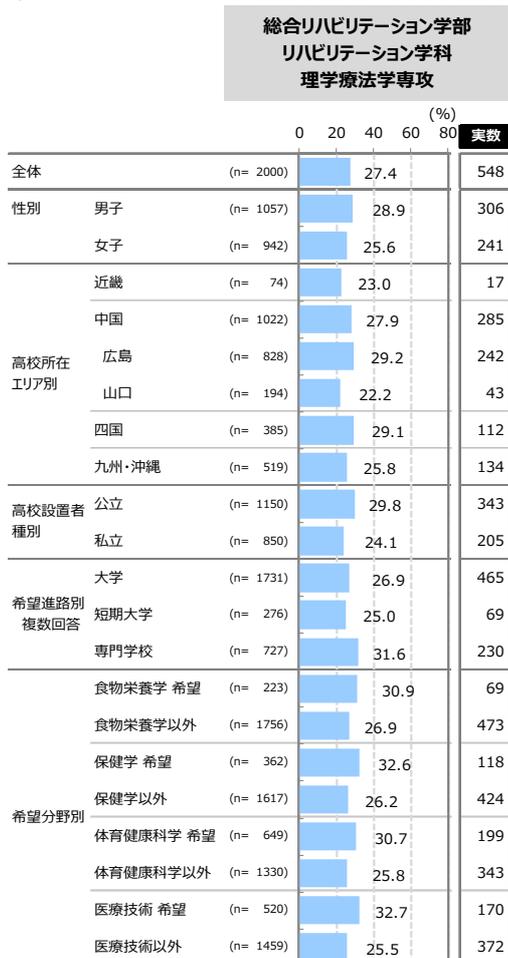
① 受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)の入学意向

▶ 総合リハビリテーション学科理学療法学専攻に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の27%。

- ✓性別にみると、男子の入学意向(29%)が女子(26%)に比べやや高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、四国(29%)。次いで僅差で中国(28%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」「保健学」「体育健康科学」「医療技術」希望層はいずれも3割以上が入学意向あり。

■ 新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験意向あり・計」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。



保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科

① 受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)の入学意向

▶ 医療技術学科臨床検査学専攻に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の27%。

- ✓性別にみると、入学意向は男女とも27%。
- ✓高校所在エリア別にみると、入学意向は、九州・沖縄(28%)、近畿、中国(いずれも27%)、四国(26%)いずれもほぼ同率で並ぶ。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の入学意向が最も高く、34%。「食物栄養学」「保健学」「体育健康科学」希望層も約3割が入学意向あり。

▶ 救急救命学科に対する入学意向：「入学したい」は、受験意向者の29%。

- ✓性別にみると、男子(28%)、女子(29%)とも入学意向は同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、中国(30%)。次いで、九州・沖縄(28%)、四国(27%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、37%。「保健学」「医療技術」「体育健康科学」希望層も3割以上が入学意向あり。

■ 新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験意向あり・計」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。

	保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻		保健医療学部 救急救命学科	
	(%)	実数	(%)	実数
全体	27.1	380	28.5	407
性別				
男子	27.1	173	27.7	195
女子	27.1	206	29.1	211
高校所在 エリア別				
近畿	27.3	15	24.2	15
中国	27.0	174	29.5	195
広島	27.7	144	30.2	156
山口	24.2	30	27.3	39
四国	26.2	68	27.3	72
九州・沖縄	27.8	123	28.2	125
高校設置者 種別				
公立	28.6	231	31.0	240
私立	25.0	149	25.5	167
希望進路別 複数回答				
大学	27.3	352	28.1	349
短期大学	30.4	56	29.4	55
専門学校	33.0	125	33.6	140
希望分野別				
食物栄養学 希望	31.0	54	37.1	59
食物栄養学以外	26.5	322	27.4	343
保健学 希望	28.7	84	34.8	89
保健学以外	26.6	292	27.1	313
体育健康科学 希望	31.1	66	30.3	82
体育健康科学以外	26.3	310	28.0	320
医療技術 希望	33.6	182	32.6	105
医療技術以外	22.9	194	27.2	297

4. 新学科（専攻）への入学意向： ② トップボックス「受験したい」意向者の入学意向

- ▶ 各学科(専攻) 受験意向トップボックス「受験したい」意向者に、合格した場合の入学意向を尋ねた。
「受験したい」意向者の約7割以上が「入学したい」と回答。

✓「入学するか検討したい」を含めた「入学意向あり・計」は8～9割に達する。

<健康スポーツ学部>

- ▶ 健康スポーツ学科：76%。

<健康科学部>

- ▶ 医療福祉学科：75%。
- ▶ 医療経営学科：69%。
- ▶ 心理学科：74%
- ▶ 医療栄養学科：72%

<総合リハビリテーション学部>

- ▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻：80%

<保健医療学部>

- ▶ 医療技術学科臨床検査学専攻：75%
- ▶ 救急救命学科：82%

■新学部学科（専攻）の入学意向（進学希望者・各学科（専攻）「受験したい」回答者／各単一回答）

(%)

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。



まとめ

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

② トップボックス「受験したい」意向者の入学意向

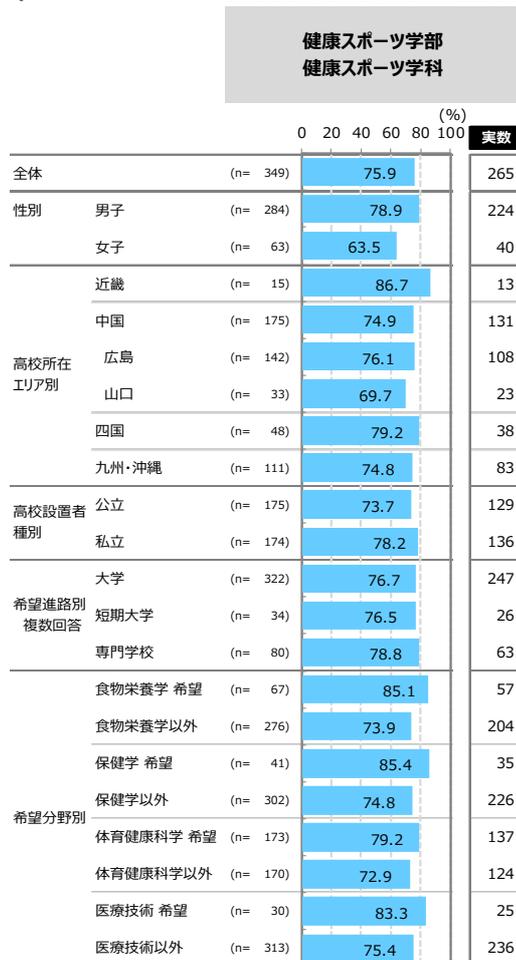
以下、新学科(専攻)受験意向トップボックス「受験したい」意向者の入学意向「入学したい」スコアを属性別にみていく。

▶ 健康スポーツ学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の76%。

- ✓性別にみると、男子の入学意向(79%)が女子(64%)に比べ高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、近畿(87%)。次いで四国(79%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」「保健学」希望層の入学意向が最も高く、いずれも85%。

■ 新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験したい」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。



健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科

② トップボックス「受験したい」意向者の入学意向

▶ 医療福祉学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の75%。

- ✓性別にみると、男子(74%)、女子(76%)とも入学意向は同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、近畿(79%)。次いで中国(76%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が突出しており、94%。

▶ 医療経営学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の69%。

- ✓性別にみると、女子の入学意向(75%)が男子(67%)に比べ高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、入学意向は近畿(88%)が他エリアに比べ高い。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く84%。「医療技術」「保健学」希望層も8割。

▶ 心理学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の74%。

- ✓性別にみると、男子(75%)、女子(73%)とも入学意向は同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、近畿(88%)。次いで九州・沖縄、四国(いずれも80%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、88%。次いで「医療技術」希望層(79%)。

▶ 医療栄養学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の72%。

- ✓性別にみると、男子(71%)、女子(73%)とも入学意向は同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、近畿(80%)。次いで九州・沖縄(75%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、83%。次いで「保健学」希望層(80%)。

■新学部学科(専攻)入学意向：「入学したい」(進学希望・各学科(専攻)「受験したい」/各単一回答)

Q8. 以下の広島国際大学の学科(専攻)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科(専攻)ごとに、マークしてください。

	健康科学部 医療福祉学科		健康科学部 医療経営学科		健康科学部 心理学科		健康科学部 医療栄養学科	
	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数
全体	74.5	149	69.4	100	74.2	198	72.1	137
性別								
男子	73.1	79	67.0	69	75.2	109	71.4	75
女子	75.8	69	75.0	30	72.7	88	72.6	61
高校所在 エリア別								
近畿	78.6	11	87.5	7	87.5	7	80.0	8
中国	75.9	82	69.0	49	69.4	102	69.9	72
広島	79.8	75	67.7	42	69.8	88	75.9	60
山口	50.0	7	77.8	7	66.7	14	50.0	12
四国	72.0	18	68.2	15	79.5	31	72.4	21
九州・沖縄	71.7	38	67.4	29	79.5	58	75.0	36
高校設置者 種別								
公立	74.3	75	70.4	50	73.3	107	71.8	74
私立	74.7	74	68.5	50	75.2	91	72.4	63
希望進路別 複数回答								
大学	75.7	131	73.6	92	75.2	182	73.4	124
短期大学	65.4	17	62.5	10	73.7	28	75.0	18
専門学校	81.7	58	64.9	24	78.0	46	77.3	34
希望分野別								
食物栄養学 希望	94.4	34	84.4	27	88.4	38	82.6	71
食物栄養学以外	70.0	112	65.1	71	71.4	157	63.4	64
保健学 希望	75.9	22	80.0	12	75.8	25	80.0	20
保健学以外	74.3	124	68.3	86	73.9	170	71.0	115
体育健康科学 希望	64.5	20	57.1	12	76.3	29	66.7	22
体育健康科学以外	76.4	126	71.7	86	73.8	166	73.4	113
医療技術 希望	79.3	23	83.3	10	78.9	15	75.0	12
医療技術以外	73.7	123	68.2	88	73.8	180	71.9	123

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

② トップボックス「受験したい」意向者の入学意向

▶ 総合リハビリテーション学科理学療法学専攻に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の80%。

- ✓性別にみると、男子の入学意向(81%)が女子(77%)に比べやや高い。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、四国(87%)。次いで近畿(81%)、中国(79%)。
- ✓希望分野別にみると、「医療技術」希望層の入学意向が最も高く、87%。次いで「食物栄養学」「体育健康科学」希望層も8割以上。

■新学部学科（専攻）入学意向：「入学したい」（進学希望・各学科（専攻）「受験したい」／各単一回答）
Q8. 以下の広島国際大学の学科（専攻）を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。



保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科

② トップボックス「受験したい」意向者の入学意向

▶ 医療技術学科臨床検査学専攻に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の75%。

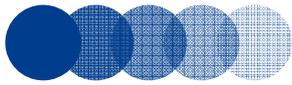
- ✓性別にみると、男子(76%)、女子(74%)とも入学意向は同程度。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も入学意向が高いエリアは、近畿(86%)。次いで九州・沖縄(82%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の入学意向が最も高く、85%。次いで「医療技術」希望層(79%)。

▶ 救急救命学科に対する入学意向：「入学したい」は、「受験したい」意向者の82%。

- ✓性別にみると、入学意向は男女とも82%。
- ✓高校所在エリア別にみると、最も受験意向が高いエリアは、近畿(92%)。次いで四国(84%)、中国(82%)。
- ✓希望分野別にみると、「食物栄養学」希望層の受験意向が最も高く、91%。次いで「医療技術」希望層(89%)。「保健学」「体育健康科学」希望層も8割以上。

■ 新学部学科（専攻）入学意向：「入学したい」（進学希望・各学科（専攻）「受験したい」／各単一回答）
Q8. 以下の広島国際大学の学科（専攻）を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。

	保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻		保健医療学部 救急救命学科	
	(%)	実数	(%)	実数
全体	75.4	159	82.0	164
性別				
男子	76.4	94	82.0	105
女子	73.6	64	81.7	58
高校所在 エリア別				
近畿	85.7	12	92.3	12
中国	70.6	77	82.4	89
広島	72.7	64	82.5	66
山口	61.9	13	82.1	23
四国	73.1	19	84.0	21
九州・沖縄	82.3	51	77.8	42
高校設置者 種別				
公立	72.8	83	82.4	84
私立	78.4	76	81.6	80
希望進路別 複数回答				
大学	77.0	151	83.4	146
短期大学	75.0	15	72.7	16
専門学校	79.2	42	85.5	53
希望分野別				
食物栄養学 希望	85.0	34	90.6	29
食物栄養学以外	73.2	123	80.4	131
保健学 希望	75.0	30	81.3	26
保健学以外	75.6	127	82.2	134
体育健康科学 希望	65.6	21	80.6	29
体育健康科学以外	77.3	136	82.4	131
医療技術 希望	78.9	60	89.4	42
医療技術以外	73.5	97	79.7	118



調査結果まとめ

新学科（専攻）への受験・入学意向者数 まとめ①

▶ 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

- ✓健康スポーツ学部 健康スポーツ学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて(受験意向者・計)2,638人に対して入学意向を質問した結果、711人(27.0%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、60名の入学定員(予定)の11.9倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ349人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、265人(75.9%)となり、入学定員(予定)の4.4倍となる。【条件2】

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	2,638	人
	入学意向者 「入学したい」	711	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	349	人
	入学意向者 「入学したい」	265	人
入学定員(予定)		60	人

▶ 健康科学部 医療福祉学科

- ✓健康科学部 医療福祉学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて(受験意向者・計)1,502人に対して入学意向を質問した結果、392人(26.1%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、100名の入学定員(予定)の3.9倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ200人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、149人(74.5%)となり、入学定員(予定)の1.5倍となる。【条件2】

健康科学部 医療福祉学科 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	1,502	人
	入学意向者 「入学したい」	392	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	200	人
	入学意向者 「入学したい」	149	人
入学定員(予定)		100	人

▶ 健康科学部 医療経営学科

- ✓健康科学部 医療経営学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて(受験意向者・計)1,006人に対して入学意向を質問した結果、204人(20.3%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、90名の入学定員(予定)の2.3倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ144人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、100人(69.4%)となり、入学定員(予定)の1.1倍となる。【条件2】

健康科学部 医療経営学科 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	1,006	人
	入学意向者 「入学したい」	204	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	144	人
	入学意向者 「入学したい」	100	人
入学定員(予定)		90	人

▶ 健康科学部 心理学科

- ✓健康科学部 心理学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて(受験意向者・計)2,262人に対して入学意向を質問した結果、489人(21.6%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、100名の入学定員(予定)の4.9倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ267人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、198人(74.2%)となり、入学定員(予定)の2.0倍となる。【条件2】

健康科学部 心理学科 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	2,262	人
	入学意向者 「入学したい」	489	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	267	人
	入学意向者 「入学したい」	198	人
入学定員(予定)		100	人

新学科（専攻）への受験・入学意向者数 まとめ②

▶ 健康科学部 医療栄養学科

- ✓健康科学部 医療栄養学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて（受験意向者・計）1,402人に対して入学意向を質問した結果、354人(23.7%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、60名の入学定員(予定)の5.9倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ190人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、137人(72.1%)となり、入学定員(予定)の2.3倍となる。【条件2】

健康科学部 医療栄養学科 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	1,492	人
	入学意向者 「入学したい」	354	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	190	人
	入学意向者 「入学したい」	137	人
入学定員（予定）		60	人

▶ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

- ✓総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて（受験意向者・計）2,000人に対して入学意向を質問した結果、548人(27.4%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、80名の入学定員(予定)の6.9倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ298人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、237人(79.5%)となり、入学定員(予定)の3.0倍となる。【条件2】

総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻 入学意向の結果

条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	2,000	人
	入学意向者 「入学したい」	548	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	298	人
	入学意向者 「入学したい」	237	人
入学定員（予定）		80	人

▶ 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

- ✓保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて（受験意向者・計）1,402人に対して入学意向を質問した結果、380人(27.1%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、50名の入学定員(予定)の7.6倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ211人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、159人(75.4%)となり、入学定員(予定)の3.2倍となる。【条件2】

保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻 入学意向の結果

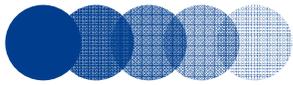
条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	1,402	人
	入学意向者 「入学したい」	380	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	211	人
	入学意向者 「入学したい」	159	人
入学定員（予定）		50	人

▶ 保健医療学部 救急救命学科

- ✓保健医療学部 救急救命学科に「受験したい」または「受験先の一つとして検討したい」と回答した受験意向者すべて（受験意向者・計）1,430人に対して入学意向を質問した結果、407人(28.5%)が「入学したい」と回答。入学意向者数は、50名の入学定員(予定)の8.1倍となる。【条件1】
- ✓また、受験意向者の条件を「受験したい」のみ200人に絞り込んだ場合の入学意向者の人数は、164人(82.0%)となり、入学定員(予定)の3.3倍となる。【条件2】

保健医療学部 救急救命学科 入学意向の結果

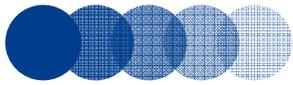
条件1	受験意向者・計 「受験意向あり・計(受験したい～受験先の一つとして検討したい)」	1,430	人
	入学意向者 「入学したい」	407	人
条件2	受験意向者 「受験したい」	200	人
	入学意向者 「入学したい」	164	人
入学定員（予定）		50	人



調査対象校・有効回答数

調査対象校

都道府県	高校名	調査数	都道府県	高校名	調査数	都道府県	高校名	調査数	
大阪	常翔学園高等学校	611	山口	山口県立高森高等学校	110	宮崎	宮崎県立高鍋高等学校	61	
	常翔啓光学園高等学校	403		山口県立熊本南高等学校	94		宮崎学園高等学校	25	
広島	ノートルダム清心高等学校	184		山口県立光高等学校	134		宮崎日本大学高等学校	113	
	広島県立宮島工業高等学校	262		山口県立新南陽高等学校	153		日向学院高等学校	90	
	広島県立瀬戸田高等学校	14		山口県立光丘高等学校	113		宮崎第一高等学校	135	
	広島県立西城紫水高等学校	32		山口県立大津緑洋高等学校	80	延岡学園高等学校	178		
	広島県立庄原格致高校	106		山口県立防府商工高等学校	234	鹿児島	鹿児島県立国分高等学校	67	
	広島県立上下高等学校	20		慶進高等学校	70		鹿児島実業高等学校	453	
	広島県立尾道北高等学校	194		宇部フロンティア大学付属香川高等学校	100	沖縄	沖縄県立名護高等学校	253	
	広島県立安古市高等学校	79		梅光学院高等学校	67				
	AICJ高等学校	91		早稲高等学校	97				
	広島県立三次高等学校	191		山口県立西京高等学校	147				
	広島県立広島高等学校	185		山口県立豊浦高等学校	186				
	崇徳高等学校	90		山口県立下関中等教育学校	100				
	銀河学院中・高等学校	83		山口県桜ヶ丘高等学校	71				
	広島県立賀茂高等学校	217		誠英高等学校	231				
	広島県立呉宮原高等学校	193		高川学園高等学校	83				
	広島県立神辺旭高等学校	40		香川	香川県立高松東高等学校	239			
	広島新庄高等学校	105			香川県立善通寺第一高等学校	145			
	武田高等学校	146			高松中央高等学校	260			
	盈進高等学校	91			香川県大手前高松高等学校	56			
	広島県立福山葦陽高等学校	72			香川県立三本松高等学校	143			
	広島県立福山明玉台高等学校	306			大手前丸亀高等学校	126			
	広島県立庄原実業高等学校	95			香川県立高松北高等学校	124			
	呉港高等学校	116			愛媛	愛媛県立川之江高等学校	135		
	清水ヶ丘高等学校	104		愛媛県立新居浜東高等学校		37			
	広島県立安芸府中高等学校	186		愛媛県立西条高等学校		99			
	山陽女子学園高等部	123		愛媛県立丹原高等学校		66			
	広島県立世羅高等学校	126		愛媛県立今治北高等学校		70			
	広島県立千代田高等学校	55		愛媛県立大洲高等学校		194			
	広島県立油木高等学校	65		愛媛県立八幡浜高等学校		151			
	広島県立熊野高等学校	153	愛媛県立野村高等学校	46					
	広島県立加計高等学校	28	愛媛県立伊予高等学校	136					
	広島県立安芸高等学校	112	愛媛県立今治中等教育学校	68					
	広島県立三原東高等学校	119	愛媛県立宇和島南中等教育学校	155					
	呉青山高等学校	33	新田高等学校	344					
	広島県立音戸高等学校	39	済美高等学校	36					
	広島県立呉商業高等学校	154	今治精華高等学校	54					
	広島市立広島商業高等学校	40	松山聖陵高等学校	66					
	広島翔洋高等学校	208	高知	高知県立高知西高等学校	277				
並木学院高等学校	13	土佐女子高等学校		224					
広島県立向原高等学校	39	高知高等学校		189					
広島県立広島工業高等学校	276	土佐塾高等学校		196					
広島県立広島商業高等学校	300	高知県立高知丸の内高等学校		144					
広島県立大竹高等学校	24	福岡	福岡県立伝習館高等学校	183					
広島県立福山商業高等学校	167		福岡県立鞍手高等学校	80					
広島県立三次青陵高等学校	74		福岡県立北筑高等学校	76					
広島県立湯来南高等学校	28		東筑紫学園高等学校	40					
広島県立呉三津田高等学校	186		九州国際大学付属高等学校	200					
広島県立広島皆実高等学校	40		福岡大学附属大濠高等学校	79					
広島県立廿日市高等学校	272		筑紫台高等学校	120					
広島県立高陽高等学校	78		筑紫女子学園高等学校	120					
広島県立西条農業高等学校	266		東福岡高等学校	389					
広島県立忠海高等学校	79		福岡雙葉高等学校	171					
広島県立安西高等学校	188		福岡県立嘉穂高等学校	118					
広島県立呉昭和高等学校	77		福岡市立福岡西陵高等学校	299					
広島県立竹原高等学校	88		佐賀	佐賀県立伊万里高等学校	40				
広島県立大柿高等学校	25			佐賀県立鹿島高等学校	187				
広島県立黒瀬高等学校	83		長崎	長崎県立諫早高等学校	40				
広島県立因島高等学校	29			海星高等学校	98				
広島県立佐伯高等学校	21	長崎南山高等学校		150					
広島市立広島工業高等学校	240	長崎県立長崎南高等学校		259					
広島市立沼田高等学校	307	熊本	熊本県立八代高等学校	81					
広島県立広島国泰寺高等学校	75		大分	岩田高等学校	89				
広島国際学院高等学校	361	大分県立別府鶴見丘高等学校		75					
広島県立総合技術高等学校	213	大分高等学校		122					
呉市立呉高等学校	158	大分県立大分西高等学校		228					
広陵高等学校	303								
広島県瀬戸内高等学校	390								



調査票・呈示資料

ここからは、**広島国際大学で新設もしくは改組、定員増を行う学部・学科・専攻**のことについてお聞きします。
 別途お配りした『学部・学科・専攻 紹介リーフレット』をよくお読みいただき、
お答えください。

問5. 広島国際大学の以下の学科（専攻）の中で、あなたが興味や関心のある学科（専攻）はありますか。
 あてはまるものをすべてマークしてください。（いくつでもマーク）
 ※全て興味・関心がない方は、「9. この中に興味や関心のある学科はない」をお選びください。

【健康スポーツ学部】	① 健康スポーツ学科
【健康科学部】	② 医療福祉学科 ③ 医療経営学科 ④ 心理学科 ⑤ 医療栄養学科
【総合リハビリテーション学部】	⑥ リハビリテーション学科 理学療法学専攻
【保健医療学部】	⑦ 医療技術学科 臨床検査学専攻 ⑧ 救急救命学科
	⑨ この中に興味や関心のある学科はない

問6. 問5で選んだ学科（専攻）それぞれについて、「興味関心がある」理由としてあてはまるものをすべてマークしてください。（いくつでもマーク）

		問6. その学科に「興味関心」がある理由					
		1	2	3	4	5	
		「学科の内容」が魅力的	「想定される進路」が魅力的	「養成する人材像」が魅力的	大学全体が魅力的	取得資格	
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	➡	①	②	③	④	⑤
	健康科学部						
	医療福祉学科	➡	①	②	③	④	⑤
	医療経営学科	➡	①	②	③	④	⑤
	心理学科	➡	①	②	③	④	⑤
	医療栄養学科	➡	①	②	③	④	⑤
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	➡	①	②	③	④	⑤
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	➡	①	②	③	④	⑤
	救急救命学科	➡	①	②	③	④	⑤

調査票 ③

問7. 以下の広島国際大学の学科（専攻）を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。
それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。（それぞれひとつにマーク）

※一般・センター利用をはじめAO・推薦含む

			受験したい	受験先の 一つとして 検討したい	あまり 受験したく ない	受験したく ない
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	➡	①	②	③	④
健康科学部	医療福祉学科	➡	①	②	③	④
	医療経営学科	➡	①	②	③	④
	心理学科	➡	①	②	③	④
	医療栄養学科	➡	①	②	③	④
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	➡	①	②	③	④
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査専攻	➡	①	②	③	④
	救急救命学科	➡	①	②	③	④

問8. 以下の広島国際大学の学科（専攻）を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科（専攻）ごとに、マークしてください。（それぞれひとつにマーク）

			入学したい	入学するか 検討したい	あまり 入学したく ない	入学したく ない
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	➡	①	②	③	④
健康科学部	医療福祉学科	➡	①	②	③	④
	医療経営学科	➡	①	②	③	④
	心理学科	➡	①	②	③	④
	医療栄養学科	➡	①	②	③	④
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	➡	①	②	③	④
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査専攻	➡	①	②	③	④
	救急救命学科	➡	①	②	③	④

調査票 ④

問8で、「1. 入学したい」にマークをつけた学科（専攻）があった方にお聞きします。

※ひとつもなかった方は終了です。

問9. 「もっとも入学したいと思う学科（専攻）」と「2番目に入学したいと思う学科（専攻）」はどれですか。
下記の各回答欄に、あてはまる学科の番号をマークしてください。

※この表は回答欄ではありません

【健康スポーツ学部】	① 健康スポーツ学科
【健康科学部】	② 医療福祉学科 ③ 医療経営学科 ④ 心理学科 ⑤ 医療栄養学科
【総合リハビリテーション学部】	⑥ リハビリテーション学科 理学療法学専攻
【保健医療学部】	⑦ 医療技術学科 臨床検査学専攻 ⑧ 救急救命学科

もっとも入学したいもの

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

2番目に入学したいもの

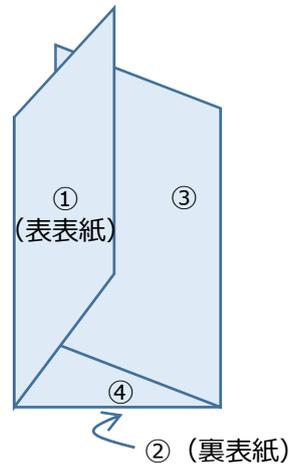
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

※該当するものがない方は空白にしてください

質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。

呈示資料

✓※新学部・新学科の概要は、紹介リーフレット（三つ折）を用いて伝えた。



① (表表紙)

② (裏表紙)

③

20th
20th Anniversary

広島国際大学 新学部、始動。

健康スポーツ学部 新設
健康スポーツ学科

健康科学部 改組
医療福祉学科 医療経営学科 心理学科 臨床栄養学科

保健医療学部 総合リハビリテーション学部 定員増

2020年4月新設・改組予定 (設置構想中)
※内容は最終決定であり、変更になる可能性があります。

HiU 広島国際大学
HiU International University

健康スポーツ学部 (部)

学部	学科	入学定員	定員割当率	専攻人数	専攻率
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	100	0	0	0%

健康科学部 (部)

学部	学科	入学定員	定員割当率	専攻人数	専攻率
健康科学部	医療福祉学科	100	0	0	0%
健康科学部	医療経営学科	100	0	0	0%
健康科学部	心理学科	100	0	0	0%
健康科学部	臨床栄養学科	100	0	0	0%

総合リハビリテーション学部 (部)

学部	学科	入学定員	定員割当率	専攻人数	専攻率
総合リハビリテーション学部	総合リハビリテーション学科	100	0	0	0%

キャンパスマップ

健康スポーツ学部
健康スポーツ学科 (仮称 設置構想中)

さまざまな場面で活躍する、健康づくりのプロフェッショナルになる。
地域や企業から求められるスキルを身につけ、人々の健康づくりに関与する。
健康づくりの現場で活躍する「健康づくりのスペシャリスト」になる。

専門性を高め、目指す資格や就業先に応じて4つの履修モデルを設定

メディカルフィットネストレーナーモデル
スポーツ教育・指導者・スクールのトレーナーモデル
健康・体力づくり支援モデル
スポーツ行政・地域づくり支援モデル

④

健康科学部
(仮称 設置構想中)

「ともにしあわせになる学び舎」の実現に向けて、
新たな一歩を踏み出します。

健康に関する学びを他に幅広い学問領域を横断的に学ぶ教育プログラム
「健康×スポーツ×食×生活×こころ×マネジメント」

健康科学部
健康スポーツ学部

医療福祉学科
医療経営学科
心理学科
臨床栄養学科

総合リハビリテーション学部

リハビリテーション学科 (理学療法専攻)

保健医療学部

医療技術学科 (臨床検査専攻)

救急救命学科 (理学)

広告社株式会社
KOKOKUSHA K.K.

学科・専攻別 就職希望者数、求人件数の推移（平成25年度～平成29年度）

1. 対象者 各年度卒業予定者
2. 集計日 各年度 5月1日

	平成25年度 平成26年5月1日集計		平成26年度 平成27年5月1日集計		平成27年度 平成28年5月1日集計		平成28年度 平成29年5月1日集計		平成29年度 平成30年5月1日集計		
	就職希望者	求人件数									
保健医療	臨床検査学		32	382	33	385	42	398	41	396	
	救急救命学						31	23	24	17	
総合リハビリテーション	理学療法学	57	757	60	1,100	48	1,084	65	1,034	55	990
	作業療法学			39	1,094	36	1,138	49	1,094	44	1,067
	言語聴覚療法学							19	756	27	748
	義肢装具学							13	168	15	164
医療福祉	医療福祉・介護福祉学・保育学	63	946	75	1,160	75	1,284	78	595	92	516
医療経営	医療経営	69	234	99	268	100	237	90	276	77	272
心理	心理	55	1,701	69	2,161	53	2,262	50	2,469	50	2,904
医療栄養	医療栄養								50	293	5.9

注1) 平成29年度設置学科・専攻を基本とし、旧学科生は夫々の学科・専攻に記載する。
 注2) 心理学の求人件数は、学科不問に記載している。

進路決定状況（平成25年度～平成29年度）

学部	学科	専攻	平成25年度 平成26年5月1日集		平成26年度 平成27年5月1日集		平成27年度 平成28年5月1日集計		平成28年度 平成29年5月1日集計		平成29年度 平成30年5月1日集計		
			就職希望者	就職決定者	就職希望者	就職決定者	就職希望者	就職決定者	就職希望者	就職決定者	就職希望者	就職決定者	就職希望者
保健医療	医療技術	臨床検査学	—	—	32	32	33	29	42	41	40	41	40
		救急救命学	—	—	—	—	—	—	31	31	24	24	24
総合リハビリテーション	リハビリテーション	理学療法学	57	57	60	60	48	48	65	65	55	55	55
		作業療法学	—	—	39	39	36	36	49	49	44	44	44
	言語聴覚療法学	—	—	—	—	—	—	—	19	19	27	27	27
	リハビリテーション支援	—	—	—	—	—	—	—	13	13	15	15	15
医療福祉	医療福祉	63	63	75	75	75	75	78	78	92	92	92	
	医療経営	69	69	99	96	100	95	90	87	77	74	77	
心理科	臨床心理	55	51	69	67	53	50	50	48	50	49	49	
医療栄養	医療栄養	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	50	

注1) 平成29年度設置学科・専攻を基本とし、旧学科生は夫々の学科・専攻に記載する。

広島国際大学 御中



広島国際大学
学部/学科に関するアンケート

【企業対象】
調査結果 報告書

2019年2月4日

目次

✓目次	3
✓調査概要【企業】	4
▶回答企業・団体プロフィール	5
✓1. 主業種／正社員数	6
✓2. 新卒採用者の最終学歴	7
✓3. 2018年4月の大学新卒者の採用人数：新卒採用企業	8
✓4. 2019年4月の新卒採用数の増減	9
✓5. 今後の新卒採用対象となる最終学歴	10
✓6. 今後の新卒採用で重視する能力	11
▶新学科（専攻）の受容性	13
✓1. 新学科（専攻）への期待度	14
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	15
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	16
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	17
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	18
✓2. 新学科（専攻）卒業生の採用意向	19
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	20
健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科	21
総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	22
保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科	23
▶資料：調査票・呈示資料	

調査概要【企業】

▶ 調査目的

✓ 広島国際大学で設置を計画している新学部・新学科について、企業に採用意向等を調査し、受容性を確認する。

▶ 調査対象

✓ 全国の広島国際大学への求人実績のある企業・団体（1,047事業所に配布）

▶ 調査方法

✓ 郵送配布・回収によるアンケート調査

▶ 回収数

✓ 回収数： 296社（回収率28.3%）

▶ 調査期間

✓ 2018年10月24日（水）発送開始 ～ 2019年1月11日（金）到着分までを集計・分析対象としている。

■ 事業所エリア（全体／企業・事業所の所在地より分類）

調査数	関東				北陸	東海			近畿					中国				四国			九州・沖縄						
	茨城県	群馬県	東京都	神奈川県	富山県	愛知県	三重県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	沖縄県
296	0.3%	0.3%	5.1%	0.7%	0.3%	0.7%	0.3%	1.0%	4.7%	1.7%	0.7%	0.3%	0.3%	2.7%	2.7%	63.9%	4.1%	2.0%	3.4%	0.3%	1.7%	0.7%	0.7%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
	1社	1社	15社	2社	1社	2社	1社	3社	14社	5社	2社	1社	1社	8社	8社	189社	12社	6社	10社	1社	5社	2社	2社	1社	1社	1社	1社
	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄																				
	6.4%	0.3%	1.0%	8.4%	73.6%	5.7%	4.4%																				
	19社	1社	3社	25社	218社	17社	13社																				

調査概要



回答企業・団体プロフィール

1. 主業種／正社員数

<主業種>

▶「医療機関」(26%)が最も多く、「社会保険・社会福祉・介護事業」(24%)、「卸売・小売業」(17%)が続く。これら3業種が全体の約7割を占める。

✓事業所エリア別にみると、東日本は「卸売・小売業」、中国地方は「社会保険・社会福祉・介護事業」、近畿、四国、九州・沖縄は「医療機関」がそれぞれ3~4割以上で最多。

<正社員数>

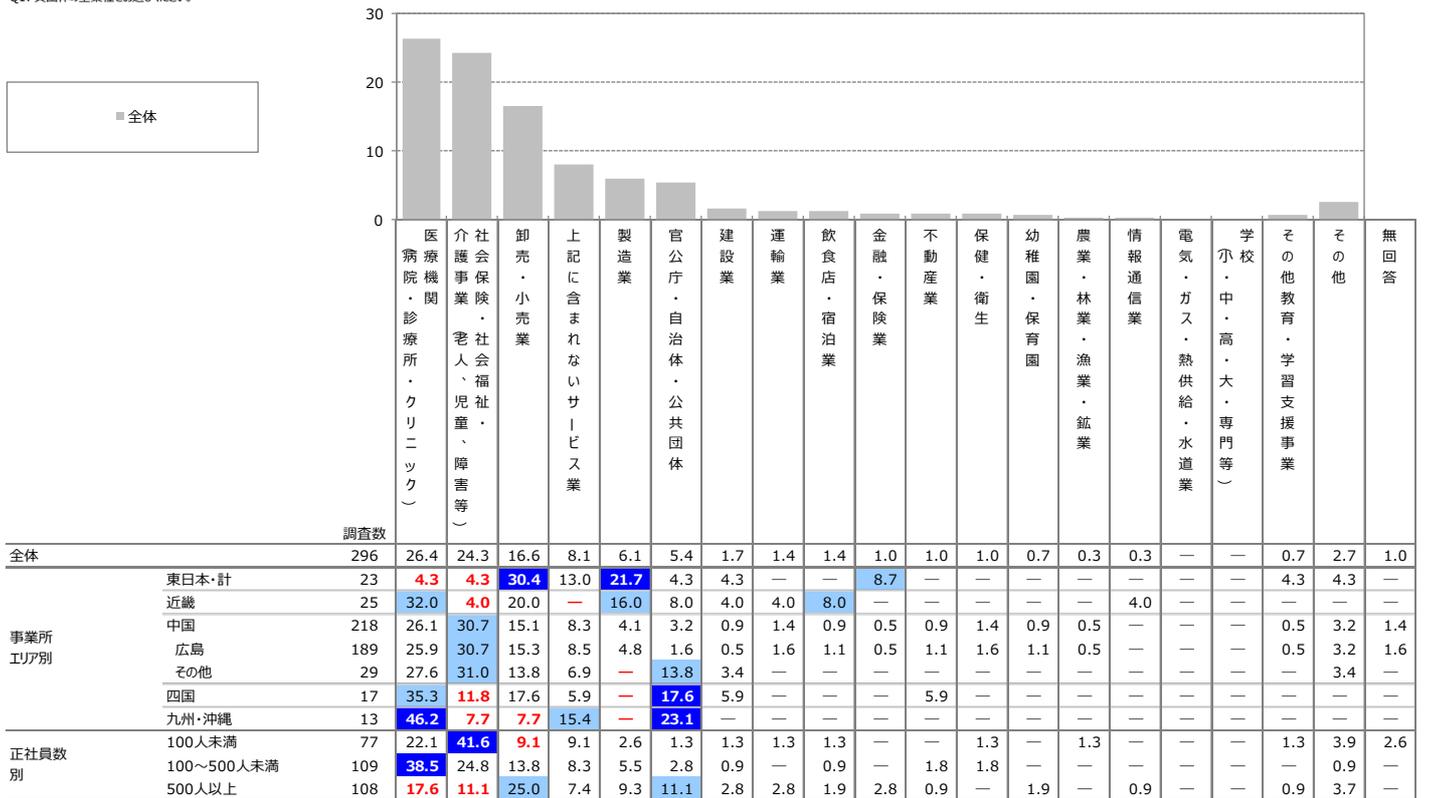
▶「100~500人未満」(37%)の割合が最も高く、「100人未満」(26%)が続く。

✓事業所エリア別にみると、500人以上の企業は東日本(83%)、近畿(72%)で割合が高く、過半数。

✓業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生では「100~500人未満」(46%)の割合が最も高く、500人未満の企業が8割を占める。

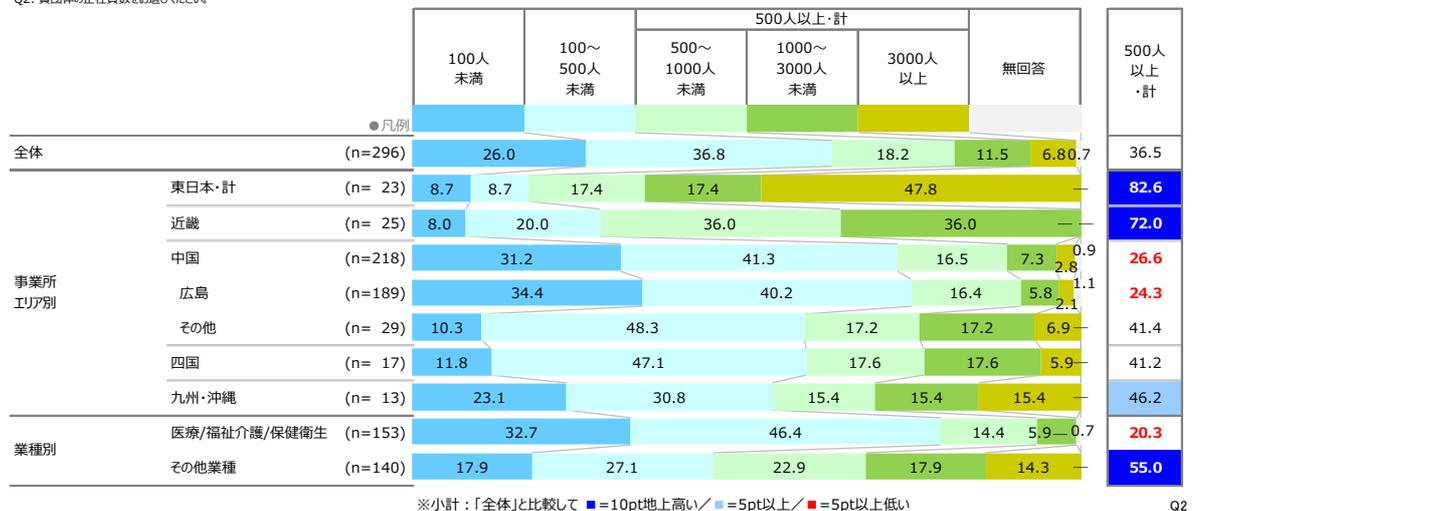
■主業種 (全体/単一回答)

Q1. 貴団体の主業種をお選びください。



■正社員数 (全体/単一回答)

Q2. 貴団体の正社員数をお選びください。

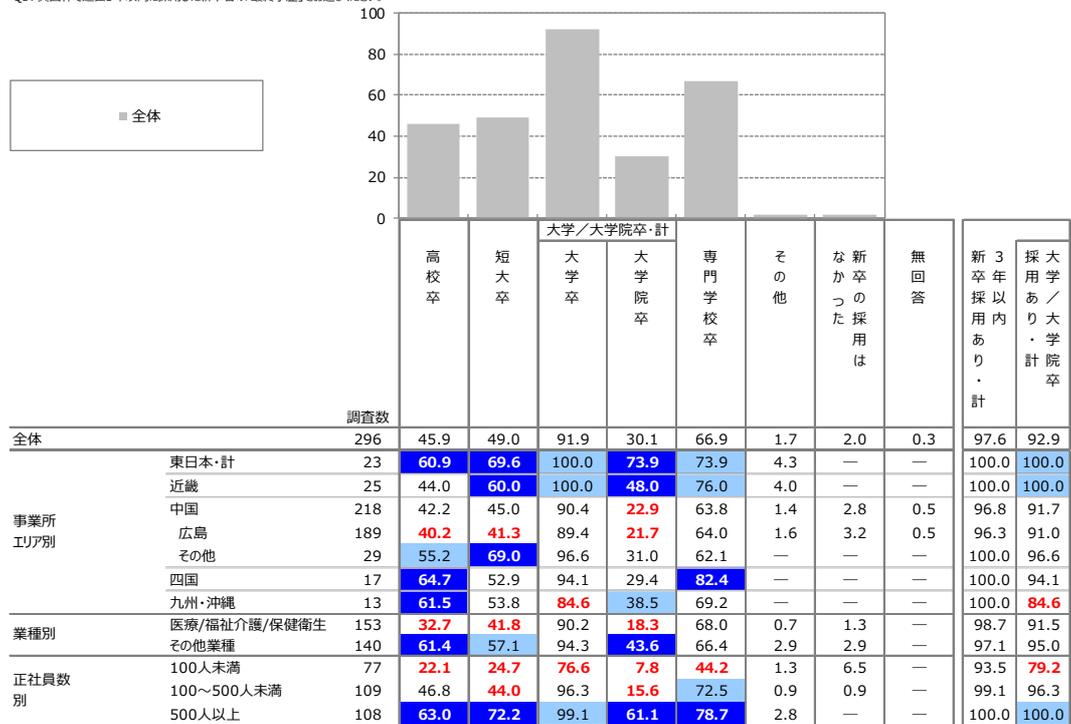


2. 新卒採用者の最終学歴

- ▶ 調査回答企業ほぼすべて(98%)が過去3年以内に新卒採用を実施。
- ▶ 「大学卒」を採用している企業は全体の93%。
 - ✓ 事業所エリア別にみると、「大学卒」採用の割合は九州・沖縄を除く全エリアで9割超。九州・沖縄の「大学卒」の割合は8割超。
 - ✓ 業種別にみると、いずれも「大学卒」採用の割合は9割超。
 - ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど「大学卒」採用の割合が高い。100人以上の企業で「大学卒」の割合は9割超に達する。

■過去3年以内の新卒採用者の最終学歴 (全体/複数回答) (%)

Q3. 貴団体に過去3年以内に採用した新卒者の「最終学歴」をお選びください。



※「全体」と比較して ■ = 10pt地上高い / □ = 5pt以上 / ● = 5pt以上低い

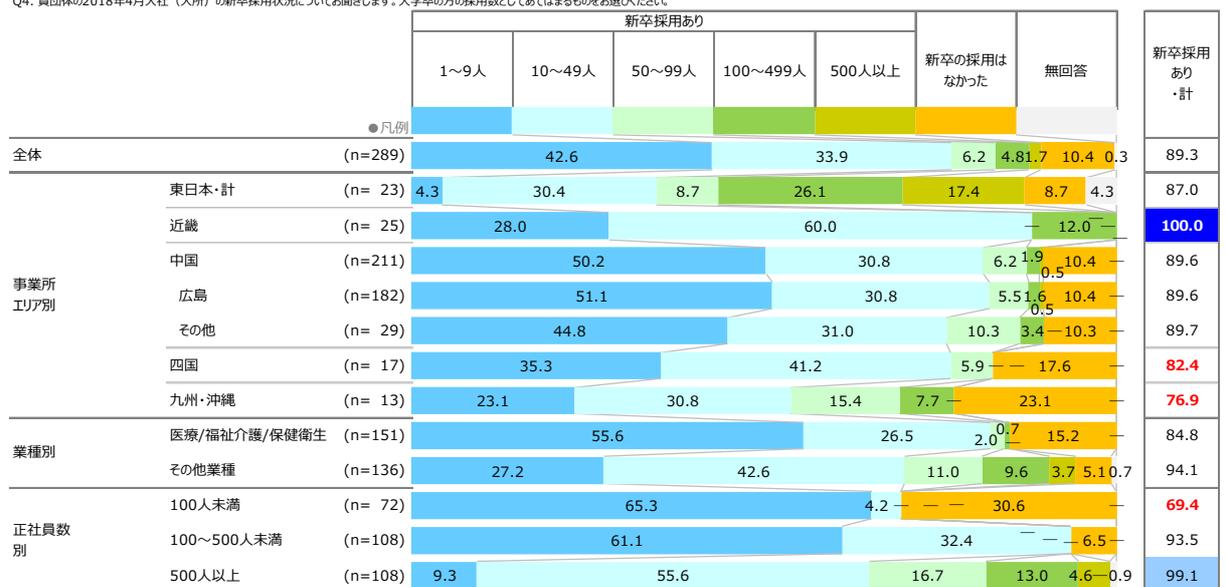
Q3

3. 2018年4月の大学新卒者の採用人数：新卒採用企業

- ▶ 過去3年以内に新卒採用を実施した企業において、89%が2018年4月に大学新卒者を採用している。
- ▶ 採用人数は「1～9人」(43%)が最も多く、次いで「10～49人」(34%)が続く。
 - ✓ 事業所エリア別にみると、東日本は「10～49人」(30%)が最多。他エリアに比べ100人以上採用企業の割合が高い。
 - 九州・沖縄は「新卒採用あり・計」の割合は過半数を占めるが、77%と他エリアに比べ相対的に低い。
 - ✓ 業種別にみると、いずれも新卒採用の割合は8割超。
 - 医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生では「1～9人」(56%)が最多。
 - ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど「新卒採用あり・計」の割合が高い。

■ 2018年4月：大学新卒者の採用人数（過去3年以内新卒採用あり企業／単一回答）

Q4. 貴団体の2018年4月入社（入所）の新卒採用状況についてお聞きます。大学卒の方の採用数としてあてはまるものをお選びください。



※小計：「全体」と比較して ■ =10pt地上高い / □ =5pt以上 / ● =5pt以上低い

Q4

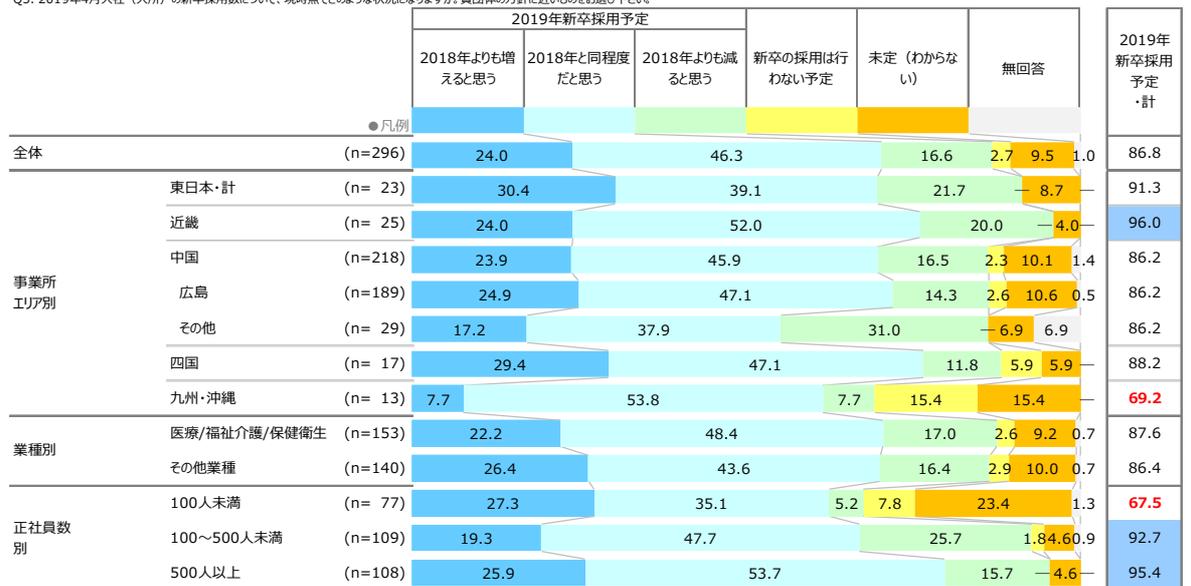
4. 2019年4月の新卒採用数の増減

▶ 2019年4月入社(入所)の新卒採用数について、全体の24%が2018年よりも「増える」、46%が「同程度」、17%が「減る」と回答。

- ✓ 全体の87%が2019年4月に新卒採用を予定している（「増える」「同程度」「減る」いずれか回答）。
- ✓ 事業所エリア別・業種別いずれも「2018年と同程度」が最多。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど「2018年と同程度」の割合が高い。

■ 2019年4月新卒採用数の増減（全体／単一回答）

Q5. 2019年4月入社（入所）の新卒採用数について、現時点でどのような状況になりますか。貴団体の方針に近いものをお選び下さい。



※小計：「全体」と比較して ■ =10pt地上高い / ■ =5pt以上 / ■ =5pt以上低い

Q5

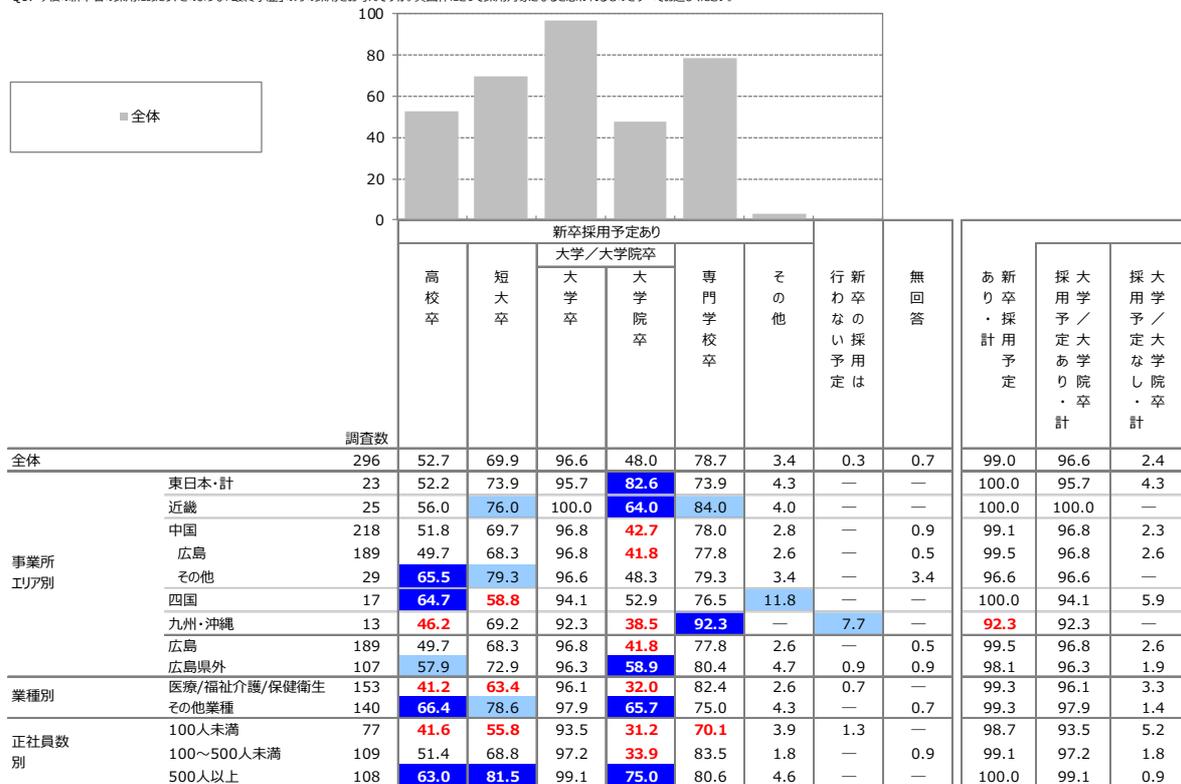
5. 今後の新卒採用対象となる最終学歴

- ▶ 今後の新卒者の採用にあたり、ほぼすべて(97%)が「大学卒」の採用を考えている。
 - ▶ さらに、「大学院卒」の採用を考えている企業はほぼ半数を占める(48%)。
- ✓ 事業所エリア別・業種別・正社員数別いずれでも、「大学卒」を採用対象と考えている企業は9割超。

■ 今後の新卒採用対象となる最終学歴 (全体/複数回答)

(%)

Q6. 今後の新卒者の採用にあたり、どのような「最終学歴」の方の採用をお考えですか。貴団体にとって採用対象となると思われるものをすべてお選びください。



※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ■=5pt以上 / ■=5pt以上低い

Q6

6. 今後の新卒採用で重視する能力

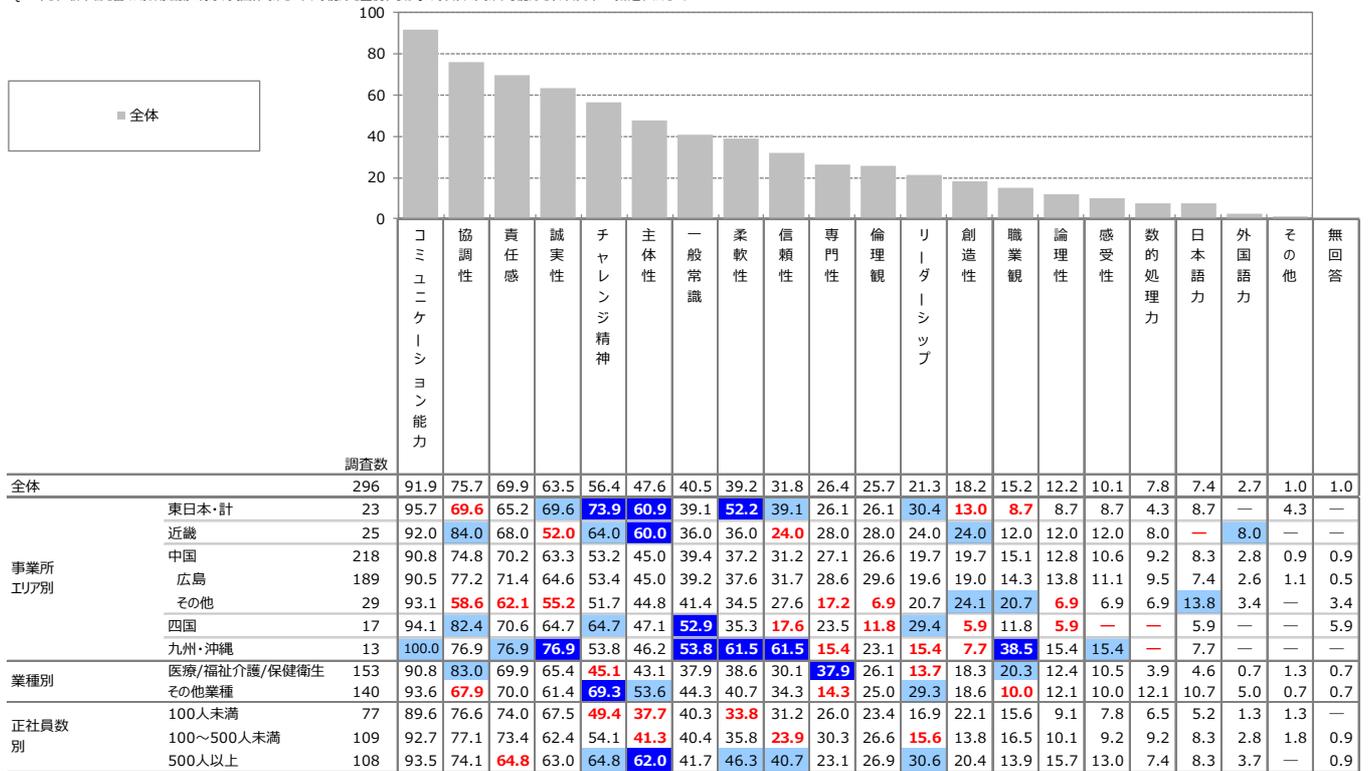
▶ 今後の新卒者の採用活動に際し重視する能力は、「コミュニケーション能力」(92%)が突出。次いで、「協調性」「責任感」が7割以上、「誠実性」が6割以上、「チャレンジ精神」は5割以上。

- ✓ 事業所エリア別にみると、いずれも「コミュニケーション能力」が最多。
東日本は「チャレンジ精神」「主体性」「柔軟性」、近畿は「主体性」、四国は「一般常識」、九州・沖縄は「誠実性」「一般常識」「柔軟性」「信頼性」「職業観」がそれぞれ全体に比べ特徴的に高い。中国の傾向は全体傾向と同様。
- ✓ 業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生では「専門性」が全体に比べ特徴的に高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど「コミュニケーション能力」「チャレンジ精神」「主体性」「柔軟性」などを重視している。一方、100人未満の企業では「誠実性」の重視度が相対的に高い。

■ 今後の新卒採用活動に際し重視する能力 (全体/複数回答)

Q7. 今後の新卒者を含めた採用活動に際し、貴団体ではどのような能力を重視するお考えですか。あてはまる能力を以下からすべてお選びください。

(%)



※「全体」と比較して ■=10pt地上高い / ■=5pt以上 / ■=5pt以上低い
※「全体」の降順ソート

Q7



新学科（専攻）の受容性

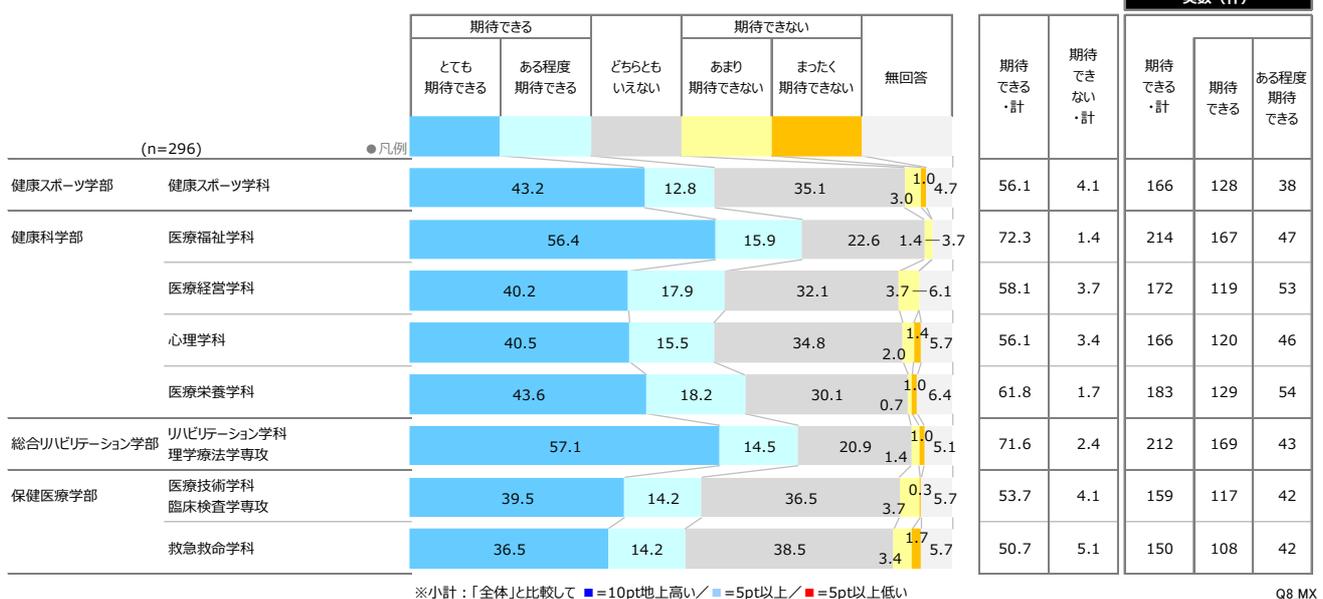
1. 新学科（専攻）への期待度

- ▶ 広島国際大学の新学科(専攻)における教育や人材育成に対し、いずれの学科(専攻)も「とても期待できる」が3割強～約6割。
「ある程度期待できる」を含めた「期待できる・計」は過半数を占める。
- ▶ 一方、「あまり期待できない」「まったく期待できない」は、いずれの学科(専攻)も5%以下。

■新学部学科（専攻）における教育・人材育成に対する期待度（全体／各単一回答）

(%)

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるもの一つ選び○をつけてください。



Q8.MX

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 期待度「とても期待できる」

以下、新学科(専攻)における教育や人材育成に対する期待度「とても期待できる」スコアを属性別にみていく。

▶ 健康スポーツ学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の43%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、東日本、次いで近畿。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

■ 新学部学科（専攻）における教育・人材育成に対する期待度：「とても期待できる」一覧（全体／各単一回答）

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるもの一つ選び○をつけてください。



Q8_TB

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科 期待度「とても期待できる」

▶ 医療福祉学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の56%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、近畿、中国が僅差で並ぶ。
- ✓ 業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生の期待度が高い。
- ✓ 正社員数別にみると、100人以上規模の企業からの期待度が高い。

▶ 医療経営学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の40%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、東日本。次いで近畿。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べやや高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

▶ 心理学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の41%。

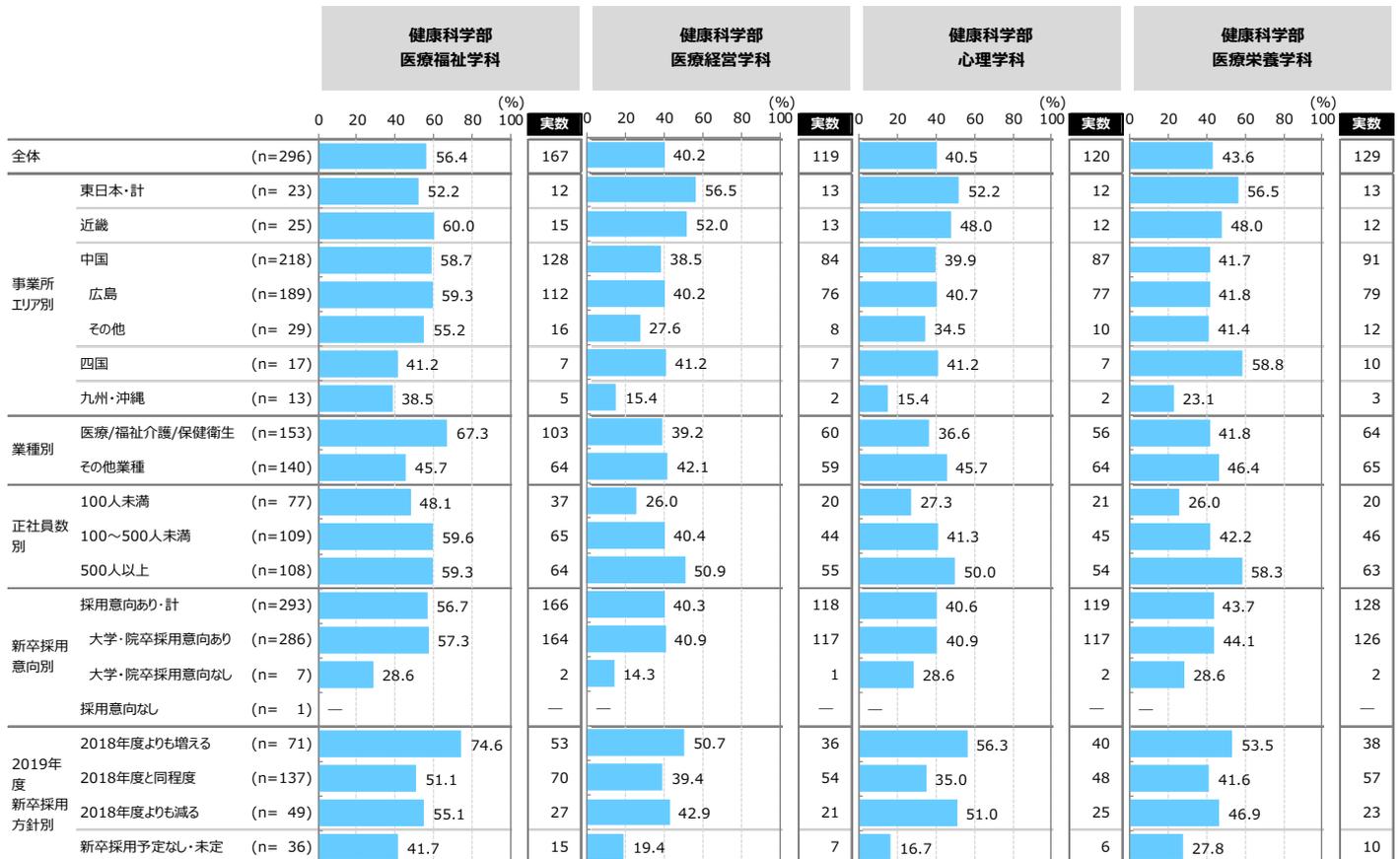
- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、東日本。次いで近畿。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

▶ 医療栄養学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の44%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、四国。次いで東日本。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

■ 新学部学科（専攻）における教育・人材育成に対する期待度：「とても期待できる」一覧（全体/各単一回答）

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるもの一つ選び○をつけてください。



Q8_TB

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 期待度「とても期待できる」

▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の57%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、四国。次いで中国、東日本。
- ✓ 業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生の期待度が高い。
- ✓ 正社員数別にみると、100人以上規模の企業からの期待度が高い。

■新学部学科（専攻）における教育・人材育成に対する期待度：「とても期待できる」一覧（全体/各単一回答）

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるもの一つ選び○をつけてください。



Q8_TB

保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科 期待度「とても期待できる」

▶ 医療技術学科 臨床検査学専攻に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の40%。

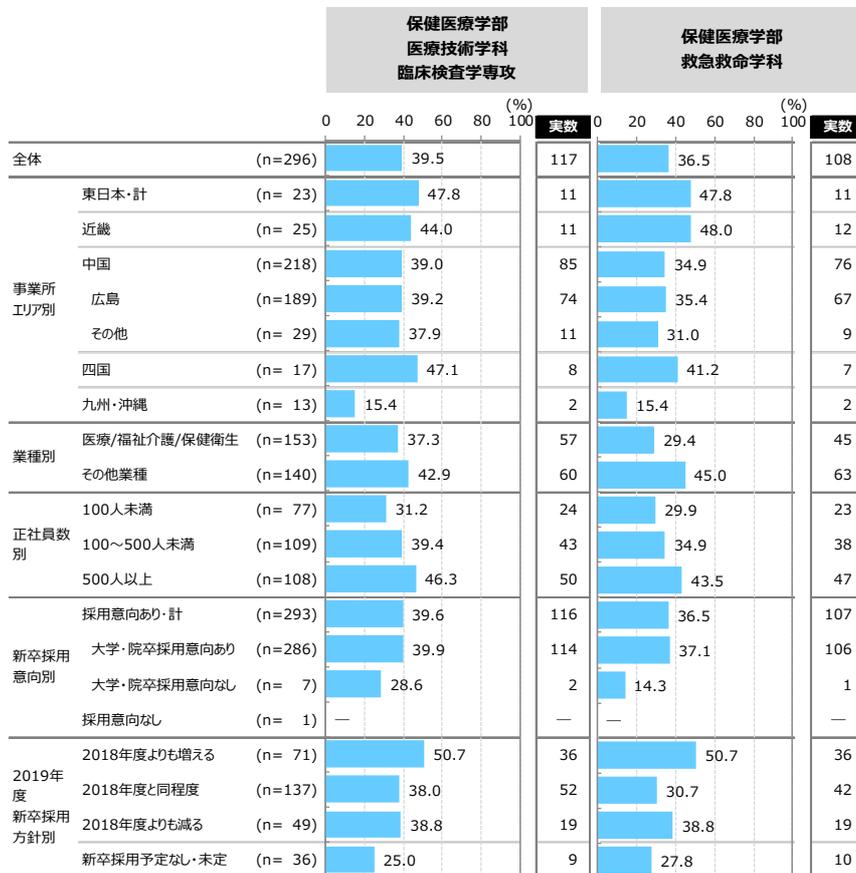
- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、東日本、四国が僅差で並ぶ。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

▶ 救急救命学科に対する期待度：「とても期待できる」は、全体の37%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も期待度が高いエリアは、近畿、東日本が並ぶ。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の期待度が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど期待度が高い。

■ 新学部学科（専攻）における教育・人材育成に対する期待度：「とても期待できる」一覧（全体/各単一回答）

Q8. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるもの一つ選び○をつけてください。



Q8_TB

2. 新学科（専攻）卒業生の採用意向

- ▶ 今後新卒採用を実施予定の企業における、広島国際大学の新学科(専攻)で学んだ学生の新卒採用意向「採用対象・計」は、以下の通り。

※今後新卒採用を実施予定の企業は、全体の99%（結果は10ページに掲載）

<健康スポーツ学部>

- ▶ 健康スポーツ学科：57%。

<健康科学部>

- ▶ 医療福祉学科：70%。
- ▶ 医療経営学科：56%。
- ▶ 心理学科：59%
- ▶ 医療栄養学科：60%

✓医療福祉学科は、トップボックス「採用対象になる」(56%)が5割強を占める。

<総合リハビリテーション学部>

- ▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻：66%

✓リハビリテーション学科理学療法学専攻は、トップボックス「採用対象になる」(52%)が5割を超える。

<保健医療学部>

- ▶ 医療技術学科 臨床検査学専攻：45%
- ▶ 救急救命学科：35%

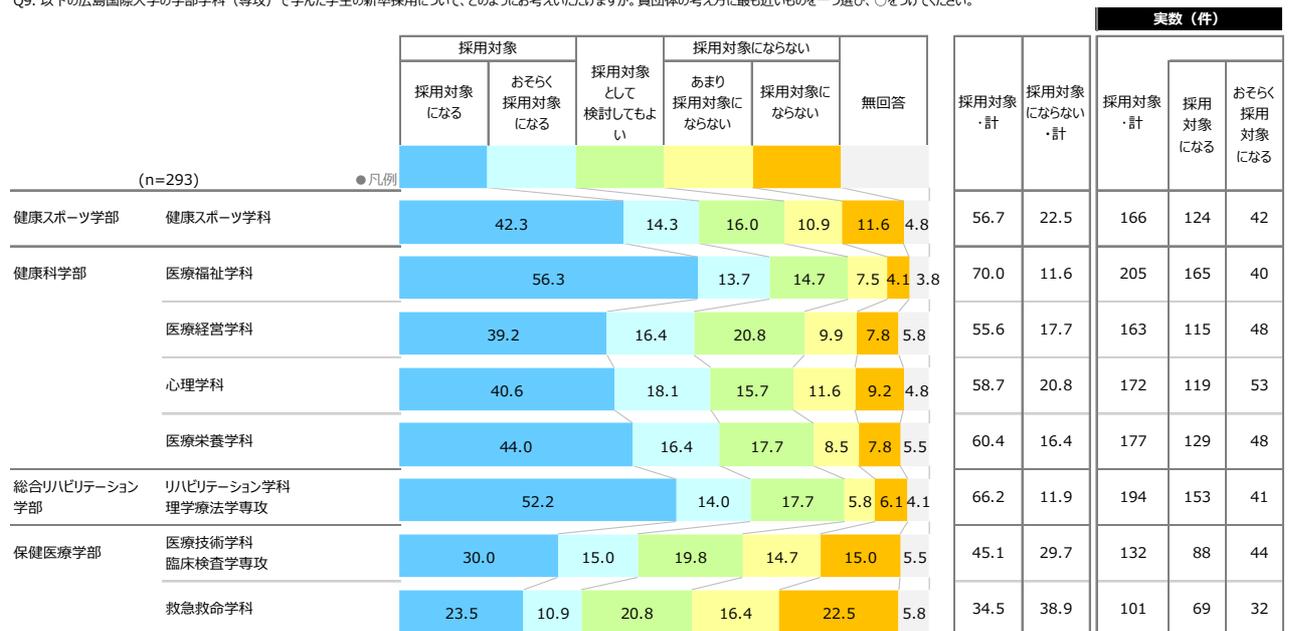
✓保健医療学部両学科の採用意向は他学科(専攻)に比べ相対的に低く、5割未満。

✓救急救命学科は、「採用対象にならない・計(あまり採用対象にならない+採用対象にならない)」の割合が採用意向と拮抗(39%)。

■ 新学部学科（専攻）新卒採用意向（新卒採用実施予定企業／各単一回答）

(%)

Q9. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いもの一つを選び、○をつけてください。



※小計：「全体」と比較して ■=10pt地上高い / □=5pt以上 / ●=5pt以上低い

Q9_MX

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 採用意向「採用対象・計」

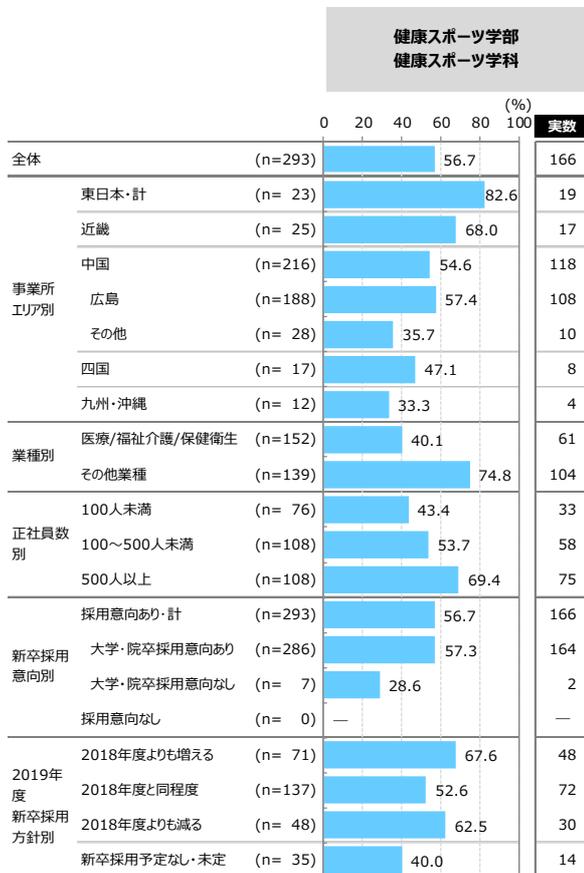
以下、新学科(専攻)で学んだ学生の新卒採用意向「採用対象・計」スコアを属性別にみていく。

▶ 健康スポーツ学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の57%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(83%)。次いで近畿(68%)。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

■ 新学部学科（専攻）新卒採用意向：「採用対象・計」一覧（新卒採用実施予定企業／各単一回答）

Q9. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いもの一つを選び、○をつけてください。



Q9.2B

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

健康科学部 医療福祉学科/医療経営学科/心理学科/医療栄養学科 採用意向「採用対象・計」

▶ 医療福祉学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の70%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(87%)。次いで近畿(72%)。
- ✓ 業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生の採用意向が高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

▶ 医療経営学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の56%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(78%)。次いで近畿(76%)。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

▶ 心理学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の59%。

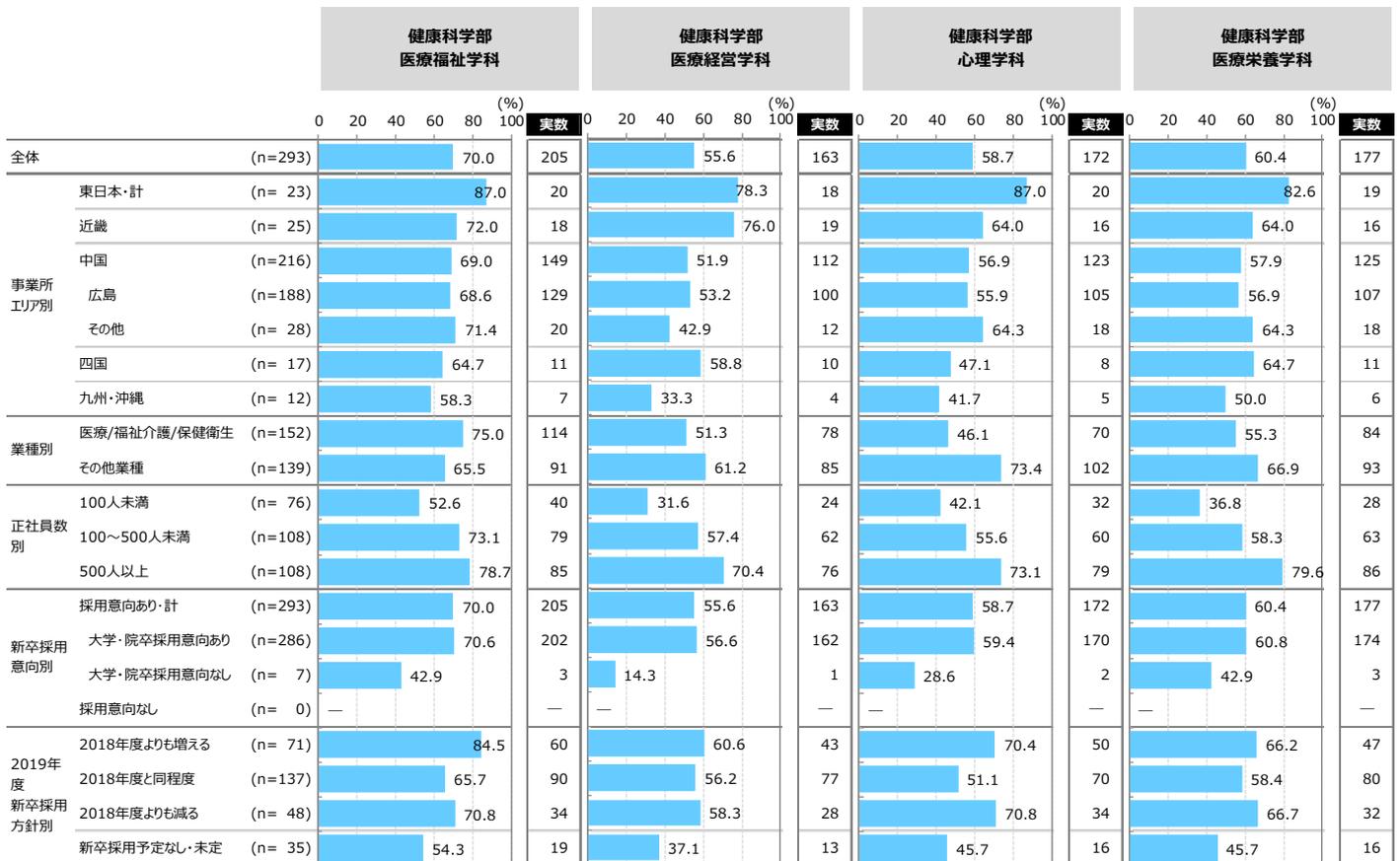
- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(87%)。次いで近畿(64%)。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

▶ 医療栄養学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の60%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(83%)。次いで四国(65%)、近畿(64%)が僅差で続く。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

■ 新学部学科（専攻）新卒採用意向：「採用対象・計」一覧（新卒採用実施予定企業/各単一回答）

Q9. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）で学んだ学生の卒業採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いものを一つ選び、○をつけてください。



Q9.2B

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 採用意向「採用対象・計」

▶ リハビリテーション学科 理学療法学専攻に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の66%。

- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、九州・沖縄(75%)。次いで四国(71%)。
- ✓ 業種別にみると、医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生の採用意向が高い。
- ✓ 正社員数別にみると、100人以上規模の企業の採用意向が高い。

■新学部学科（専攻）新卒採用意向：「採用対象・計」一覧（新卒採用実施予定企業／各単一回答）

Q9. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いもの一つを選び、○をつけてください。



Q9.2B

廣告社株式會社
KOKOKUSHA K.K.

保健医療学部 医療技術学科臨床検査学専攻/救急救命学科 採用意向「採用対象・計」

▶ 医療技術学科 臨床検査学専攻に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の45%。

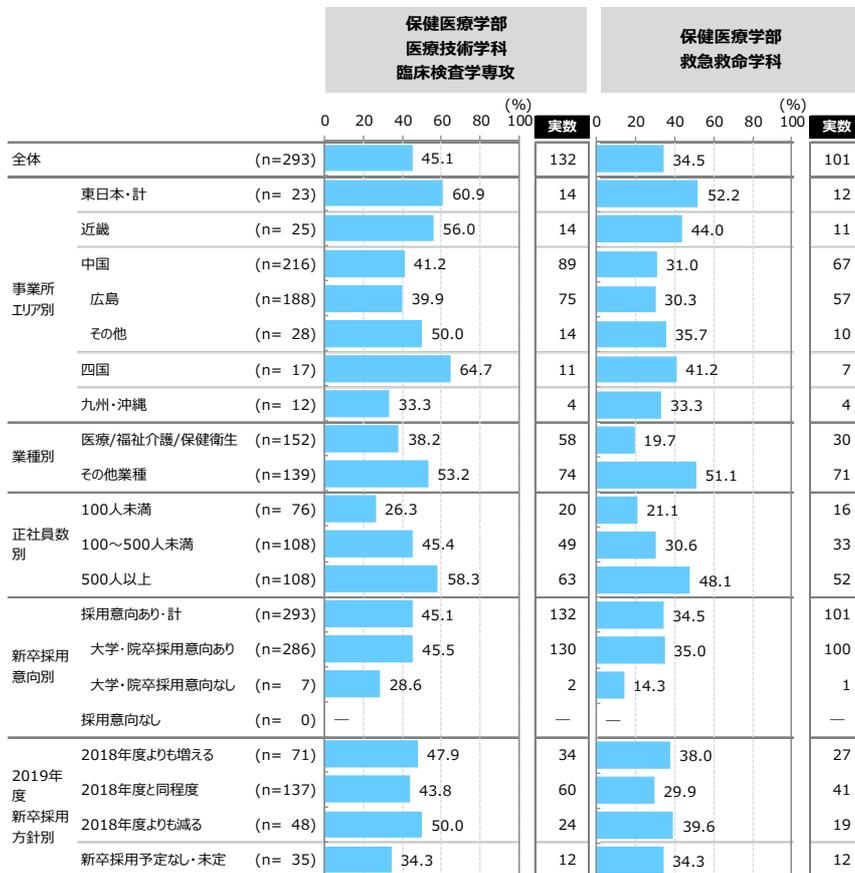
- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、四国(65%)。次いで東日本(61%)。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

▶ 救急救命学科に対する採用意向：「採用対象」は、新卒採用実施予定企業の35%。

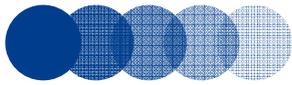
- ✓ 事業所エリア別にみると、最も採用意向が高いエリアは、東日本(52%)。次いで近畿(44%)。
- ✓ 業種別にみると、その他業種の採用意向が医療機関/社会保険・社会福祉・介護事業/保健・衛生に比べ高い。
- ✓ 正社員数別にみると、社員数が多い企業ほど採用意向が高い。

■ 新学部学科（専攻）新卒採用意向：「採用対象・計」一覧（新卒採用実施予定企業／各単一回答）

Q9. 以下の広島国際大学の学部学科（専攻）で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いもの一つ選び、○をつけてください。



Q9.2B



資料：調査票・呈示資料

広島国際大学 学部/学科に関するアンケート

調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本学では現在、社会に求められる人材の養成に対する社会的ニーズや受験生の進学ニーズならびに大学を取り巻く環境の変化等に対応するため、新学部の設置や入学定員増など組織の再編を計画しております。そこで、このたびの検討をより充実させるために、本学への求人実績がある企業の新卒採用ご責任者・ご担当者の皆さまから率直な意見をお聞きし、学部新設/改編の参考にさせていただきたいと思い、アンケートを実施することとなりました。

ご回答内容については、個人情報を使用されることはございません。

業務ご多用の折、大変お手数ではございますが、下記のとおりアンケート用紙をお送りさせていただきましたので、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

敬具

2018年10月

広島国際大学

誠に勝手ながら、下記期日までにご回答いただけますようお願い致します。

●調査締切日のお願い **2018年11月16日(金)**

※同封の返信用封筒(切手不要)にてご投函下さい。

貴団体名		お名前	
------	--	-----	--

はじめに、貴団体についてお聞きします。

問1. 貴団体の主業種をお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|-------------------------------|------------------------|-----------------|
| 1. 農業・林業・漁業・鉱業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 |
| 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 | 9. 不動産業 |
| 10. 飲食店・宿泊業 | 11. 医療機関(病院・診療所・クリニック) | |
| 12. 社会保険・社会福祉・介護事業(老人、児童、障害等) | 13. 保健・衛生 | |
| 14. 幼稚園・保育園 | 15. 学校(小・中・高・大・専門等) | 16. その他教育・学習支援業 |
| 17. 上記までに含まれないサービス業 | 18. 官公庁・自治体・公共団体 | |
| 19. その他() | | |

問2. 貴団体の正社員数をお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|--------------------|----------------|------------------|
| 1. 100 人未満 | 2. 100～500 人未満 | 3. 500～1,000 人未満 |
| 4. 1,000～3,000 人未満 | 5. 3,000 人以上 | |

問3. 貴団体で過去 3 年以内に採用した新卒者の「最終学歴」をお選びください。(いくつでも○)

- | | | | |
|-----------------------------|-----------|--------|---------|
| 1. 高校卒 | 2. 短大卒 | 3. 大学卒 | 4. 大学院卒 |
| 5. 専門学校卒 | 6. その他() | | |
| 7. 新卒の採用はなかった →問 5 へお進みください | | | |

**問4. 貴団体の 2018 年 4 月入社(入所)の新卒採用状況についてお聞きします。
大学卒の方の採用数としてあてはまるものをお選びください。(ひとつに○)**

- | | | | |
|------------|----------------------------------|------------|--------------|
| 1. 1～9 人 | 2. 10～49 人 | 3. 50～99 人 | 4. 100～499 人 |
| 5. 500 人以上 | 6. 新卒は採用しなかった(0 人) →問 5 へお進みください | | |

**問5. 2019 年 4 月入社(入所)の新卒採用数について、現時点でどのような状況にありますか。
貴団体の方針に近いものをお選び下さい。(ひとつに○)**

- | | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 2018 年よりも増えると思う | 2. 2018 年と同程度だと思う | 3. 2018 年よりも減ると思う |
| 4. 新卒の採用は行わない予定 | 5. 未定(わからない) | |

**問6. 今後の新卒者の採用にあたり、どのような「最終学歴」の方の採用をお考えですか。
貴団体にとって採用対象となると思われるものすべてをお選びください。(いくつでも○)**

- | | | | |
|----------|-----------|-----------------|---------|
| 1. 高校卒 | 2. 短大卒 | 3. 大学卒 | 4. 大学院卒 |
| 5. 専門学校卒 | 6. その他() | 7. 新卒の採用は行わない予定 | |

**問7. 今後の新卒者を含めた採用活動に際し、貴団体ではどのような能力を重視するお考えですか。
あてはまる能力を以下からすべてお選びください。(いくつでも○)**

- | | | | |
|----------------|----------|----------|-------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 主体性 | 3. 協調性 | 4. チャレンジ精神 |
| 5. 誠実性 | 6. 責任感 | 7. 論理性 | 8. 専門性 |
| 9. 職業観 | 10. 創造性 | 11. 柔軟性 | 12. 信頼性 |
| 13. リーダーシップ | 14. 一般常識 | 15. 外国語力 | 16. 日本語力 |
| 17. 数的処理力 | 18. 倫理観 | 19. 感受性 | 20. その他 () |

次のページにお進み下さい、

調査票 ③

ここからは、広島国際大学で新設もしくは改組、定員増を行う学部・学科・専攻のことについてお聞きます。
別途お配りした『学部・学科・専攻 紹介リーフレット』をよくお読みいただき、お答え下さい。

問8. 以下の広島国際大学の学部学科(専攻)における教育や人材育成に対し、どの程度ご期待いただけますか。あてはまるものを一つ選び○をつけてください。

		とても期待できる	ある程度期待できる	どちらともいえない	あまり期待できない	まったく期待できない
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	1	2	3	4	5
健康科学部	医療福祉学科	1	2	3	4	5
	医療経営学科	1	2	3	4	5
	心理学科	1	2	3	4	5
	医療栄養学科	1	2	3	4	5
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	1	2	3	4	5
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	1	2	3	4	5
	救急救命学科	1	2	3	4	5

※問9は、新卒採用をお考えの方にお聞きます。(問6で『7. 新卒の採用は行わない予定』を選択した方はここで終了です。)

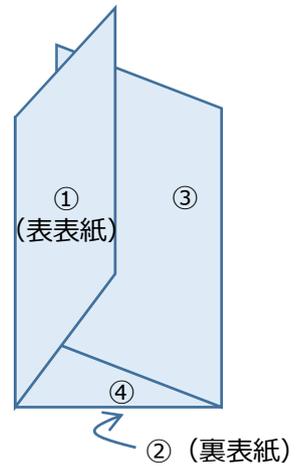
問9. 以下の広島国際大学の学部学科(専攻)で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えいただけますか。貴団体の考え方に最も近いものを一つ選び、○をつけてください。

		採用対象になる	おそらく採用対象になる	採用対象として検討してもよい	あまり採用対象にならない	採用対象にならない
健康スポーツ学部	健康スポーツ学科	1	2	3	4	5
健康科学部	医療福祉学科	1	2	3	4	5
	医療経営学科	1	2	3	4	5
	心理学科	1	2	3	4	5
	医療栄養学科	1	2	3	4	5
総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	1	2	3	4	5
保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	1	2	3	4	5
	救急救命学科	1	2	3	4	5

質問はこれで終了です。長時間ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

呈示資料

✓※新学部・新学科の概要は、紹介リーフレット（三つ折）を用いて伝えた。



① (表表紙)

② (裏表紙)

③

④

広告社株式会社 KOKOKUSHA K.K.